

令和7年度 山形県看護協会

通常総会

令和7年6月20日(金) 山形県看護協会 看護研修センター



山形県 **かんご**ちゃん 

「看護の日」キャラクター

公益社団法人 山形県看護協会

令和 7 年度 山形県看護協会

通常総会要綱

目 次

山形県看護協会基本理念・基本姿勢	1
看護職の倫理綱領（日本看護協会）	2
令和7年度通常総会の開催にあたって・会長挨拶	3
令和7年度通常総会プログラム	4
令和7年度職能合同研修会プログラム	5

提 出 議 題

議決事項

第一号議案 令和7年度改選役員・推薦委員、令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員 並びに令和7年度支部改選役員の選挙について	6
第二号議案 公益社団法人山形県看護協定会款の改正（案）について	7

報告事項

報告事項1 令和6年度 常務理事会・理事会報告	9
報告事項2 令和6年度 支部長・副支部長会報告	15
報告事項3 令和6年度 その他の会議・委員会報告	16
報告事項4 令和6年度 重点事業・事業報告	19
報告事項5 令和6年度 他機関への委員等の派遣	32
報告事項6 令和6年度 委員会活動報告	34
報告事項7 令和6年度 決算報告・監査報告	41
報告事項8 令和7年度 重点事業・事業計画	64
報告事項9 令和7年度 収支予算	73
報告事項10 令和6年度 4支部事業報告・決算報告	85
報告事項11 令和7年度 4支部事業計画・収支予算	93
報告事項12 令和6年度 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業報告・決算報告	101
報告事項13 令和7年度 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業計画・収支予算	112
報告事項14 令和7年度 山形県看護協会看護功労者表彰並びに永年会員表彰者	118

令和6年度 山形県看護協会事業実施報告

教育研修実施報告・図書整備状況	120
地域の看護力強化支援事業	138
「出前授業」講師派遣事業	143

令和 6 年度 委託事業実施報告

日本看護協会委託事業

災害・感染症に係る看護職員確保事業	144
地域に必要な看護職確保推進事業	145
看護補助者の確保・定着推進事業	146

山形県委託事業

山形県ナースセンター事業	147
助産師活用推進事業	149
やまがた子育て応援サイトメール相談業務	150
新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材運用業務（IHEAT）	151
山形県訪問看護総合支援センター事業	152
山形県認定看護師等活用事業－出前研修－	154
専門看護師・認定看護師等派遣研修事業	155

福島県委託事業

福島県外避難者の心のケア業務	156
----------------	-----

令和 6 年度 調査・学会報告

山形県内病院における令和 5 年度看護職員就業状況及び勤務環境調査	158
-----------------------------------	-----

山形県看護協会運営関連資料

定款・定款細則・支部規則	162
総会運営規則・選挙規則	177
日本看護協会名誉会員・山形県看護協会年度別会員数、会費・令和 6 年度支部別会員数	184
都道府県別会員数と入会率	185
令和 6 年度会館・看護研修センター使用状況	187
令和 6 年度役員・推薦委員・職能委員・令和 7 年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿	188
令和 6 年度常任・学会・認定委員名簿	189
令和 6 年度 4 支部役員・委員名簿	190
令和 7 年度役員・推薦委員及び候補者・職能委員名簿	191
令和 7 年度常任・学会・認定委員名簿	192
令和 7 年度 4 支部役員・委員及び候補者名簿	193
組織図・事務局役職員名簿	194
日本看護協会歌	195
会員福利厚生サービス一覧	196

山形県看護協会 基本理念

基本理念とは、価値判断の基準であり、組織の方向性を示し、「使命」「活動理念」「基本戦略」から構成される。

「使命」とは、山形県看護協会の目的を示すものであり

「活動理念」とは、使命を達成するための活動方針を示し

「基本戦略」とは、使命を効果的に達成していくための実現手法を示すものである

I 使 命

山形県看護協会は、看護活動を通して、人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る。
- 一 看護職が生涯を通し安心して働き続けられる環境づくりを推進する。
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る。

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向け結集する。
- 一 自律的に行動し協働する。
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する。

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、「社会貢献」「自主規制」「支援事業」「開発・経営」「広報」「政策形成」の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図るための支援をしていくものである。

これまで山形県看護協会では、看護の質の向上に向け、日本看護協会の看護倫理規定や看護業務基準等を基に「自主規制」を行ない、継続教育や学会開催等の「支援事業」に力を注いできた。さらに、「人々の健康な生活の実現」に向けて、看護職がさらに力を発揮する状況を作るには、制度改革への提言や政策決定過程への参画等、行政などに対し働きかける「政策形成」の手法を強化する必要がある。

併せて、業務上の権能の拡大、看護提供システムのモデル事業や訪問看護ステーション等の「開発・経営」といった取り組みも極めて重要である。

加えて、会員・マスコミ・県民・関係者に看護の価値や課題等の理解を促す「広報」の手段、及び、県民への有益な健康情報の提供や災害支援等の手法を確立し、効果的な事業展開を図る必要がある。

山形県看護協会のあるべき姿（基本姿勢）

『地域とともに築く看護』



Yamagata → Y は “夢”

Nursing → N は “ナーシング”

Association → A は “愛”

看護職の倫理綱領

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

条文

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向やその価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護者は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

令和7年度 通常総会の開催にあたって

公益社団法人 山形県看護協会

会 長 若 月 裕 子

平素より、皆さまには協会事業の推進に向け、ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

また、ポストコロナ後も新たな課題に直面されながら、適切な医療・看護の提供へご尽力されていることに敬意を表します。

昨年7月25日からの大雨により、最上地域・庄内地域で甚大な災害が発生しました。

被災された皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。自然災害や感染症により人々の生命や生活が脅かされる状況が続き、平時から健康危機への備えが必要のようです。

さて、2015年に日本看護協会から、“いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護”と看護の将来ビジョンが公表され、10年間に渡り看護職ひとり一人が真摯に取り組んできました。

今、医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩に加え、医療提供の場が拡大しています。多様な生き方、働き方、そして考え方が大切にされる中、特に人々の健康と生活を支える看護は、予防・療養・看取り、人々の人生のどの場面においても自律した専門職としてアプローチできる重要な役割を担います。それらの状況を踏まえて、今後、2040年に向けて挑戦していく3つの目標が示されました。

■その人らしさを尊重する生涯を通じた支援

■専門職としての自律した判断と実践

■キーパーソンとしての多職種との協働

今後、医療分野では、テクノロジーの技術を活用した事業や、オンライン診療、ビッグデータ活用など、「多角化」「個別化」「主体化」が進んでいくと予想されています。人間にしかできない、さらに看護職にしかできないこと、『医療の視点』と『生活の視点』の双方から観て、判断して人々を支え、その人らしい生き方を支援していきましょう。

さて、皆さまに3つご報告させていただきます。

1つは、「今野フサ子記念奨学金」については、2023年を最後に給付奨学生の募集を終了しましたが、県内15名の方が看護師資格を取得され、現在ご活躍中です。

2つは、2024年7月25日からの大雨災害に対し、栃木県看護協会から見舞金を頂きました。

3つは、2024年9月に発生した奥能登豪雨に対し、石川県看護協会へ見舞金を寄贈しております。

また、協会では、看護職の活躍について引き続き、*SNSで情報発信してまいります。さらに、協会の3つの使命であります「看護の質の向上」、「働き続けられる環境づくり」、「看護領域の開発・展開」に取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

今年度もどうぞご支援いただけますよう、宜しく願いいたします。

※公式アカウント情報は、最終ページをご覧ください。

令和7年度 通常総会プログラム

開催日 令和7年6月20日（金）9：45～12：15

開催場所 山形県看護協会 看護研修センター 3階第1研修室

9：00 受付

9：40 オリエンテーション

9：45 開会

物故会員への黙とう

会長挨拶

山形県看護協会看護功労者表彰及び永年会員表彰

叙勲・日本看護協会名誉会員・日本看護協会長表彰受賞者の紹介

来賓祝辞

来賓者紹介

祝電披露

10：25 議事開始

総会成立宣言

議長団選出

議事録署名人選出

10：30 報告・議決事項

理事会報告

支部長・副支部長会報告

その他の会議・委員会報告

令和6年度重点事業・事業報告並びに決算及び監査報告

職能・常任・学会・認定・推薦委員会活動報告

令和7年度重点事業・事業計画並びに収支予算報告

令和7年度日本看護協会通常総会代議員報告

11：30 審議・議決事項〔提出議題〕

第一号議案 令和7年度改選役員・推薦委員、

令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員並びに

令和7年度支部改選役員の選挙について

第二号議案 公益社団法人山形県看護協会定款の改正（案）について

12：00 新役員の紹介

新役員代表挨拶

旧役員への謝辞

旧役員代表挨拶

12：15 閉会

令和 7 年度 職能合同研修会プログラム

開 催 日 令和 7 年 6 月 20 日（金） 13：30～15：00

開催場所 山形県看護協会 看護研修センター

13：30 開 会

【講 演】 「い（生・逝）きかたは自分で決める
～死に関わる看護職に伝えたいこと～」

ライフ・ターミナル・ネットワーク代表
終活ジャーナリスト

金子 稚子 氏

15：00 閉 会

提 出 議 題

議決事項

- 第一号議案 令和 7 年度改選役員・推薦委員、令和 8 年度日本看護協会代議員・
予備代議員並びに令和 7 年度支部改選役員の選挙について …………… 6
- 第二号議案 公益社団法人山形県看護協会定款の改正（案）について …………… 7

報告事項

- 報告事項 1 令和 6 年度 常務理事会・理事会報告 …………… 9
- 報告事項 2 令和 6 年度 支部長・副支部長会報告 …………… 15
- 報告事項 3 令和 6 年度 その他の会議・委員会報告 …………… 16
- 報告事項 4 令和 6 年度 重点事業・事業報告 …………… 19
- 報告事項 5 令和 6 年度 他機関への委員等の派遣 …………… 32
- 報告事項 6 令和 6 年度 委員会活動報告 …………… 34
- 報告事項 7 令和 6 年度 決算報告・監査報告 …………… 41
- 報告事項 8 令和 7 年度 重点事業・事業計画 …………… 64
- 報告事項 9 令和 7 年度 収支予算 …………… 73
- 報告事項10 令和 6 年度 4 支部事業報告・決算報告 …………… 85
- 報告事項11 令和 7 年度 4 支部事業計画・収支予算 …………… 93
- 報告事項12 令和 6 年度 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業報告・決算報告 …101
- 報告事項13 令和 7 年度 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業計画・収支予算 …112
- 報告事項14 令和 7 年度 山形県看護協会看護功労者表彰並びに永年会員表彰者 ……118

議 決 事 項

第一号議案 令和7年度改選役員・推薦委員、令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員並びに令和7年度支部改選役員の選挙について

令和7年度改選役員・推薦委員候補者 名簿

役職名	任期	氏名	職能	勤務先
会長	3	若月裕子	看護師	山形県看護協会
常任理事	3	後藤道子	助産師	山形県看護協会
常任理事	3	菅野弘美	看護師	山形県看護協会
理事	1	齋藤さおり	助産師	米沢市立病院
監事	1	小林純子	看護師	山形県立こころの医療センター

職能理事（2名）				
役職名	任期	氏名	職能	勤務先
保健師職能理事	1	三浦朗子	保健師	山形県村山保健所
看護師職能I理事	1	鶴巻玲子	看護師	日本海総合病院

支部理事（1名）				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	太田恵美子	看護師	天童市民病院

推薦委員（3名）				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	遠藤由貴子	看護師	篠田総合病院
庄内支部	1	遠藤里美	助産師	鶴岡市立庄内病院
置賜支部	1	青柳智佳	保健師	山形県置賜保健所

令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者 名簿

令和8年度代議員（8名）				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	三浦朗子	保健師	山形県村山保健所	
全区	斉藤ひとみ	助産師	助産師のひとみさん	
山形支部	吉田加代子	看護師	みゆき会病院	
山形支部	難波夕子	看護師	至誠堂総合病院	
最北支部	高橋香緒里	看護師	訪問看護ステーションむらやま	
庄内支部	齋藤由紀	看護師	本間病院	
置賜支部	石澤利子	看護師	公立高畠病院	
全区	大滝和美	准看護師	舟山病院	

令和8年度予備代議員（8名）				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	松田千穂	保健師	金山町役場	
全区	池田綾子	助産師	日本海総合病院	
山形支部	遠藤恵子	看護師	朝日町立病院	
山形支部	飯野千夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた	
最北支部	高橋幸代	看護師	山形ロイヤル病院	
庄内支部	小野寺麻友	看護師	庄内余目病院	
置賜支部	高橋由美	看護師	公立高畠病院	
全区	櫻井由姫子	准看護師	新庄徳洲会病院	

令和7年度支部改選役員候補者 名簿

支部副支部長（4名）				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	荒井ミサ	看護師	山形市立病院済生館
最北支部	1	高橋幸代	看護師	山形ロイヤル病院
庄内支部	1	本間優子	看護師	鶴岡協立病院
置賜支部	1	青木千恵子	看護師	三友堂病院

支部会計（4名）				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	安孫子佳奈枝	看護師	南さがえ病院
最北支部	1	星川恵里子	看護師	北村山公立病院
庄内支部	1	三ッ澤美紀	看護師	日本海総合病院
置賜支部	1	石澤利子	看護師	公立高畠病院

支部書記（4名）				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	村田尚子	保健師	山形市保健所
最北支部	1	猪股亜希子	看護師	新庄徳洲会病院
庄内支部	1	菅原真紀	看護師	山形県立こころの医療センター
置賜支部	1	須貝真基子	助産師	米沢市立病院

議 決 事 項

第二号議案 公益社団法人山形県看護協会定款の改正（案）について

1 提案理由

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律が今年4月1日より施行されたことに伴い、公益社団法人山形県看護協会定款の改正が必要となったため。

2 新旧対照表

改 正 前	改 正 後
(略)	(略)
(役員の設置) 第21条 本会に次の役員を置く。 (1) 理事 15名以上25名以内 (2) 監事 2名以上4名以内 2 理事のうち、1名を会長、2名を副会長、1名以上3名以内を常任理事とする。 3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、常任理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。	(役員の設置) 第21条 本会に次の役員を置く。 (1) 理事 15名以上25名以内 (2) 監事 2名以上4名以内 2 <u>役員の構成は次のとおりとする。</u> (1) <u>理事のうち、1名を会長、2名を副会長、1名以上3名以内を常任理事、1名以上を外部理事とする。</u> (2) <u>監事のうち1名以上を外部監事とする。</u> 3 <u>前項第1号の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、常任理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。</u> 4 <u>各理事について、各監事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）第5条第12号に規定する特別利害関係を有しないものとする。</u> 5 <u>外部理事は次の全てを満たすものとする。</u> (1) <u>本会の業務執行理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の業務執行理事又は使用人であったことがない者</u> (2) <u>本会の正会員ではない者</u> 6 <u>外部監事は次の全てを満たすものとする。</u> (1) <u>本会の理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の理事又は使用人であったことがない者</u> (2) <u>本会の正会員ではない者</u> (役員の選任) 第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。 2 理事会は、会長、副会長及び常任理事を理事の中から選定する。 3 <u>理事会は、監事の内1名については正会員以外（以下「外部監事」という。）から選出する。尚、外部監事の選出は定款細則に定める。</u>
(略)	(略)
(事業計画及び収支予算) 第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議により決定するものとする。	(事業計画及び収支予算) 第44条 本会の事業計画書、収支予算書、 <u>その他法令で定める書類（以下「予算等」という。）</u> については、毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議により決定するものとする。

改 正 前	改 正 後
(略)	(略)
(事業報告及び決算)	(事業報告及び決算)
第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けたうえで理事会の承認を受けなければならない。	第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けたうえで理事会の承認を受けなければならない。
(1) 事業報告	(1) 事業報告
(2) 事業報告の附属明細書	(2) 事業報告の附属明細書
(3) 貸借対照表	(3) 貸借対照表
(4) <u>正味財産増減計算書</u>	(4) <u>損益計算書（活動計算書）</u>
(5) 貸借対照表及び <u>正味財産増減計算書</u> の附属明細書	(5) 貸借対照表及び <u>損益計算書（活動計算書）</u> の附属明細書
(6) 財産目録	(6) 財産目録
(略)	(略)
(事業報告及び決算)	(略)
第46条 会長は、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4項に定める書類に記載する。	(削除)
(略)	(略)
(公益認定の取消しに伴う贈与)	(公益認定の取消しに伴う贈与)
第52条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	第52条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、総会の決議により、認定法第5条第20号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。
(残余財産の帰属)	(残余財産の帰属)
第53条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	第53条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、認定法第5条第20号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。
(略)	(略)
	第15章 情報公開等
	(情報公開等)
	第56条 この法人は、公益目的事業の質の向上を図るため、運営体制の充実を図るとともに、財務に関する情報の開示その他の運営における透明性の向上を図るものとする。
附則	附則
(略)	(略)
7 (略)	7 (略)
	この定款は令和7年6月20日の通常総会にて承認され一部改正し施行し、第21条及び第22条については令和8年度改選役員の選出に係る事項についてから適用する。

報告事項 1 常務理事会・理事会報告

第1回常務理事会 令和6年11月25日(月) 15:00~17:00

開催方法: ZoomによるWeb会議

出席者: 会長、副会長2名、常任理事3名、理事(書記担当)1名、監事2名、外部監事1名、事務局長

[審議事項]

1. 令和7年度山形県看護協会重点事業(案)について
2. 災害見舞金について
3. 公益社団法人山形県看護協会定款細則の改正について

第1回理事会 令和6年5月20日(月) 10:00~13:00

場所: 山形県看護協会 3階第1研修室

出席者: 理事19名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和5年度事業報告・決算及び監査報告について
 - ①事業報告(承認)
 - ②決算及び監査報告(承認)
2. 令和5年度各支部の事業報告及び収支報告について(承認)
3. 令和6年度山形県看護協会 職能・常任・学会・認定委員会の委員選出(最終)について(承認)
4. 令和6年度選挙管理委員会の構成メンバー(案)について(承認)
5. 令和6年度山形県看護協会通常総会及び職能合同研修会の運営について
 - ①役割分担表(承認)
 - ②進行表(承認)
6. 公益社団法人山形県看護協会定款細則の改正(案)について(承認)
7. ハラスメント防止規定の改正(再検討)
8. 認定教育の運営規定の改正(案)について(承認)
9. 山形県訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の今後の運営について(承認)
10. 公益社団法人山形県看護協会会館建設積立金の資産運用(案)について(承認)

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業
 - ①三職能4委員会活動報告(保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ)
 - ②4支部の活動報告(山形・最北・庄内・置賜)
 - ③山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ④2024年度「看護の日・看護週間」について
 - ⑤山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業」成果報告
2. 日本看護協会事業
 - ①第1回理事会・法人会員会報告 5月10日(金)

3. その他

- ①山形県がん診療連携協議会（1月18日）
- ②書面報告 令和5年度山形県看護協会第7回理事会（3月15日）議事録
- ③会長及び常任理事の職務執行状況（令和6年3月～5月）
- ④山形県医療的ケア児支援会議（3月25日）
- ⑤第2回救急救命業務検証会議（3月26日）
- ⑥第2回山形県医療審議会（Web会議）（3月28日）
- ⑦山形県厚生環境常任委員会意見交換会（5月16日）
- ⑧山形県健康福祉部との業務推進懇談会までのスケジュール(案)
- ⑨新旧役員引継ぎについて

第2回理事会 令和6年6月14日(金) 総会終了後

場所：山形県看護協会会館

出席者：理事19名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

第一号議案 副会長選定の件

- ・満場一致で峯田弥生氏、鈴木ひとみ氏が選定され、本人は就任を承諾した。

第二号議案 常任理事選定の件

- ・満場一致で田瀬裕子氏が選定され、本人は就任を承諾した。

第三号議案 会長代行及び常任理事の優先順位の件

- ・満場一致で次のとおり選定された、本人は代行順位を承諾した。

会長代行	第一順位	峯田弥生氏	第二順位	鈴木ひとみ氏	
常任理事	第一順位	田瀬裕子氏	第二順位	後藤道子氏	第三順位 菅野弘美氏

第3回理事会 令和6年7月12日(金) 13:30～16:30

場所：山形県看護協会 3階第1研修室

出席者：理事19名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和6年度理事会の日程について（承認）
2. 令和6年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について
開催日時 令和6年9月9日（月） 13:30～15:30 （承認）
会 場 山形県看護協会 3階第1研修室 （承認）
 - ①業務推進懇談会までのスケジュール （承認）
 - ②情報交換の議題の検討（承認）
3. ハラスメント防止規定の改正(案)について（再検討）
4. 選択制確定給付企業年金制度の導入について（承認）

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業

- ①重点政策・重点事業に取り組み状況について
- ②三職能4委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）

- ③ 4 支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
- ④ 山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
- ⑤ 山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業」採択報告について
- ⑥ 令和 6 年度受託事業の契約状況について
- ⑦ 山形県看護協会通常総会等について
- ⑧ 山形県看護協会業務運営効率化の取り組みについて
- ⑨ 公益社団法人山形県看護協会会館建設積立金の資産運用状況について
- ⑩ 山形県アレルギー疾患医療連絡協議会

2. その他

- ① 書面報告 令和 6 年度山形県看護協会第 1 回理事会（5 月 20 日）議事録
- ② 書面報告 令和 6 年度山形県看護協会通常総会（6 月 20 日）議事録
- ③ 書面報告 令和 6 年度山形県看護協会第 2 回理事会（6 月 14 日）議事録
- ④ 会長及び常任理事の職務執行状況（令和 5 年 4 ～ 6 月）
- ⑤ 2024 年度都道府県看護協会会員情報管理情報交換会報告

第 4 回理事会 令和 6 年 9 月 10 日（火） 10：00～12：30

場所：山形県看護協会 3 階第 1 研修室

出席者：理事 16 名 監事 2 名 事務局 1 名

〔審議事項〕

1. 令和 6 年度山形県との業務推進懇談会について
 - ・ 情報交換の議題（案）（承認）
 - テーマ 1 「認定看護管理者への育成支援」
 - テーマ 2 「訪問看護ステーションにおける採用者（新卒及び既卒）への支援」
2. ハラスメント防止規定の改正（案）及びハラスメント委員会規程の廃止について（承認）
3. 選択制確定給付企業年金既定の制定（案）について（承認）
4. 職員給与規程及び訪問看護ステーション職員給与規程の改正（案）について（承認）
5. 役員等の報酬規則の改正（案）（承認）
6. 災害見舞及び慶弔見舞規定の改正（案）について（承認）

〔報告事項〕

1. 山形県看護協会事業
 - ① 重点政策・重点事業の取り組み状況について
 - ② 三職能 4 委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）
 - ③ 4 支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
 - ④ 令和 6 年度山形県ナースセンター事業運営委員会（8 月 29 日）
 - ⑤ 山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ⑥ 令和 6 年度山形県訪問看護総合支援センター事業運営委員会（8 月 9 日）
 - ⑦ 山形県看護協会と 4 支部との確認事項の改正について
 - ⑧ 公益社団法人山形県看護協会会館建設積立金の資産運用状況について
 - ⑨ 公益社団法人山形県看護協会におけるペーパーレス化の取り組みについて
2. 日本看護協会事業
 - ① 都道府県看護協会看護労働担当国会議（7 月 18 日）
 - ② 日本看護協会第 3 回理事会（7 月 25 日）

③都道府県看護協会教育担当者会議（８月８日）

3. その他

①山形県看護研究学会について

②山形県公衆衛生学会について

③山形県健康長寿推進協議会第１回歯科口腔保健委員会（７月22日）

④書面報告 令和６年度山形県看護協会第３回理事会（７月12日）議事録

⑤会長及び常任理事の業務執行状況（令和６年７～８月）

第５回理事会 令和６年10月24日（木） 14：00～16：00

開催方法：山形県看護協会またはWeb参加

出席者：理事17名 監事３名 事務局１名

〔審議事項〕

1. 令和７年度山形県看護協会通常総会の日程について（承認）

＜提案＞ 令和７年６月20日（金）

2. 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定（案）について（承認）

〔報告事項〕

1. 山形県看護協会事業

①重点政策・重点事業の取り組み状況について

②三職能４委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）

③４支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）

④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告

⑤まいづる居宅介護支援事業所の休止について

⑥令和６年度山形県看護協会支部別会員数（９月30日現在）報告

2. 日本看護協会事業

①日本看護協会政策責任者会議（９月19日）

②第４回理事会・第３回法人会員会（９月20日）

③第55回日本看護学会学術集会（９月28・29日 熊本城ホール）

④地区別法人会員会（10月４日）

3. その他

①栃木県看護協会からの災害支援金（見舞金）について

②書面報告 山形県看護協会第４回理事会（９月10日）議事録

③書面報告 山形県健康福祉部との業務推進懇談会（９月10日）会議録

④会長及び常任理事の業務執行状況（令和６年９～10月）

第６回理事会 令和６年12月16日（月） 13：30～16：10

開催方法：山形県看護協会またはWeb参加

出席者：理事18名 監事３名 事務局１名

〔審議事項〕

1. 令和６年度山形県看護協会上半期事業報告（承認）

2. 令和６年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告（承認）

3. 公益社団法人山形県看護協会定款細則の改定について（承認）
4. 令和7年度山形県看護協会重点事業(案)について（承認）
5. 令和7年度職能・常任・特別・認定委員会の目的(案)について（承認）
6. 令和7年度教育計画について
 - ①令和6年度参加状況（承認）
 - ②令和7年度教育計画(案)（承認）
7. 令和7年度山形県看護協会職能・常任・学会・認定委員会委員の選出について（承認）
8. 山形県看護協会職員給与規定の改定(案)について（承認）
9. 令和7年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について（承認）
10. 令和7年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について（承認）
11. 災害見舞金について（承認）

〔報告事項〕

1. 山形県看護協会事業
 - ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
 - ②三職能4委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）
 - ③4支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
 - ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ⑤山形県看護協会会員数の推移（11月末現在）
 - ⑥令和6年度山形県看護研究学会（11月21日）
 - ⑦令和6年度会館建設積立金納入状況（11月30日現在）及び資産運用状況
2. 日本看護協会事業
 - ①広報担当役員会議（11月7日）
 - ②日本看護協会・都道府県看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議（11月14日）
 - ③第5回理事会・第4回法人会員会（11月28・29日）
3. その他
 - ①訪問看護サミット2024（11月30日）
 - ②令和6年度山形県看護師等確保推進会議（11月26日）
 - ③書面報告 山形県看護協会第5回理事会（10月24日）議事録
 - ④書面報告 山形県看護協会第1回常務理事会（11月25日）議事録
 - ⑤会長及び常任理事の職務執行状況（令和6年11月～12月）
 - ⑥書面報告 山形県看護協会第1回常務理事会（11月25日）

第7回理事会 令和7年3月14日(金) 13:30～16:30

開催方法：山形県看護協会またはWeb参加

出席者：理事18名 監事1名 事務局1名

〔審議事項〕

1. 令和7年度山形県看護協会事業計画(案)について
2. 令和7年度収支予算(案)について（承認）
3. 令和7年度支部事業計画(案)・予算(案)について（承認）
4. 令和7年度教育研修一覧(案)について（承認）
5. 令和7年度山形県看護協会看護功労者表彰並びに永年会員表彰候補者(案)について（承認）
6. 令和7年度山形県看護協会通常総会並びに職能合同研修会プログラム(案)について（承認）

7. 令和7年度事業スケジュール(案)について（承認）
8. 令和7年度職能・常任・学会・認定委員会の委員選出(案)について（承認）
9. 公益社団法人山形県看護協会定款の改正(案)について（承認）
10. 公益社団法人山形県看護協会定款細則の改正(案)について（承認）
11. 公益社団法人山形県看護協会育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について（承認）
12. 公益社団法人山形県看護協会訪問看護ステーション職員給与規程の改正について（承認）
13. 公益社団法人山形県看護協会図書室運営規則の改正(案)について（承認）
14. 令和7年度山形県看護協会会館建設積立金資産運用計画(案)について（承認）
15. 公益社団法人山形県看護協会会計規程改正(案)について（承認）
16. 公益社団法人山形県看護協会有価証券運用規定(案)について（承認）
17. 理事会で承認する有価証券の取得及び処分の上限金額(案)について（承認）
18. 公益社団法人山形県看護協会事務局の組織改正(案)について（承認）

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業

- ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
- ②三職能4委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）
- ③4支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
- ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
- ⑤令和7年度山形県看護協会通常総会要綱印刷部数と配布先（配布数）について
- ⑥山形県看護協会と4支部との確認事項の改正について
- ⑦令和6年度山形県看護協会蔵書点検実施報告
- ⑧県内分娩取扱施設における看護管理者・産科看護管理者・助産所管理者・助産師等交流会
- ⑨令和6年度山形県看護協会会員数の推移（令和7年2月現在）
- ⑩災害見舞金の贈呈について

2. 日本看護協会事業

- ①第6回理事会・第5回法人会員会
- ②健康危機管理担当者会議
- ③全国基礎教育担当役員会議

3. その他

- ①書面報告 令和6年度山形県看護協会第7回理事会（12月16日）議事録
- ②山形県がん診療連携協議会
- ③東北厚生局 看護師の特定行為研修情報交換会
- ④山形県保健医療推進協議会
- ⑤山形県高齢者保健福祉推進委員会
- ⑥令和6年度オールむらやま若者定着推進会議
- ⑦令和6年度第2回AMR（薬剤耐性）等対策ネットワーク会議
- ⑧第51回山形県公衆衛生学会
- ⑨東日本大震災追悼・復興祈念事業キャンドルナイト
- ⑩会長及び常任理事の職務執行状況報告（令和6年12月～令和7年3月）

報告事項 2 支部長・副支部長会報告

第1回支部長会議

日 時：令和6年9月4日（水）16：00～17：00

開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：支部長4名 事務局5名

〔審議事項〕

1. 山形県看護協会と4支部との確認事項（案）について

第1回支部長・副支部長会議

日 時：令和6年6月25日（火）14：00～15：00

開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：支部長4名 副支部長8名 事務局3名

〔審議事項〕

1. 地区支部と県看護協会および県や市町村との連携について
2. まちの保健室について
3. 看護職・各地域の課題について
4. 会員拡大について
5. その他
 - 1) 「支部との確認事項」への追記依頼
 - 2) 研修開催時の支部としての役割確認

第2回支部長・副支部長会議

日 時：令和7年1月28日（火）13：30～14：30

開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：支部長4名 副支部長7名 事務局5名

〔審議事項〕

1. 役員・委員等の推薦の進捗状況について
2. 地区支部活動の業務状況と課題について
3. その他
 - 1) 支部会議の負担軽減について

報告事項 3 その他の会議・委員会報告

1. 山形県との業務推進懇談会

日 時：令和6年9月10日（火）13：30～15：30

場 所：山形県看護協会 3階第1研修室

出席者：山形県10名 役員19名 事務局5名

健康福祉部：医療統括監、医療政策課長、課長補佐、看護師確保対策主査、主査

高齢者支援課長、がん対策・健康長寿日本一推進課長、障がい福祉課長

しあわせ子育て応援部：子ども成育支援課長

病院事業局：県立病院課長

内 容：1）情報交換・意見交換

（1）認定看護管理者の育成支援について

（2）訪問看護ステーションにおける人材確保のための採用者（新卒及び既卒者）への支援

2）情報提供事項

（1）看護師等確保対策の推進

（2）多様な勤務形態導入による夜勤可能な職員の減少

（3）保健師の人材確保

（4）看護補助者の確保

（5）医療DXへの支援

（6）ACPの推進について

（7）認知症の単身世帯を支える共生社会にむけて

（8）母子のための包括的な支援対策、産後ケア事業の充実

（9）20歳を過ぎた医療的ケア児の受入れ施設について

2. 令和6年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員等研修会

日 時：令和6年5月20日（月）14：00～15：30

場 所：山形県看護協会 3階第1研修室

出席者：代議員8名 予備代議員7名 協会・支部推薦一般参加者12名 役員17名

研修内容：講師：日本看護協会 常任理事 森内みね子氏

1）代議員・予備代議員の役割について

2）令和6年度日本看護協会通常総会について

（1）プログラム

（2）提出議題

（3）その他

3）質疑・意見交換

3. 山形県ナースセンター事業運営委員会

日 時：令和6年8月29日（木）14：00～16：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：31名（事務局12名） 欠席2名

内 容：1）報告および協議事項

（1）令和5年度山形県ナースセンター事業報告について

（2）令和6年度山形県ナースセンター事業計画について

2）情報提供

（1）「夜勤・交代制勤務」に対する各施設の新たな取組みについて

（2）各施設における「看護補助者の人材確保・活用」の実際について

4. 山形県看護協会支部及び委員会に関する会議

[第1回]

日 時：令和6年6月25日（火）15：30～17：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：役員13名 副支部長8名 推薦委員6名

職能委員19名 常任委員30名 学会委員5名 認定委員6名 事務局12名

内 容：1）令和6年度山形県看護協会重点事業について

2）支部・委員会活動に関するお願いについて

3）看護協会からのお知らせ

[第2回]

日 時：令和7年1月28日（火）15：00～17：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：役員11名 副支部長6名 推薦委員6名

職能委員14名 常任委員28名 学会委員5名 認定委員6名 事務局12名

内 容：1）令和6年度支部・委員会活動報告（中間評価）

2）令和7年度重点事業について

3）令和7年度各委員会の目的（案）について

5. 選挙管理委員会

選挙管理委員会 名簿

氏 名	職能	勤務先
浅 井 千 佳	看護師	山形県立こども医療療育センター
五十嵐 みづほ	看護師	鶴岡協立リハビリテーション病院
高 島 豊 子	看護師	舟 山 病 院
渡 邊 千 春	看護師	山 形 徳 洲 会 病 院
遠 藤 由 美	看護師	最 上 町 立 最 上 病 院
杉 原 薫	看護師	天 童 市 民 病 院

[第1回]

日 時：令和6年11月1日（金）13：30～14：35

場 所：山形県看護協会 2階第3研修室

出席者：委員6名 田瀬常任理事 伊藤事務局長

- 内 容：1）選挙規則について
2）令和7年度改選役員、支部役員、推薦委員について
3）令和8年度日本看護協会代議員、予備代議員選出について
4）協議
（1）広報誌への掲載記事（公示）について
（2）次回の委員会日程と委員会の進め方について
（3）次期選挙管理委員について

[第2回]

日 時：令和7年4月16日（水）13：30～15：00

場 所：山形県看護協会 2階第3研修室

出席者：委員6名 伊藤事務局長

- 内 容：1）令和7年度改選役員及び推薦委員、支部役員並びに令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員の候補者の確認について
2）広報誌「山形いぶき」通常総会特集号及びホームページへの改選役員候補者一覧の掲載について
3）令和7年度山形県看護協会通常総会における選挙の進め方について
4）次期選挙管理委員について
5）その他
（1）研修会のあり方・夜勤情報などについて意見交換

6. 山形県訪問看護総合支援センター事業運営委員会

[第1回]

日 時：令和6年8月9日（金）17：30～19：00

開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：委員15名 オブザーバー3名 事務局4名

- 内 容：1）令和5年度山形県訪問看護総合支援センター事業報告
2）令和5年度山形県訪問看護ステーション実態調査報告
3）令和6年度山形県訪問看護総合支援センター事業計画
4）令和7年度山形県訪問看護総合支援センター事業の課題と方向性
5）各地区の現状について

報告事項 4 令和 6 年度重点事業・事業報告

1. 全世代を支える看護機能の強化

実施計画

- 1) 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組み
 - (1) 在宅療養支援体制に向けた取り組み
 - (2) 訪問看護の機能強化に向けた訪問看護総合支援センターの事業運営
 - (3) ICTを活用した連携強化と効率化
- 2) 地域における看護職の確保と活躍推進
 - (1) ナースセンターの事業運営
 - (2) 三職能の地域における活躍促進

報告

- 1) 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組み
 - (1) 在宅療養支援体制に向けた取り組み
 - ・ 地域の看護力強化支援事業で 4 地域 6 団体が地域における課題について情報共有・意見交換実施
 - ・ 在宅療養支援に向けて「Aging in placeを叶えるためにone Teamで伴走する」研修の実施
庄内11月16日：47名、最上11月17日：19名、村山12月14日：20名、置賜12月15日：15名
 - (2) 訪問看護の機能強化に向けた訪問看護総合支援センター事業運営
 - ・ 訪問看護総合支援センター4つの目的「経営支援」「人材確保」「質の向上」「連携強化」で運営
 - ・ 相談件数：320件/年・訪問看護総合支援センター事業運営委員会 8月9日開催
 - ・ 訪問看護管理者研修開催：9月12日参加者24名、10月5日参加者26名
 - ・ 訪問看護体験研修：入門コース18名、実践コース5名、3月6日に報告会開催
 - ・ 専門看護師・認定看護師等派遣研修事業 15事業所で実施
 - ・ 訪問看護技術研修開催：7月20日参加者26名、8月31日参加者20名、12月7日参加者20名
 - ・ ブロック会議開催：村山7月24日：23名、置賜9月3日：17名、最北10月19日：10名、庄内10月9日：16名
 - (3) ICTを活用した連携強化と効率化
 - ・ べにばなネットのモデル事業に参加し、訪問看護ステーション、調剤薬局への利用拡大
- 2) 地域における看護職の確保と活躍推進
 - (1) ナースセンターの事業運営
 - ・ ハローワークと連携し、看護の仕事相談会実施：県内 8 か所91回開催、相談者271名
 - ・ LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施 チャット相談3,255件
 - ・ 施設訪問による求人登録推進と「私たちの職場自慢！」のLINE掲載
 - ・ 看護師等職場説明会開催 5月3日（山形テルサ）49病院、73名参加
 - ・ 看護の道セミナー 7月29日（山形テルサ）中高生参加者51名、保護者17名
 - ・ 看護補助者への道セミナー 2月21日・福祉の仕事就職フェア参加（米沢、酒田、新庄、山形）
 - ・ ふれあい看護体験の開催：①5月9日～23日②7月24日～8月2日 46病院実施、参加者高校生337名
 - ・ 潜在看護師等復職研修：病院等施設実地研修 7回開催 延べ60名参加、eラーニングを活用した復職支援研修開催21名受講
 - (2) 三職能の地域における活躍推進
 - ・ 3職能 4 委員会合同会議開催「各職能委員における医療的ケア児の現状と課題」について

2. 専門職としてのキャリア継続の支援

実施計画

- 1) 看護職の生涯学習支援
 - (1) 専門職としての活動の基盤となる研修
 - (2) 看護・医療政策に関する研修
 - (3) 人材育成や教育支援担当者対象の研修
 - (4) 看護管理者を対象とした研修
 - (5) 資格認定教育
- 2) 看護職の働き方改革の推進
 - (1) 看護職員の処遇改善の推進
 - (2) 夜勤・交代制勤務の在り方について検討

報告

1) 看護職の生涯学習支援

- | | | |
|-----------------------|---------------------------|----------|
| (1) 専門職としての活動の基盤となる研修 | 44コース実施 | 2,432名受講 |
| (2) 看護・医療政策に関する研修 | 10コース実施 | 452名受講 |
| (3) 人材育成や教育支援担当者対象の研修 | 7コース実施 | 358名受講 |
| (4) 看護管理者を対象とした研修 | 2コース実施 | 50名受講 |
| (5) 資格認定教育 | ファーストレベル81名修了、サードレベル20名修了 | |
- ・ 認定教育機関の更新審査の準備
 - ・ 公開講座について、実習指導者講習会の教育原理2名受講、ファーストレベル4コース74名受講、サードレベル6コース62名受講
 - ・ その他の研修について、助産師短期交流研修27名受講、職能合同研修92名受講
 - ・ 追加研修について、JNAオンデマンド研修（No132）組織で行う生涯学習支援 39名受講、「看護基礎教育を考える会」134名受講
 - ・ 研修評価について、研修実施報告参照

2) 看護職の働き方改革の推進

- (1) 看護職の処遇改善の推進
 - ・ 看護師職能委員会 I にて、66病院を対象にアンケート調査を実施し病院看護職の処遇改善に向けた取り組みに関する現状を把握
 - ・ 令和6年度就業状況報及び勤務環境調査内で看護職の処遇について調査
- (2) 夜勤・交代制勤務の在り方について、様々な会議等での意見交換
 - ・ 県との業務推進懇談会では、県行政が主導した二交代制導入の促進について提言
 - ・ 4支部の研修会において、二交代制の導入について意見交換
 - ・ 勤務環境推進委員会にて看護職員夜勤状況調査を実施、いぶき vol.170に掲載

3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

実 施 計 画

- 1) 特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の確保と活動推進
 - (1) 特定行為研修修了者、専門・認定看護師、認定看護管理者に関する情報収集および課題発見
- 2) 看護職の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアの推進
 - (1) タスク・シフト／シェアに関する調査結果から課題発見

報 告

- 1) 特定行為研修修了者、専門・認定看護師、認定看護管理者の確保と活動推進
 - (1) 特定行為研修修了者、専門・認定看護師、認定看護管理者に関する情報収集、課題発見
 - ・ 特定行為研修修了者は、県内67病院では82名、日看協の特定行為研修修了者数は19名
 - ・ 令和6年度は、特定行為研修修了者活用セミナーを開催（12月4日 40名受講、12月12日 32名受講）
 - ・ 日本看護協会都道府県別登録者数（2024年12月25日）の公開データより、県内の登録者数は専門看護師30名、認定看護師A課程174名、B課程45名、認定看護管理者57名
- 2) 看護職の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアの推進
 - (1) タスクシフト／シェアに関する調査結果から課題発見
 - ・ 看護師職能委員会Ⅰによるタスクシフト／シェアにおける医療安全に関するアンケート調査を実施、結果の一部をいぶきvol.169に掲載、調査結果のすべてについてHPに掲載
 - ・ 2024年度医療安全フォーラムのシンポジウム、令和5年度調査結果の報告
 - ・ 「看護の専門性の発揮に資するタスクシフト／シェアに関するガイドライン及びガイド」の活用した看護の専門性発揮の推進

4. 地域の健康危機管理体制の構築

実施計画

- 1) 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備
 - (1) 関係機関と連携した看護職員の育成と派遣体制の整備
 - (2) 災害支援ナースの派遣に関する訓練への参加
 - (3) 看護職の安全な活動のための支援
- 2) 県協会のBCP（事業継続計画）の策定
 - (1) BCPの基本方針の作成

報告

- 1) 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備
 - (1) 関係機関と連携した看護職員の育成と派遣体制の整備
 - ・ 県協会として、山形県災害支援ナース派遣コーディネーターの委嘱をうける（有事の際、県の要請を受け、災害支援ナースの派遣調整に係る業務を行う）
 - 7月25日山形県豪雨災害において、戸沢村避難所に8月14日～30日まで災害支援ナース派遣調整(15名)
 - ・ 11月2日山形県災害医療コーディネーター研修会を常任理事3名受講。
 - ・ 災害支援ナースに係る説明会（県主催）において、養成研修について説明（7月24日 7月31日）
 - ・ 新たな災害支援ナース養成研修の開催
 - オンデマンド研修（9月15日～11月15日）及び集合研修2日間（11月26、27日）受講生44名修了
 - ・ 新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）の運用業務。
 - 集合研修（置賜地域11月30日：6名 庄内地域12月7日：7名）
 - (2) 災害支援ナースの派遣に関する訓練への参加
 - ・ 9月8日山形県・長井市合同総合防災訓練への参加（災害支援ナース7名は応急救護所・避難所の訓練参加、災害・健康危機対策委員会メンバー2名と常任理事1名は、全体の訓練の視察で参加）
 - ・ 令和6年度日本看護協会の合同訓練は、内閣府主催訓練（首都直下地震の訓練）と連動し被災想定県と近隣県を設定して実施（関東7県：令和7年1月28、29日）
 - ※当県は対象外
 - (3) 看護職の安全な活動のための支援
 - ・ 県による災害支援ナース派遣マニュアル策定への参画
- 2) 県協会のBCP（事業継続計画）の策定
 - (1) BCPの基本方針の策定
 - ・ 策定中

令和 6 年度事業報告

☆事業計画は、定款第 4 条の 7 つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

1) 看護職の研修（生涯学習支援）に関する事業【重・2・3】

(1) 研修の充実・強化

①研修計画の実施・評価

研修計画に基づいた研修運営

1. 専門職としての活動の基盤となる研修

2. 看護・医療政策に関する研修

3. 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 1 研修追加 「10月31日 組織で行う看護職の生涯学習支援」

4. 看護管理者を対象とした研修 1 研修中止 「9月10日 サードレベル公開講座 組織管理論Ⅲ-組織デザインと組織運営」

5. 資格認定教育

6. その他（他団体との共催研修等）

総会要綱内研修実施報告の掲載 研修終了後アンケート集計時に随時入力

②研修計画の策定・広報

教育プログラム開発能力向上に係る予算化（教育研究開発費）

日本看護管理学会（2 名分）・日本看護学会（1 名分）参加費計上

教育ニーズ調査と情報収集、研修企画調整、研修計画に関する意見収集、研修一覧の作成・発送、ホームページ、広報誌への掲載、研修管理システムmanaableへの掲載、施設訪問

③看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進 10月31日研修会開催（再掲）

生涯学習ガイドライン・看護師のまなびサポートブックの活用推進

研修会参加者へ「まなびサポートブック」の配付、ガイドライン紹介

日本看護協会からの情報収集と発信 8月8日都道府県看護協会教育担当者会議に常任理事出席、情報収集と課題共有

④行政との連携による看護師等の資質向上

山形県委託研修の実施 受託した研修は計画通りに実施

⑤その他

キャリアナースへの登録推進とポートフォリオの利用促進、受講履歴の入力・管理

研修会開催時NuPSの紹介・カードの配付

研修受講システムmanaable運用

(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援

①研修における講師の登用

②認定看護管理者の委員・認定教育における演習支援者としての活用

③職能委員会及び常任委員会の委員として活用

(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援

①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり 認定看護師活用事業の実施：集合研修 1 回、出前研修実施16件

研修、介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供、認定看護師等活用事業（出前研修、集合研修）

(4) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実

①委員会、事務局連携による研修企画

「訪問看護 e ラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会（山形県委託）

7月1日～11月22日 受講者26名

認定看護師活用事業(山形県委託) 集合研修 1 回、出前研修実施16件（再掲）

施設看護職を対象とした認知症看護研修（山形県委託） 7月8日 施設看護職員BPSD研修 参加者80名

在宅療養支援能力向上研修（外来看護職員対象・地域支援者・管理者対象、全看護職対象）

9月1日 外来看護職対象研修 参加者29名

11～12月：地域別研修 4 回開催 12月13日：全看護職対象研修 1 回開催

②訪問看護総合支援センターによる研修企画

(5) 非会員への学習支援

県内保健・医療・福祉施設へ研修一覧送付、県内診療所へ研修案内送付、外部会議・ホームページ・SNSによるPR

(6) 研修環境の整備・充実 ①長期研修（7日以上）時の開館時間延長 開館時間 8時30分～18時（1時間延長） ②A V機器・パソコン等の定期点検と整備 長期研修前のチェック、研修前の準備、最新機器対応に向けた検討、Web研修を含めた研修運営マニュアル整備 ③訪問看護会館研修室の整備と活用（定期チェックと研修前点検・準備）
2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】 (1) 医療機関院内教育充実への支援 ①教育担当者・責任者研修の充実 JNAオンデマンド研修活用の推進 JNAオンデマンドを活用した研修2回開催、研修時にJNAオンデマンドの紹介看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進、看護師のまなびサポートブックの活用促進 10月31日 組織で行う看護職の生涯学習支援研修（再掲） 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）科目の一部公開 5月15日 教育学6Hの公開 (2) 新人看護職の臨床研修体制の強化 ①新人研修の開催による支援 新人研修3コース6回開催 ②新人育成に携わる担当者研修 実地指導者研修2コース2回開催・研修責任者研修1回開催・教育担当者研修1回開催
3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2・3】 (1) 認定看護管理者教育の推進 ①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ファーストレベル運営19日間、分散研修、定員80名 81名修了 サードレベル運営31日間、分散研修、定員20名 20名修了 演習企画と認定看護管理者の活用による運営、受講者への学習支援、講師等との連絡調整と講義のサポート、研修運営の評価 ②セカンドレベル、サードレベル修了者実践報告の開催 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会開催 10月26日 発表18題 参加者108名 ③令和7年度研修企画 ファーストレベル、セカンドレベルの開催要項検討 ④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営 適正な受講者選考と受講修了審査、看護管理実践報告会の企画・運営支援 専任教員の資質向上のための研修、学会参加 8月23・24日 看護管理学会 専任教員2名Web参加 ⑤日本看護協会認定部との連携 教育機関審査・申請システム入力と認定教育に関する最新情報収集 (2) 看護管理者のスキルアップ支援 ①認定看護管理者教育課程ファーストレベル・サードレベルの公開講座の開催 ファーストレベル4講座、サードレベル6講座を公開 ②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催 10月26日開催（前掲）
4) 医療安全教育に関する事業 (1) 医療安全管理者養成研修の開催 ①医療安全管理者養成研修の実施・評価 ・研修の運営 JNAオンデマンド研修+本会集合研修 9月26日 修了者62名 ・受講者の学習支援、研修運営の評価 ②令和7年度研修企画 日看協と連携し、集合研修の企画 (2) 医療安全推進活動 ①医療安全スキルアップ研修開催 10月8日「医療現場におけるクレーム対応とペイシェントハラスメント対応について」 参加者70名 ②医療・看護安全対策委員会と連携した事故・再発防止の啓発活動 インスリンバイアル製剤の適正管理についてチラシ配付 ③「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催 10月26日 シンポジスト：看護職能I理事 ④日本看護協会との連携 医療安全推進会議（開催未定）への出席 会議開催なし、インスリンバイアル製剤の適正管理についてチラシ提供
5) 図書室運営に関する事業 (1) 図書・文献サービスの充実 ①図書室の充実 図書・定期購読雑誌・その他刊行物・DVDの入荷、管理、広報、貸出し、蔵書点検 ②文献検索機能の向上 ・パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置 ・蔵書原簿の更新

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・2】

(1) 山形県看護研究学会の開催

- ①学会の企画と運営 11月21日開催 参加者92名
日本精神科看護協会山形県支部との協力体制による山形県看護研究学会規則に則った運営

(2) 看護研究の推進

- ①学会委員のスキルアップ 第55回日本看護学会学術集会への参加（熊本：9月27日～29日） 役職員3名参加
②看護研究支援と研修会開催 5月14日：「やってみよう！看護研究」 参加者51名 2月14日：研究助言 4題実施

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

1) 看護業務に関する事業【重・1】

(1) 職能委員会活動の活性化

- ①日本看護協会職能委員会との連携
・日本看護協会通常総会への出席（6月6・7日 東京国際フォーラム）
・全国職能委員長会議への出席（8月1日・3月7日）
・地区別職能委員長会への出席（10月4日 宮城県）
・調査活動への協力、日本看護協会職能委員会事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組み

②保健師職能委員会活動

- ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
・助産師職能と連携した母子保健活動を推進する地域ケアの構築
・保健師職能としての活動を再認識し、様々な事業を推進する

③助産師職能委員会活動

- ・母子のための地域包括ケア推進における助産師の役割発揮と地域連携の推進
・研修会企画及び運営 9月13日 参加者13名
・助産実践能力習熟段階（CLoCMiP®）の普及・推進および更新・申請の支援
・助産師活用推進事業の推進 助産師に関する実態調査、助産師出向・短期交流研修への参加促進
・山形県看護協会三職能の情報交換と連携 11月14日合同会議開催

④看護師職能委員会Ⅰ活動

- ・看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化及び対策の検討
・病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化
・「タスクシフト/シェアの現状」アンケート実施・集計・課題抽出

⑤看護師職能委員会Ⅱ活動

- ・高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上
・地域包括ケアの推進における多職種連携の強化
・地域での看護力強化（看看連携）

⑥保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 通常総会後の研修会開催 6月14日（金）

⑦三職能4委員会に関する情報の発信

職能に関する情報収集と情報発信、広報誌へ「職能だより」掲載、山形県との業務推進懇談会への課題提起、職能委員会間の情報交換

(2) 助産師活用推進事業の展開（山形県委託事業）

- ・助産師出向（研修）のマッチング 実施なし
・分娩取り扱い医療機関における助産師就業に関する実態・意向調査 6月3日～17日実施 回答率94.4%（17施設回答）
・短期交流研修の実施 7月～12月実施 8施設12研修 参加者28名
・分娩取り扱い医療機関の看護管理者意見交換会開催 12月26日 参加者18名
・看護管理者・産科看護管理者・助産師等の交流会開催 2月25日 参加者24名
・助産師活用推進事業協議会開催 年2回 第1回：10月31日 第2回：2月25日
・事業の啓発チラシの作成・周知

2) 看護制度に関する事業 【重・3】

(1) 准看護師への進学支援及び学習支援

①奨学金制度の活用

ホームページ等での公募、日本看護協会の奨学金の活用推進

②准看護師からの進学相談対応（随時対応） 実績なし

(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応

①看護職への道をPRする

中学校・高等学校での出前講座、ナースセンター・ハローワークにおける進路相談

(3) 日本看護協会との連携

- ①日本看護協会通常総会への出席、制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師へ情報発信

(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信

- ①日本看護協会からの情報を受け会員へ情報発信 必要時、行政へ提言

②1月10日（JNAと連携）「基礎教育を考える会」開催 参加者134名 (5) 特定行為の研修制度法制化の周知 ①すべての医療職を対象に特定行為研修修了者活用の研修開催、広報誌等での活動の周知 セミナー2回開催 12月4日：参加者40名 12月12日：参加者32名
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1・2】 (1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進 ①令和5年度看護職員就業状況及び勤務環境調査 6月に調査実施、調査結果をHPで公表、データの活用 ②潜在看護師等復職研修 病院等施設実地研修開催 全7回実施 受講者延べ60名 eラーニングを活用した復職支援研修開催 通年 受講者21名 LINE公式アカウント活用したナースセンター登録者・届出登録者・ハローワーク相談者への情報提供、研修・セミナー運営評価 ③働き続けられる職場づくりの推進 ・勤務環境改善の継続 ・勤務環境改善推進委員会による支援活動 ・勤務環境改善推進委員会の活動推進、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進 - 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知、短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進 ・県内病院に勤務勤務する看護職への夜勤・交代制勤務に関する実態調査 4月：県内病院離職者実態調査実施 ・山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携 ④看護師等職場説明会開催 5月3日 山形テルサ 対面形式の病院個別説明会&看護師国家試験対策セミナー 病院個別説明会：参加施設49病院 参加人数73名 国家試験対策セミナー：参加人数30名 ⑤日本看護協会、関係団体、行政との連携強化 ・都道府県労働問題担当者会議への参加 ・日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進、労働と看護の質向上のためのデータベースDiNQL事業の活用推進 ・地域に必要な看護職確保推進事業説明会（6月12日）への参加 ・山形県との業務推進懇談会へ課題提起 ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画、県の修学資金の利用促進 ・「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携 ・山形労働局との協力体制の構築 - 連携によるハローワークでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大・就業支援の強化、「医療労務管理相談コーナー」活用の周知、「WECやまがた」会議への参加（12回）、福祉のしごとフェア参加（米沢・酒田・新庄・山形で開催） 10月21・22日「オール北村山就職面談会」、2月7日「適職到来 ハローワーク米沢就職面接会」、2月18日「東根市就職面談会」への参加 ・看護補助者の確保・定着推進事業の実施 山形労働局への取り扱い範囲の変更届提出、看護補助者の周知、求人・求職登録の推進、チラシ送付 ナースセンターにおける看護補助者研修の周知（受講者10名） ・地域に必要な看護職確保推進事業の実施 「移住・交流フェア」への参加 6月16日 東京交通会館 相談者6名 県内看護管理者会でのナースセンター事業の周知 ・看護職のためのポータルサイトNuPS（キャリア情報の閲覧等）11月開設予定→延期 (2) ナースセンター事業運営の強化 ①ナースセンター事業の充実 ・求職・求人相談の充実 Zoomを使用したオンライン就業相談の実施 ・LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施 チャット相談3,255件 1ヶ月平均271件 ・離職者等へのナースセンター届出制度周知と代行登録推進 登録者への情報提供と復職支援の充実 ・相談件数、再就業率のアップ 事業成果の可視化とデータの活用 ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成 ②看護職員就業支援事業 ・施設訪問による求人登録増加 施設訪問84施設 ・NCCSシステムの周知と普及活動 ・ハローワークとの連携継続の強化 「看護師業務・求人説明会の開催」 9月18日 求人6施設 参加者数19名、 「看護補助者への道セミナー」2月21日 参加者15名 ・県内各地域でUターンによる就業相談 ・県Uターン情報センター等と連携し、定期的な情報発信と県内ならびに首都圏等での相談ニーズに対応する 看護への道セミナー開催 7月29日 山形テルサアブローズ 参加者：中高校生51名 保護者17名 移住・交流フェア参加 6月16日 東京交通会館 相談者6名（再掲） ③看護業務啓発促進事業 ・「ふれあい看護体験」の開催 ①5月9日～23日 ②7月24日～8月2日 実施：46病院 参加者：高校生337名 ・「看護の出前授業」の実施（通年実施） 申込なし ・「看護の日・看護週間」のPR 毎日新聞・山形新聞・朝日新聞・米沢日報にPR記事掲載 ・「看護の日・看護週間」における「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施 実施なし

- ・かんごちゃん保育園訪問 5月15日 南沼原幼稚園訪問
- ④潜在看護師等掘り起こし事業
 - ・令和6年度山形県看護職「就職ガイドブック」600部作成 配付：県内病院、関係機関、看護師等職場説明会参加者、希望者（限定50部）
 - ・マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信（ホームページ更新、LINE公式アカウント）LINE公式アカウント情報発信
 - ・登録者への情報発信と復職相談の対応 eナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信 各項目隔月情報発信
 - ・地域に必要な看護職確保推進 地域の看護管理者会との連携推進（ナースセンター運営委員会への参加）
 - ・協会SNS（facebook、X、Instagram）を活用したナースセンターに関する情報発信
 - ・YouTubeチャンネルの動画作成・投稿・周知 ふれあい看護体験・NuPS・看護補助者のPRを予定
- ⑤ナースセンター利用促進事業
 - ・県内ハローワーク（8カ所）における看護の仕事相談会開催91回 相談者271名（看護職245名・看護補助者18名・求人施設7施設、その他1名）
 - ・ハローワークやまがたとの連携強化 連携調整会議開催 5月1日 参加者2名
 - ・ハローワークでの相談強化、施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進 84施設訪問（再掲）施設訪問報告を兼ねた「私たちの職場自慢！」のLINE掲載 10施設掲載（看護補助者1施設 看護職9施設）
- ⑥ナースセンターの運営に関すること
 - ナースセンター運営会議開催（年1回） 8月29日Web開催 参加者31名
 - 事業報告書250部作成、ナースセンターだより（いぶき合併号）年3回発行、ナースセンターだよりLINE限定配信版2回配信
- (3) 看護職の健康増進
 - ①看護職のメンタルサポート
 - ・相談窓口の周知・広報
 - ・相談員のスキルアップ（職業紹介従事者講習、キャリアコンサルティング研修等）
 - ・実績評価
- (4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及
 - ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知 加入の促進

2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・1・4】

- (1) 県民の健康づくり支援
 - ①県民への相談事業「看護協会まちの保健室」（以下「まちの保健室」とする）の開催
 - ・「まちの保健室」運営マニュアルの見直し
 - ・支部、常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 合同委員会 10月9日開催
 - ・支部「まちの保健室」の常設化検討 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」1月15日、1月22日アルカディアソフトパーク内出張開催
 - ・ボランティア育成研修会開催 10月16日 参加者12名（新規ボランティア登録者3名）
 - ・他団体、事業所依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送8大事業「県民健康講座」5月9日山形市 7月22日新庄市 10月31日鶴岡市で実施
 - ・やまがた健康フェア2024での「まちの保健室」 9月28・29日実施
 - ・南沼原健康講座・まちの保健室 5月16日開催（寸劇「元気な時こそ人生会議～寸劇を通して一緒に考えよう人生のゴール～」）
 - ・南沼原地区「文化祭」での「まちの保健室」 11月3日実施
 - ・関連団体との共催「まちの保健室」連絡協議会の開催（必要時）
 - ②看護に関するイベント事業「看護の日・看護週間」のPR
 - 毎日新聞・山形新聞・朝日新聞・米沢日報にPR記事掲載（再掲）、ホームページ掲載（チラシ、かんごちゃん訪問写真、かんごちゃん便り）
 - かんごちゃん：イベント参加1回
 - ③医療安全フォーラム「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催 10月26日 シンポジスト：看護職能I委員長（再掲）
 - ④次世代育成支援事業
 - ・やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託） 相談件数10件
 - ・いのちの教育・性の健康教育講師派遣 31施設43講座 講師派遣16名
 - 実践者の育成、研修開催、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の活用 10月15日 委員会企画研修開催&性の健康支援ネットワーク会員募集PR
 - ・性の健康支援ネットワーク会員証作成・送付
 - ・性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員 新規登録者なし
 - ⑤電話相談事業
 - 健康相談、自殺対策、青少年関係
 - ⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】
 - 山形県四師会共催による禁煙活動事業開催、関係機関との連携、受動喫煙防止宣言の普及（チラシ配布・協会内掲示）5月31日（世界禁煙デー）～6月6日 禁煙週間にイエローグリーンキャンペーン実施
- (2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備 【重・4】
 - ①新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）研修と運用
 - 山形県IHEAT新規登録者対象の研修開催、登録者情報更新の周知と確認、保健所応援要請の人材調整 11月30日米沢市 12月7日三川町にて研修開催

(3) 災害支援体制の整備

①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知

- 事業継続計画（BCP）策定
- 事務局内災害対応マニュアル整備、災害支援体制の周知

②災害支援ナース育成の強化

- ・災害・健康危機対策委員のスキルアップ
- ・災害支援ナース養成研修会の開催 9月15日～オンデマンド研修、11月26・27日 集合研修 受講者44名
- ・支援ナース連絡体制の模擬訓練への参加 今年度対象外
- ・山形県・市町村合同総合防災訓練参加 9月8日 長井市にて開催 参加者：災害支援ナース7名、協会職員3名

③看護職の災害看護の意識高揚

- 支援ナース登録者の拡大

④県民に対する防災意識の啓発 災害時の対応、災害支援活動等の館内展示

- 9月2日 山形市防災フェスティバル 災害・健康危機対策委員会4名参加

⑤災害看護支援体制のネットワークづくり

- ・日本看護協会との連携 災害看護対策担当者会議出席（12月19日）、災害支援ナース派遣調整合同訓練参加
- ・県内医療関係団体連携による支援活動の検討
- ・行政等との連携 関連会議・研修会出席、山形県・市町村合同総合防災訓練参加（9月8日長井市参加）再掲
- ・山形市フェスティバル訓練参加（9月28日参加）再掲
- ・災害支援ナース派遣コーディネーターの役割発揮 戸沢村避難所へ災害支援ナース15名派遣調整（8月14～30日）

(4) 東日本大震災支援活動

①県内避難者の心のケア業務（福島県委託事業）

- ・山形市、米沢市における「まちの保健室」開催
- 山形市：「浜通り交流会」6月27日 9月26日 1月23日
- 米沢市：「健康とダイエットののための運動教室」6月18日 8月20日 10月22日 12月17日 2月18日
- ・支援者のスキルアップ、研修会開催（ボランティア育成研修会）10月16日開催 参加者12名（再掲）

②県内避難者支援ネットワーク関連

- ・県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加、避難者支援協働ネットワーク意見交換会
- 交流相談会での「まちの保健室」 7月17日 山形市 8月25日 米沢市
- ・「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議への出席 年2回
- ・行政、関係団体との連携

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

1) 在宅ケア等に関する事業【重・1】

(1) 地域包括ケアシステムの推進

①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及

- ・地域包括ケアシステム構築推進の取組み 研修会開催、退院支援・地域連携の推進、県内病院看護管理者懇談会開催
- ・3職能委員会の連携
- 地域包括ケアシステムにおける看護の役割（地域につなぐ看護研修）、地域と施設の看護職ネットワーク構築
- 11月14日 三職能4委員会合同会議開催
- ・支部活動の活性化
- 合同委員会時の支部長会へ副支部長出席、地域の会議内容の共有と意見交換、
- 地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長出席と発言（オブザーバーとの連携）
- ・地域における看護管理者のネットワーク構築
- 「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施）、地域単位での多職種連携強化
- ・母子のための安心安全な地域ケアの推進
- 医療的ケア児等の体制整備等の会議出席

(2) 訪問看護総合支援センター事業（県委託）

①事業所運営基盤整備支援

- 訪問看護の総合相談窓口 相談件数：320件
- 訪問看護事業所経営安定化研修 10月5日 参加者26名
- 訪問看護普及活動 パンフレット配布
- 訪問看護総合支援センター事業運営委員会 8月9日
- 法定研修4回開催（帝人と共催） 7月24日 9月3日 10月9日 10月19日

②人材確保

- ・看護職の就業及び転職促進 ナースセンターと連携し情報提供、相談対応、就労斡旋 相談件数：250件
- ・訪問看護担い手創出事業 入門コース（1日体験）：18名、実践コース（2～5日間体験）：18名 実践コース5名
- ・新卒看護師採用に向けた取組 看護学生に訪問看護の周知 5月3日 就職説明会 参加者7名
- 1事業所が新人育成中、情報収集している 6校より実習受け入れ

③訪問看護の質の向上

- ・教育体制の組織化
- 訪問看護養成講習会開催 eラーニング活用研修 7月1日～11月22日 26名受講25名修了
- 専門看護師、認定看護師派遣研修事業 15か所で実施

訪問看護事業所管理者研修 9月12日：参加者24名 10月22日：参加者26名 訪問看護技術研修（3回）Ⅰ：7月20日 参加者26名 Ⅱ：8月31日 参加者20名 Ⅲ：12月7日 参加者20名 ・訪問看護に関する情報収集と分析 県内事業所巡回 事業所の課題聞き取りなど 75/90事業所 訪問看護事業所実態調査 12月実施 回収率：80% ④地域での連携強化 ・ブロック会議（4地域で開催） 村山：7月24日 置賜：9月3日 庄内：10月9日 最北：10月19日 ・感染症拡大及び災害発生時における訪問看護提供体制の整備、BCP 連協との合同会議5回開催：4月18日 6月20日 10月17日 12月19日 2月20日
6. 施設の貸与に関する事業
1) 施設運営に関する事業 (1) 施設の賃貸運営 ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出 ・事務所としての賃貸契約先：日本精神科看護協会山形県支部 ・研修室の外部貸出、自動販売機設置（3階・1階多目的ホール） 外部貸出：9事業所19件 ②看護協会駐車場の貸出 ③訪問看護会館の貸出 研修室、会議室の積極的な貸出
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業
1) 組織に関する事業 (1) 協会組織の強化 ①公益社団法人の円滑な運営 定款の遵守 ②協会事業組織の検討 各種パンフレットの見直し・1,500部作成と活用、事務局の役割強化 ③支部活動の活性化 ・支部運営の強化 支部担当執行理事のサポート体制構築、支部規則・本協会との確認事項の周知と徹底、支部活動の効率化、地域密着の活動推進 ・支部長・副支部長会議の開催 支部運営の情報交換、副支部長の参加（支部及び委員会に関する会議時） ・支部長の地域内会議への出席 会議内容の共有 ・地域内の看護職ネットワーク構築 看護管理者会議・職能間の連携会議等、看護管理者懇談会開催と支部長の出席 ・教育委員会の企画による研修会開催 ・「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」開催 ・日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 参加報告の共有 ・会員拡大対策の強化 新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、協会事業のPRによる会員拡大、各職能委員会による会員拡大の呼びかけ、施設訪問による会員拡大の呼びかけ (2) 会員意識の高揚と会員拡大 ①会員拡大への働きかけ ホームページの随時更新、新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、非会員施設・会員施設未加入者への働きかけ（入会案内チラシ1,000部作成・活用・送付）事業案内パンフレット・教育計画等の送付、ホームページ・SNSでの広報 会員施設へ8月時点未入会者通知し95名入会、非会員施設183ヶ所へ入会案内チラシ等送付 ②看護学生への働きかけ 看護教育機関への働きかけ（ガイドブック等の活用及び送付）、職能団体活動の講話等、入学式・戴帽式・卒業式等への出席（祝電） 会長講話：県内看護学校3校 入学式：出席6校（祝辞1校）、祝電8校 戴帽式：出席4校（祝辞2校）、祝電2校 卒業式：出席6校（祝辞3校）、祝電6校 ③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用 日本看護協会との契約締結・維持、ナースシップシステムによる会員管理、会員専用Webページ「キャリナース」への登録推進
2) 組織の運営に関する事業 (1) 組織運営の円滑化 ①総会開催 総会運営規則に則った総会運営、総会要綱作成、選挙規則に則った役員改選 ②役員等の推薦 改選役員等候補者の推薦 推薦委員会4回開催 8月2日、9月26日、10月24日、3月8日 (2) 組織運営に関する会議 ①総会 年1回 6月14日（金） ②理事会 7回開催 <参集開催>5月20日 6月14日 7月12日 9月10日 <Web開催>10月24日 12月16日 3月14日 ③常務理事会 1回開催 <Web開催>11月25日 ④支部及び委員会活動に関する会議 年2回（6月・1月） 第1回：6月25日Web開催 参加者87名 第2回：1月28日Web開催 参加者76名 ⑤各職能・常任・認定・学会委員会 活動計画の提示と活動支援

(3) 日本看護協会との連携

- ①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 年1回(6月6・7日:東京国際フォーラム)
代議員派遣、各支部の一般参加への支援 代議員8名、一般参加13名(支部推薦11名・協会推薦2名)
代議員・予備代議員等研修会(5月20日) 代議員8名・予備代議員7名、一般参加12名(支部推薦10名・協会2名)、役員17名
- ②日本看護協会理事会 年6回 会長出席 5月10日 6月6日 7月25・26日 9月20日 11月28・29日 2月27・28日
- ③法人会員会 年5回 会長出席 5月10日 7月26日 9月20日 11月29日 2月28日
- ④都道府県看護協会職能委員長会 年2回 第1回:8月2日 4職能理事出席 第2回:3月7日 4職能理事出席
- ⑤地区別法人会及び職能委員長会 年1回(10月3・4日:宮城県) 会長、常任理事1名、4職能理事出席
- ⑥都道府県看護協会政策責任者会議 年1回(9月19日) 会長、常任理事1名
- ⑦都道府県看護協会看護労働担当者会議 年1回(7月18日) 常任理事1名
- ⑧会員情報管理情報交換会 年1回(7月4日) 常任理事1名、事務局長、総務課課長補佐1名
- ⑨看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議 年1回(11月22日) 常任理事1名
- ⑩都道府県ナースセンター事業担当者会議 年1回(5月21日) 常任理事1名、看護政策課3名
- ⑪都道府県看護協会広報担当役員会議 年1回(11月7日) 事務局長、総務課課長補佐、看護政策課課長補佐
- ⑫都道府県看護協会図書室担当者会議 年1回(9月12日) 総務課係長、教育研修課係長
- ⑬都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 年1回(12月19日) 常任理事1名、看護政策課係長
- ⑭全国看護基礎教育担当役員会議 年1回(2月4日) 常任理事1名
- ⑮認定看護管理者教育機関担当者会議 年1回(8月8日) 常任理事1名
- ⑯医療事故調査制度に関する情報交換会 年1回(9月18日) 常任理事1名、院内医療事故調査専門家1名
- ⑰日本看護サミット 2年1回
- ⑱訪問看護サミット 年1回(11月30日) 会長、常任理事1名
- ⑲その他会議
公益法人運営に関する勉強会 年1回(9月27日) 事務局長、総務課課長補佐1名
北海道・東北地区看護協会会長・事務局長連絡協議会(8月28日:岩手県) 会長、事務局長
災害支援ナース派遣調整合同訓練 対象外
ナースセンター事業担当者情報交換会(7月10日・9月4日・11月28日・1月15日) 常任理事、看護政策課職員

(4) 他団体との連携

管理運営会議・事務局

3) 広報活動に関する事業

(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

- ①ホームページ及びSNSによる情報提供 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新
- ②広報誌「山形いぶき」の編集と発行 年4回発行、マスコミ関係・公立図書館等へ送付
5月7,800部・7月8,400部・11月8,200部・1月8,200部発行
- ③行政、関係団体と連携した広報活動
記者クラブへの投げ込み、ニュースリリース発行、県高齢者支援課へ介護福祉関係施設に対する情報発信協力依頼、
山形県老人保健施設協会・山形県老人福祉施設協議会との連携
- ④山形県看護協会ホームページ全面リニューアルに向けた検討
- ⑤日本看護協会ニュースの活用 日本看護協会より毎月15日発行

4) 会館管理・運営に関する事業

(1) 会館管理・運営に関する事項

- ①資金計画の円滑な運用 会館維持管理費の適正運用、長期資金計画の見直し 積立金の資金運用の実施
- ②会館管理の運営 建物・駐車場の維持管理、施設利用状況把握、使用規程に関する検討
- ③機器類の管理 機器及び諸設備の整備・保守、機器類の貸出
- ④SDGsの取り組み 電子決済導入、ペーパーレス化の推進、新電力による経費削減

(2) 施設の整備・保守・管理

- ①施設の維持管理
・法定保守点検 電気設備(隔月)、火災報知機(年2回)、エレベーター(年4回)
・任意保守点検 空調機、自動ドア、AV機器
・業務委託関係 警備保障、緑地帯の維持管理、館内外清掃、駐車場除雪(冬季必要時)、
会計管理(消費税、法人税等の税務処理)、ホームページ等の保守・管理
- ②「訪問看護会館」の維持管理 具体的な計画策定と実施

(3) 防災意識等の高揚

- ①山形県看護協会での防災訓練等 AEDを含む訓練実施(年1回) 4月12日実施

(4) 関係団体との連携

- ①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携
アルカディアソフトパーク内の一斉清掃 年2回(4月・10月)、樹木の消毒 年1回、その他親睦会等開催

5) 渉外活動に関する事業

(1) 看護についての諸問題の解決

- ①国・山形県等への陳情 政策・要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
- ②山形県看護連盟との連携 合同会議の検討、合同研修会の企画と実施

(2) 関係機関との協力と連携

①関係機関・団体への参画

関係機関・団体等との連携・参加・名義後援、山形県との業務推進懇談会（再掲）、山形県四師会との連携、諸会議への参加、諸施策審議会への参加

②行政への働きかけ 要望書の提出

6) 会員の相互扶助に関する事項

(1) 会員の福利厚生への推進

①会員の福利厚生へのPR

・表彰候補者の推薦並びに表彰

日本看護協会会長表彰候補者及び名誉会員推薦のための調査と推薦、山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦

令和6年度日本看護協会会長表彰受賞2名	令和7年度日本看護協会名誉会員・会長表彰候補者推薦各1名
令和6年度山形県看護功労者表彰2名感謝状92名	令和7年度山形県看護功労者表彰1名・永年会員表彰候補者推薦105名
令和6年度山形県保健看護功労者知事感謝状1名	令和7年度山形県保健看護功労者知事感謝状候補者推薦1名

・規定による会員への見舞い 災害見舞、慶弔見舞 災害見舞金3名 弔慰金4名

・会員特典の検討

・ハウスメーカー、保険会社の斡旋

報告事項 5 他機関への委員等の派遣

委 員 会 等	任 期	役 名	出席役員名	本会役職名
山形県医療審議会	R7.2.1～R9.1.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県看護職等確保推進会議	R5.10.1～R7.9.30	委 員	若月 裕子	会 長
山形県保健医療推進協議会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県保健医療推進協議会 医療専門部会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県高齢者保健福祉推進委員会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県臓器移植推進機構評議員会	R6年度定時評議員会～ R9年度定時評議員会終結時	評議員	若月 裕子	会 長
山形県社会福祉審議会	R4.4.1～R7.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県衛生団体連合会	～R7.3.31	常任理事	若月 裕子	会 長
山形県公衆衛生学会運営委員会	-	委 員	若月 裕子	会 長
山形県社会福祉協議会	R5.6～R7年度 定時評議員会終結時	理 事	若月 裕子	会 長
山形県がん診療連携協議会	-	委 員	若月 裕子	会 長
山形県周産期医療協議会	R6.7.1～R8.6.30	委 員	若月 裕子	会 長
社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会	R6.4.1～R8.3.31	支部理事	若月 裕子	会 長
山形大学蔵王協議会	R3.6.19～	会 員	若月 裕子	会 長
やまがた健康フェア実行委員会	-	委 員	若月 裕子	会 長
やまがた特命観光・つや姫大使	R4.7.25～	大 使	若月 裕子	会 長
山形市社会福祉協議会	R3.6.19～R6年度 定時評議員会終結時	評議員	若月 裕子	会 長
山形市水防協議会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形市防災会議	R6.4.1～R8.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
やまがた性暴力被害者サポートセンター運営協議会	R3.6.19～	委 員	若月 裕子	会 長
日本医療マネジメント学会	R5.8～R7年度総会終了時	評議員	若月 裕子	会 長
東北がん評議会	R6.4.1～R11.3.31	評議員	若月 裕子	会 長
山形県医療安全支援協議会	R6.4.1～R7.3.31	委 員	若月 裕子	会 長
山形県糖尿病対策推進会議	R6.6.14～R8	委 員	峯田 弥生	副会長
オールむらやま若者定着推進会議	R6.6.14～	委 員	鈴木ひとみ	副会長
山形労働局人材確保対策推進協議会（福祉分野）	R4.6.17～	委 員	田瀬 裕子	常任理事
山形県介護保険審査会	R4.4.1～R7.3.31	委 員	田瀬 裕子	常任理事
山形県福祉サービス運営適正化委員会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	田瀬 裕子	常任理事
山形県福祉人材センター運営委員会	R5.4.1～R7.3.31	委 員	田瀬 裕子	常任理事
山形県社会福祉士会成年後見センターばあとな山形業務監査委員会	R3.6.19～	委 員	田瀬 裕子	常任理事
今後の暮らし応援のつどい実行委員会	R3.6.19～R7.3.31	委 員	田瀬 裕子	常任理事
「東日本大震災追悼・復興記念事業」実行委員会	R3.6.19～R7.3.31	委 員	田瀬 裕子	常任理事
避難者生活相談支援連絡協議会	R3.7～R7.3.31	情報提供者	田瀬 裕子	常任理事
山形県母性衛生学会	-	理 事	後藤 道子	常任理事
山形県青少年育成県民会議	R6.5～R8.5	理 事	後藤 道子	常任理事
山形県青少年健全育成審議会	R5.4.1～R7.3.31	委 員	後藤 道子	常任理事
山形県献血推進協議会	R5.3.10～R7.3.9	委 員	後藤 道子	常任理事
山形県合同輸血療法委員会	R5.6.19～	委 員	後藤 道子	常任理事
山形県薬事審議会	R5.12.1～R8.1.3	委 員	後藤 道子	常任理事
山形市救急救命業務検証委員会	-	委 員	後藤 道子	常任理事
地元ナース懇談会	R7.1.24～R7.3.31	委 員	後藤 道子	常任理事
山形県高齢者・障がい者虐待防止会議	R3.6.19～	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県慢性疾病児童等地域支援協議会	R5.4.1～R7.3.31	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県小児慢性特定疾病対策地域協議会	R7.3.1～R9.2.28	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県自殺対策推進会議	R3.6.19～	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県健康長寿推進協議会	R6.4.1～R8.3.31	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県難病医療等連絡協議会	R5.10.1～R7.9.30	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形県精神保健福祉協会	R5年度総会～R7年度総会	理 事	菅野 弘美	常任理事
（一社）山形県地域包括支援センター等協議会	-	参 与	菅野 弘美	常任理事
山形市地域包括ケア推進協議会	-	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形市社会福祉審議会	R4.4.1～R7.3.31	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	R4.4.1～R7.3.31	委 員	菅野 弘美	常任理事
山形市健康福祉医療事業団	R3.6.19～	委 員	菅野 弘美	常任理事

糖尿病等対策検討会	R6.6.14～	委員	菅野 弘美	常任理事
全国健康保険協会山形支部 健康保険委員	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県臓器移植推進機構	R6.4.1～	監事	伊藤 義一	事務局長
国民スポーツ大会山形県予選会兼東北総合スポーツ大会山形県予選会実行委員会	R5.5.9～	委員	伊藤 義一	事務局長
日本年金機構 年金委員	R5.5.8～	委員	伊藤 義一	事務局長
山形県がん総合相談支援センターアドバイザーボード	R5.1.1～	委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
山形市介護人材確保推進協議会		委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
山形県介護支援専門員協会	R5～6年度	理事	鈴木 真祐美	まいづる居宅介護支援事業所

◆四師会関連会議

委員会等	任期	役名	出席役員名	本会役職名
医療安全やまがたフォーラム実行委員会	R3.6.19～	委員	後藤 道子	常任理事
四師会禁煙推進委員会	R4.4.1～R7.3.31	委員	後藤 道子	常任理事
		委員	長岡 静子	置賜保健所
		委員	梅津 美保	篠田総合病院
		委員	大関 千香	教育研修課課長補佐

◆地域における会議

委員会等	任期	役名	出席役員名	本会役職名
村山地域保健医療協議会	R7.2.1～R9.1.31	委員	保立美枝子	山形支部長
村山地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R5.2.1～R7.1.31	委員	若月 裕子	会長
同上	R7.2.1～R9.1.31	委員	菅野 弘美	常任理事
村山地域医療情報ネットワーク協議会	R5.12～	委員	若月 裕子	会長
山形市立病院済生館地域医療連携推進協議会	R6.10.1～R8.9.30	委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
村山市地域ケア会議	R6.4.1～R7.3.31	構成員	仲野 郁子	訪問看護ステーションむらやま
山形市社会福祉事業団	R5.10.25～R7定時評議員 会最終時まで	評議員	高橋真理子	山形支部副支部長
最上地域保健医療協議会	R6.6.14～R7.3.31	委員	田中麗理子	最北支部副支部長
最上地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R6.6.14～R7.3.31	委員	田中麗理子	最北支部副支部長
庄内地域保健医療協議会	-	委員	中村 美穂	庄内支部長
庄内地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	-	委員	信夫 松子	順仁堂遊佐病院
米沢市防災会議委員会	R6.6.14～R8.3.31	委員	岩崎 清美	置賜支部長
置賜地域保健医療協議会	R6.6.14～R7.8.31	委員	岩崎 清美	置賜支部長
置賜地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R6.6.14～R7.8.31	委員	岩崎 清美	置賜支部長
地域医療連携推進法人よねざわヘルスケアネット地域医療連携推進評議会	R6.6.14～	評議員	岩崎 清美	置賜支部長

◆協会推薦による就任

委員会等	任期	役名	出席役員名	所 属
山形市介護認定審査委員	R5.4.1～R7.3.31	委員	渡邊 健	訪問看護ステーションいぶき
		委員	平 由美子	済生会山形訪問看護ステーション
		委員	後藤 順子	山形県難病相談支援センター
		委員	庄司 祐	個人
		委員	田川由美子	個人
		委員	滝口佐知子	個人
		委員	本橋いづみ	山形県福利厚生課
		委員	須藤 京子	株式会社cocolo
		委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
		委員	佐藤 美香	山形県看護協会在宅推進課
天童市介護認定審査委員	R5.4.1～R7.3.31	委員	村山 弘美	個人
		委員	氏家 由佳	天童訪問看護ステーション
		委員	伊藤 満生	訪問看護ステーションやまがた
天童市介護保険運営協議会	R6.7.1～R9.3.31	委員	須藤 美和子	訪問看護ステーションまいづる

報告事項 6 委員会活動報告

<職能委員会>

保健師職能委員会（7名）

委員会開催回数 5回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
1. 地域における看護職による健康・療養支援に関する課題発見および意見を集約する	1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と問題抽出 1) 地域における看護職による健康・療養支援に関する取り組みについて実態把握・課題整理を行い、保健師の役割について検討 2) 保健師のネットワークおよび組織強化・会員拡大への取り組み	1. 日本看護協会職能委員会への参加 1) 全国保健師職能委員長会 第1回 8月2日 テーマ 計画的な保健師の人材育成・確保・定着促進のあり方について 第2回 3月7日 テーマ 地域の特徴を踏まえた保健師の人材確保や活躍推進～都道府県看護協会保健師職能委員会の主体的な取り組みについて～ 2) 地区別保健師職能委員長会 10月4日 宮城県仙台市
2. 包括的な母子保健推進における保健師の役割発揮	2. 保健師職能の力量形成のための現任教育の充実・キャリア形成の支援 1) 保健師職能研修会の企画	2. 保健師職能研修会の実施 1) 9月7日 Web開催 参加者39名 「地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」～包括的な母子保健の推進にむけて こども家庭センターの役割～ 講師：武蔵野大学看護学部看護学科 教授 中板育美氏
3. 地域包括ケアシステムのなかで、看護の連携を図りくらしの場の療養生活を支える	3. 関係機関（県・市町村・保健師長会）との連携・情報交換および地域における健康・療養の支援の強化 1) 地域包括ケアシステムの推進における看護職間の連携 2) 様々な組織および山形県看護協会三職能との連携・情報交換 4. 保健師活動の質を向上できるような情報の発信（「保健師職能だより」他）	3. 山形県との協同による人材育成の検討 1) 9月10日 山形県健康福祉部との業務推進懇談会 2) 理事会参加による多職種との連携等 3) 三職能合同委員会の開催 11月14日 出席者25名 4. 保健師活動の質の向上・情報発信 1) 広報誌「山形いぶき」へ「保健師職能だより」掲載 2) 保健師職能委員会時の情報交換等 年6回開催 3) 山形県保健師人材育成検討会 12月25日開催 4) 「看護師等職場説明会」への参加 5月3日 ブース訪問人数7名 保健師になるための進路相談、保健師のお仕事紹介

助産師職能委員会（6名）

委員会開催回数 6回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
1. 助産師の活躍推進策および女性の支援に必要な体制の検討に向け、意見を集約する	1. 日本看護協会助産師職能委員会との連携・情報収集と問題抽出 1) 助産師の活躍推進策の検討に向けた意見集約・課題発見 2) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた意見集約・課題発見	1. 全国職能委員長会 第1回 8月2日 テーマ：①母子のための地域包括ケア～4つの機能を地域内で推進するために～ ②非正規雇用の助産師の働き方と賃金～多様で柔軟な働き方の推進～ 第2回 3月7日 テーマ：助産師による女性と家族への健康支援を行うための助産師職能委員長としての具体的な活動実践の検討 地区別職能委員長会 10月4日 宮城県 情報提供：分娩施設集約化におけるこれからの助産師の活動のあり方 意見交換：地域で「母子のための地域包括ケアシステム」を推進するための多様で柔軟な働き方／多様で柔軟な働き方と助産師の処遇

2. 母子のための地域包括ケアシステムの推進における助産師の役割発揮 3. 地域包括ケアシステムのなかで、看護の連携を図りくらしの場の療養生活を支える	1. 助産師活用推進事業に関する実態・意向調査結果の情報共有と事業への参画 2. 院内助産、助産師外来、産後ケアの情報共有とアドバンス助産師活用の推進 3. 助産師職能の力量形成に向けた教育の充実 1) 助産師職能研修会の企画 1. 関係機関（病院、診療所、市町村保健師、助産院）との連携強化 1) 妊娠初期から子育て期にわたる切れ目のない助産・看護提供体制について検討 2) 産後うつに関する情報収集を行い、支援体制の検討及び情報発信 3) 山形県看護協会三職能との連携・情報交換 4) 課題解決に向けた研修会の企画	1. 山形県助産師活用推進協議会との連携・情報共有 第1回 10月31日 第2回 2月25日 2. 山形県周産期セミオープンシステムに関連する情報共有 3. 助産師の実践能力向上のための研修会9月13日 参加者13名 「無痛分娩の実際と助産ケア・無痛分娩を安全に行うために助産師が知ること・できること-」 講師：山形大学医学部付属病院 助産師 石山絵美子氏 1. 地域包括ケアシステムの推進、関係機関との情報交換と情報共有 1) 妊娠初期から子育て期にわたる切れ目のない助産・看護提供体制における好事例の収集と発信 2) 病院、診療所、市町村保健師、助産院と産後うつに関する支援体制について情報共有、情報交換 3) 理事会での情報共有と委員会での情報共有と発信 9月25日 三職能合同委員会 11月14日 三職能合同会議 「各職能における医療的ケア児の現状と課題」について、各職能から発表・課題共有 4) 三職能の共通課題に関する研修の企画
---	--	---

看護師職能委員会 I（8名）

委員会開催回数 8回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
1. 地域包括ケア推進に向けて各病床機能に求められる看護職の役割発揮に向けた活動を行う 2. 地域包括ケアシステムのなかで、看護の連携を図りくらしの場の療養生活を支える	1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と課題抽出 1) 看護の専門性を発揮できる体制整備に向けた状況を把握し課題を明らかにする 2) 県内の職能が抱えている病床機能に応じた課題の抽出 2. 看護師職能の力量形成に向けた教育の充実 1) 看護師職能 I 研修会の企画 3. 関係機関および山形県看護協会委員会との連携・情報交換 1) 地域の関係機関との連携・情報交換 2) 山形県看護協会三職能との連携・情報交換	1. 全国看護職能委員長会の参加 1) ・第1回全国職能委員長会8月2日出席 テーマ「処遇改善に向けたベースアップ評価料の活用について」 ・第2回全国職能委員長会3月7日出席 テーマ「病院看護職の多様で柔軟な働き方の導入促進に向けた取組みについて」 ・地区別委員長会10月4日出席 テーマ「看護職能の負担軽減と多様で柔軟な働き方の実現を目指した夜勤・交代勤務」「タスクシフトシエアの推進に伴う課題について」 県内施設から収集した情報を報告、課題について検討した。委員会会議でも情報共有、意見交換を行った。 2) タスクシフト／シエア調査2月実施。その結果、各施設ではどのように進めているか、現状把握と安全管理上の課題について抽出を行った。 2. 看護師職能 I 研修会の開催（Web開催） 1) 12月19日 参加者97名 テーマ：「心理的安全性とは？高めることで職場環境が変わる」 講師：メディフローラ 上村久子氏 アンケートでは、参加者の84.5%が満足度指標8～10（10段階評価）と回答あり好評だった。 3. 関連機関との連携・情報共有 1) 9月9日 山形県健康福祉部との業務懇談会は欠席、理事の報告により情報共有 2) 11月14日 三職能委員会による合同会議を行い、テーマ「各職能における医療的ケア児の現状と課題」について情報提供、職能間における連携や課題などの情報共有と意見交換を行った。

看護師職能委員会Ⅱ（6名）

委員会開催回数 5回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
1. 看Ⅱ領域における看護管理者・看護職員の教育体制整備に向け、意見集約し課題を発見する	1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と課題抽出 1) 看Ⅱ領域における看護管理者の育成および看護職の専門知識・技術の習得について情報収集し、教育体制整備に向けた課題の明確化 2) 各施設における看護職の生涯学習支援体制の情報収集と課題抽出	1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集 1) 第1回全国職能委員長会 8月2日 テーマ：看Ⅱ領域で活躍する看護職員の定着促進に必要な職場環境 第2回全国職能委員長会 3月7日 テーマ：看Ⅱ領域の看護人材確保を地域でどのように進めるか 地区別職能委員長会 宮城県10月4日 話題提供 看Ⅱ領域における働き方改革のポイント／選ばれる訪問看護ステーションにむけて 情報交換 看護職が専門性を発揮し、やりがいをもって働き続けられる職場について 2) 特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設で働く看護職員の実態調査（令和5年度実施）結果分析と課題抽出 「看護職員の人員不足」「業務多忙・マンパワー不足のため研修会に参加できない」「看取りに関する知識・経験不足」などが課題としてあげられた。
2. 地域包括ケアシステムのなかで、看護の連携を図りくらしの場の療養生活を支える	2. 関係機関との連携・情報交換 1) 県行政との連携・情報交換 2) 山形県訪問看護総合支援センターとの連携 3) 山形県看護協会三職能との連携・情報交換	2. 関係機関との連携・情報共有 1) 9月9日 山形県健康福祉部との業務推進懇談会欠席、情報のみ共有 2) 看Ⅱ領域における現状と課題について情報共有 3) 9月25日 三職能合同委員長会 11月14日 三職能合同会議 「各職能における医療的ケア児の現状と課題」について情報共有と意見交換

<推薦委員会>

推薦委員会（6名）

委員会開催回数 4回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
改選される役員・推薦委員を推薦するにあたり、その任務を担い得るに適正な人を推薦する。	1. 改選される役員、推薦委員及び令和8年度代議員・予備代議員候補者の推薦 1) 「山形いぶき」およびホームページ等に令和7年度役員・推薦委員及び令和8年度代議員・予備代議員の推薦の広報を掲載 2) 会長・常任理事・職能理事・支部長と情報交換し、役員推薦についての情報共有と共通理解 3) 推薦委員会活動マニュアルを基に、各支部と各職種のバランスを考慮し候補者を推薦 2. 推薦委員会活動マニュアル及び手引きを、選挙規則と照合 1) 定款及び定款細則並びに選挙規則や、委員会の役割についての理解 2) 活動マニュアル及び手引きの確認を行い、令和7年度改選役員等の推薦に係る手続きとスケジュールを検討	1) 広報誌「山形いぶき」11月号およびホームページにて候補者推薦の募集の公示を行った 2) 10月24日に合同打ち合わせ会議を開催し、令和7年度改選について、執行役員及び支部長との情報交換と情報共有を図った 3) 総会開催2ヶ月前までに手引きに沿って候補者を推薦し、推薦名簿にて選挙管理委員会に報告を行った 1) 委員会の役割の再確認を行った 2) 8月に活動マニュアル・手引きの見直しを行い、改選役員・推薦委員等の推薦に係る手順とスケジュールを確認した

＜常任委員会＞

教育委員会（6名）

委員会開催回数 8回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
生涯教育の充実のための教育計画に参画し、主に看護職の実践能力開発のための研修企画・運営・評価を行う	1. 看護職の実践能力開発のための研修企画・運営・評価 1) 令和6年度研修運営・評価（コース研修） 2) 看護職の実践能力開発のための研修企画 （1）アンケート結果を基にした令和7年度研修企画 （2）研修企画理由の明確化と研修のねらいの具体化、経費を考慮した研修計画 （3）日本看護協会が示している4つの実践能力に合わせた研修企画の検討 （4）教育研修課との連携 2. 教育委員としての企画力能力開発と情報収集 1) 看護職の生涯学習ガイドラインの理解 2) 山形県看護協会の研修への参加 3) 日本看護協会ニュースより看護界の動向を知り、研修企画に活かす	1) 事前作成の行動計画をもとに10コース13研修を運営・評価した。 2) （1）研修終了後のアンケート、講師の評価、社会背景などから研修ニーズなどを把握し、令和7年度は7コース10研修を計画した。 （2）企画意図を明確に言語化し、目標・内容まで一貫性のある企画。経費について教育研修課に確認しながら研修計画を立案した。 （3）看護職の生涯学習ガイドラインで示されている看護実践能力に照らし、10研修を計画した。 （4）教育研修課と連携し、研修企画運営のフロー（行程）に沿って企画した。 2. 1) 2) 10月31日開催「組織で行う看護職の生涯学習支援」に全委員が出席して理解を深めた。 3) 看護界の動向について情報を得、社会や看護の動向を把握して、R7年度の企画に活かした。 委員会開催時に教育研修課からR7年度方針と全体像について情報提供を受けて検討した。

広報委員会（5名）

委員会開催回数 7回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
健康と福祉向上に向けての情報を収集し、広く情報提供を行い看護協会活動のPRをする	1. 会員拡大に向けての広報活動 1) ホームページやSNS等による情報発信 2) 広報誌の送付 2. 協会だより「山形いぶき」発行 1) 「山形いぶき」を年4回発行 2) 読者が興味を引く紙面作り 3) 取材活動	1. 左記同様 1) ①特色ある取り組み実施施設をピックアップし表紙に掲載 ②看護協会活動のPR 2) マスコミ関係、市町村の図書館や非会員の訪問看護ステーションへ送付 2. 左記同様 1) 「山形いぶき」を年4回発行（5・7・11月・R7.1月第165～168号） 2) ①広報誌のスキルアップを行い、興味を引く誌面づくりをした印刷業者を招き学習会を実施した ②「わたしの自慢」コーナー 具体的なテーマを検討しSNSを活用した募集を行い掲載 ③当委員会企画 ・新企画「看護協会事務局のお仕事紹介とインタビュー」 ・プレゼントの内容変更 165.166号gifteeBox、167号QUOカード、168号えらべるPay ④原稿依頼文について 報告のみの文章ではなく研修内容や感想等、具体的に依頼した ⑤読者アンケートを実施し、結果を紙面作りに反映した ⑥会員数を確保するために会員特典などを掲載した 3) 5月9日県民健康講座取材（第166号掲載） 6月14日通常総会取材（第166号掲載）

医療・看護安全対策委員会（4名）

委員会開催回数 6回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
安全で、安心できる看護サービスを提供するための教育、啓発活動を行う	1. 看護職の医療安全に関する教育及び事故発生予防・再発防止のための啓発 1) 看護職のための研修の企画運営 2) 最新の情報収集と広報 2. 医療機関との連携を図り、チームで取り組む医療安全を推進 1) 小規模施設で働く看護職に対する啓もう活動 2) 「医療安全やまがたフォーラム」の運営協力 3) 医療安全管理者養成研修の運営・支援 3. 医療安全管理対策の推進 1) 施設間の医療安全向上に向けて、医療安全管理者の情報共有	1. 1) 10月8日 参加者：70名 「医療安全スキルアップ研修－医療現場におけるクレーム対応とベイスメントハラスメント対応について－」 講師：社会保険労務士そが事務所 曾我理氏 2) ①演習支援による知識の更新と研修運営によるスキルアップ。 ②各委員の施設での身体拘束取り組みについて等の情報を共有し、研修企画や委員会活動に活用した。 ③日本看護協会からのインスリン事故防止チラシの配布。 2. 1) 8月21日 参加者：50名 「摂食嚥下障害のある患者の看護－中小規模施設で働く看護職のための研修－」 講師：山形大学医学部附属病院 伊藤麻里 氏 2) 10月26日「医療安全やまがたフォーラム」 参加者80名（うち看護職35名）の運営協力（受付、案内等） 3) 9月26日 参加者：62名 「医療安全管理者養成研修（集合研修）」 講師：山形大学 布施淳子 氏 委員2名演習支援 3. 1) 次年度開催に向け、医療安全管理者の交流の場となるワールドカフェ開催企画

災害・健康危機対策委員会（5名）

委員会開催回数 10回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
感染症拡大・災害発生時の看護支援活動を推進する	1. 災害看護の教育・啓発と災害支援ナースの育成と増員 1) 災害看護研修の企画・運営 2) 日本看護協会による研修及び演習の実施 3) 必携マニュアル作成 2. 災害支援ナースの動向等について情報収集・共有 1) 山形県から発信される、災害支援ナースに関する情報収集・共有を図る。 2) 日本看護協会から発信される、災害支援ナースに関する情報収集・共有を図る。	1-1) 7月30日 参加者45名 災害看護研修～防災力アップセミナー～ 1-2) 11月26・27日 修了者：44名 災害支援ナース養成研修（日本看護協会委託、看護協会運営） 1-3) 7月に戸沢村で発生した豪雨災害に派遣された災害支援ナースの意見を集約。内容の検討と次年度完成へ向け雛型を作成。（A4サイズと名刺サイズのポケット型マニュアルを検討中） 1-4) 9月28日 山形市防災フェスティバル 参加者：委員4名 内容：ブース出展し災害支援ナースのPR活動 2-1) ①戸沢村で発生した豪雨災害に、委員兼災害支援ナースが派遣された。 ②9月8日 山形県・長井市合同防災訓練 参加人数：7名（委員2名は見学参加） ③7月24・30日 災害支援ナースに係る説明会参加 2-2) 実施なし 自主的に、災害に関する学会や研修へ参加し委員会内で情報共有を行った。

いのちの教育推進委員会（5名）

委員会開催回数 7回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
全ての人が「いのち」を考える機会が得られるように、普及・啓発を図る	1. 県民及び小中高等学校への「いのちの教育」の広報・普及活動 1) 「いのちの教育」の広報・普及活動 2) 「いのちの教育」出前授業の実施 2. 性の健康支援ネットワーク会員の拡大 1) 協会会員、管理者への普及啓発活動 2) 現会員の活動状況の確認 3. 性の健康支援ネットワークの名称変更の検討 4. 研修会の開催	1. 1) 出前授業についてのポスター、ホームページへの掲載 普及啓発として協会ホームページ掲載を継続 2) 出前授業の募集・対応 ①「出前授業」申し込み：年3回 実施件数：6～8月 9講座 9～12月 13講座 1～3月 21講座 合計43講座 参加者3,199名 ②「出前授業」実施報告書の内容検討 従来の実施報告書からGoogleフォーム入力形式へ変更。次年度から運用開始予定。 2. 1) ①普及啓発として看護協会ホームページ掲載を継続 ②出前授業に興味がある方が見学できるようホームページ掲載した ③広報誌「山形いぶき」に活動内容を掲載 11月号：ネットワーク会員活動報告 1月号：研修会報告 ④性の健康支援ネットワーク会員登録者50名 ⑤会員登録前の見学についての評価を実施 見学者1名 ⑥性の健康支援ネットワークPR動画の活用 研修受講者へ実施 ⑦性の健康支援ネットワーク活動指針を協会ホームページへ掲載 2) 性の健康支援ネットワーク会員に向けたアンケート調査を計画 3. 会員に向けたアンケートを作成。 4. 10月15日（オンライン開催）参加者68名 「どんなときでも『生きる支え』を見つけるヒント」 講師：めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊 先生

勤務環境改善推進委員会（5名）

委員会開催回数 6回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
看護職がより専門性を発揮できる働き方改革の推進	1. 看護職の働き方改革の推進 1) 県内就業状況及び勤務環境調査結果の分析と共有 2) 「看護職員夜勤状況調査」の実施、及び結果分析と共有 3) 医療勤務環境改善支援センター・労務局との連携 4) 広報活動及び行政や他団体との連携 2. 処遇改善の現状調査と分析の共有	1) 「県内病院の看護職員就業状況及び勤務環境調査」の結果分析をし、委員会内で共有した。 2) 「看護職員夜勤状況調査」の実施 県内に勤務する看護職員を対象に夜勤勤務状況についてアンケート調査を実施。今後調査結果を分析、評価した。 3) アンケート調査の集計結果を基に、労務士会・日本医業コンサルタント協会の方と業務改善等の取り組みについて次年度検討予定。 4) 「看護職員夜勤状況調査」について、看護管理者へのメール、郵送、ホームページへの掲載、LINEで広く周知した。 2. 処遇改善に関する項目については、「看護職員夜勤状況調査」の結果を分析する。

＜学会委員会＞

山形県看護研究学会委員会（5名）

委員会開催回数 10回

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
看護研究を推進し、研究的視点で看護の専門性を高め、質向上を図る	1. 令和6年度山形県看護研究学会の企画・運営・評価 2. 会員の看護研究に関する助言	1) 学会企画 ポスター作成、演題募集、特別講演講師推薦、プログラム作成、開催案内送付 2) 一般演題抄録の査読 8月5日：12演題の査読・採択決定（うち5演題は再査読） 9月18日：日精看から2演題登録 再査読対象演題のうち1題辞退 最終的に一般口演13題とする 3) 11月20日 前日リハーサル 4) 学会運営11月21日 ハイブリット開催 参加者92名（会場43名、Web49名） テーマ：「ウェルビーイングな未来の実現へ ～看護職が元気に働き続けるために～」 一般口演発表：13題 特別講演：「ケアをするためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」 講師：武蔵野大学ウェルビーイング学科長 教授 秋山美紀 氏 5) 今年度評価に基づき、次年度の学会開催内容、今後の学会委員会のあり方を検討（12月1日 1月24日 2月14日） 1) 研究助言の募集 2) 研究論文の助言 2月14日開催 4題の研究について助言（2題集合、2題オンラインで実施）

＜認定委員会＞

認定看護管理者教育課程教育運営委員会（7名）

委員会開催回数 6回

（委員会活動は山形県看護協会認定看護管理者教育課程規程・細則に基づく）

目 的	活動内容（令和6年度）	具体的な活動内容
認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上を図る	1. 各教育課程の実施や改善のための検討及び、規定や各教育課程カリキュラムに基づく運営の審議 2. 各教育課程の受講者、修了者の審査 1) ファーストレベル・サードレベルの受講者選考及び修了審査 3. セカンド・サードレベル修了者の実践報告会の企画・運営・評価	1. サードレベル公開講座開催の有無について検討 【委員会の協議の結果】 講師の研修スタイルにより一般参加者の効果的な研修運営が困難と判断し中止した。 2. 今年度ファーストレベルとサードレベル研修を開催 5月13日 ファーストレベル受講者選考審査実施 81名の受講決定 7月30日 サードレベル受講者選考審査実施 20名の受講決定 12月12日 ファーストレベル修了審査実施 81名全員修了決定 2月3日 サードレベル修了審査実施 20名全員修了決定 3. セカンド・サードレベル修了者看護管理実践報告会～めざす看護のハーモニー～の開催 10月26日 9：00～13：00 演題数：18題 参加者：一般84名 サード受講生18名 認定委員7名 計108名

報告事項 7 令和 6 年度決算報告・監査報告

令和 6 年度一般会計決算の概要

1 事業活動収支について

（事業活動収入	146,390 千円）
（事業活動支出	148,270 千円）
事業活動収支差額	△1,880 千円
投資活動収支差額	△4,877 千円
財務活動収支差額	△1,271 千円
当期収支差額	△8,028 千円

次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額 95,069 千円を加算し、87,041 千円となりました。

2 事業収入の内訳について

会費収入	70,343 千円	（ 48 %）
事業収入	25,678 千円	（ 18 %）
補助金等収入	45,625 千円	（ 31 %）
その他収入	4,744 千円	（ 3 %）
事業活動収入計	146,390 千円	（100 %）

（1）会費収入は、会員数の減により、前年度比 1,296 千円の減収となりました。

（2）事業収入は、研修受講者の減などにより、前年度比 1,166 千円の減収となりました。

（3）補助金等収入は、県受託収入が 33,408 千円、日本看護協会助成金等が 11,523 千円、その他受託収入等が 694 千円でした。新型コロナウイルス感染症関連の委託業務がなくなったことから、昨年度と比較して、13,199 千円の減収となりました。

（4）その他収入は、負担金収入 780 千円、寄付金収入 400 千円、雑収入 2,143 千円、他会計からの繰入金 1,418 千円などとなっています。

（5）雑収入の主なものは、会館使用料 1,872 千円です。

3 事業活動支出の内訳について

事業費支出	146,525 千円
他会計繰出金支出	1,745 千円
事業活動支出計	148,270 千円

（1）事業費支出は、新型コロナウイルス感染症関連委託業務に係る支出がなくなったことから、昨年度に比べて 16,930 千円の減となりました。

令和6年度決算のポイント（１）

事業活動収益（科目別内訳）

科目	決算額	%
受取会費	70,343千円	(13)
事業収益	25,678千円	(5)
受託・助成金等収益	45,625千円	(9)
訪問看護事業収益	372,997千円	(70)
その他収益	16,982千円	(3)
事業活動収益計	531,625千円	(100)

- ・事業活動収益は531,625千円で、その科目別内訳は、受取会費が70,343千円（13%）、研修会等の受講料などの事業収益が25,678千円（5%）、県などからの受託事業と日本看護協会助成金等収益が45,625千円（9%）、訪問看護事業収益が372,997千円（70%）でした。
- ・その他収益には、受取負担金、受取寄付金、事業外収益、受取利息、雑収益などです。

令和6年度決算のポイント（２）

事業活動収益（科目別・会計区分別内訳）

（千円）

科目	合計	公益会計	収益等会計	法人会計
受取会費	70,343	—	21,103	49,240
事業収益	25,678	25,678	—	—
受託・助成金等収益	45,625	45,625	—	—
訪問看護事業収益	372,997	372,997	—	—
その他収益	16,982	13,997	2,676	309
事業活動収益計	531,625	458,297	23,779	49,549
	100%	87%	4%	9%

- ・受取会費70,343千円のうち21,103千円（30%）を「収益等会計」の収入に、49,240千円（70%）を「法人会計」の収入として割り振っています。

令和6年度決算のポイント（3）

事業活動費用（会計区分別内訳）

合計	公益会計	収益等会計	法人会計
573,196千円	526,480千円	14,354千円	32,362千円
100%	92%	3%	5%

- ・事業活動費用の合計は、573,196千円となっています。
- ・会計区分別の内訳は、公益目的事業会計が526,480千円（92%）、その他本会の目的を達成するために必要な収益事業等会計が14,354千円（3%）、理事会・委員会等、本会の運営に必要な法人会計が32,362千円（5%）となっています。

令和6年度決算と財務三基準

（正味財産増減計算書を基に算定）

公益法人の財務三基準

- ① 収支相償：公益目的事業に係る収益が費用を超えないこと
 - ・収益（458百万円）＜ 費用（526百万円）
- ② 公益目的事業費比率：50%以上

$$\frac{\text{公益目的事業の経常費用（526百万円）}}{\text{全事業の経常費用（573百万円）}} \div 92\%$$
- ③ 遊休財産額：法人の純資産のうち、使途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと
 - ・遊休財産額（352百万円）＜ 費用（526百万円）

公益社団法人の移行に伴い、山形県看護協会は公益法人として次の財務三基準を満たすことが要求されます。

- ①収支相償（公益目的事業に係る収益が費用を超えないこと、すなわち、実施に必要な費用を上回る収益をあげてはいけないうこと、言い換えれば、収益は事業に費やすべきで、資金を貯蓄してはいけないということ。）
 - ・公益目的事業の経常収益（458百万円）が公益目的事業の経常費用（526百万円）を超えないため、基準を満たしています。
- ②公益目的事業費比率が、収益事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。
 - ・全事業の経常費用（573百万円）に対する公益目的事業の経常費用（526百万円）の比率が約92%と、50%を超えるため、基準を満たしています。
- ③遊休財産額（使途の定まらない蓄積した財産）が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこと。
 - ・遊休財産額は、352百万円で、公益目的事業の経常費用526百万円を超えないため基準を満たしています。

したがって、山形県看護協会の令和6年度決算は、これら三基準をすべてクリアしたものとなっています。

一般会計資金収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の目的達成する ために必要な事業 (公益事業)	計			
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入	0	0	0	0	3,673	0	3,673
(1) 特定資産運用収入					3,673		3,673
① 特定資産利息収入	0	0	21,102,750	21,102,750	49,239,750	0	70,342,500
(2) 会費収入					49,239,750		70,342,500
① 会費収入	25,677,750	0	0	0	0	0	25,677,750
(3) 事業収入	25,677,750						25,677,750
① 研修会事業収入	45,625,231	0	0	0	0	0	45,625,231
(4) 補助金等収入	33,408,450						33,408,450
① 県受託収入	3,365,543			0			3,365,543
② 日看協受託収入	694,038						694,038
③ 他県受託収入	8,157,200						8,157,200
④ 日看協助成金収入		780,000	0	780,000	0	0	780,000
(5) 負担金収入	0	780,000		780,000			780,000
① 負担金収入	400,000	0	0	0	0	0	400,000
(6) 寄付金収入	400,000						400,000
① 寄付金収入	113,803	1,859,284	9,371	1,868,655	160,273	0	2,142,731
(7) 雑収入					67,116		67,116
① 受取利息収入	113,803	1,859,284	9,371	1,868,655	93,157		2,075,615
② 雑収入	354,563	0	354,563	354,563	709,124	0	1,418,250
(8) 他会計からの繰入金収入	354,563		354,563	354,563	709,124		1,418,250
① 訪問看護ステーションからの繰入金収入							
事業活動収入計	72,171,347	2,639,284	21,466,684	24,105,968	50,112,820	0	146,390,135
2. 事業活動支出							
(1) 事業費支出							
① 役員報酬支出	3,667,547		2,274,233	2,274,233	6,600,220		12,542,000
② 給料手当支出	36,106,975	115,514	1,481,964	1,597,478	8,579,048		46,283,501
③ 臨時雇賃金支出	6,560,528						6,560,528
④ 役員退職慰労金支出		1,969	23,144	0	96,030		401,800
⑤ 退職給付費支出	280,657			25,113	366,940		955,500
⑥ 役員賞与引当金支出	458,937		129,623	129,623	891,209		2,780,685
⑦ 賞与引当金支出	1,587,493	11,679	290,304	301,983	1,769,206		9,452,483
⑧ 法定福利費支出	7,220,619	36,272	426,386	462,658	411,590		2,035,367
⑨ 福利厚生費支出	1,310,324	8,438	305,015	313,453	523,876		7,063,002
⑩ 旅費交通費支出	3,346,933	87	3,192,106	3,192,193	302,315		4,604,588
⑪ 通信運搬費支出	3,156,295	4,071	1,141,907	1,145,978	5,935		1,073,907
⑫ 支払手数料	975,864		92,108	92,108			400,621
⑬ 図書費支出	400,621			0			0
⑭ 消耗什器備品費支出							
⑮ 消耗品費支出	2,584,148	3,287	616,471	619,758	287,452		3,491,358
⑯ リース料支出	1,911,728	11,296	144,916	156,212	838,914		2,906,854
⑰ 修繕費支出	123,672	794	10,183	10,977	58,951		193,600
⑱ 食糧費支出	317,729	108	88,462	88,570	104,839		511,138
⑲ 印刷製本費支出	2,208,541	521	894,321	894,842	953,820		4,057,203
⑳ 光熱水料費支出	2,517,424	17,660	207,593	225,253	861,366		3,604,043

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
		施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達成する ために必要事業(扶養事業)	計			
②広告宣伝費支出	11,000		497,100	497,100			508,100
②賃借料支出	3,342,243		32,130	32,130			3,374,373
②保険料支出	877,506	4,339	181,672	186,011	322,283		1,385,800
②諸謝金支出	11,966,579			0	66,000		12,032,579
②租税公課支出	6,927,004	56,305	426,772	483,077	1,770,810		9,180,891
②負担金支出	373,732	1,640	228,274	229,914	79,974		683,620
②業務委託費支出	3,627,776	25,449	299,155	324,604	1,241,287		5,193,667
②保守管理費支出	2,417,270	16,957	199,334	216,291	827,098		3,460,659
②助成金支出	282,574			0			282,574
③寄付金支出	100,000			0			100,000
③雑支出	313,190	314	136,375	136,689	954,867		1,404,746
(2)他会計への繰出金支出	1,657,370			0	87,230		1,744,600
①訪問看護ステーションへの繰出金支出							
事業活動支出計	106,632,279	316,700	13,319,548	13,636,248	28,001,260	0	148,269,787
事業活動収支差額	△ 34,460,932	2,322,584	8,147,136	10,469,720	22,111,560	0	△ 1,879,652
Ⅱ 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
(1)特定資産取崩収入							
①役員退職慰労引当資産取崩収入	280,657	1,969	23,144	25,113	96,030		0
②退職給付引当資産取崩収入							401,800
投資活動収入計	280,657	1,969	23,144	25,113	96,030	0	401,800
2. 投資活動支出							
(1)特定資産取得支出							
①役員退職慰労引当資産取得支出	44,640		3,570	3,570	101,790		150,000
②退職給付引当資産取得支出	1,439,224	10,096	118,682	128,778	492,448		2,060,450
③災害支援金取得支出	100,040			0			100,040
(2)固定資産取得支出							
①建物附属設備取得支出	1,896,297	12,171	156,145	168,316	903,917		2,968,530
投資活動支出計	3,480,201	22,267	278,397	300,664	1,498,155	0	5,279,020
投資活動収支差額	△ 3,199,544	△ 20,298	△ 255,253	△ 275,551	△ 1,402,125	0	△ 4,877,220
Ⅲ 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出							
①リース債務返済支出	812,017	5,212	66,863	72,075	387,068		1,271,160
財務活動支出計	812,017	5,212	66,863	72,075	387,068	0	1,271,160
財務活動収支差額	△ 812,017	△ 5,212	△ 66,863	△ 72,075	△ 387,068	0	△ 1,271,160
Ⅳ 予備費支出							
当期収支差額							△ 8,028,032
前期繰越収支差額							95,069,119
次期繰越収支差額							87,041,087

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	178,217,620	399,719,149	△ 221,501,529
有価証券	50,168,750	0	50,168,750
未収金	15,717,762	27,140,649	△ 11,422,887
前払金	83,631	6,360,570	△ 6,276,939
立替金	12,488,988	1,751,605	10,737,383
事業未収金	62,030,113	58,725,467	3,304,646
前払費用	69,900	89,020	△ 19,120
流動資産合計	318,776,764	493,786,460	△ 175,009,696
2. 固定資産			
1) 特定資産			
土地	150,000,000	150,000,000	0
構築物	1	1	0
役員退職慰労引当資産	550,000	400,000	150,000
退職給付引当資産	55,353,143	53,679,350	1,673,793
会館建設積立資産	291,299,374	274,288,017	17,011,357
建物等修繕引当資産	16,686,629	16,683,012	3,617
建物再取得資金	146,326,204	146,326,204	0
災害支援金	100,040	0	100,040
ソフトウェア	1,715,999	2,507,999	△ 792,000
特定資産合計	662,031,390	643,884,583	18,146,807
2) その他固定資産			
土地	194,086,300	194,086,300	0
建物	339,549,119	349,009,468	△ 9,460,349
建物附属設備	13,308,249	13,730,488	△ 422,239
構築物	1,492,550	1,828,781	△ 336,231
什器備品	2,481,718	3,181,549	△ 699,831
ソフトウェア	1,987,986	0	1,987,986
リース資産	1,462,230	2,733,390	△ 1,271,160
投資有価証券	150,000,000	0	150,000,000
電話加入権	290,600	290,600	0
敷金	60,000	60,000	0
その他固定資産合計	704,718,752	564,920,576	139,798,176
固定資産合計	1,366,750,142	1,208,805,159	157,944,983
資産合計	1,685,526,906	1,702,591,619	△ 17,064,713
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	32,123,397	26,327,745	5,795,652
未払法人税等	222,000	222,000	0
未払消費税	982,500	1,010,500	△ 28,000
未払金	3,080,544	2,403,924	676,620
前受金	63,448,500	70,729,500	△ 7,281,000
仮受金	3,000	0	3,000
預り金	3,554,696	2,370,690	1,184,006
リース債務	966,240	1,271,160	△ 304,920
役員賞与引当金	955,499	955,500	△ 1
賞与引当金	25,663,300	21,833,995	3,829,305
流動負債合計	130,999,676	127,125,014	3,874,662
2. 固定負債			
長期リース債務	495,990	1,462,230	△ 966,240
役員退職慰労引当金	550,000	400,000	150,000
退職給付引当金	58,788,000	53,679,350	5,108,650
長期未払金	319,216	390,870	△ 71,654
固定負債合計	60,153,206	55,932,450	4,220,756
負債合計	191,152,882	183,057,464	8,095,418
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
会館建設積立金	291,299,374	274,288,017	17,011,357
土地	150,000,000	150,000,000	0
構築物	1	1	0
ソフトウェア	1,037,833	1,516,833	△ 479,000
災害支援金	100,000	0	100,000
指定正味財産合計	442,437,208	425,804,851	16,632,357
(うち特定資産への充当額)	(442,437,208)	(425,804,851)	(16,632,357)
2. 一般正味財産	1,051,936,816	1,093,729,304	△ 41,792,488
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(163,691,039)	(164,000,382)	(△ 309,343)
正味財産合計	1,494,374,024	1,519,534,155	△ 25,160,131
負債及び正味財産合計	1,685,526,906	1,702,591,619	△ 17,064,713

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	104,370,559	29,908,360	43,938,701		178,217,620
有価証券			50,168,750		50,168,750
未収金	15,625,380	9,220	83,162		15,717,762
前払金	31,780		51,851		83,631
立替金	12,028,688	10,000	450,300		12,488,988
事業未収金	62,030,113				62,030,113
居宅勘定			11,540,102	△ 11,540,102	0
仮払金					0
前払費用	69,900				69,900
流動資産合計	194,156,420	29,927,580	106,232,866	△ 11,540,102	318,776,764
2. 固定資産					
1) 特定資産					
土地	95,820,000	8,505,000	45,675,000		150,000,000
構築物	1				1
役員退職慰労引当資産	263,225	74,349	212,426		550,000
退職給付引当資産	52,812,161	526,738	2,014,244		55,353,143
会館建設積立資産	186,082,040	16,516,675	88,700,659		291,299,374
建物等修繕引当資産	16,686,629				16,686,629
建物再取得資金	93,473,179	8,296,696	44,556,329		146,326,204
災害支援金	100,040				100,040
ソフトウェア	1,096,180	97,297	522,522		1,715,999
特定資産合計	446,333,455	34,016,755	181,681,180	0	662,031,390
2) その他固定資産					
土地	130,182,796	10,031,364	53,872,140		194,086,300
建物	254,683,040	13,322,001	71,544,078		339,549,119
建物附属設備	11,739,908	246,193	1,322,148		13,308,249
構築物	1,492,550				1,492,550
什器備品	2,218,951	41,248	221,519		2,481,718
ソフトウェア	1,987,986				1,987,986
リース資産	934,073	82,908	445,249		1,462,230
投資有価証券	40,000,000	10,000,000	100,000,000		150,000,000
電話加入権	290,600				290,600
長期貸付金			3,375,000	△ 3,375,000	0
敷金	60,000				60,000
その他固定資産合計	443,589,904	33,723,714	230,780,134	△ 3,375,000	704,718,752
固定資産合計	889,923,359	67,740,469	412,461,314	△ 3,375,000	1,366,750,142
資産合計	1,084,079,779	97,668,049	518,694,180	△ 14,915,102	1,685,526,906
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払費用	30,217,815		1,905,582		32,123,397
未払法人税等		222,000			222,000
未払消費税	982,500				982,500
未払金	1,152,623	34,760	1,893,161		3,080,544
前受金		19,034,550	44,413,950		63,448,500
仮受金	3,000				3,000
預り金	3,134,313	65,990	354,393		3,554,696
リース債務	617,234	54,786	294,220		966,240
役員賞与引当金	284,357	22,740	648,402		955,499
賞与引当金	25,454,138	45,929	163,233		25,663,300
訪看勘定			11,540,102	△ 11,540,102	0
流動負債合計	61,845,980	19,480,755	61,213,043	△ 11,540,102	130,999,676
2. 固定負債					
長期リース債務	316,838	28,123	151,029		495,990
役員退職慰労引当金	263,225	74,349	212,426		550,000
退職給付引当金	56,247,018	526,738	2,014,244		58,788,000
長期借入金			3,375,000	△ 3,375,000	0
長期未払金			319,216		319,216
固定負債合計	56,827,081	629,210	6,071,915	△ 3,375,000	60,153,206
負債合計	118,673,061	20,109,965	67,284,958	△ 14,915,102	191,152,882
III. 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
会館建設積立金	186,082,040	16,516,675	88,700,659		291,299,374
土地	95,820,000	8,505,000	45,675,000		150,000,000
構築物	1				1
ソフトウェア	662,967	58,848	316,018		1,037,833
災害支援金	100,000				100,000
指定正味財産合計	282,665,008	25,080,523	134,691,677	0	442,437,208
(うち特定資産への充当額)	(282,665,008)	(25,080,523)	(134,691,677)		(442,437,208)
2. 一般正味財産					
(うち特定資産への充当額)	682,741,710	52,477,561	316,717,545	0	1,051,936,816
(うち特定資産への充当額)	(110,593,061)	(8,335,145)	(44,762,833)		(163,691,039)
正味財産合計	965,406,718	77,558,084	451,409,222	0	1,494,374,024
負債及び正味財産合計	1,084,079,779	97,668,049	518,694,180	△ 14,915,102	1,685,526,906

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	22,519	866	21,653
受取会費	70,342,500	71,638,500	△ 1,296,000
研修会事業収益	25,677,750	26,844,100	△ 1,166,350
県受託収益	33,408,450	37,591,754	△ 4,183,304
山形市受託収益	0	9,331,184	△ 9,331,184
日看協受託収益	3,365,543	2,906,444	459,099
他県受託収益	694,038	836,620	△ 142,582
日看協助成金収益	8,157,200	8,158,320	△ 1,120
受取負担金	780,000	780,000	0
受取寄付金	300,000	800,000	△ 500,000
受取寄付金振替額	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取補助金振替額	479,000	479,000	0
看護療養費収益	153,956,995	145,979,104	7,977,891
介護報酬収益	180,238,404	184,133,122	△ 3,894,718
介護給付費収益	35,063,930	33,809,084	1,254,846
その他事業収益	3,737,458	4,178,031	△ 440,573
事業外収益	12,413,708	14,470,433	△ 2,056,725
受取補助金・助成金	662,200	1,026,000	△ 363,800
受取利息	249,700	4,745	244,955
雑収益	2,075,615	2,876,698	△ 801,083
経常収益計	531,625,010	546,844,005	△ 15,218,995
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	10,326,162	9,760,676	565,486
給料手当	37,704,453	40,601,872	△ 2,897,419
役員賞与引当金繰入額	588,559	905,240	△ 316,681
賞与引当金繰入額	2,108,693	1,889,476	219,217
臨時雇賃金	6,560,528	15,016,496	△ 8,455,968
役員退職慰労引当金繰入額	48,210	48,210	0
退職給付費用	1,568,002	855,630	712,372
法定福利費	7,683,277	8,924,746	△ 1,241,469
福利厚生費	1,623,777	893,652	730,125
旅費交通費	6,539,126	6,709,163	△ 170,037
通信運搬費	4,302,273	4,960,372	△ 658,099
支払手数料	1,067,972	1,061,714	6,258
建物減価償却費	4,869,889	4,869,889	0
建物附属設備減価償却費	834,290	430,679	403,611
什器備品減価償却費	168,294	125,103	43,191
リース資産減価償却費	884,092	2,347,688	△ 1,463,596
ソフトウェア減価償却費	550,836	550,836	0
図書費	400,621	493,137	△ 92,516
消耗什器備品費	0	187,135	△ 187,135
消耗品費	3,203,906	3,850,929	△ 647,023
リース料	2,067,940	2,097,243	△ 29,303
修繕費	134,649	405,516	△ 270,867
食糧費	406,299	348,072	58,227
印刷製本費	3,103,383	3,596,408	△ 493,025
光熱水料費	2,742,677	4,582,431	△ 1,839,754
広告宣伝費	508,100	1,338,600	△ 830,500
賃借料	3,374,373	4,503,099	△ 1,128,726
保険料	1,063,517	548,111	515,406
諸謝金	11,966,579	11,693,930	272,649

租税公課	7,390,081	8,429,996	△ 1,039,915
負担金	603,646	543,229	60,417
業務委託費	3,952,380	2,794,546	1,157,834
保守管理費	2,633,561	2,642,639	△ 9,078
助成金	282,574	229,898	52,676
寄附金	100,000	0	100,000
奨学金	0	1,000,000	△ 1,000,000
雑費	449,879	799,073	△ 349,194
管理費			
役員報酬	6,830,978	6,324,600	506,378
給料手当	8,579,048	9,625,412	△ 1,046,364
役員賞与引当金繰入額	366,940	50,260	316,680
賞与引当金繰入額	994,607	891,209	103,398
役員退職慰労引当金繰入額	101,790	101,790	0
退職給付費用	492,448	268,720	223,728
法定福利費	1,769,206	2,091,448	△ 322,242
福利厚生費	411,590	192,864	218,726
旅費交通費	523,876	465,361	58,515
通信運搬費	302,315	263,303	39,012
支払手数料	5,935	8,114	△ 2,179
建物減価償却費	2,132,108	2,132,108	0
建物附属設備減価償却費	365,264	188,557	176,707
什器備品減価償却費	73,681	54,773	18,908
リース資産減価償却費	387,068	1,027,852	△ 640,784
ソフトウェア減価償却費	241,164	241,164	0
消耗什器備品費	0	65,315	△ 65,315
消耗品費	287,452	443,023	△ 155,571
リース料	838,914	857,281	△ 18,367
修繕費	58,951	177,539	△ 118,588
食糧費	104,839	111,946	△ 7,107
印刷製本費	953,820	1,079,743	△ 125,923
光熱水料費	861,366	1,439,159	△ 577,793
賃借料	0	4,623	△ 4,623
保険料	322,283	4,869	317,414
諸謝金	66,000	0	66,000
租税公課	1,770,810	1,647,178	123,632
負担金	79,974	80,063	△ 89
業務委託費	1,241,287	877,656	363,631
保守管理費	827,098	829,948	△ 2,850
雑費	954,867	962,636	△ 7,769
事業費			
給料手当（訪問看護）	259,053,630	257,968,294	1,085,336
法定福利費（訪問看護）	45,427,514	45,754,727	△ 327,213
医薬品費（訪問看護）	53,139	87,230	△ 34,091
福利厚生費（訪問看護）	7,403,829	3,761,413	3,642,416
旅費交通費（訪問看護）	1,056,241	437,153	619,088
職員被服費（訪問看護）	410,509	337,709	72,800
通信費（訪問看護）	5,913,548	5,742,915	170,633
支払手数料（訪問看護）	1,853,240	1,889,371	△ 36,131
消耗品費（訪問看護）	2,226,363	2,188,275	38,088
事務費（訪問看護）	2,708,611	3,280,731	△ 572,120
車輛費（訪問看護）	3,508,645	3,666,467	△ 157,822
光熱水料費（訪問看護）	2,658,613	3,042,128	△ 383,515
賃借料（訪問看護）	3,643,640	3,967,632	△ 323,992
リース料（訪問看護）	17,217,550	14,856,862	2,360,688
保険料（訪問看護）	1,867,130	2,161,730	△ 294,600
交際費（訪問看護）	134,902	282,051	△ 147,149
諸会費（訪問看護）	99,500	100,400	△ 900
租税公課（訪問看護）	2,542,599	2,420,500	122,099
図書費（訪問看護）	98,674	164,109	△ 65,435
広告宣伝費（訪問看護）	110,000	132,000	△ 22,000

研修費（訪問看護）	1,746,550	376,530	1,370,020
修繕費（訪問看護）	163,240	417,058	△ 253,818
諸謝金（訪問看護）	1,113,750	1,795,589	△ 681,839
会議費（訪問看護）	54,095	11,066	43,029
退職給付費用（訪問看護）	3,450,000	11,390,715	△ 7,940,715
建物減価償却費（訪問看護）	2,458,352	2,458,352	0
建物附属設備減価償却費（訪問看護）	2,191,215	2,217,118	△ 25,903
構築物減価償却費（訪問看護）	336,231	360,481	△ 24,250
什器備品減価償却費（訪問看護）	457,856	730,988	△ 273,132
ソフトウェア減価償却費（訪問看護）	360,294	0	360,294
雑費（訪問看護）	33,223	177,928	△ 144,705
賞与引当金繰入（訪問看護）	22,560,000	19,053,310	3,506,690
印刷製本費（訪問看護）	179,219	104,956	74,263
維持管理費（訪問看護）	6,857,946	5,330,436	1,527,510
支払負担金（訪問看護）	9,071,758	9,469,165	△ 397,407
管理費			
法定福利費（訪問看護）	16,036	124,869	△ 108,833
福利厚生費（訪問看護）	2,537	1,205	1,332
修繕費（訪問看護）	0	212	△ 212
印刷製本費（訪問看護）	4,426	2,592	1,834
維持管理費（訪問看護）	169,358	131,636	37,722
支払負担金（訪問看護）	224,028	233,842	△ 9,814
経常費用計	573,196,268	589,173,693	△ 15,977,425
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,571,258	△ 42,329,688	758,430
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 41,571,258	△ 42,329,688	758,430
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
什器備品受贈益	0	465,437	△ 465,437
経常外収益計	0	465,437	△ 465,437
(2) 経常外費用			
什器備品売却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	465,436	△ 465,436
税引前当期一般正味財産増減額	△ 41,571,258	△ 41,864,252	292,994
法人税・住民税・事業税	222,000	222,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 41,793,258	△ 42,086,252	292,994
一般正味財産期首残高	1,093,730,074	1,135,816,326	△ 42,086,252
一般正味財産期末残高	1,051,936,816	1,093,730,074	△ 41,793,258
II 指定正味財産増減の部			
会館建設積立金	12,847,797	13,866,000	△ 1,018,203
受取利息	4,163,560	82,563	4,080,997
災害支援金	100,000	0	100,000
一般正味財産への振替額	△ 479,000	△ 1,479,000	1,000,000
当期指定正味財産増減額	16,632,357	12,469,563	4,162,794
指定正味財産期首残高	425,804,851	413,335,288	12,469,563
指定正味財産期末残高	442,437,208	425,804,851	16,632,357
III 正味財産期末残高	1,494,374,024	1,519,534,925	△ 25,160,901

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会 計 区 分			公益目的事業会計			収益事業等会計				内部取引 控除	法人会計	合 計
	公 1	共 通	小 計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達する ために必要事業(扶養事業)	共 通	小 計						
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1)経常収益													
特定資産運用益	18,846		18,846								3,673	22,519	
受取会費			0										
研修会事業収益	25,677,750		25,677,750									70,342,500	
県受託収益	33,408,450		33,408,450					21,102,750			49,239,750	25,677,750	
日看協受託収益	3,365,543		3,365,543									33,408,450	
他県受託収益	694,038		694,038									3,365,543	
日看協助成金収益	8,157,200		8,157,200									694,038	
受取負担金			0	780,000								8,157,200	
受取寄付金	300,000		300,000									780,000	
受取補助金振替額	305,985		305,985	1,964								300,000	
看護療養費収益	153,956,995		153,956,995		25,195						145,856	479,000	
介護報酬収益	180,238,404		180,238,404									153,956,995	
介護給付費収益	35,063,930		35,063,930									180,238,404	
その他事業収益	3,737,458		3,737,458									35,063,930	
事業外収益	12,413,708		12,413,708									3,737,458	
受取補助金・助成金	662,200		662,200									12,413,708	
受取利息	182,584		182,584								67,116	662,200	
雑収益	113,803		113,803	1,859,284	9,371						93,157	249,700	
経常収益計	458,296,894	0	458,296,894	2,641,248	21,137,316	0	23,778,564			0	49,549,552	2,075,615	
(2)経常費用													
役員報酬	8,051,930		8,051,930								6,830,978	17,157,140	
給料手当	36,106,975		36,106,975	115,514			2,274,232				8,579,048	46,283,501	
臨時雇賃金	6,560,528		6,560,528		1,481,964		1,597,478				0	6,560,528	
役員賞与引当金繰入額	458,936		458,936				129,623				366,940	955,499	
賞与引当金繰入額	1,771,674		1,771,674	13,034			323,985				994,607	3,103,300	
役員退職慰労引当金繰入額	44,640		44,640		3,570		3,570				101,790	150,000	
退職給付費用	1,439,224		1,439,224	10,096			118,682				492,448	2,060,450	
法定福利費	7,220,619		7,220,619	36,272			426,386				1,769,206	9,452,483	
福利厚生費	1,310,324		1,310,324	8,438			305,015				411,590	2,035,367	
旅費交通費	3,346,933		3,346,933		87		3,192,106				523,876	7,063,002	
通信運搬費	3,156,295		3,156,295	4,071			1,141,907				302,315	4,604,588	
支払手数料	975,864		975,864		92,108		92,108				5,935	1,073,907	
建物減価償却費	4,472,876		4,472,876	28,708			368,305				2,132,108	7,001,997	
建物附属設備減価償却費	766,275		766,275	4,918			63,097				365,264	1,199,554	
什器備品減価償却費	154,574		154,574	992			12,728				73,681	241,975	
リース資産減価償却費	812,017		812,017	5,212			66,863				387,068	1,271,160	
ソフトウェア減価償却費	505,930		505,930	3,247			41,659				241,164	792,000	
図書費	400,621		400,621									400,621	
消耗什器備品費	0		0									0	
消耗品費	2,584,148		2,584,148	3,287			616,471				287,452	3,491,358	
リース料	1,911,728		1,911,728	11,296			144,916				838,914	2,906,854	

科	目	会 計 区 分			公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合 計
		公 1	共 通	小 計	施設の貸与・事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達成する ために必要経費(収益事業)	共 通	小 計					
修繕費 食糧費 印刷製本費 光熱水料費 広告宣伝費 賃借料 保険料 諸謝金 租税公課 負担金 業務委託費 保守管理費 助成金 寄附金 雑費	修繕費	123,672		123,672	794	10,183		10,977	58,951		193,600		
	食糧費	317,729		317,729	108	88,462		88,570	104,839		511,138		
	印刷製本費	2,208,541		2,208,541	521	894,321		894,842	953,820		4,057,203		
	光熱水料費	2,517,424		2,517,424	17,660	207,593		225,253	861,366		3,604,043		
	広告宣伝費	11,000		11,000	0	497,100		497,100			508,100		
	賃借料	3,342,243		3,342,243		32,130		32,130			3,374,373		
	保険料	877,506		877,506	4,339	181,672		186,011	322,283		1,385,800		
	諸謝金	11,966,579		11,966,579				0	66,000		12,032,579		
	租税公課	6,927,004		6,927,004	36,305	426,772		463,077	1,770,810		9,160,891		
	負担金	373,732		373,732	1,640	228,274		229,914	79,974		683,620		
	業務委託費	3,627,776		3,627,776	25,449	299,155		324,604	1,241,287		5,193,667		
	保守管理費	2,417,270		2,417,270	16,957	199,334		216,291	827,098		3,460,659		
	助成金	282,574		282,574				0			282,574		
	寄附金	100,000		100,000	314			0			100,000		
	雑費	313,190		313,190		136,375		136,689	954,867		1,404,746		
	給料手当 (訪問看護)	259,053,630		259,053,630								259,053,630	
	法定福利費 (訪問看護)	45,427,514		45,427,514						16,036		45,443,550	
	医薬品費 (訪問看護)	53,139		53,139						53,139		53,139	
	福利厚生費 (訪問看護)	7,403,829		7,403,829						2,537		7,406,366	
	旅費交通費 (訪問看護)	1,056,241		1,056,241						1,056,241		1,056,241	
	職員被服費 (訪問看護)	410,509		410,509								410,509	
	通信費 (訪問看護)	5,913,548		5,913,548								5,913,548	
	消耗品費 (訪問看護)	2,226,363		2,226,363								2,226,363	
	事務費 (訪問看護)	2,708,611		2,708,611								2,708,611	
	車輦費 (訪問看護)	3,508,645		3,508,645								3,508,645	
	光熱水料費 (訪問看護)	2,658,613		2,658,613								2,658,613	
賃借料 (訪問看護)	3,643,640		3,643,640								3,643,640		
リース料 (訪問看護)	17,217,550		17,217,550								17,217,550		
保険料 (訪問看護)	1,867,130		1,867,130								1,867,130		
交際費 (訪問看護)	134,902		134,902						134,902		134,902		
諸会費 (訪問看護)	99,500		99,500						99,500		99,500		
租税公課 (訪問看護)	2,542,599		2,542,599						2,542,599		2,542,599		
図書費 (訪問看護)	98,674		98,674						98,674		98,674		
広告宣伝費 (訪問看護)	110,000		110,000						110,000		110,000		
研修費 (訪問看護)	1,746,550		1,746,550						1,746,550		1,746,550		
修繕費 (訪問看護)	163,240		163,240						163,240		163,240		
諸謝金 (訪問看護)	1,113,750		1,113,750						1,113,750		1,113,750		
会議費 (訪問看護)	54,095		54,095						54,095		54,095		
退職給付費用 (訪問看護)	3,450,000		3,450,000						3,450,000		3,450,000		
建物減価償却費 (訪問看護)	2,458,352		2,458,352						2,458,352		2,458,352		
建物附属設備減価償却費 (訪問看護)	2,191,215		2,191,215						2,191,215		2,191,215		
構築物減価償却費 (訪問看護)	336,231		336,231						336,231		336,231		
什器備品減価償却費 (訪問看護)	457,856		457,856						457,856		457,856		
ソフトウェア減価償却費 (訪問看護)	360,294		360,294						360,294		360,294		
雑費 (訪問看護)	33,223		33,223						33,223		33,223		
賞与引当金繰入額 (訪問看護)	22,560,000		22,560,000							4,426	22,560,000		
印刷製本費 (訪問看護)	179,219		179,219								183,645		

科	目	会 計 区 分			公益目的事業会計			収益事業等会計				内部取引 控除	法人会計	合 計
		公 1	共 通	小 計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会が目的を達成する ために必要事業(共益事業)	共 通	小 計						
	支払手数料 (訪問看護)	1,853,240		1,853,240									169,358	1,853,240
	維持管理費 (訪問看護)	6,857,946		6,857,946									224,028	7,027,304
	支払負担金 (訪問看護)	9,071,758		9,071,758										9,295,786
	経常費用計	526,479,957	0	526,479,957	349,259	14,004,988	0	14,354,247				0	32,362,064	573,196,268
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 68,183,063	0	△ 68,183,063	2,291,989	7,132,328	0	9,424,317				0	17,187,488	△ 41,571,258
	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0
	当期経常増減額	△ 68,183,063	0	△ 68,183,063	2,291,989	7,132,328	0	9,424,317				0	17,187,488	△ 41,571,258
	2. 経常外増減の部													
	(1) 経常外収益			0										0
	仕器備品受贈益	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0
	経常外収益計													0
	(2) 経常外費用			0										0
	仕器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0
	当期経常外増減額		0									0	0	0
	他会計振替額 (共益事業 2 分の 1)		3,147,154	3,147,154		△ 3,147,154		△ 3,147,154						0
	他会計振替額 (共益事業 2 分の 1 超過部分)		3,147,154	3,147,154		△ 3,147,154								0
	他会計振替額 (収益事業 2 分の 1)		1,135,545	1,135,545	△ 1,135,545			△ 1,135,545						0
	他会計振替額 (収益事業 2 分の 1 超過部分)		1,135,545	1,135,545	△ 1,135,545			△ 1,135,545						0
	他会計振替額 (上記以外)			0			△ 20,899	△ 20,899				20,899		0
II	税引前当期一般正味財産増減額	△ 68,183,063	8,565,398	△ 59,617,665		838,020		838,020				0	△ 41,571,258	
	法人税・住民税・事業税			0	222,000								222,000	0
	法人税等調整額													
	当期一般正味財産増減額	△ 68,183,063	8,565,398	△ 59,617,665	△ 222,000	838,020	0	616,020				0	△ 41,793,258	
	一般正味財産期首残高			742,359,375				51,861,541					299,509,158	1,093,730,074
	一般正味財産期末残高			682,741,710				52,477,561					316,717,545	1,051,936,816
	指定正味財産増減の部													
	会館建設積立金	8,207,173	0	8,207,173	52,676	675,794		728,470					3,912,154	12,847,797
	受取利息	2,659,682	0	2,659,682	17,071	219,003		236,074					1,267,804	4,163,560
	災害支援金	100,000		100,000										100,000
III	一般正味財産への振替額	△ 305,985	0	△ 305,985	△ 1,964	△ 25,195		△ 27,159				△ 145,856	△ 479,000	
	当期指定正味財産増減額	10,660,870	0	10,660,870	67,783	869,602	0	937,385				5,034,102	0	16,632,357
	指定正味財産期首残高			272,004,138				24,143,138				129,657,575	425,804,851	
	指定正味財産期末残高			282,665,008				25,080,523				134,691,677	442,437,208	
	正味財産期末残高			965,406,718				77,558,084				451,409,222	0	1,494,374,024

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

科 目		会 計 区 分		教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く職場の環境及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
1) 経常収益											
(1) 特定資産運用益				0	0	0	0	0	0	18,846	18,846
① 特定資産利息				0	0	0	0	0	0	18,846	18,846
(2) 受取会費										0	0
① 受取会費											
(3) 事業収益				25,117,750	280,000	0	0	280,000	0	0	25,677,750
① 研修会事業収益				25,117,750	280,000			280,000			25,677,750
(4) 補助金等				15,236,641	0	850,385	27,235,092	368,313	1,934,800	0	45,625,231
① 県受託収益				6,648,698	0	850,385	25,541,054	368,313		0	33,408,450
② 日看協受託収益				530,743	0		900,000		1,934,800		3,365,543
③ 他県受託収益					0		694,038				694,038
④ 日看協助成金収益				8,057,200	0	0	100,000	0	0	0	8,157,200
(5) 受取負担金				0	0	0	0	0	0	0	0
① 受取負担金											
(6) 受取寄付金				0	0	0	300,000	0	0	0	300,000
① 受取寄付金							300,000				300,000
(7) 受取寄付金振替額											0
② 受取寄付金振替額				0	0	0	0	0	305,985	0	305,985
(8) 受取補助金				0	0	0	0	0	305,985		305,985
① 受取補助金										296,387	296,387
② その他の雑収益										182,584	182,584
(9) 訪問看護事業収益				0	0	0	0	0	0	113,803	113,803
① 看護療養費収益										386,072,695	386,072,695
② 介護報酬収益										153,956,995	153,956,995
③ 介護給付費収益										180,238,404	180,238,404
④ その他事業収益										35,063,930	35,063,930
(5) 事業外収益										3,737,458	3,737,458
⑥ 受取補助金・助成金										12,413,708	12,413,708
経常収益計				40,354,391	280,000	850,385	27,535,092	648,313	2,240,785	386,387,928	458,296,894
2) 経常費用											
(1) 事業費											
役員報酬											8,051,930
給料手当				2,410,336		220,323	15,478,629		8,051,930		36,106,975
役員賞与引当金繰入額									17,997,687		458,936
賞与引当金繰入額									458,936		1,771,674
臨時雇賃金				5,668,826			891,702		1,771,674		6,560,528
役員退職慰労金引当金繰入額									44,640		44,640
退職給付費用									1,439,224		1,439,224

(単位：円)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目	会 計 区 分		看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く環境の改善び 福祉の向上による市民の福祉及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
	教育等看護 の質の向上に 関する事業	分							
法定福利費	55,000				2,049,949		5,170,670		7,220,619
福利厚生費	2,396,919		134,379		52,413		1,202,911		1,310,324
旅費交通費	1,315,134		119,504	25,186	799,117	2,974	13,544		3,346,933
通信運搬費	619,526		10,065	7,260	1,040,298	21,954	634,219		3,156,295
支払手数料					92,950	5,720	240,343		975,864
建物減価償却費							4,472,876		4,472,876
建物附属設備減価償却費							766,275		766,275
構築物減価償却費									0
什器備品減価償却費							154,574		154,574
リース資産減価償却費							812,017		812,017
ソフトウェア減価償却費							505,930		505,930
図書費	400,621						400,621		400,621
消耗什器備品費									0
消耗品費	1,220,090		21,879	1,140	811,517	17,409	512,113		2,584,148
リース料	151,800						1,759,928		1,911,728
修繕費							123,672		123,672
食糧費	252,395		12,381		35,089	1,000	16,864		317,729
印刷製本費	719,669		96,209	135,824	1,174,118	1,548	81,173		2,208,541
光熱水料費							2,517,424		2,517,424
広告宣伝費									11,000
賃借料	1,446,640			82,620	1,793,723	19,260	676,106		3,342,243
保険料	19,200				157,240	24,960			877,506
諸謝金	10,505,360		144,781	376,032	727,858	212,548			11,966,579
租税公課	10,000			2,000	1,739,648		5,175,356		6,927,004
負担金	20,000				120,000		233,732		373,732
業務委託費							3,627,776		3,627,776
保守管理費							2,417,270		2,417,270
助成金						282,574			282,574
寄附金					100,000				100,000
奨学金	139,220		1,600		123,463		48,907		0
雑費									313,190
給料手当 (訪問看護)								259,053,630	259,053,630
法定福利費 (訪問看護)								45,427,514	45,427,514
医薬品費 (訪問看護)								53,139	53,139
福利厚生費 (訪問看護)								7,403,829	7,403,829
旅費交通費 (訪問看護)								1,056,241	1,056,241
職員被服費 (訪問看護)								410,509	410,509
通信費 (訪問看護)								5,913,548	5,913,548
消耗品費 (訪問看護)								2,226,363	2,226,363
事務費 (訪問看護)								2,708,611	2,708,611
車輦費 (訪問看護)								3,508,645	3,508,645
光熱水料費 (訪問看護)								2,658,613	2,658,613
賃借料 (訪問看護)								3,643,640	3,643,640
リース料 (訪問看護)								17,217,550	17,217,550
保険料 (訪問看護)								1,867,130	1,867,130
交際費 (訪問看護)								134,902	134,902
諸会費 (訪問看護)								99,500	99,500
租税公課 (訪問看護)								2,542,599	2,542,599

科	目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護職を取り巻く環境の改善及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
Ⅱ	図書費 (訪問看護)								98,674	98,674
	広告宣伝費 (訪問看護)								110,000	110,000
	研修費 (訪問看護)								1,746,550	1,746,550
	修繕費 (訪問看護)								163,240	163,240
	諸謝金 (訪問看護)								1,113,750	1,113,750
	会議費 (訪問看護)								54,095	54,095
	退職給付費用 (訪問看護)								3,450,000	3,450,000
	建物減価償却費 (訪問看護)								2,458,352	2,458,352
	建物附属設備減価償却費 (訪問看護)								2,191,215	2,191,215
	構築物減価償却費 (訪問看護)								336,231	336,231
	什器備品減価償却費 (訪問看護)								457,856	457,856
	ソフトウェア減価償却費 (訪問看護)								360,294	360,294
	雑費 (訪問看護)								33,223	33,223
	賞与引当金繰入額 (訪問看護)								22,560,000	22,560,000
Ⅲ	印刷製本費 (訪問看護)								179,219	179,219
	支払手数料 (訪問看護)								1,853,240	1,853,240
	維持管理費 (訪問看護)								6,857,946	6,857,946
	支払負担金 (訪問看護)								9,071,758	9,071,758
	経常費用計		27,350,736	540,798	850,385	27,198,714	589,947	60,927,771	409,021,606	526,479,957
	当期経常増減額		13,003,655	△ 260,798	0	336,378	58,366	△ 58,686,986	△ 22,633,678	△ 68,183,063
	2. 経常外増減の部									
	1) 経常外収益									
	什器備品受贈益		0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0
	2) 経常外費用									
	什器備品売却損		0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計振替額									
Ⅱ	当期一般正味財産増減額		13,003,655	△ 260,798	0	336,378	58,366	△ 50,121,588	△ 22,633,678	△ 59,617,665
	一般正味財産期首残高									742,359,375
	一般正味財産期末残高									682,741,710
	指定正味財産増減の部									
	会館建設積立金									
	受取利息									
	災害支援金									
	一般正味財産への振替額									
	当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	10,660,870	0	10,660,870
	指定正味財産期首残高									272,004,138
	指定正味財産期末残高									282,665,008
	正味財産期末残高		0							965,406,718

(注) 本会は、その公益目的事業のすべてをひとつの公益目的事業として公益社団法人への移行認定を受けている。そのため、公益目的事業会計内の個々の定款事業には、当該年度の一般正味財産増減額及び指定正味財産増減額のみを記載し、一般正味財産及び指定正味財産の期首残高及び期末残高は公益目的事業会計の合計額に記載する。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……………取得原価によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ①有形固定資産（リース資産を除く）
 - ・建物……………定額法によっている。
 - ・建物附属設備、構築物、什器備品……………定率法または定額法によっている。
 - ②無形固定資産（リース資産を除く）
 - ・ソフトウェア……………利用可能期間（５年）に基づく定額法によっている。
 - ③リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - ①役員退職慰労引当金
役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事報酬規則に基づく期末要支給額を計上している。
 - ②退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。
 - ③役員賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、理事報酬規則に基づく支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ④賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
特 定 資 産 (一般会計・会館建設積立金)				
土地	150,000,000	0	0	150,000,000
退職給付引当資産	6,769,150	2,060,450	401,800	8,427,800
役員退職慰労引当資産	400,000	150,000	0	550,000
災害支援金	0	100,040	0	100,040
ソフトウェア	2,507,999	0	792,000	1,715,999
会館建設積立資産	274,288,017	17,011,357	0	291,299,374
構築物	1	0	0	1
(訪問看護ステーション)				
建物等修繕引当資産	16,683,012	3,617	0	16,686,629
退職給付引当資産	46,910,200	15,143	0	46,925,343
建物再取得資産	146,326,204	0		146,326,204
合 計	643,884,583	19,340,607	1,193,800	662,031,390

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特 定 資 産 (一般会計・会館建設積立金)				
土地	150,000,000	(150,000,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	8,427,800	(0)	(0)	(8,427,800)
役員退職慰労引当資産	550,000	(0)	(0)	(550,000)
災害支援金	100,040	(100,000)	(40)	(0)
ソフトウェア	1,715,999	(1,037,833)	(678,166)	(0)
会館建設積立資産	291,299,374	(291,299,374)	(0)	(0)
構築物	1	(1)	(0)	(0)
(訪問看護ステーション)				
建物等修繕引当資産	16,686,629	(0)	(16,686,629)	(0)
退職給付引当資産	46,925,343	(0)	(0)	(46,925,343)
建物再取得資産	146,326,204	(0)	(146,326,204)	(0)
合 計	662,031,390	(442,437,208)	(163,691,039)	(55,903,143)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
特 定 資 産			
(一般会計)			
土地	150,000,000	0	150,000,000
構築物	23,415,000	23,414,999	1
ソフトウェア	3,960,000	2,244,001	1,715,999
その他の固定資産			
(一般会計)			
土地	176,920,000	0	176,920,000
建物	388,999,855	154,043,934	234,955,921
建物附属設備	108,902,900	104,560,869	4,342,031
構築物	16,915,500	16,915,499	1
什器備品	50,814,840	50,087,356	727,484
有形リース資産	7,678,440	6,216,210	1,462,230
その他の固定資産			
(訪問看護ステーション)			
土地	17,166,300	0	17,166,300
建物	137,086,019	32,492,821	104,593,198
建物附属設備	48,837,430	39,871,212	8,966,218
構築物	12,772,826	11,280,277	1,492,549
什器備品	9,882,495	8,128,263	1,754,232
ソフトウェア	3,331,080	1,343,094	1,987,986
(居宅介護支援事業所)			
什器備品	342,870	342,868	2
合 計	1,157,025,555	450,941,403	706,084,152

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
債券（会館建設積立資産）			
第187回20年利付国債	68,478,621	60,851,000	△ 7,627,621
第6回三井住友FG劣FR(永久社債)	97,516,191	95,010,000	△ 2,506,191
かんぽ生命劣FR	101,115,287	96,950,000	△ 4,165,287
ソフトバンクG公社債第63回無担保社債	7,000,000	6,861,400	△ 138,600
ソフトバンクG公社債第64回無担保社債	15,000,000	14,740,500	△ 259,500
合 計	289,110,099	274,412,900	△ 14,697,199

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	金 額
経 常 収 益 へ の 振 替 額	
減価償却費計上による振替額	479,000
合 計	479,000

8. 重要な後発事象
該当なし

9. その他

- (1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

- ① リース資産の内容

その他の固定資産

会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホン一式

- ② リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「(1) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「3. 特定資産の増減及びその残高」に記載しているため省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
(一般会計)					
役員賞与引当金	955,500	955,499	955,500	0	955,499
賞与引当金	2,780,685	3,103,300	2,780,685	0	3,103,300
役員退職慰労引当金	400,000	150,000	0	0	550,000
退職給付引当金	6,769,150	2,060,450	401,800	0	8,427,800
(訪問看護ステーション)					
賞与引当金	19,053,310	22,560,000	19,053,310	0	22,560,000
退職給付引当金	46,910,200	3,450,000		0	50,360,200

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)			
現金 普通預金	手許有高 庄内銀行 山形営業部 きらやか銀行 小白川支店 GMOあおぞらネット銀行 第45回SBI債	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 公益目的事業 令和7年度看護の日グッズ 理事会旅費 (日本看護協会) 訪問看護ステーション支払分消費税 令和6年度山形県受託事業委託費 令和6年度他県受託事業委託費 会館使用料 自動販売機設置電気料 自動販売機設置販売手数料	15,868 97,057,227 15,505 2,121,090 50,168,750
有価証券 前払金			31,780 2,051 10,000 450,300 6,406,450 241,038 7,700 25,533 1,271
立替金			
未収金			
現金 普通預金	手許有高	運転資金として	171,989
(訪問看護ステーション)			
庄内銀行 山形営業部	山形営業部	運転資金として	10,318,036
庄内銀行 山形営業部	山形営業部	運転資金として	22,784,589
庄内銀行 天童中央支店	天童中央支店	運転資金として	2,135,171
庄内銀行 楯岡支店	楯岡支店	運転資金として	741,901
庄内銀行 新庄支店	新庄支店	運転資金として	1,611,696
きらやか銀行 楯岡支店	楯岡支店	運転資金として	3,860,418
ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行	運転資金として	207,082
ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行	運転資金として	329,194
未収金 事業未収金 前払金 前払費用 立替金	令和6年度山形県訪問看護総合支援センター業務委託料他 令和7年2,3月分国保連他請求額及び一部負担金 居宅介護支援事業所人件費、経費他	令和6年山形県補助金、居宅むらやま3月人件費・経費他 訪問看護ステーション4事業所 国保連他2,3月分請求及び一部負担金 住民税前払1名分 コピー機・パソコンリース料 居宅やまがた3月人件費、経費 健診オブション料金	8,960,770 56,263,875 49,800 69,900 12,028,688
普通預金	庄内銀行 天童中央支店 庄内銀行 楯岡支店 山形銀行 東山形支店	運転資金として 運転資金として	917,757 582,108 35,347,989
未収金 事業未収金	令和7年2,3月分国保連他請求額及び一部負担金	居宅介護支援事業所2事業所 国保連2,3月分請求他	75,000 5,766,238 318,776,764
流動資産合計 (固定資産) 特定資産			
土 地	山形市松栄一丁目3番16号 (地積 4,698.16㎡) (地積 3,001.185㎡) (地積 266.386㎡) (地積 1,430.589㎡)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	95,820,000 8,505,000 45,675,000 1
構築物	山形県看護協会会館・看護研修センター の駐車場舗装一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	550,000
役員退職慰労引当資産 退職給付引当資産 災害支援金	庄内銀行 山形営業部 庄内銀行 山形営業部 庄内銀行 山形営業部	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	8,427,800 100,040

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
ソフトウェア	研修管理システムmanageable	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	1,096,180 97,297 522,522
会館建設積立資産	大和ネクスト銀行 普通預金 庄内銀行山形営業部 普通預金 きらやか銀行小川支店 普通預金 山形銀行本店営業部 普通預金 ゆうちょ銀行 満期保有目的債券 三井住友F G任意償還条項付無担保永久社債 満期保有目的債券 利付国庫債券 満期保有目的債券 かんぽ生命劣F R 満期保有目的債券 ソフトバンクG公社債第63回無担保社債 満期保有目的債券 ソフトバンクG公社債第64回無担保社債	山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会・看護研修センターの建替えに備えたもの	110 1,997,725 81,204 9,861 100,375 97,516,191 68,478,621 101,115,287 7,000,000 15,000,000
その他の固定資産	山形市松栄一丁目3番18号(地積 3610.63㎡) (地積 2306.470㎡) (地積 204.723㎡) (地積 1,099.437㎡) 山形県看護協会・看護研修センター	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	113,016,496 10,031,364 53,872,140
建物		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 管理運営の用に供して	150,089,842 13,322,001 71,544,078
建物附属設備	電気・冷暖房・給排水・エレベーター設備等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	2,773,690 246,193 1,322,148
構築物	山形県看護協会・看護研修センターの 構内舗装一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1
什器備品	A V機器・LAN工事・電話設備工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	464,717 41,248 221,519
有形リース資産	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホーン式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	934,073 82,908 445,249
(訪問看護ステーション)			
特定資産	退職給付引当資産	職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 訪問看護会館の建替えに備えたもの 訪問看護会館の建替えに備えたもの	32,717,647 3,027,984 1,000,068 5,109,787 5,069,857 142,211,714 4,114,490
	建物再取得資産	特別目的事業達成による積立金 特別目的事業達成による積立金	5,037,741 5,096,204 6,552,684
	建物等修繕引当資産		
その他固定資産	山形市松栄一丁目3番39号(地積 395.94㎡) 訪問看護ステーションむらやま事務所・訪問看護会館	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	17,166,300 104,593,198

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
建物附属設備	電気・空調・給排水・プラインド工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	8,966,218
構築物	舗装アスファルト・境界・フェンス工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1,492,549
什器備品	移動ラック・器械戸棚・エアコン・研修室机、椅子等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1,754,232
電話加入権	訪問看護ステーション電話4台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	290,600
ソフトウェア	オンライン請求システム4台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1,588,730
投資有価証券	会計・給与システム	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	399,256
敷金	訪問看護ステーション新庄事務所	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	150,000,000
什器備品	パソコン2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	60,000
(居宅介護支援事業所)			2
固定資産合計			1,366,750,142
資産合計			1,685,526,906
(流動負債)			
未払金	水道・ガス料、たより送料、事務消耗品 ガソリン代、3月分時間外手当、社会保険料 等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1,122,623
未払費用	L E D照明器具工事費用	収益事業の用に供して	34,760
未払法人税	令和7年度山形県看護協会費(7,050名)	収益事業に対する未払法人税	1,893,161
前受金	住民税	収益事業及び管理運営の支出に供する会費の前受け	1,830,582
預り金	職員福利厚生費	共益事業及び管理運営の支出に供する会費の前受け	20,000
リース債務	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホン一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	63,448,500
役員賞与引当金	令和6年度負担額	収益事業の用に供して	1,035,100
賞与引当金	令和6年度負担額	収益事業の用に供して	128,750
未払費用	水道料、衛生用品代、コピー代、職員3月分給料等 研修謝金	収益事業の用に供して	617,234
未払金	令和6年度法人税	管理運営の用に供して	54,786
未払い消費税	令和6年度消費税	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	294,220
仮受金	退職者社会保険料、雇用保険料他	収益事業に対する未払法人税	955,499
賞与引当金	研修講師謝金	3,103,300	
賞与引当金	令和6年度負担額	16,780,640	
未払費用	居宅職員給与、ガソリン代他経費 等	30,000	
未払い消費税	令和6年度消費税	202,000	
賞与引当金	令和6年度負担額	915,000	
(居宅介護支援事業所)		2,390,846	
流動負債合計		3,000	
(固定負債)		20,460,000	
長期リース債務	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホン一式	13,512,175	
役員退職慰労引当金	期末要支給額	67,500	
退職給付引当金	期末要支給額	2,100,000	
退職給付引当金	期末要支給額	130,999,676	
長期未払金	LED照明器具工事費用	316,838	
(訪問看護ステーション)		28,123	
退職給付引当金	期末要支給額	151,029	
退職給付引当金	期末要支給額	550,000	
退職給付引当金	期末要支給額	8,427,800	
(居宅介護支援事業所)		50,160,200	
固定負債合計		319,216	
負債合計		200,000	
正味財産		60,153,206	
		191,152,882	
		1,494,374,024	

監 査 報 告 書

令和7年5月16日

公益社団法人山形県看護協会

会 長 若月 裕子 様

監事

長岡 淳司 

監事

庄司 律子 

監事

内田 淳子 

私たち監事は、公益社団法人山形県看護協会定款第25条にもとづき、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の財産の管理状況、並びに業務執行について、令和6年度第1回監査を令和6年11月11日、第2回監査を令和7年5月16日看護協会会館において行ったので下記のとおり報告します。

記

1 監査の方法

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧等監査に必要な手続きにより、書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席して理事の業務報告を聴取し、会議資料等の関係書類の閲覧により業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録は会計帳簿の記載と一致し、財産の管理は正確かつ適正に処理されていると認める。
- (2) 事業報告の内容は適正であり、理事の職務執行に関する不正行為、または定款に違反する事項はないと認める。

報告事項 8 令和 7 年度重点事業・事業計画

1. 全世代を支える看護機能の強化
2. 専門職としてのキャリア継続の支援
3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
4. 地域の健康危機管理体制の構築



1. 全世代を支える看護機能の強化

- 1) 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組み
 - (1) 在宅療養支援体制の強化
 - (2) 訪問看護の機能強化に向けた訪問看護総合支援センターの事業運営
 - (3) DXの推進、効率化による看護サービスの質向上
- 2) 地域における看護職の確保と活躍推進
 - (1) ナースセンターの事業運営
 - (2) 三職能の地域における活躍推進

2. 専門職としてのキャリア継続の支援

- 1) 看護職の生涯学習支援
 - (1) 専門職としての活動の基盤となる研修
 - (2) 看護・医療政策に関する研修
 - (3) 人材育成や教育支援担当者対象の研修
 - (4) 看護管理者を対象とした研修
 - (5) 資格認定教育
- 2) 看護職の働き方改革の推進
 - (1) 看護職員の処遇改善の推進
 - (2) 多様で柔軟な働き方の提案

3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

- 1) 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアの推進
 - (1) タスク・シフト/シェアに関する調査結果から課題発見
 - (2) 看護補助者の確保・定着の推進
 - (3) 認定審査・更新審査・認定教育研修等の変更について周知

4. 地域の健康危機管理体制の構築

- 1) 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備
 - (1) 関係機関と連携した看護職員の育成と派遣体制の整備
 - (2) 災害支援ナースの派遣に関する訓練への参加
- 2) 県協会のBCP（事業継続計画）の策定
 - (1) BCPの基本方針の作成と周知

令和 7 年度事業計画

☆事業計画は、定款第 4 条の 7 つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

1) 看護職の研修（生涯学習支援）に関する事業【重・2・3】

- (1) 研修の充実・強化
 - ①研修計画の実施・評価
研修計画に基づいた研修運営
 1. 専門職としての活動の基盤となる研修
 2. 看護・医療政策に関する研修
 3. 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
 4. 看護管理者を対象とした研修
 5. 資格認定教育
 6. その他（他団体との共催研修等）総会要綱内研修実施報告の掲載
 - ②研修計画の策定・広報
教育プログラム開発能力向上に係る予算化（教育研究開発費）
教育ニーズ調査と情報収集、研修企画調整、研修計画に関する意見収集、研修一覧の作成・発送、ホームページ、広報誌、SNSへの掲載、研修管理システムmanaableへの掲載、施設訪問
 - ③看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進
生涯学習ガイドライン・看護師のまなびサポートブックの活用推進
日本看護協会からの情報収集と発信
 - ④行政との連携による看護師等の資質向上
山形県委託研修の実施
 - ⑤その他
キャリアナースへの登録推進とポートフォリオの利用促進、受講履歴の入力・管理
研修受講システムmanaable運用
- (2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援
 - ①研修における講師の登用
 - ②認定看護管理者の委員・認定教育における演習支援者としての活用
 - ③職能委員会及び常任委員会の委員として活用
- (3) 小規模施設で働く看護職への学習支援
 - ①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり
研修、介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供、認定看護師等活用事業（出前研修、集合研修）
- (4) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実
 - ①委員会、事務局連携による研修企画
「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会(山形県委託)
認定看護師活用事業(山形県委託)
施設看護職を対象とした認知症看護研修（山形県委託）
在宅療養支援能力向上研修（外来看護職員対象・地域支援者・管理者対象、全看護職対象）
 - ②訪問看護総合支援センターによる研修企画
- (5) 非会員への学習支援
県内保健・医療・福祉施設へ研修一覧送付、県内診療所へ研修案内送付、外部会議・ホームページ・SNSによるPR
- (6) 研修環境の整備・充実
 - ①長期研修（7日以上）時の開館時間延長 開館時間 8時30分～18時（1時間延長）
 - ②A V 機器・パソコン等の定期点検と整備
長期研修前のチェック、研修前の準備、最新機器対応に向けた検討、Web研修を含めた研修運営マニュアル整備
 - ③訪問看護会館研修室の整備と活用（定期チェックと研修前点検・準備）

2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】
(1) 医療機関院内教育充実への支援
①教育担当者・責任者研修の充実
JNAオンデマンド研修活用の推進
看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進、看護師のまなびサポートブックの活用促進
保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）科目の一部公開
(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化
①新人研修の開催による支援 新人研修
②新人育成に携わる担当者研修 実地指導者研修・研修責任者研修・教育担当者研修
3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2・3】
(1) 認定看護管理者教育課程の運営
①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価
ファーストレベル運営19日間、分散研修、定員80名
セカンドレベル運営33日間 分散研修、定員30名
演習企画と認定看護管理者の活用による運営、受講者への学習支援、講師等との連絡調整と講義のサポート、研修運営の評価
認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会開催
②令和8年度研修企画 ファーストレベル、セカンドレベル又はサードレベルの開催要項検討
③認定看護管理者教育課程教育運営委員会による教育に関する協議
適正な受講者選考と受講修了審査、看護管理実践報告会の企画・運営、研修企画・運営支援、
専任教員の資質向上のための研修、学会参加
2028年からの新カリキュラムへの検討
④日本看護協会認定部との連携
教育機関審査（2025更新入力・視察対応）・申請システム入力と認定教育に関する最新情報収集
(2) 看護管理者のスキルアップ支援
①認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル又はサードレベル公開講座の開催
②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催
4) 医療安全教育に関する事業
(1) 医療安全管理者養成研修の開催
①医療安全管理者養成研修の実施・評価
・研修の運営 JNAオンデマンド研修+本会集合研修
・受講者の学習支援、研修運営の評価
②令和8年度研修企画 日看協と連携し、集合研修の企画
(2) 医療安全推進活動
①医療安全スキルアップ研修開催
②医療・看護安全対策委員会と連携した事故・再発防止の啓発活動、
③「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催
④日本看護協会との連携 医療安全推進会議（開催未定）への出席
5) 図書室運営に関する事業
(1) 図書・文献サービスの充実
①図書室の充実
図書・定期購読雑誌・その他刊行物・DVDの入荷、管理、広報、貸出し、蔵書点検
②文献検索機能の向上
・パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置
・蔵書原簿の更新
2. 山形県看護研究学会の開催、学術研究の振興に関する事業
1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・2】
(1) 山形県看護研究学会の開催
①学会の企画と運営 11月14日開催 日本精神科看護協会山形支部との協力体制による山形県看護研究学会規則に則った運営
(2) 看護研究の推進
①学会委員のスキルアップ 第56回日本看護学会学術集会への参加（名古屋：9月12日～14日）
②研修会開催
2) 学術研究の振興に関する事業
(1) 第51回山形県公衆衛生学会の開催
①学会の企画、運営
②共催団体との協働

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

1) 看護業務に関する事業【重・1】

(1) 職能委員会活動の活性化

①日本看護協会職能委員会との連携

- ・日本看護協会通常総会への出席（6月11・12日 幕張メッセ）
- ・全国職能委員長会議への出席（8月1日・3月6日）
- ・地区別職能委員長会への出席（岩手県 10月3日）
- ・調査活動への協力、日本看護協会職能委員会事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組み

②保健師職能委員会活動

- ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
- ・助産師職能と連携した母子保健活動を推進する地域ケアの構築
- ・保健師職能としての活動を再認識し、様々な事業を推進する
- ・研修会企画及び運営 9月6日 助産師職能委員会との合同開催

③助産師職能委員会活動

- ・母子のための地域包括ケア推進における助産師の役割発揮と地域連携の推進
- ・研修会企画及び運営 9月6日 保健師職能委員会との合同開催
- ・助産実践能力習熟段階（CloCMiP®）の普及・推進および更新・申請の支援
- ・助産師活用推進事業の推進 助産師に関する実態調査、助産師出向・短期交流研修への参加促進
- ・山形県看護協会三職能の情報交換と連携

④看護師職能委員会Ⅰ活動

- ・看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化及び対策の検討
- ・病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化

⑤看護師職能委員会Ⅱ活動

- ・高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上
- ・地域包括ケアの推進における多職種連携の強化
- ・地域での看護力強化（看看連携）

⑥保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 通常総会後の研修会開催 6月20日(金)

⑦三職能4委員会に関する情報の発信 三職能4委員会

職能に関する情報収集と情報発信、広報誌へ「職能だより」掲載、山形県健康福祉部との業務推進懇談会への課題提起、職能委員会間の情報交換

(2) 助産師活用推進事業の展開（山形县委託事業）

- ・助産師出向（研修）のマッチング
- ・分娩取り扱い医療機関における助産師就業に関する実態・意向調査
- ・山形県内助産所の実態・意向調査
- ・短期交流研修の実施
- ・院内助産・助産師外来の普及・理解促進のための研修会開催、助産師資質向上研修開催
- ・分娩取り扱い医療機関の看護管理者意見交換会開催
- ・看護管理者・産科看護管理者・助産所管理者・助産師等の交流会開催
- ・助産師活用推進事業協議会開催 年2回

2) 看護制度に関する事業【重・3】

(1) 准看護師への進学支援及び学習支援

①奨学金制度の活用

ホームページ等での公募、日本看護協会の奨学金の活用推進

②准看護師からの進学相談対応（随時対応）

(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応

①看護職への道をPRする

中学校・高等学校での出前講座、ハローワークにおける進路相談、ナースセンターにおける進路相談

(3) 日本看護協会との連携

①日本看護協会通常総会への出席 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師へ情報発信

(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信

日本看護協会からの情報を受け会員へ情報発信 必要時、行政へ提言

(5) 特定行為の研修制度法制化の周知

すべての医療職を対象に特定行為研修修了者活用の研修開催、広報誌等での活動の周知

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1・2】

(1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進

①令和6年度看護職員就業状況及び勤務環境調査

6月に調査実施、調査結果をHPで公表、データの活用

②潜在看護師等復職研修

病院等施設実施研修開催 受入れ病院決定後受講者募集

LINE公式アカウント活用したナースセンター登録者・届出登録者・ハローワーク相談者への情報提供、研修・セミナー運営評価

③働き続けられる職場づくりの推進

・勤務環境改善の継続

・県と協働した「看護職員の多様な働き方の推進に係る研修会（仮）」の開催

・勤務環境改善推進委員会実施の「看護職員夜勤状況調査」結果分析・報告、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進、看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知、短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進

・ナースセンター求職登録者並びに届出登録者、LINEお友だちを対象とした就業意向調査の実施（離職者含む）

・山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携

④看護師等職場説明会開催 ハイブリッド面談会開催

⑤日本看護協会、関係団体、行政との連携強化

・都道府県労働問題担当者会議への参加

・日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進、労働と看護の質向上のためのデータベースDiNQL事業の活用推進

・都道府県ナースセンター事業担当者会議、地域の実情に応じた看護職確保推進事業意見交換会への参加

・山形県健康福祉部との業務推進懇談会へ課題提起

・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画、県の修学資金の利用促進

・「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携

・山形労働局との協力体制の構築

連携によるハローワークでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大・就業支援の強化、「医療労務管理相談コーナー」活用の周知、「WECやまがた」への参加、各ハローワーク主催の就職面談会等への参加

(2) ナースセンター事業運営の強化

①ナースセンター事業の充実

・求職・求人相談の充実

・LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施

・離職者等へのナースセンター届出制度周知と代行登録推進 登録者への情報提供と復職支援の充実

・「NuPS」の周知・活用

・相談件数、再就業率のアップ 事業成果の可視化とデータの活用

②看護職員就業支援事業

・施設訪問による求人登録の推奨

・eナースセンターの周知と活用・普及活動

・ハローワークやまがたとの連携継続の強化（看護師業務・求人説明会等の開催）

・やまがた暮らし・しごとサポートセンター等と連携し、定期的な情報発信と県内ならびに首都圏等での相談ニーズに対応する。（首都圏での移住・交流フェアへの参加）

③看護業務啓発促進事業

・「ふれあい看護体験」の開催 7月～9月の高校生夏季休暇期間等

・「心あたたま看護エピソード」募集 中・高校生対象

・「やまがた健康フェア2025」での看護体験の実施

・若年層を対象としたLINE公式アカウントの運用

・「看護の出前授業」の実施（通年実施）

・「看護の日・看護週間」のPR

・「看護の日・看護週間」における「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施

・かんごちゃん保育園訪問

④潜在看護師等掘り起こし事業

・令和7年度山形県看護職就職ガイドブックのデジタル版作成→各病院・関係機関、「看護師等職場説明会」への参加者へ広く周知

・登録者への情報発信と復職相談の対応 eナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信

・地域の看護管理者会との連携推進（ナースセンター運営委員会への参加依頼、ネットワーク会への参加）

・ナースカフェの開催（潜在看護師等復職研修実施に合わせて）

・「看護の人材確保のためのセミナー」の開催

・協会SNS（facebook、X、Instagram）を活用したナースセンターに関する情報発信

・YouTubeチャンネルの動画作成・投稿・周知

⑤ナースセンター利用促進事業

・県内ハローワーク（8カ所）における「看護の仕事相談会」開催

・ハローワークやまがたとの連携強化 連携調整会議開催（4月）

・ハローワークでの相談強化、施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進

施設訪問報告を兼ねた「私たちの職場自慢！」のLINE掲載

⑥ナースセンターの運営に関すること ・ナースセンター運営会議開催（年１回） ７月予定 ・事業報告書250部作成、ナースセンターだより年３回発行、LINE登録者限定ナースセンターだより年３回配信 ⑦看護補助者確保養成支援事業 ・看護補助者希望者への就業支援・eナースセンターの登録勧奨 ・日本看護協会実施のeラーニング研修受講勧奨 ・看護補助者への道セミナー、病院見学会等の実施 (3) 看護職の健康増進 ①看護職のメンタルサポート ・相談窓口の周知・広報 ・相談員のスキルアップ（職業紹介従事者講習、キャリアコンサルティング研修等） ・実績評価 (4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及 ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知 加入の促進	2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・１・４】 (1) 県民の健康づくり支援 ①県民への相談事業「まちの保健室」の開催 ・支部との連携 合同委員会の開催 ・支部「まちの保健室」の常設化検討 ・他団体、事業所依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送８大事業「県民健康講座」等 ・関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催（必要時） ②看護に関するイベント事業「看護の日・看護週間」のPR ③医療安全フォーラム 「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催 ④次世代育成支援事業 ・やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託） ・いのちの教育・性の健康教育講師派遣、実践者の育成、研修開催（９月６日）、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の活用 ・性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員、会員継続確認・意向調査の実施 ⑤電話相談事業 健康相談、自殺対策、青少年関係 ⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・２】 山形県四師会共催による禁煙活動事業開催、関係機関との連携、受動喫煙防止宣言の普及（チラシ配布・協会内掲示） ５月31日世界禁煙デーから６月６日までの禁煙週間にイエローグリーンキャンペーン実施 (2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備 【重・４】 ①新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）研修と運用 山形県IHEAT新規登録者対象の研修開催、登録者情報更新の周知と確認、保健所応援要請の人材調整 (3) 災害支援体制の整備 ①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知 事業継続計画（BCP）策定 事務局内災害対応マニュアル整備、災害支援体制の周知 ②災害支援ナース育成の強化 ・災害・健康危機対策委員のスキルアップ ・災害支援ナース養成研修会の開催（日本看護協会委託） ・災害支援ナース対象研修（仮）の開催 ・山形県・市町村合同総合防災訓練参加、支援ナース連絡体制の模擬訓練への参加 ③看護職の災害看護の意識高揚 災害支援ナース養成研修修了者の拡大 ④県民に対する防災意識の啓発 災害時の対応、イベント等での災害支援ナース活動のPR ⑤災害看護支援体制のネットワークづくり ・日本看護協会との連携 担当者会議出席、災害支援ナース派遣調整合同訓練参加 ・県内医療関係団体連携による支援活動の検討 ・行政等との連携 関連会議・研修会出席
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業	
1) 在宅ケア等に関する事業【重・１】 (1) 地域包括ケアシステムの推進 ①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及 ・地域包括ケアシステム構築推進の取組み 研修会開催、退院支援・地域連携の推進、県内病院看護管理者懇談会開催 ・３職能委員会の連携	

地域包括ケアシステムにおける看護の役割（地域につなぐ看護研修）、地域と施設の看護職ネットワーク構築 ・支部活動の活性化 - 合同委員会時の支部長会へ副支部長出席、地域の会議内容の共有と意見交換、 - 地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長出席と発言（オブザーバーとの連携） ・地域における看護管理者のネットワーク構築 「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施）、地域単位での多職種連携強化 ・母子のための安心安全な地域ケアの推進 - 医療的ケア児等の体制整備等の会議出席 (2) 訪問看護総合支援センター事業（県委託） ①事業所運営基盤整備支援 - 訪問看護の相談窓口 - 訪問看護事業所経営安定化研修 - 訪問看護普及活動 - 訪問看護総合支援センター事業運営委員会 - 法定研修の実施 ②人材確保 ・看護職の就業及び転職促進 ナースセンターと連携し情報提供、相談対応、就労斡旋 ・訪問看護担い手創出事業 入門コース（1日体験）、実践コース（2から5日体験） ・新任訪問看護師採用に向けた取組（新任訪問看護師育成プログラム作成） ③訪問看護の質の向上 ・教育体制の組織化 - 訪問看護師養成講習会開催 eラーニング活用研修：7月1日～11月21日 - 専門看護師、認定看護師等派遣研修事業：15回 - 訪問看護事業所管理者研修 ・訪問看護に関する情報収集と分析 - 訪問看護事業所実態調査 ④地域での連携強化 ・ブロック会議、連携推進 ・感染症拡大及び災害発生時における訪問看護提供体制の整備、BCP ・連絡協議会との合同会議開催
6. 施設の貸与に関する事業 1) 施設運営に関する事業 (1) 施設の賃貸運営 ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出 ・事務所としての賃貸契約先：日本精神科看護協会山形県支部 ・研修室の外部貸出、自動販売機設置3階 ②看護協会駐車場の貸出 ③訪問看護会館の貸出 研修室、会議室の積極的な貸出
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業 1) 組織に関する事業 (1) 協会組織の強化 ①公益社団法人の円滑な運営 定款の遵守 ②協会事業組織の検討 各種パンフレットの見直し・作成と活用、事務局の役割強化 ③財務基盤の強化 経営戦略室の設置による経営改善の取組み、資産運用による運用収益の確保 ④支部活動の活性化 ・支部運営の強化 - 支部担当執行理事のサポート体制構築、支部規則・本協会との確認事項の周知と徹底、支部活動の効率化、地域密着の活動推進 ・支部長・副支部長会議の開催 支部運営の情報交換、副支部長の参加（支部及び委員会に関する会議時） ・支部長の地域内会議への出席 会議内容の共有 ・地域内の看護職ネットワーク構築 看護管理者会議・職能間の連携会議等、看護管理者懇談会開催と支部長の出席 ・教育委員会の企画による研修会開催 ・「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」開催 - 運営マニュアルの活用、ボランティアの活用、地域密着型「まちの保健室」の推進 ・日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 参加報告の共有 ⑤会員拡大対策の強化 - 新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、協会事業のPRによる会員拡大、各職能委員会による会員拡大の呼びかけ、施設訪問による会員拡大の呼びかけ

(2) 会員意識の高揚と会員拡大

①会員拡大への働きかけ

ホームページの全面リニューアル、新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、
非会員施設・会員施設未加入者への働きかけ（入会案内チラシ等の活用・送付）事業案内パンフレット・
教育計画等の送付、ホームページ・SNSでの広報

②看護学生への働きかけ

看護教育機関への働きかけ（ガイドブック等の活用及び送付）、職能団体活動の講話等、入学式・戴帽式及び
卒業式等への出席（祝電）

③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用

日本看護協会との契約締結・維持、ナースシップシステムによる会員管理、
会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進

2) 組織の運営に関する事業

(1) 組織運営の円滑化

①総会開催 総会運営規則に則った総会運営、総会要綱作成、選挙規則に則った役員改選

②役員等の推薦 改選役員等候補者の推薦

(2) 組織運営に関する会議

①総会 年1回 6月20日（金）

②理事会 6～7回開催予定

③常務理事会 1～2回開催予定

④支部及び委員会活動に関する会議 年2回（7月・1月）令和7年度重点事業と支部・委員会活動に関して

⑤各職能・常任・認定・学会委員会 活動計画の提示と活動支援

(3) 日本看護協会との連携

①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 年1回（6月11・12日：幕張メッセ）

代議員派遣、各支部推薦一般参加への支援

代議員・予備代議員等研修会（5月26日）

②日本看護協会理事会 年6回程度 会長出席

③法人会員会 年5回程度 会長出席

④都道府県看護協会職能委員長会 年2回（8月1日・3月6日）

⑤地区別法人会及び職能委員長会 年1回（10月2・3日：岩手県）

⑥都道府県看護協会政策責任者会議 年1回（9月18日）

⑦都道府県看護協会看護労働担当国会議 年1回（7月17日）

⑧会員情報管理情報交換会 年1回（7月30日）

⑨看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議 年1回（11月中旬）

⑩都道府県ナースセンター事業担当国会議 年1回（4月16日）

⑪都道府県看護協会広報担当役員会議 年1回（11月17日）

⑫都道府県看護協会図書室担当国会議 年1回（9月）

⑬都道府県看護協会健康危機管理担当国会議 年1回（12月）

⑭全国看護基礎教育担当役員会議 年1回（2月）

⑮認定看護管理者教育機関担当国会議 年1回

⑯医療事故調査制度に関する情報交換会 年1回

⑰日本看護サミット 2年1回（2月5日）

⑱訪問看護サミット 年1回

⑲その他会議

都道府県看護協会事務担当国会議 年1回

北海道・東北地区看護協会会長・事務局長連絡協議会

災害支援ナース派遣調整合同訓練

(4) 他団体との連携

管理運営会議・事務局

3) 広報活動に関する事業

(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

①ホームページ及びSNSによる情報提供 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新

②広報誌「山形いぶき」の編集と発行 年4回発行、マスコミ関係・公立図書館等へ送付

③行政、関係団体と連携した広報活動

記者クラブへの投げ込み、ニュースリリース発行、県高齢者支援課へ介護福祉関係施設に対する情報発信協力依頼、
山形県老人保健施設協会・山形県老人福祉施設協議会との連携

④山形県看護協会ホームページ全面リニューアル及びSNSとの連携強化

⑤日本看護協会ニュースの活用 日本看護協会より毎月15日発行

4) 会館管理・運営に関する事業

(1) 会館管理・運営に関する事項

- ①資金計画の円滑な運用 会館維持管理費の適正運用、長期資金計画の見直し検討
- ②会館管理の運営 建物・駐車場の維持管理、施設利用状況把握、使用規程に関する検討
- ③機器類の管理 機器及び諸設備の整備・保守、機器類の貸出
- ④SDGsの取り組み 電子決済導入によるペーパーレス化の推進、新電力による経費削減

(2) 施設の整備・保守・管理

①施設の維持管理

- ・法定保守点検 電気設備（隔月）、火災報知機（年2回）、エレベーター（年4回）
- ・任意保守点検 空調機、自動ドア、AV機器
- ・業務委託関係 警備保障、緑地帯の維持管理、館内外清掃、駐車場除雪（冬季必要時）、
会計管理（消費税、法人税等の税務処理）、ホームページ等の保守・管理

②「訪問看護会館」の維持管理 具体的な計画策定と実施

(3) 防災意識等の高揚

- ①山形県看護協会での防災訓練等 AEDを含む訓練実施（年1回）

(4) 関係団体との連携

- ①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携
アルカディアソフトパーク内の一斉清掃 年2回（4月・10月）、樹木の消毒 年1回、その他親睦会等開催

5) 渉外活動に関する事業

(1) 看護についての諸問題の解決

- ①国・山形県等への陳情 政策・要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
- ②山形県看護連盟との連携 合同会議の検討、合同研修会の企画と実施

(2) 関係機関との協力と連携

①関係機関・団体への参画

関係機関・団体等との連携・参加・名義後援、山形県健康福祉部との業務推進懇談会(再掲)、山形県四師会との連携、
諸会議への参加、諸施策審議会への参加

②行政への働きかけ 要望書の提出

6) 会員の相互扶助に関する事項

(1) 会員の福利厚生への推進

①会員の福利厚生へのPR

- ・表彰候補者の推薦並びに表彰
日本看護協会会長表彰候補者及び名誉会員推薦のための調査と推薦、山形県看護協会看護功労者表彰及び永年会員表彰
候補者推薦、県知事感謝状・功労者知事表彰等候補者推薦
- ・規定による会員への見舞い 災害見舞、慶弔見舞
- ・会員特典の検討
- ・ハウスメーカー、保険会社の斡旋

報告事項 9 令和 7 年度収支予算

令和 7 年度一般会計収支予算書の概要

1 事業活動収支差額について

（事業活動収入	1 4 6, 8 2 9 千円）
（事業活動支出	1 5 5, 8 3 9 千円）
事業活動収支差額	△ 9, 0 1 0 千円
投資活動収支差額	△ 1, 1 3 9 千円
財務活動収支差額	△ 9 6 7 千円
予備費支出	1 0 0 千円
当期収支差額	△ 1 1, 2 1 6 千円

令和 7 年度収支予算の当期収支差額は△11,216千円となり、前期繰越収支差額 87,041千円と相殺すると次期繰越収支差額は75,825千円となります。

2 事業活動収入の内訳について

会費収入	7 0, 6 5 0 千円 (4 8 %)
事業収入	2 7, 3 2 7 千円 (1 9 %)
補助金等収入	4 3, 4 8 9 千円 (3 0 %)
その他収入	5, 3 6 3 千円 (3 %)
事業活動収入計	1 4 6, 8 2 9 千円 (1 0 0 %)

- (1) 会費収入には本会会費、支部会費、会館維持管理費が含まれています。
- (2) 事業収入は各種研修会等の受講料収入です。
- (3) 補助金等収入の主なものは県からの受託事業収入33,296千円、日本看護協会助成金等10,193千円となっています。
- (4) その他収入には、負担金収入780千円、寄付金収入300千円、雑収入2,864千円等を計上しています。

3 事業活動支出の内訳について

事業費支出	1 5 2, 9 4 4 千円
他会計繰出金支出	2, 8 9 5 千円
事業活動支出計	1 5 5, 8 3 9 千円

- (1) 事業費支出
- ① 公益目的事業支出105,372千円、収益事業等支出は17,769千円、法人会計支出は29,803千円を計上しています。
- ② 4支部の事業費支出は6,365千円を計上しています。

令和7年度一般会計収支予算のポイント

令和7年度収支予算のポイント（１）

事業活動収益（科目別内訳）

科目	予算額	%
受取会費	70,650千円	(13)
事業収益	27,327千円	(5)
受託・助成金等収益	43,489千円	(8)
訪問看護事業収益	396,180千円	(71)
その他収益	17,851千円	(3)
事業活動収益計	555,497千円	(100)

- ・事業活動収益は555,497千円で、その科目別内訳は、受取会費が70,650千円（13%）、研修会等の受講料などの事業収益が27,327千円（5%）、県からの受託事業と日本看護協会助成金収益等が43,489千円（8%）、訪問看護事業収益が396,180千円（71%）となっています。
- ・その他収益には、受取負担金、受取寄附金、受取利息、事業外収益、雑収益等を含んでいます。

令和7年度収支予算のポイント（２）

事業活動収益（科目別・会計区分別内訳）

	(千円)			
	合計	公益会計	収益等会計	法人会計
受取会費	70,650	—	21,195	49,455
事業収益	27,327	27,327	—	—
受託・助成金等収益	43,489	41,574	—	1,915
訪問看護事業収益	396,180	396,180	—	—
その他収益	17,851	13,834	2,841	1,176
事業活動収益計	555,497	478,915	24,036	52,546
	100%	87%	4%	9%

- ・受取会費の70,650千円の30% 21,195千円を「収益等会計」の収入に、残り70%の49,455千円を「法人会計」の収入に計上しています。
- ・事業活動収益計555,497千円のうち公益目的事業会計に478,915千円（87%）、収益事業等会計に24,036千円（4%）、法人会計に52,546千円（9%）を計上しています。

令和7年度収支予算のポイント（３）

事業活動費用（会計区分別内訳）

合計	公益会計	収益等会計	法人会計
563,079千円	509,081千円	18,464千円	35,534千円
100%	90%	4%	6%

- ・事業活動費用の合計は、563,079千円となっています。
- ・会計区分別の内訳は、509,081千円（90%）が公益目的事業会計で、18,464千円（4%）がその他本会の目的を達成するために必要な収益等事業会計、35,534千円（6%）が理事会・委員会等の本会運営に必要な法人会計となっています。

収 支 予 算 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	70,650,000	71,955,000	△ 1,305,000
研修会事業収益	27,327,000	29,103,000	△ 1,776,000
県受託収益	33,296,000	33,279,000	17,000
他県受託収益	0	924,000	△ 924,000
日看協受託収益	2,047,000	2,134,000	△ 87,000
日看協助成金収益	8,146,000	8,156,000	△ 10,000
受取負担金	780,000	780,000	0
受取補助金振替額	479,000	479,000	0
受取寄付金	300,000	300,000	0
看護療養費収益	155,500,000	156,876,000	△ 1,376,000
介護報酬収益	198,600,000	208,200,000	△ 9,600,000
介護給付費収益	38,900,000	35,500,000	3,400,000
その他事業収益	3,180,000	2,610,000	570,000
事業外収益	13,304,000	13,755,900	△ 451,900
受取利息	1,023,800	5,300	1,018,500
雑収益	1,964,000	2,225,000	△ 261,000
経常収益計	555,496,800	566,282,200	△ 10,785,400
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	8,168,490	8,606,849	△ 438,359
給料手当	37,017,855	36,423,049	594,806
役員賞与引当金繰入額	307,259	0	307,259
賞与引当金繰入額	2,973,888	2,676,405	297,483
臨時雇賃金	5,684,000	7,146,000	△ 1,462,000
退職給付費用	752,629	841,666	△ 89,037
役員退職慰労引当金繰入額	48,210	150,000	△ 101,790
法定福利費	7,650,834	7,702,278	△ 51,444
福利厚生費	2,667,136	970,956	1,696,180
旅費交通費	9,404,433	9,746,820	△ 342,387
通信運搬費	4,305,510	5,424,019	△ 1,118,509
支払手数料	997,421	935,886	61,535
建物減価償却費	4,869,891	4,869,891	0
建物附属設備減価償却費	808,866	421,474	387,392
什器備品減価償却費	131,449	168,311	△ 36,862
無形固定資産減価償却費	254,549	254,549	0
リース資産減価償却費	672,549	1,386,826	△ 714,277
図書費	531,000	515,000	16,000
消耗什器備品費	300,000	360,000	△ 60,000
消耗品費	3,610,881	3,913,971	△ 303,090
リース料	1,607,996	2,000,954	△ 392,958
修繕費	208,650	208,650	0
食糧費	426,000	383,000	43,000
印刷製本費	3,331,595	3,272,595	59,000
光熱水料費	2,644,986	3,478,196	△ 833,210
広告宣伝費	3,070,000	2,758,000	312,000
賃借料	3,790,000	4,249,000	△ 459,000
保険料	261,129	960,670	△ 699,541
諸謝金	12,129,000	12,205,000	△ 76,000
租税公課	7,376,460	7,424,214	△ 47,754
負担金	578,819	582,993	△ 4,174
業務委託費	2,632,468	2,630,381	2,087
保守管理費	2,430,773	2,328,534	102,239
助成金	600,000	600,000	0
雑費	870,246	694,246	176,000
管理費			
役員報酬	8,274,510	8,671,151	△ 396,641
給料手当	9,195,145	9,865,951	△ 670,806
役員賞与引当金繰入額	648,741	956,000	△ 307,259
賞与引当金繰入額	165,112	148,595	16,517
退職給付費用	236,371	264,334	△ 27,963
役員退職慰労引当金繰入額	101,790	0	101,790
法定福利費	2,420,166	2,315,722	104,444
福利厚生費	944,864	260,044	684,820
旅費交通費	555,567	542,180	13,387
通信運搬費	371,490	485,981	△ 114,491
支払手数料	1,141,579	177,114	964,465
建物減価償却費	2,132,109	2,132,109	0
建物附属設備減価償却費	354,134	184,526	169,608

什器備品減価償却費	57,551	73,689	△ 16,138
無形固定資産減価償却費	537,451	537,451	0
リース資産減価償却費	294,451	607,174	△ 312,723
消耗品費	263,119	315,029	△ 51,910
リース料	704,004	876,046	△ 172,042
修繕費	91,350	91,350	0
食糧費	140,000	204,000	△ 64,000
印刷製本費	921,405	1,133,405	△ 212,000
光熱水料費	1,158,014	1,522,804	△ 364,790
保険料	4,871	225,330	△ 220,459
租税公課	2,472,540	2,441,786	30,754
負担金	100,181	102,007	△ 1,826
業務委託費	1,152,532	1,151,619	913
保守管理費	1,064,227	1,019,466	44,761
雑費	30,754	1,006,754	△ 976,000
事業費			
給料手当（訪問看護）	256,772,000	249,800,000	6,972,000
法定福利費（訪問看護）	43,268,000	40,050,000	3,218,000
医薬品費（訪問看護）	90,000	170,000	△ 80,000
福利厚生費（訪問看護）	13,164,000	4,230,000	8,934,000
旅費交通費（訪問看護）	1,350,000	670,000	680,000
職員被服費（訪問看護）	570,000	740,000	△ 170,000
通信費（訪問看護）	6,710,000	7,500,000	△ 790,000
消耗品費（訪問看護）	2,700,000	3,040,000	△ 340,000
事務費（訪問看護）	3,500,000	3,100,000	400,000
車輛費（訪問看護）	2,450,000	4,770,000	△ 2,320,000
光熱水料費（訪問看護）	3,770,000	5,585,000	△ 1,815,000
賃借料（訪問看護）	3,991,100	3,920,000	71,100
リース料（訪問看護）	10,550,000	14,950,000	△ 4,400,000
保険料（訪問看護）	1,271,000	3,510,000	△ 2,239,000
交際費（訪問看護）	213,000	305,000	△ 92,000
諸会費（訪問看護）	115,500	136,000	△ 20,500
租税公課（訪問看護）	2,517,000	2,026,000	491,000
図書費（訪問看護）	330,000	530,000	△ 200,000
維持管理費（訪問看護）	6,390,000	7,890,000	△ 1,500,000
広告宣伝費（訪問看護）	110,000	110,000	0
研修費（訪問看護）	1,630,000	1,670,000	△ 40,000
修繕費（訪問看護）	470,000	100,000	370,000
諸謝金（訪問看護）	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
印刷製本費（訪問看護）	170,000	400,000	△ 230,000
会議費（訪問看護）	35,000	40,000	△ 5,000
支払手数料（訪問看護）	1,945,000	1,800,000	145,000
退職給付費用（訪問看護）	1,718,300	11,900,000	△ 10,181,700
建物減価償却費（訪問看護）	2,458,352	2,459,000	△ 648
建物附属設備減価償却費（訪問看護）	2,174,474	2,218,000	△ 43,526
構築物減価償却費（訪問看護）	317,996	361,000	△ 43,004
什器備品減価償却費（訪問看護）	315,643	715,000	△ 399,357
雑費（訪問看護）	88,000	61,000	27,000
賞与引当金繰入額（訪問看護）	22,276,000	8,000,000	14,276,000
経常費用計	563,079,365	557,458,000	5,621,365
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,582,565	8,824,200	△ 16,406,765
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,582,565	8,824,200	△ 16,406,765
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,582,565	8,824,200	△ 16,406,765
法人税・住民税・事業税	222,000	222,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,804,565	8,602,200	△ 16,406,765
一般正味財産期首残高	1,051,936,816	1,093,729,304	△ 41,792,488
一般正味財産期末残高	1,044,132,251	1,102,331,504	△ 58,199,253
II 指定正味財産増減の部			
会館建設積立金	12,750,000	13,250,000	△ 500,000
特定資産運用益	4,798,600	2,782,000	2,016,600
一般正味財産への振替額	△ 479,000	△ 479,000	0
当期指定正味財産増減額	17,069,600	15,553,000	1,516,600
指定正味財産期首残高	442,437,208	425,804,851	16,632,357
指定正味財産期末残高	459,506,808	441,357,851	18,148,957
III 正味財産期末残高	1,503,639,059	1,543,689,355	△ 40,050,296

収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会 計 区 分			収益事業等会計					法人会計	内部取引控除	合 計
	公益目的事業会計		施設の貸与・事業 (収益事業)	その他本会の財源に 充てる事業(供託事業)	共 通	小 計					
	公 1	共 通					小 計				
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費	0		0	21,195,000	0	21,195,000			49,455,000		70,650,000
研修会事業収益	27,327,000		27,327,000	0	0	0			0		27,327,000
県受託収益	33,296,000		33,296,000	0	0	0			0		33,296,000
他県受託収益			0	0	0	0			0		0
日看協受託収益	132,000		132,000	0	0	0			1,915,000		2,047,000
日看協助成金収益	8,146,000		8,146,000	0	0	0			0		8,146,000
受取負担金	0		0	780,000	0	780,000			0		780,000
受取補助金・寄付金振替額	305,985		305,985	1,964	25,195	27,159			145,856		479,000
受取寄付金	200,000		200,000	0	100,000	100,000			0		300,000
受取利息	23,800		23,800	0	0	0			1,000,000		1,023,800
雑収益	0		0	1,834,000	0	1,834,000			30,000		1,864,000
看護療養費収益	155,500,000		155,500,000	0	0	0			0		155,500,000
介護報酬収益	198,600,000		198,600,000	0	0	0			0		198,600,000
介護給付費収益	38,900,000		38,900,000	0	0	0			0		38,900,000
その他事業収益	3,180,000		3,180,000	0	0	0			0		3,180,000
事業外収益	13,304,000		13,304,000	0	0	0			0		13,304,000
雑収益	0		0	100,000	0	100,000			0		100,000
経常収益計	478,914,785	0	478,914,785	2,715,964	21,320,195	24,036,159			52,545,856	0	555,496,800
(2) 経常費用											
役員報酬	7,892,243		7,892,243	0	276,247	276,247			8,274,510		16,443,000
給料手当	33,902,121		33,902,121	120,498	2,995,236	3,115,734			9,195,145		46,213,000
役員賞与引当金繰入額	284,506		284,506	0	22,753	22,753			648,741		956,000
賞与引当金繰入額	2,927,431		2,927,431	0	46,457	46,457			165,112		3,139,000
臨時雇賃金	5,684,000		5,684,000	0	0	0			0		5,684,000
役員退職慰労引当金繰入額	44,640		44,640	0	3,570	3,570			101,790		150,000
退職給付費用	690,817		690,817	4,846	56,966	61,812			236,371		989,000
法定福利費	7,200,182		7,200,182	32,587	418,065	450,652			2,420,166		10,071,000
福利厚生費	2,178,196		2,178,196	12,722	476,218	488,940			944,864		3,612,000
旅費交通費	4,084,582		4,084,582	62	5,319,789	5,319,851			555,567		9,960,000
通信運搬費	3,174,336		3,174,336	5,002	1,126,172	1,131,174			371,490		4,677,000
支払手数料	873,614		873,614	0	123,807	123,807			1,141,579		2,139,000
建物減価償却費	4,472,878		4,472,878	28,708	368,305	397,013			2,132,109		7,002,000
建物附属設備減価償却費	742,924		742,924	4,768	61,174	65,942			354,134		1,163,000
什器備品減価償却費	120,733		120,733	775	9,941	10,716			57,551		189,000
無形固定資産減価償却費	235,699		235,699	0	18,850	18,850			537,451		792,000
リース資産減価償却費	617,720		617,720	3,965	50,864	54,829			294,451		967,000
図書費	531,000		531,000	0	0	0			0		531,000
消耗什器備品費	10,000		10,000	0	290,000	290,000			0		300,000
消耗品費	2,799,542		2,799,542	3,206	808,133	811,339			263,119		3,874,000
リース料	1,476,906		1,476,906	9,479	121,611	131,090			704,004		2,312,000

(単位：円)

科	会 計 区 分		公益目的事業会計		収益事業等会計					内部取引控除	合 計
	目	公 1	共 通	小 計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他本部の附随する ために必要事業(非営業)	共 通	小 計	法人会計		
	修繕費	191,640		191,640	1,230	15,780		17,010	91,350		300,000
	食糧費	273,000		273,000	0	153,000		153,000	140,000		566,000
	印刷製本費	2,318,492		2,318,492	369	1,012,734		1,013,103	921,405		4,253,000
	光熱水料費	2,429,356		2,429,356	15,592	200,038		215,630	1,158,014		3,803,000
	広告宣伝費	557,000		557,000	0	2,513,000		2,513,000	0		3,070,000
	賃借料	3,661,000		3,661,000	0	129,000		129,000	0		3,790,000
	保険料	133,221		133,221	66	127,842		127,908	4,871		266,000
	諸謝金	12,064,000		12,064,000	0	65,000		65,000	0		12,129,000
	租税公課	6,916,056		6,916,056	33,292	427,112		460,404	2,472,540		9,849,000
	負担金	350,165		350,165	1,349	227,305		228,654	100,181		679,000
	業務委託費	2,417,858		2,417,858	15,519	199,091		214,610	1,152,532		3,785,000
	保守管理費	2,232,606		2,232,606	14,330	183,837		198,167	1,064,227		3,495,000
	助成金	600,000		600,000	0	0		0	0		600,000
	雑費	562,519		562,519	414	307,313		307,727	30,754		901,000
	給料手当 (訪問看護)	256,772,000		256,772,000							256,772,000
	法定福利費 (訪問看護)	43,268,000		43,268,000							43,268,000
	医薬品費 (訪問看護)	90,000		90,000							90,000
	福利厚生費 (訪問看護)	13,164,000		13,164,000							13,164,000
	旅費交通費 (訪問看護)	1,350,000		1,350,000							1,350,000
	職員被服費 (訪問看護)	570,000		570,000							570,000
	通信費 (訪問看護)	6,710,000		6,710,000							6,710,000
	消耗品費 (訪問看護)	2,700,000		2,700,000							2,700,000
	事務費 (訪問看護)	3,500,000		3,500,000							3,500,000
	車輦費 (訪問看護)	2,450,000		2,450,000							2,450,000
	光熱水料費 (訪問看護)	3,770,000		3,770,000							3,770,000
	賃借料 (訪問看護)	3,991,100		3,991,100							3,991,100
	リース料 (訪問看護)	10,550,000		10,550,000							10,550,000
	保険料 (訪問看護)	1,271,000		1,271,000							1,271,000
	交際費 (訪問看護)	213,000		213,000							213,000
	諸公費 (訪問看護)	115,500		115,500							115,500
	租税公課 (訪問看護)	2,517,000		2,517,000							2,517,000
	図書費 (訪問看護)	330,000		330,000							330,000
	維持管理費 (訪問看護)	6,390,000		6,390,000							6,390,000
	広告宣伝費 (訪問看護)	110,000		110,000							110,000
	研修費 (訪問看護)	1,630,000		1,630,000							1,630,000
	修繕費 (訪問看護)	470,000		470,000							470,000
	諸謝金 (訪問看護)	1,000,000		1,000,000							1,000,000
	印刷製本費 (訪問看護)	170,000		170,000							170,000
	会議費 (訪問看護)	35,000		35,000							35,000
	支払手数料 (訪問看護)	1,945,000		1,945,000							1,945,000
	退職給付費用 (訪問看護)	1,718,300		1,718,300							1,718,300
	建物減価償却費 (訪問看護)	2,458,352		2,458,352							2,458,352
	建物附属設備減価償却費 (訪問看護)	2,174,474		2,174,474							2,174,474
	構築物減価償却費 (訪問看護)	317,996		317,996							317,996
	什器備品減価償却費 (訪問看護)	315,643		315,643							315,643
	雑費 (訪問看護)	88,000		88,000							88,000
	賞与引当金繰入 (訪問看護)	22,276,000		22,276,000							22,276,000

(単位：円)

科 目	会 計 区 分			公益目的事業会計					収益事業等会計				内部取引控除	合 計
	公 1	共 通	小 計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の財政運営に ために必要とする事業(公益事業)	共 通	小 計	法人会計						
経常費用計 評価損益等調整前当期経常増減額 評価損益等計 当期経常増減額 2. 経常外増減の部 (1) 経常外収益 経常外収益計 (2) 経常外費用 経常外費用計 当期経常外増減額 他会計振替額 (共益事業2分の1) 他会計振替額 (共益事業2分の1超部分) 他会計振替額 (収益事業2分の1) 他会計振替額 (収益事業2分の1超部分) 他会計振替額 (上記以外) 税引前当期一般正味財産増減額 法人税・住民税・事業税 法人税等調整額 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 指定正味財産増減の部 会館建設積立金 特定資産運用益 一般正味財産への振替額 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高 正味財産期末残高	509,081,348	0	509,081,348	308,779	18,155,210	0	18,463,989	35,534,028	0	563,079,365				
	△ 30,166,563	0	△ 30,166,563	2,407,185	3,164,985	0	5,572,170	17,011,828	0	△ 7,582,565				
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	△ 30,166,563	0	△ 30,166,563	2,407,185	3,164,985	0	5,572,170	17,011,828	0	△ 7,582,565				
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	971,050		971,050		△ 971,050		△ 971,050			0				
	971,050		971,050		△ 971,050		△ 971,050			0				
1,193,193		1,193,193	△ 1,193,193			△ 1,193,193			0					
1,193,193		1,193,193	△ 1,193,193			△ 1,193,193			0					
△ 30,166,563	4,328,486	△ 25,838,077	20,799	1,222,885	0	1,243,684	17,011,828	0	△ 7,582,565					
202,000		202,000				0	20,000		222,000					
△ 30,368,563	4,328,486	△ 26,040,077	20,799	1,222,885	0	1,243,684	16,991,828	0	△ 7,804,565					
		682,741,710				52,477,561	316,717,545		1,051,936,816					
		656,701,633				53,721,245	333,709,373	0	1,044,132,251					
8,144,700	0	8,144,700	52,275	670,650	0	722,925	3,882,375		12,750,000					
3,065,346	0	3,065,346	19,674	252,406	0	272,080	1,461,174		4,798,600					
△ 305,985	0	△ 305,985	△ 1,964	△ 25,195	0	△ 27,159	△ 145,856		△ 479,000					
10,904,061	0	10,904,061	69,985	897,861	0	967,846	5,197,693	0	17,069,600					
		282,665,008				25,080,523	134,691,677		442,437,208					
		293,569,069				26,048,369	139,889,370	0	459,506,808					
		950,270,702				79,769,614	473,598,743	0	1,503,639,059					

収支予算書内訳表(公益目的事業会計)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く職場の改善 施設の向上による民の健及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
1) 経常収益		0	0	0	0	0	0	0	0
①受取会費									
(2)事業収益		26,447,000	440,000	0	0	440,000	0	0	27,327,000
①研修会事業収益		26,447,000	440,000			440,000			27,327,000
(3)補助金等		14,875,000	0	1,000,000	25,592,000	107,000	0	0	41,574,000
①県受託収益		6,697,000		1,000,000	25,492,000	107,000			33,296,000
②他県受託収益									0
③日看協受託収益		132,000							132,000
④その他受託収益									0
⑤日看協助成金収益		8,046,000	0	0	100,000	0	0	0	8,146,000
(4)受取負担金		0							0
①受取負担金									
(5)受取寄付金		0	0	0	200,000	0	305,985	0	505,985
①受取寄付金					200,000				200,000
(6)雑収益		0	0	0	0	0	305,985	23,800	305,985
①受取利息							0	23,800	23,800
②その他の雑収益									
(7)訪問看護事業収益		0	0	0	0	0	0	409,484,000	409,484,000
①看護療養費収益								155,500,000	155,500,000
②介護報酬収益								198,600,000	198,600,000
③介護給付費収益								38,900,000	38,900,000
④その他事業収益								3,180,000	3,180,000
⑤事業外収益								13,304,000	13,304,000
経常収益計		41,322,000	440,000	1,000,000	25,792,000	547,000	305,985	409,507,800	478,914,785
2) 経常費用									
(1)事業費									
役員報酬				373,000	15,078,000		7,892,243		7,892,243
給料手当		2,072,000					16,379,121		33,902,121
賞与引当金繰入額							2,927,431		2,927,431
役員賞与引当金繰入額							284,506		284,506
臨時雇賃金		5,684,000							5,684,000
役員退職慰労引当金繰入額							44,640		44,640
退職給付費用							690,817		690,817
法定福利費		132,000			2,123,000		5,077,182		7,200,182
福利厚生費					64,000		1,982,196		2,178,196
旅費交通費		3,198,000	85,000	18,000	773,000	1,000	9,582		4,084,582
通信運搬費		1,390,000	17,000	30,000	936,000	22,000	779,336		3,174,336
支払手数料		678,000	3,000	10,000	102,000	8,000	72,614		873,614

(単位：円)

科	目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く環境の改善及び 福祉の向上による職員の働き 易化の推進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
	建物減価償却費							4,472,878		4,472,878
	建物附属設備減価償却費							742,924		742,924
	什器備品減価償却費							120,733		120,733
	無形固定資産減価償却費							235,699		235,699
	リース資産減価償却費							617,720		617,720
	図書費	531,000								531,000
	消耗什器備品費					10,000				10,000
	消耗品費	1,310,000		20,000	31,000	911,000	28,000	499,542		2,799,542
	リース料							1,476,906		1,476,906
	修繕費					34,000	1,000	191,640		191,640
	食糧費	226,000		12,000						273,000
	印刷製本費	949,000		86,000	3,000	1,221,000	2,000	57,492		2,318,492
	光熱水料費							2,429,356		2,429,356
	広告宣伝費					557,000		0		557,000
	賃借料	1,642,000			112,000	1,863,000	44,000			3,661,000
	保険料	20,000			0	64,000	39,000	10,221		133,221
	諸謝金	10,752,000		146,000	416,000	345,000	405,000			12,064,000
	租税公課					1,729,000		5,187,056		6,916,056
	負担金	20,000				120,000		210,165		350,165
	業務委託費							2,417,858		2,417,858
	保守管理費							2,232,606		2,232,606
	助成金	430,000		3,000	7,000	300,000	300,000	64,519		600,000
	雑費					58,000				562,519
	給料手当 (訪問看護)								256,772,000	256,772,000
	法定福利費 (訪問看護)								43,268,000	43,268,000
	医薬品費 (訪問看護)								90,000	90,000
	福利厚生費 (訪問看護)								13,164,000	13,164,000
	旅費交通費 (訪問看護)								1,350,000	1,350,000
	職員被服費 (訪問看護)								570,000	570,000
	通信費 (訪問看護)								6,710,000	6,710,000
	消耗品費 (訪問看護)								2,700,000	2,700,000
	事務費 (訪問看護)								3,500,000	3,500,000
	車輻費 (訪問看護)								2,450,000	2,450,000
	光熱水料費 (訪問看護)								3,770,000	3,770,000
	賃借料 (訪問看護)								3,991,100	3,991,100
	リース料 (訪問看護)								10,550,000	10,550,000
	保険料 (訪問看護)								1,271,000	1,271,000
	交際費 (訪問看護)								213,000	213,000
	諸会費 (訪問看護)								115,500	115,500
	租税公課 (訪問看護)								2,517,000	2,517,000
	図書費 (訪問看護)								330,000	330,000
	維持管理費 (訪問看護)								6,390,000	6,390,000
	広告宣伝費 (訪問看護)								110,000	110,000
	研修費 (訪問看護)								1,630,000	1,630,000
	修繕費 (訪問看護)								470,000	470,000
	諸謝金 (訪問看護)								1,000,000	1,000,000

(単位：円)

科	目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護と取り巻く環境の立廻り 向上による県民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
I	印刷製本費 (訪問看護)								170,000	170,000
	会議費 (訪問看護)								35,000	35,000
	支払手数料 (訪問看護)								1,945,000	1,945,000
	退職給付費用 (訪問看護)								1,718,300	1,718,300
	建物減価償却費 (訪問看護)								2,458,352	2,458,352
	建物附属設備減価償却費 (訪問看護)								2,174,474	2,174,474
	構築物減価償却費 (訪問看護)								317,996	317,996
	什器備品減価償却費 (訪問看護)								315,643	315,643
	ソフトウェア減価償却費 (訪問看護)								0	0
	雑費 (訪問看護)								88,000	88,000
II	賞与引当金繰入額 (訪問看護)								22,276,000	22,276,000
	役員退職慰労引当金繰入額 (訪問看護)								0	0
	経常費用計		29,034,000	372,000	1,000,000	26,288,000	850,000	57,106,983	394,430,365	509,081,348
	当期経常増減額		12,288,000	68,000	0	△ 496,000	△ 303,000	△ 56,800,998	15,077,435	△ 30,166,563
	2. 経常外増減の部									
	1) 経常外収益		0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0
	2) 経常外費用		0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額									
III	他会計振替額									
	税引前当期一般正味財産増減額		12,288,000	68,000	0	△ 496,000	△ 303,000	△ 52,472,512	15,077,435	△ 25,838,077
	法人税・住民税・事業税							202,000		202,000
	当期一般正味財産増減額		12,288,000	68,000	0	△ 496,000	△ 303,000	△ 52,674,512	15,077,435	△ 26,040,077
	一般正味財産期首残高									682,741,710
	一般正味財産期末残高									656,701,633
	II 指定正味財産増減の部									
	会館建設債立金									
	受取利息							8,144,700		8,144,700
	一般正味財産への振替額							3,065,346		3,065,346
IV	当期指定正味財産増減額							△ 305,985	0	△ 305,985
	指定正味財産期首残高							10,904,061		10,904,061
	指定正味財産期末残高									282,665,008
	正味財産期末残高								0	293,569,069
										950,270,702

(注) 本会は、その公益目的事業のすべてをひとつの公益目的事業として公益社団法人への移行認定を受けている。そのため、公益目的事業会計内の個々の定款事業には、当該年度の一般正味財産増減額及び指定正味財産増減額のみを記載し、一般正味財産及び指定正味財産の期首残高及び期末残高は公益目的事業会計の合計額に記載する。

一般会計資金収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	その他 本会の目的を達成する ために必要な事業(共益事業)	計			
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入	0	0	21,195,000	21,195,000	49,455,000		70,650,000
(1)会費収入			21,195,000	21,195,000	49,455,000		70,650,000
①会費収入		0	0	0	0		27,327,000
(2)事業収入	27,327,000						27,327,000
①研修会事業収入	27,327,000						27,327,000
(3)補助金等収入	41,574,000	0	0	0	1,915,000	0	43,489,000
①県受託収入	33,296,000						33,296,000
②他県受託収入							0
③日看協受託収入	132,000			0	1,915,000		2,047,000
④その他受託収入							0
⑤日看協助成金収入	8,146,000						8,146,000
(4)負担金収入	0	780,000	0	780,000	0		780,000
①負担金収入	0	780,000		780,000			780,000
(5)寄付金収入	200,000	0	100,000	100,000	0		300,000
①寄付金収入	200,000		100,000	100,000			300,000
(6)雑収入	0	1,834,000	0	1,834,000	1,030,000		2,864,000
①受取利息収入					1,000,000		1,000,000
②雑収入	0	1,834,000		1,834,000	30,000		1,864,000
(7)他会計からの繰入金収入	0	0	0	0	1,419,000		1,419,000
①他会計からの繰入金収入					1,419,000		1,419,000
事業活動収入計	69,101,000	2,614,000	21,295,000	23,909,000	53,819,000	0	146,829,000
2. 事業活動支出							
(1)事業費支出							
①役員報酬支出	5,571,081		194,998	194,998	6,238,921		12,005,000
②給料手当支出	33,902,121	120,498	2,995,236	3,115,734	9,195,145		46,213,000
③臨時雇賃金支出	5,684,000			0			5,684,000
④役員賞与引当金支出	284,506		22,753	22,753	648,741		956,000
⑤賞与引当金支出	2,894,790		45,939	45,939	163,271		3,104,000
⑥役員退職慰労金支出				0			0
⑦退職給付支出				0			0
⑧法定福利費	7,200,182	32,587	418,065	450,652	2,420,166		10,071,000
⑨福利厚生費支出	2,178,196	12,722	476,218	488,940	944,864		3,612,000
⑩旅費交通費支出	4,084,582	62	5,319,851	5,319,851	555,567		9,960,000
⑪通信運搬費支出	3,174,336	5,002	1,126,172	1,131,174	371,490		4,677,000
⑫手数料支出	873,614		123,807	123,807	1,141,579		2,139,000
⑬図書費支出	531,000			0			531,000
⑭消耗什器備品費支出	10,000		290,000	290,000			300,000
⑮消耗品費支出	2,799,542	3,206	808,133	811,339	263,119		3,874,000
⑯リース料支出	1,476,906	9,479	121,611	131,090	704,004		2,312,000
⑰修繕費支出	191,640	1,230	15,780	17,010	91,350		300,000
⑱食糧費支出	273,000		153,000	153,000	140,000		566,000

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	(単位：円) 合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達成する ために必要な事業(公益事業)	計			
①印刷製本費支出	2,318,492	369	1,012,734	1,013,103	921,405		4,253,000
②光熱水料費支出	2,429,356	15,592	200,038	215,630	1,158,014		3,803,000
③広告宣伝費支出	557,000		2,513,000	2,513,000			3,070,000
④賃借料支出	3,661,000		129,000	129,000			3,790,000
⑤保険料支出	133,221	66	127,842	127,908	4,871		266,000
⑥諸謝金支出	12,064,000		65,000	65,000			12,129,000
⑦租税公課支出	6,916,056		427,112	460,404	2,492,540		9,869,000
⑧負担金支出	350,165	33,292	227,305	228,654	100,181		679,000
⑨業務委託費支出	2,417,858	1,349	199,091	214,610	1,152,532		3,785,000
⑩保守管理費支出	2,232,606	14,330	183,837	198,167	1,064,227		3,495,000
⑪助成金支出	600,000		0	0			600,000
⑫雑支出	562,519	414	307,313	307,727	30,754		901,000
(2)他会計への繰出金支出					2,895,000		2,895,000
①他会計への繰入金支出							
事業活動収支差額	105,371,769	265,717	17,503,773	17,769,490	32,697,741	0	155,839,000
	△ 36,270,769	2,348,283	3,791,227	6,139,510	21,121,259	0	△ 9,010,000
Ⅱ投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
(1)特定資産取崩収入							
①役員退職慰労引当資産取崩収入							0
②退職給付引当資産取崩収入				0			0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出							
(1)固定資産取得支出							
(2)特定資産取得支出							
①役員退職慰労引当資産取得支出	44,640	0	3,570	3,570	101,790		0
②退職給付引当資産取得支出	690,817	4,846	56,966	61,812	236,371		150,000
投資活動支出計	735,457	4,846	60,536	65,382	338,161	0	989,000
投資活動収支差額	△ 735,457	△ 4,846	△ 60,536	△ 65,382	△ 338,161	0	△ 1,139,000
Ⅲ財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出							
①リース債務返済支出	617,720	3,965	50,864	54,829	294,451		967,000
財務活動支出計	617,720	3,965	50,864	54,829	294,451	0	967,000
財務活動収支差額	△ 617,720	△ 3,965	△ 50,864	△ 54,829	△ 294,451	0	△ 967,000
Ⅳ予備費支出							
当期収支差額						0	100,000
前期繰越収支差額						0	△ 11,216,000
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	87,041,087
							75,825,087

報告事項10 令和6年度 4支部事業報告・決算報告

[山形支部]

令和6年度山形支部事業報告

事業		内 容
支部運営に関する事	1. 支部活動の運営	1. (1)役員会 11回／年開催 ・理事会・支部長会議等の報告、研修会と新人看護師交流会の企画・運営・評価（アンケート結果）等、「まちの保健室」について ・支部業務簡素化検討 ・次年度支部運営（事業計画案・収支決算・予算案含）について
	2. 本会事業への参画	2. 日本看護協会通常総会への参加 6月6日～7日 東京国際フォーラム 3名参加
	3. 支部活動の広報	3. 広報誌「山形いぶき」への掲載 令和6年11月発行「山形いぶきVol.167」に支部活動報告を掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関する事	1. 地域住民の健康づくり支援	1. 「まちの保健室」の開催（健康チェック、健康相談、保健指導） 1) 7月20日 山形市児童遊戯施設（べにっこひろば） 参加者12名 2) 9月28、29日 やまがた健康フェア2024（イオンモール天童） 参加者 延100名 3) 11月17日 朝日町産業まつり（朝日町体育館） 参加者 延356名 4) 2月22日 天童最上川温泉施設（ゆびあ） 参加者49名
	2. 地域内の関連団体との連携強化	2. 地域の会議への参加 1) 東南村山地域看護管理者会 出席者：高橋真理子 （7月4日、10月29日、1月30日） 2) 村山地域保健医療協議会 出席者：保立美枝子 （7月28日、10月3日、3月14日） 3) 第2回西北村山地域等看護力連携会議及び研修会（11月8日） 出席者：同上 4) 寒河江市西村山郡医師会主治医研修会（2月20日） 出席者：同上
会員の教育・リフレッシュに関する事	1. 会員のニーズに沿った研修	1. 研修・講演会の開催 1) 8月31日 第1回支部研修会 参加者59名 第1部「つなげよう看護機能part2」 山形県看護協会 会長 若月裕子氏 第2部「レジリエンス折れない心で生き生きと働き続けるために」 オフィス ナースカレッジ代表 江口智子氏 2) 1月21日 第2回支部研修 新人看護職交流会 参加者62名 新人看護師対象「職場の中のコミュニケーション」 山形市立病院済生館 船田恭佳氏 公立学校共済組合東北中央病院 佐藤璃奈氏 社会医療法人みゆき会みゆき会病院 福澤日菜氏 新人看護師同士のグループワーク（意見交換） 「1年経過して思うこと、2年目への抱負」

令和 6 年度山形支部収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	3,658,500	3,658,500	0	会員数 4,065 名 × 900 円
(2) 研修会事業収入	0	1,000	△ 1,000	非会員研修参加費 1,000 円 × 1 名
(3) 雑収入	0	1,427	△ 1,427	利息
①受取利息	0	1,427	△ 1,427	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	3,658,500	3,660,927	△ 2,427	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	2,936,500	1,322,048	1,614,452	
				(1) 「まちの保健室」 43,832
				(2) 研修会 220,943
				(3) 日本看護協会通常総会 130,350
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 926,923
1. 福利厚生費支出	20,000	9,240	10,760	役員・委員・協力員の傷害保険
2. 旅費交通費支出	1,430,000	484,600	945,400	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	215,000	138,068	76,932	郵送料 等
4. 支払手数料支出	10,000	9,570	430	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	200,000	0	200,000	
6. 消耗品費支出	280,000	31,265	248,735	事務用品 等
7. 食糧費支出	105,000	64,828	40,172	役員会弁当、研修会弁当、講師茶菓子代
8. 印刷製本費支出	60,000	0	60,000	
9. 賃借料支出	30,000	0	30,000	
10. 広告宣伝費支出	20,000	0	20,000	
11. 諸謝金支出	100,000	170,365	△ 70,365	講師料
12. 負担金支出	406,500	406,500	0	会員数 4,065 名 × 100 円 (注)
13. 雑支出	60,000	7,612	52,388	クリーニング代 等
事業活動支出計	2,936,500	1,322,048	1,614,452	
事業活動収支差額	722,000	2,338,879	△ 1,616,879	
予備費支出	722,000	-		
当期収支差額	0	2,338,879	△ 2,338,879	

※当期収支差額 2,338,879 円は本部へ返金

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[最北支部]

令和6年度最北支部事業報告

事業		内 容
支部運営に関する事 業	1. 支部活動の活性化	1. (1) 役員会 9回/年開催 ・理事会・支部長会議等の報告、第1回研修会と新人看護師交流会の企画・運営・評価(アンケート結果)等、「まちの保健室」について ・ネットバンク利用の検討 ・次年度支部運営(事業計画案・収支決算・予算案含)について
	2. 本会事業への参画	2. 日本看護協会通常総会への参加 6月6日 東京国際フォーラム 2名参加
	3. 支部活動の広報	3. 広報誌「山形いぶき」への掲載 令和7年1月発行「山形いぶきVol.168」に支部活動報告を掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関する事 業	1. 地域住民の健康づくり支援	1. 「まちの保健室」の開催(健康チェック、健康相談、保健指導) 1) 11月9日 北村山地区 まなびあテラス 参加者18名 2) 11月10日 最上地区 県立新庄病院 参加者101人
	2. 地域内の関連団体との連携強化	2. 地域の会議への参加 1) 12月13日 最上地域看護管理者ネットワーク会議 出席者: 阿相由美 2) 2月27日 最上地域保健医療協議会 出席者: 田中麗理子 3) 3月11日 最上地域医療的ケア児支援会議 出席者: 阿相由美
会員の教育・リフレッシュに関する事 業	1. 会員のニーズに沿った研修計画	1. 研修・講演会の開催 1) 10月11日 第1回支部研修会 参加者28名 懇談会「退院支援について情報交換会」 講話「つなげよう看護機能part2」 山形県看護協会 会長 若月裕子氏 リフレッシュ研修「ラフターヨガ」 柴田とも子氏 他スタッフ 2) 1月24日 第2回支部研修 新人看護職交流会 参加者28名 講演「先輩看護職者から学ぶキャリア」 山形県立新庄病院 森 道子氏 鮭川訪問看護ステーション 梅津里香氏

令和 6 年度最北支部収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	675,000	675,000	0	会員数 750 名×900 円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	172	△ 172	
①受取利息	0	172	△ 172	利息
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	675,000	675,172	△ 172	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	675,000	564,121	110,879	
				(1) 「まちの保健室」 28,695
				(2) 研修会 121,213
				(3) 日本看護協会通常総会 105,340
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 308,873
1. 福利厚生費支出	10,000	8,400	1,600	役員・委員の傷害保険 等
2. 旅費交通費支出	410,000	358,600	51,400	常任委員会、講師、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	65,000	47,788	17,212	たより送料、切手 等
4. 支払手数料支出	5,000	2,420	2,580	振込手数料
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	30,000	3,296	26,704	コピー使用料、日常消耗品、事務用品 等
7. 食糧費支出	15,000	15,607	△ 607	講師茶菓
8. 印刷製本費支出	10,000	13,200	△ 3,200	名前入り封筒作製費用
9. 賃借料支出	15,000	2,800	12,200	会場使用料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	30,000	33,410	△ 3,410	講師料
12. 負担金支出	75,000	75,000	0	会員数 750 名×100 円 (注)
13. 雑支出	10,000	3,600	6,400	クリーニング代
事業活動支出計	675,000	564,121	110,879	
事業活動収支差額	0	111,051	△ 111,051	
予備費支出		-		
当期収支差額	0	111,051	△ 111,051	

※当期収支差額 111,051 円は本部へ返金

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[庄内支部]

令和6年度庄内支部事業報告

事業		内 容
支部運営に関する こと	1. 支部活動の運営	1. (1) 役員会 (2) 常任委員会①教育委員会②まちの保健室 事業推進委員会 (3) 合同会議 ・10回／年開催 三川町公民館 (14時～17時) ・理事会・支部長会議等の報告、第1回研修会と新人看護師交 流会の企画・運営・評価 (アンケート結果) 等、「まちの保 健室」について ・次年度支部運営 (事業計画案・収支決算・予算案含) ついて
	2. 本会事業への参画	2. 日本看護協会通常総会への参加 6月6日 東京国際フォーラム 3名参加
	3. 支部活動の広報	3. 広報誌「山形いぶき」への掲載 令和6年11月発行「山形いぶきVol.167」に支部活動報告を掲載
地域住民の健康・福祉の 増進に関する こと	1. 地域住民の健康づくり支援	1. 「まちの保健室」の開催 (健康チェック、健康相談、保健指導) 1) 第26回 国際ノルディックウォークin鶴岡 (湯浜小学校) 参加者127名 2) 鶴岡市健康づくり強調月間事業 オープニングイベント 参加者180名 3) 「健康に役立つ展示&クイズ」鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる 乳がんについてのポスター展示と乳がん自己チェック表設置 参加者3,105名
	2. 地域内の関連団体との連携 強化	2. 地域の会議への参加 出席者：中村美穂 1) 庄内地域看護管理者ネットワーク会議 (6月3日、2月26日) 2) 庄内地域看護管理者及び行政保健師研修会 講師 蘆野保健所長 3) 庄内地域看護管理者ネットワーク事務局会議 (5月26日、7月19日、11月25日) 4) 庄内地域保健医療協議会 (庄内地域医療構想調整会議) (1月20日)
会員の教育・リフレッシュに 関する こと	1. 会員のニーズに沿った研修 計画	1. 研修・講演会の開催 1) 9月1日 第1回支部研修会 参加者214名 第1部「つなげよう看護機能Prat2」 山形県看護協会 会長 若月裕子氏 「庄内地域の訪問看護の現状と課題」 ～訪問看護の立場から～ 訪問看護ステーションにこ 管理者 川俣沙織氏 第2部「各施設の立場から」シンポジウム 座長 鶴岡市立庄内病院 副院長兼看護部長 原田あけみ氏 【シンポジスト】 公益社団法人山形県看護協会 会長 若月裕子氏 訪問看護ステーションにこ 管理者 川俣沙織氏 医療生活協同組合やまがた 法人看護部長 本間優子氏 医療法人健友会本間病院 在宅事業部次長 土門祐氏 2) 2月27日 第2回支部研修 新人看護職交流会 参加者56名 講演「先輩看護師からのエール」 日本海総合病院 三浦萌花氏 「新人時代から今の自分に至るまで」 庄内余目病院 後藤彩氏 グループワーク (意見交換)「1年経過して思うこと・2 年目への抱負」

令和 6 年度庄内支部収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,605,600	1,605,600	0	会員数 1,784名×900円
(2) 研修会事業収入	0	10,000	△ 10,000	非会員研修参加費 1,000円×10名
(3) 雑収入	0	469	△ 469	
①受取利息	0	469	△ 469	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,605,600	1,616,069	△ 10,469	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,605,600	999,899	605,701	
				(1)「まちの保健室」 19,971
				(2) 研修会 289,903
				(3) 日本看護協会通常総会 126,140
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 563,885
1. 福利厚生費支出	16,000	14,000	2,000	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	656,200	464,762	191,438	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	80,000	59,546	20,454	送料、切手、Zoom契約費
4. 支払手数料支出	10,000	2,860	7,140	振込手数料
5. 消耗什器備品費支出	60,000	0	60,000	
6. 消耗品費支出	60,000	76,225	△ 16,225	花代、事務消耗品 等
7. 食糧費支出	15,000	33,639	△ 18,639	講師茶菓代 等
8. 印刷製本費支出	200,000	23,100	176,900	研修会資料印刷
9. 賃借料支出	200,000	68,640	131,360	会場使用料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	120,000	78,727	41,273	研修会講師謝金
12. 負担金支出	178,400	178,400	0	会員数 1,784名×100円（注 1）
13. 雑支出	10,000	0	10,000	
事業活動支出計	1,605,600	999,899	605,701	
事業活動収支差額	0	616,170	△ 616,170	
予備費支出		-		
当期収支差額	0	616,170	△ 616,170	

※当期収支差額 616,170円は本部へ返金

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[置賜支部]

令和6年度置賜支部事業報告

事業		内 容
支部運営に関する事	1. 支部活動の運営	1. (1) 役員会 9回／年開催 ・理事会・支部長会議等の報告、第1回研修会と新人看護師交流会の企画・運営・評価（アンケート結果）等、「まちの保健室」について ・ネットバンク利用の検討 ・次年度支部運営（事業計画案・収支決算・予算案含）について
	2. 本会事業への参画	2. 日本看護協会通常総会への参加 6月6日～7日 東京国際フォーラム 4名参加
	3. 支部活動の広報	3. 広報誌「山形いぶき」への掲載 令和7年1月発行「山形いぶきVol.168」に支部活動報告を掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関する事	1. 地域住民の健康づくり支援	1. 「まちの保健室」の開催（健康・手洗いチェック、健康相談、介護相談） 1) 7月 川西入浴施設「まどか」 参加者25名 2) 9月 米沢市「西連寺」 参加者26名 3) 11月 長井平野地区「コミュニティセンター」 参加者80名
	2. 地域内の関連団体との連携強化	2. 地域の会議等への参加 出席者：岩崎清美 1) 4月9日 三友堂看護専門学校入学式 2) 置賜地域看護管理者会議 事務局会（5月17日、11月28日、3月7日） 3) 6月20日 米沢医療連携推進法人よねざわヘルスネット（Zoom） 4) 置賜看護管理者会（6月21日、12月6日） 5) 10月6日 米沢市総合防災訓練 6) 2月19日 置賜保健医療協議会 在宅医療専門部会（Zoom） 7) 米沢市立病院地域医療ネットワーク会議
会員の教育・リフレッシュに関する事		1. 研修・講演会の開催 1) 第1回支部研修会 参加者49名 第1部 看護協会長講話「つなげよう看護機能part2」 山形県看護協会 会長 若月裕子氏 座談会形式～地域包括ケアシステム・つなぐ看護機能・現場で大切にしたいこと～ 第2部 講演「病院へ入院する高齢者へのアプローチ」 公立高島病院 認知症看護認定看護師 我孫子久美氏 2) 第2回支部研修 新人交流会 参加者48名 第1部 高齢者とのコミュニケーション 公立置賜総合病院 認知症看護認定看護師 田中明美氏 第2部 ワールドカフェ形式でのグループワーク 「いきいき働くためにコミュニケーションで大切にしていること」

令和 6 年度置賜支部収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,171,800	1,171,800	0	会員数 1,302名×900円
(2) 研修会事業収入	0	9,000	△ 9,000	非会員研修参加費 1,000円×9名
(3) 雑収入	0	283	△ 283	
①受取利息	0	283	△ 283	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,171,800	1,181,083	△ 9,283	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,171,800	812,730	359,070	
				(1) 「まちの保健室」 77,108
				(2) 研修会 81,904
				(3) 日本看護協会通常総会 212,280
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 441,438
1. 福利厚生費支出	14,000	8,650	5,350	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	800,000	519,239	280,761	役員・委員旅費、講師旅費、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	35,000	30,455	4,545	切手・たより送料 等
4. 支払手数料支出	10,000	2,420	7,580	振込手数料
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	40,000	13,195	26,805	コピー、事業必要物品 等
7. 食糧費支出	52,600	55,662	△ 3,062	講師昼食・茶菓代、役員昼食代 等
8. 印刷製本費支出	0	0	0	
9. 賃借料支出	0	0	0	
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	80,000	44,547	35,453	講師謝金
12. 負担金支出	130,200	130,200	0	会員数 1,302名×100円（注 1）
13. 雑支出	10,000	8,362	1,638	クリーニング代 等
事業活動支出計	1,171,800	812,730	359,070	
事業活動収支差額	0	368,353	△ 368,353	
予備費支出		-		
当期収支差額	0	368,353	△ 368,353	

※当期収支差額 368,353円は本部へ返金

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

報告事項11 令和7年度 4支部事業計画・収支予算

[山形支部]

令和7年度山形支部事業計画

事業		内容
支部運営に関する事	1. 支部活動の運営 2. 本会事業への参画 3. 支部活動の広報	1. (1) 役員会 (2) 常任委員会①教育委員会②まちの保健室 10回／年開催 山形県看護協会会館 事業計画・運営・評価等 2. 日本看護協会通常総会への参加 6月11～12日 幕張メッセ 3. 広報誌「山形いぶき」への掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関する事	1. 地域住民の健康づくり支援 2. 地域内の関連団体との連携強化	1. 「まちの保健室」の開催 血圧・血管年齢・体組成測定、手洗いチェック、栄養相談等 ○県民健康講座 (寒河江会場) 7月31日 ○やまがた健康フェア 9月20、21日 ○山辺町まるごとフェスティバル 11月3日 ○日帰り温泉施設 2月予定 2. 地域の会議への参加 1) 村山地域保健医療協議会 (年3回) 2) 東南村山施設等看護管理者NW会 (年3回) 3) 東南村山看護管理者会 (年3回) 4) 西北村山地域等看護力連携会 (年3回) 5) 山形市社会福祉事業団評議員会 (年2回) 6) 寒河江市西村山郡医師会主治医研修 (年1回)
会員の教育・リフレッシュに関する事	1. 会員のニーズに沿った研修計画	1. 研修・講演会の開催 1) 8月25日(月) 山形県看護協会 3階第1研修室 ①山形県看護協会会長講話 ②地域に拡大する看護機能への取り組み

令和 7 年度山形支部収支予算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	3,554,100	3,658,500	△ 104,400	会員数 3,949名×900円 (注 1)
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	3,554,100	3,658,500	△ 104,400	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	2,924,900	2,936,500	△ 11,600	(1) 「まちの保健室」 70,000 (2) 研修会 270,000 (3) 日本看護協会通常総会 100,000 (4) 役員会・常任委員会・諸会議 1,584,900
1. 福利厚生費支出	20,000	20,000	0	役員・委員・協力員の傷害保険
2. 旅費交通費支出	1,430,000	1,430,000	0	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議等
3. 通信運搬費支出	215,000	215,000	0	郵送料
4. 支払手数料支出	10,000	10,000	0	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0	備品
6. 消耗品費支出	280,000	280,000	0	事務用品、研修会看板・花代 等
7. 食糧費支出	105,000	105,000	0	研修会弁当、講師茶菓代、役員昼食
8. 印刷製本費支出	60,000	60,000	0	研修会資料、ポスター・チラシ 等
9. 賃借料支出	30,000	30,000	0	会場・備品使用料
10. 広告宣伝費支出	20,000	20,000	0	広告料
11. 諸謝金支出	100,000	100,000	0	講師料
12. 負担金支出	394,900	406,500	△ 11,600	会員数 3,949名×100円 (注 1)
13. 雑支出	60,000	60,000	0	クリーニング代 等
事業活動支出計	2,924,900	2,936,500	△ 11,600	
事業活動収支差額	629,200	722,000	△ 92,800	
予備費支出	629,200	722,000	△ 92,800	
当期収支差額	0	0	0	

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[最北支部]

令和7年度最北支部事業計画

事業		内 容
支部運営に関すること	1. 支部活動の運営 2. 本会事業への参画 3. 支部活動の広報	1. (1)役員会(2)常任委員会(3)合同会議 8回／年開催 第2金曜日 北村山公立病院 事業企画・運営・評価等 2. 2025年度日本看護協会通常総会への参加 6月11日～12日 幕張メッセ 3. 広報誌「山形いぶき」への掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関すること	1. 地域住民の健康づくり支援 2. 地域内の関連団体との連携強化	1. 「まちの保健室」の開催 健康チェック、健康相談等 1) 最上地区 2) 北村山地区 2. 地域の会議への参加 1) 最上地域看護管理者ネットワーク会議(年2回) 2) 最上地域保健医療協議会(年2回) 3) 最上地域医療的ケア児支援会議(年1回)
会員の教育・リフレッシュに関すること	1. 会員のニーズに沿った研修計画	1. 研修・講演会の開催 1) 看護協会長講話・教育研修 (1回／年 9月頃) 看護協会会長講話、教育研修 2) 新人看護職交流会 要検討

令和 7 年度最北支部収支予算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	688,500	675,000	13,500	会員数 765 名×900 円（注 1）
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	688,500	675,000	13,500	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	688,500	675,000	13,500	
				(1) 「まちの保健室」 56,000
				(2) 研修会 107,000
				(3) 日本看護協会通常総会 120,000
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 405,500
1. 福利厚生費支出	10,000	10,000	0	役員・委員の傷害保険 等
2. 旅費交通費支出	350,000	410,000	△ 60,000	常任委員会、講師、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	60,000	65,000	△ 5,000	たより送料、切手 等
4. 支払手数料支出	5,000	5,000	0	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	80,000	0	80,000	ノートパソコン代
6. 消耗品費支出	30,000	30,000	0	コピー使用料、日常消耗品、事務用品 等
7. 食糧費支出	15,000	15,000	0	講師茶菓、研修会弁当 等
8. 印刷製本費支出	10,000	10,000	0	研修会資料、ポスター・チラシ 等
9. 賃借料支出	15,000	15,000	0	会場料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	30,000	30,000	0	講師料
12. 負担金支出	76,500	75,000	1,500	会員数 765 名×100 円（注 1）
13. 雑支出	7,000	10,000	△ 3,000	クリーニング代 等
事業活動支出計	688,500	675,000	13,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出			0	
当期収支差額	0	0	0	

（注 1）12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[庄内支部]

令和7年度庄内支部事業計画

事業		内容
支部運営に関すること	1. 支部活動の運営	1. (1) 役員会 (2) 常任委員会①教育委員会②まちの保健室推進委員会 (3) 合同委員会 年12回開催 第2金曜日 14時～17時 なの花ホール会議室等 事業企画・運営・評価等
	2. 本会事業への参画	2. 日本看護協会通常総会への参加 6月11日～12日 幕張メッセ
	3. 支部活動の広報	3. 広報誌「山形いぶき」への掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関すること	1. 地域住民の健康づくり支援	1. 「まちの保健室」の開催 健康チェック・相談 1) 9月 鶴岡市「健康づくり強調月間」「にこ♥ふる」展示 2) 10月 湯の浜 国際ノルディックウォーク
	2. 地域内の関連団体との連携強化	2. 地域の会議への参加 1) 庄内地域保健医療協議会 (年2回) 2) 庄内地域看護管理者ネットワーク事務局会議 3) 庄内地域看護管理者ネットワーク会議 2) 3) 情報共有・地域の課題解決に向けた協同活動 (研修会の協同開催など)
会員の教育・リフレッシュに関すること	1. 会員のニーズに沿った研修計画	1. 研修・講演会の開催 1) 地域の課題に応じた研修会の開催 9月 公益文化大学 山形県看護協会会長講話 会長 若月裕子氏 2) 新人看護職交流会 2月 文化館なの花ホール 先輩看護師の講話・グループワーク

令和 7 年度庄内支部収支予算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,581,300	1,605,600	△ 24,300	会員数 1,757 名×900 円 (注 1)
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,581,300	1,605,600	△ 24,300	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,581,300	1,605,600	△ 24,300	(1) 「まちの保健室」 (2) 研修会 (3) 日本看護協会通常総会 (4) 役員会・常任委員会・諸会議 38,000 687,000 230,000 626,300
1. 福利厚生費支出	16,000	16,000	0	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	620,000	656,200	△ 36,200	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	90,000	80,000	10,000	送料、切手、Zoom 契約費
4. 支払手数料支出	10,600	10,000	600	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	20,000	60,000	△ 40,000	備品
6. 消耗品費支出	50,000	60,000	△ 10,000	研修会看板・花代、Zoom 備品等
7. 食糧費支出	18,000	15,000	3,000	講師茶菓代
8. 印刷製本費支出	222,000	200,000	22,000	研修会資料印刷、パンフレット購入 等
9. 賃借料支出	234,000	200,000	34,000	会場使用料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	120,000	120,000	0	研修会講師謝金
12. 負担金支出	175,700	178,400	△ 2,700	会員数 1,757 名×100 円 (注 1)
13. 雑支出	5,000	10,000	△ 5,000	クリーニング代 等
事業活動支出計	1,581,300	1,605,600	△ 24,300	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出			0	
当期収支差額	0	0	0	

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[置賜支部]

令和7年度置賜支部事業計画

事業		内 容
支部運営に関すること	1. 支部活動の運営 2. 本会事業への参画 3. 支部活動の広報	1. (1) 役員会 (2) 常任委員会①教育委員会②まちの保健室推進委員会 年9回開催 第1火曜日(もしくは第3火曜日) 公立置賜総合病院 事業企画・運営・評価等 2. 日本看護協会通常総会への参加 6月11日～12日 幕張メッセ 3. 広報誌「山形いぶき」への掲載
地域住民の健康・福祉の増進に関すること	1. 地域住民の健康づくり支援 2. 地域内の関連団体との連携強化	1. 「まちの保健室」の開催 血圧・血管年齢・体組成測定、手洗いチェック、健康相談 1) 7月 川西町浴浴センター「まどか」 2) 10月 公立置賜総合病院「置賜病院健康まつり」 3) 11月 長井市「豊田地区センターまつり」 2. 地域の会議への参加 1) 米沢病院地域医療ネットワーク会議(年1回) 2) 最上地域保健医療協議会・在宅医療専門部会(年1回) 3) 地域医療連携推進法人よねざわヘルスネット(年1回) 4) 米沢市防災訓練(年1回) 5) 置賜看護管理者会及び事務局会 (年5回:管理者会2回、事務局会3回) 6) 三友堂看護専門学校行事出席 (年3回:入学式、戴帽式、卒業式)
会員の教育・リフレッシュに関すること	1. 会員のニーズに沿った研修計画	1. 研修・講演会の開催 1) 看護協会長講話(年1回 8月29日) 公立置賜総合病院 1. 看護協会会長講話 看護協会会長 若月裕子氏 2. 「傾聴とスピリチュアルペインについて」 米沢市 松原寺 妻鳥副住職 2) 新人看護職交流会(11月4日または18日) 公立置賜総合病院 1. 「褥瘡・スキンケア予防について」 米沢市立病院 皮膚排泄ケア認定看護師 渡部香織氏

令和7年度置賜支部収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,170,000	1,171,800	△ 1,800	会員数 1,300名×900円（注1）
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,170,000	1,171,800	△ 1,800	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,170,000	1,171,800	△ 1,800	(1) 「まちの保健室」 (2) 研修会 (3) 日本看護協会通常総会 (4) 役員会・常任委員会・諸会議 140,600 240,000 390,400 399,000
1. 福利厚生費支出	14,000	14,000	0	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	770,000	800,000	△ 30,000	役員・委員旅費、講師旅費、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	35,000	35,000	0	切手・たより送料 等
4. 支払手数料支出	10,000	10,000	0	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	40,000	40,000	0	コピー、事業必要物品、看板・垂れ幕印刷代 等
7. 食糧費支出	81,000	52,600	28,400	講師昼食・茶菓代、役員昼食代 等
8. 印刷製本費支出	0	0	0	
9. 賃借料支出	0	0	0	
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	80,000	80,000	0	講師謝金
12. 負担金支出	130,000	130,200	△ 200	会員数 1,300名×100円（注1）
13. 雑支出	10,000	10,000	0	クリーニング代 等
事業活動支出計	1,170,000	1,171,800	△ 1,800	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出			0	
当期収支差額	0	0	0	

（注1）12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

**報告事項12 令和 6 年度 訪問看護ステーション・
居宅介護支援事業報告・決算報告**

令和 7 年度山形県看護協会訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の概要

令和 7 年 4 月 1 日現在

名 称	訪問看護ステーション やまがた	訪問看護ステーション まいづる	訪問看護ステーション むらやま	訪問看護ステーション 新 庄	訪問看護ステーション新庄 サテライトまむろ川
郵便番号所在地	〒990-2473 山形市松栄 1-5-63	〒994-0081 天童市南小畑 2-2-21	〒995-0037 村山市楯岡俵町 20-16	〒996-0002 新庄市金沢 1835-82	〒999-5312 真室川町大字新町 469-1
電 話 番 号	023-685-8061	023-651-2206	0237-55-3730	0233-28-7330	0233-29-8433
F A X 番 号	023-685-8062	023-651-2209	0237-55-3731	0233-28-7331	0233-29-8434
指 定 年 月 日	平成5年4月30日	平成8年6月28日	平成10年7月23日	平成11年8月18日	
事業開始年月日	平成5年5月12日	平成8年7月1日	平成10年8月1日	平成11年9月15日	平成29年8月1日
ステーションコード	0660190018	0661690016	0661490003	0661190009	
24時間対応体制	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	
特 別 管 理 加 算	平成10年5月1日～	平成10年9月1日～	平成11年8月1日～	平成11年10月1日～	
看護体制強化加算	平成30年5月1日～	平成30年8月1日～	平成29年3月1日～		
機能強化型別 (Ⅰ～Ⅲ)	Ⅰ 平成27年1月1日～		Ⅰ 令和3年4月1日～		
管 理 者	山川 一枝	須藤 美和子	仲野 郁子	柿崎 由美子	柿崎 由美子 訪問看護ST新庄所長 兼サテライト責任者
職 員 数 (人)					(2)病院、診療所か らの出向
1. 看護職員数	16	6	10	3	2
2. リハビリ職員	4	2	2	2	
3. 事務職員	3	1	2	1	
居 宅 介 護 支 援 事 業 所 名	訪問看護ステーション やまがた	まいづる 居宅介護支援事業所	訪問看護ステーション むらやま		
電 話 番 号	023-685-8082	023-651-2206	0237-55-3730		
F A X 番 号	023-685-8083	023-651-2209	0237-55-3731		
指 定 年 月 日	平成12年4月1日	平成12年4月1日	平成12年4月1日		
居 宅 コ ー ド	0670100106	0671600021	0671400034		
居 宅 管 理 者	近 ゆかり	休止中	高橋 菜穂子		
介護支援専門員数(人)	4		2		

令和 6 年度 事業評価 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションやまがた	訪問看護ステーションまいづる
I 事業の安定・運営の円滑化 1) 経営の安定化 2) S T 運営の組織づくり (1) 組織課題の検討	1) 大規模事業所、機能強化型 I としての役割発揮 R 6 年度診療・介護報酬改定について勉強会の実施 ・事業収益 12,514,015円／月 ・1人あたり収益 643,635円／月 ・利用者数 207名／月 ・訪問件数 1,234件／月 利用者数は横這いで訪問件数は目標達成にいたらなかった。 見守り事業は1件開始 2) 運営・所長会議1回／月実施 リハビリスタッフ会議2回／年 8月21日運営指導があり、運営基準、記録等の見直しや職員の再認識の機会となった。	1) 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営 ・診療報酬・介護報酬改定勉強会の実施 ・事業収益 4,320,043円／月 ・一人あたり収益 710,000円／月 ・利用者数 79人／月 ・訪問件数 447.4件／月 事業収益は目標達成できなかったが、前年度より増収となった。 小児を積極的に受け入れることで医療保険の訪問が増加した。 ・看護強化体制加算Ⅱの算定継続 2) 組織づくり ・運営会議参加後職員との情報共有 ・所長、副所長、主任会議の開催は不定期 ・11月に運営指導を受け、適正運営の整備を行った。 ・年休の計画的取得
II 安全で質の高い看護の提供 1) 資質向上 2) 安全管理の強化	1) 質向上 ・学研訪問看護サポート研修の活用 ・虐待防止研修7月24日と所内周知 ・精神科領域訪問看護算定のため精神科領域研修受講 4名受講 ・R 6 年9月から特定行為研修1名受講 2) 安全管理 ・事例を用いてカンファレンス、マニュアルの再確認 ・9月3日災害対応BCP研修受講とシミュレーションの実施 ・10月9日ハラスメント研修受講 ・接遇研修の実施	1) 質向上 ・ファースレベル、医療安全管理者研修受講 ・技術研修の実施 ・専門看護師、認定看護師派遣事業による「呼吸リハビリ」「小児家族支援」研修実施 ・学研の訪問看護サポート研修の活用 2) 安全管理 ・ヒヤリハット、迅速に情報共有しリスク回避につながっている。 ・BCPアクションカードの見直し。 ・9月26日防災訓練実施
III 公益事業の強化と地域密着事業の展開 1) 地域社会のニーズに合わせた活動 2) 訪問看護の普及	1) 地域活動 ・訪問看護相談窓口対応 ・東南村山地域施設看護管理者ネットワーク会事務局の活動と病院等の情報交換 ・バイタルリンクでの情報共有 ・村山地域医療情報ネットワーク「べにばなネット」のモデル事業参加、運用開始 2) 訪問看護の普及	1) 地域活動 ・天童市、市民病院等の近隣の連携会議に参加 ・緩和研究会で実践報告 ・ブロック会議、西村山地域看護力連絡会に出席し情報共有 2) 訪問看護の普及 ・ステーションだより「まいづるのWA」2回／年
IV 在宅看護における人材育成 1) 教育的役割の強化	1) 教育的役割 ・看護学生、担い手実習受け入れ 延102日、延194名 ・管理者研修受講9月12日、10月5日 ・講師派遣10回／年	1) 教育的役割 ・管理者研修受講 ・看護学生の実習受け入れ ・セカンドレベル研修受け入れ1名 ・訪問看護師養成講習会の実習受け入れ2名

令和6年度 事業評価 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションむらやま	訪問看護ステーション新庄
I 事業の安定・運営の円滑化 1) 経営の安定化 2) S T 運営の組織づくり (1) 組織課題の検討 (2) W L B の推進	1) 経営の安定化 ・事業収益 7,247,778円/月 ・1人当たり事業収益 692,746円/月 ・利用者数 125人/月 ・訪問件数 679件/月 ・緊急時訪問看護加算は介護保険96.1% ・後期病院からの依頼が減少し、市内ケアマネからの依頼があり、新規獲得につながっている。 ・機能強化型Ⅰ、看護体制強化加算Ⅱの条件はクリアしている。 2) 組織づくり ・月1回の運営所長会議出席情報交換 その後、ステーション内で情報共有 ・定期的なステーションの管理会議 ・毎週金曜日の5S活動実施	1) 経営の安定化 ・事業収益 3,970,000円/月 ・1人当たり事業収益 610,000円/月 ・利用者数 85人/月 ・訪問件数 448件/月 ・収益目標は達成できなかった。リハビリ依頼が増加しているので今後も利用者の拡大を目指す。訪問看護の役割をPRし、60分訪問増と平均単価の上昇を目指す。 2) 組織づくり ・運営・所長会議1回/月 意識改革に向けて情報共有できた。 ・各委員会2～3回/年 ・希望に沿った計画的年休の取得 ・スケジュール管理ソフトの導入
II 安全で質の高い看護の提供 1) 資質向上 2) 安全管理の強化	1) 質向上 ・認定看護師派遣事業で精神科認定看護師による研修を開催 ・所内では学研訪問看護サポート活用 ・クリニカルラダーレベルⅢ～Ⅳを評価 ・毎日ショートカンファレンス実施 2) 安全管理 ・委員会での決定事項の共有 ・ヒヤリハットの共有によりリスク回避につながっている ・9月9日防災訓練実施 抜き打ちで防災訓練一斉メールを行いタイムリーに全体で共有することができた ・BCP作成し、所内でシミュレーション実施 11月9日災害、1月28日感染	1) 質向上 ・外部研修 全職員1回/年受講し伝達 ・出向看護師の育成 ・ポケットエコー活用による情報共有 ・法定研修の参加と伝達研修の実施 ・認知症認定看護師による「認知症ケアについて」7月実施 2) 安全管理 ・災害BCP、アクションカード、フローチャートの見直し ・豪雨災害シミュレーション実施 ・災害支援ナース戸沢村派遣と情報共有 ・ヒヤリハット情報共有 ・感染対策BCP、マニュアルの見直しと周知徹底
III 公益事業の強化と地域密着事業の展開 1) 地域社会のニーズに合わせた活動 2) 訪問看護の普及	1) ・訪問看護相談対応 ・村山市連絡協議会会議、村山市地域包括支援センター運営会議参加、障がい支援区分判定審査会参加し関係作り構築 ・バイタルリンク活用した医師とのタイムリーな連携 2) ステーションだよりの発行	1) ・3町村長とサテライトの会議は、事業運営状況を共有できた。 ・県立新庄病院患者サポートミーティング1回/月参加により顔の見える関係構築 2) 訪問看護の普及 ・パンフレットの配布
IV 在宅看護における人材育成 1) 教育的役割の強化	1) 教育的役割 ・ファーストレベル、医療安全管理者研修受講 ・看護学生他実習受け入れ ・訪問看護師養成講習受講 ・ケアマネ研修の講師実施	1) 教育的役割 ・認定看護管理者サードレベル受講修了 ・介護施設での看取り勉強会 ・訪問看護師養成講習受講性2名受入

令和6年度 訪問看護事業の実績

実績管理月報

令和6年(4月～3月)

		単位	やまがた	まいづる	むらやま	新庄	計	令和5年度	令和4年度
	看護職員数	名							
		名							
		名							
	常勤換算数	名							
		名							
		名							
利用者	介護保険(自宅以外の居住地)	名	1,598(65)	732	957(40)	886	4,173(105)	4,097(97)	4,129(87)
	医療保険(自宅以外の居住地)	名	889(22)	216	542(5)	136	1,783(27)	1,885(26)	1,956(24)
	特別指示書	名	41	21	9	1	72	53	93
	合計	名	2,487(87)	948	1,499(45)	1,022	5,956(132)	5,982(123)	6,085(111)
異動	新規	名	141	40	90	77	348	421	424
	終了	名	136	42	84	75	337	400	467
訪問延べ件数	～20分未満(訪看Ⅰ1)	件	1	0	42	0	43	48	30
	訪看Ⅰ1の比率	%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%
	～30分未満(訪看Ⅰ2)	件	1,681	874	470	1,055	4,080	4,177	4,548
	訪看Ⅰ2の比率	%	20.6%	23.2%	9.7%	24.3%	19.3%	20.4%	21.2%
	～60分未満(訪看Ⅰ3)	件	4,132	1,945	3,222	1,812	11,111	10,665	12,128
	訪看Ⅰ3の比率	%	50.6%	51.6%	66.5%	41.8%	52.6%	52.0%	56.5%
	～90分未満(訪看Ⅰ4)	件	175	148	39	65	427	462	407
	訪看Ⅰ4の比率	%	2.1%	3.9%	0.8%	1.5%	2.0%	2.3%	1.9%
	～20分未満(訪看Ⅰ5)	件	9	3	1	1	14	3	1
	訪看Ⅰ5の比率	%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
	～40分未満(訪看Ⅰ5×2)	件	1,111	61	367	486	2,025	1,524	1,027
	訪看Ⅰ5×2の比率	%	13.6%	1.6%	7.6%	11.2%	9.6%	7.4%	4.8%
	～60分未満(訪看Ⅰ5・2回×3)	件	1,057	735	705	914	3,411	3,617	3,319
	訪看Ⅰ5・2回×3の比率	%	12.9%	19.5%	14.5%	21.1%	16.2%	17.6%	15.5%
	合計	件	8,166	3,766	4,846	4,333	21,111	20,496	21,460
	1.5時間以内	件	5,790(831)	1,270(228)	3,253(531)	994(275)	11,307(1,865)	11,402(1,833)	12,310(2,046)
	複数回	件	840(256)	329	48	57	1,274(256)	1,103(253)	1,269(216)
	県治療事業	件	11	0	0	0	11	0	0
	2時間以上の差額利用	件	0	4	0	0	4	0	0
	合計	件	6,641	1,603	3,301	1,051	12,596	12,505	13,579
	総合計	件	14,807	5,369	8,147	5,384	33,707	33,001	35,039
	1人当たり訪問件数		761	897	779	827	797	796	829
加算	緊急時訪問看護加算	件	1,439	679	869	883	3,870	3,743	3,748
	特別管理加算(Ⅰ)	件	183	122	90	69	464	548	521
	特別管理加算(Ⅱ)	件	114	132	81	120	447	415	471
	口腔連携強化加算	件	33	0	12	0	45	-	-
	初回加算(Ⅰ)	件	1	2	0	0	3	-	-
	初回加算(Ⅱ)	件	68	18	45	37	168	204	186
	退院時共同指導加算	件	21	10	8	15	54	36	26
	看護体制強化加算	件	0	732	784	0	1,516	2,819	3,193
	長時間看護加算	件	3	0	3	0	6	3	5
	複数名看護加算1	件	19	1	0	0	20	6	20
	複数名看護加算2	件	25	3	0	0	28	4	2
	夜間早朝・深夜加算	件	34	2	20	4	60	66	47
	ターミナルケア加算	件	13	1	8	3	25	37	47
	24時間対応体制加算	件	845	192	538	129	1,704	1,833	1,888
	特別管理加算2,500円	件	179	60	70	11	320	328	319
	特別管理加算5,000円	件	353	57	171	29	610	675	712
	退院時共同指導加算	件	46	13	19	15	93	84	68
	特別管理指導加算	件	35	11	9	6	61	53	46
	退院支援指導加算	件	49	14	24	12	99	94	89
	在宅患者連携指導加算	件	5	0	32	0	37	2	0
	看護・介護職員連携強化加算	件	29	0	0	0	29	-	-
	在宅患者緊急時カンファレンス加算	件	68	0	0	0	68	47	1
	緊急訪問看護加算	件	22	2	1	0	25	27	21
	長時間訪問看護加算	件	139	44	2	0	185	223	322
	(乳幼児・幼児)加算	件	221	149	0	0	370	368	717
	複数名訪問看護加算	件	262	104	15	0	381	106	100
	夜間早朝・深夜訪問看護加算	件	119	17	61	13	210	244	360
	ターミナルケア療養費	件	43	3	17	7	70	102	159
平均単価	介護保険	円	8,494	9,214	9,333	8,409	8,797	8,868	8,928
	医療保険	円	11,649	10,471	12,242	10,402	11,550	11,544	11,524
	全体	円	10,065	9,656	10,676	8,866	9,956	10,025	10,125
事業収入	介護保険	円	69,359,040	34,699,160	45,227,290	36,435,838	185,721,328	181,752,106	191,604,834
	医療保険	円	77,362,570	16,784,491	40,410,420	10,932,210	145,489,691	144,354,015	156,487,462
	その他(交通費・差額料金やグループホーム助戻・自費分)	円	3,446,570	356,870	1,335,620	367,703	5,506,763	5,881,611	7,799,476
	合計	円	150,168,180	51,840,521	86,973,330	47,735,751	336,717,782	331,987,732	355,891,772
	1人当たり収益	円	7,723,621	8,643,605	8,312,950	7,343,961	7,934,696	8,026,423	8,421,145
その他	人工呼吸器	人	81	17	43	1	142	171	187
	HOT	人	146	89	66	68	369	379	408
	在宅看取り	人	58	4	35	9	106	150	210
	癌末期(新規)	人	52	7	32	27	118	151	192
	乳幼児	人	29	30	0	0	59	80	131
居宅介護支援事業		人	1,378	273	927		2,578	2,771	2,596

令和6年度 事業評価（居宅介護支援事業所）

事業目標	やまがた	むらやま
(1) 事業の安定・運営の円滑化を図る ①安定した事業経営、基盤の強化 ②組織内での連携強化	・月平均利用者 要介護101.4名／月 介護予防13名／月 ・退院加算算定率 49.4% ・入院時連携加算算定率74.1% ・ターミナル加算9件 ・今年度「医療連携介護加算」算定可能となり目標収入を上回ることができた。 ・ターミナル加算が15件以下のためR7年度は算定不可となる。 ・災害時利用者リストの策定と修正 ・災害時リスク研修7月18日実施 ・居宅連絡会2回／年開催 10月28日、3月4日	・月平均利用者 要介護72.8名 ・退院加算算定率 45.2% ・入院加算算定率 89.5% ・ターミナル加算 1名 ・目標件数は達成した。 ・家族からの直接依頼が増加し、地域包括支援センターからの新規は医療依存度の高い、困難事例が多くなっている。 ・毎月運営会議に参加 ・居宅連絡会開催 ・訪問看護ステーションミーティングへの参加とITを活用した情報共有
(2) 質の高いケアマネジメントを提供する ①介護支援専門員の資質の向上	・研修会への積極的参加 ・主任介護支援専門員更新研修受講 ・実習生受け入れ ・研修講師2回 ・感染防止委員会の開催 6月27日、3月4日 ・虐待防止委員会の開催 3月4日	・村山市介護支援専門員協会での研修講師 ・村山市地域ケア会議へ事例提供 ・訪問看護ステーションミーティング、村山市ケアマネジメント研修会参加 ・山形県介護支援専門員実務研修、更新研修受講 ・指針に則り委員会の開催
(3) 地域包括ケアシステムの推進 ①関係機関・関係職種との連携の強化	・地域ケア会議への参加 ・高齢者個別避難計画モデル事業に参加しての報告 ・包括圏域管理者会に定期参加 ・認知症カフェ3回出席	・村山市介護保険事業連絡協議会参加 ・村山市居宅介護支援事業所連絡協議会参加 ・村山市ケアマネジメント研修会参加

※まいづる居宅介護支援事業所はケアマネジャーの退職に伴い、事業継続困難と判断し、1月31日付で休止となる。

居宅介護支援事業所利用者状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション やまがた	まいづる 居宅介護支援事業所 (令和6年4月1日 ～令和7年1月31日)	居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション むらやま
ケアプラン作成件数	1217	172	874
認定調査件数	55	0	75
予防給付件数	156	0	55

令和6年度 訪問看護ステーション運営会議・所長会議開催状況

開催日時	参加者数	会 議 事 項
4月18日（木） Zoom会議	9名	・人事について ・令和5年度事業評価報告 ・3月分実績報告、規定について ・トリプル改定について
5月27日（火） Zoom会議	8名	・日本看護協会理事会の報告 ・4月分実績報告、各S T報告
6月27日（木） 参集	12名	・5月分実績報告（居宅も含めて）、各S T報告
7月18日（木） Zoom会議	9名	・6月分実績報告、各S T報告
8月22日（木） Zoom会議	9名	・7月分実績報告 ・各S T報告
9月30日（火） Zoom会議	9名	・8月分実績報告、各S T報告 ・運営指導について（やまがた） ・まいづる居宅休止について
10月28日（火） 参集	12名	・9月分実績報告、各S T報告、上半期評価 ・ステーション全体の経営状況について
11月28日（木） Zoom会議	9名	・10月分実績報告、各S T報告 ・会計監査報告、上半期会計確認 ・スケジュール管理 Z E S T導入について ・運営指導について（まいづる）
12月19日（木） Zoom会議	9名	・11月分実績報告、各S T報告 ・訪問看護サミット参加報告 ・訪問看護財団より山川所長表彰
1月16日（木） Zoom会議	9名	・12月分実績報告、各S T報告
2月21日（金） Zoom会議	8名	・1月分実績報告、各S T報告 ・令和7年度事業計画評価
3月27日（木） 参集	8名	・事業運営について ・2月分実績報告、各S T報告 ・システム変更について ・まいづる居宅休止について

令和6年度 居宅介護支援事業所連絡会議

開催日時	参加者数	会 議 事 項
6月27日（木） 参集	4名	・まいづる居宅について ・トリプル改定の対応について
3月4日（火） 参集	3名	・事業運営について ・B C Pについて ・感染予防対策委員会・虐待防止委員会 ・令和7年度事業計画評価

令和6年度 学生等受け入れ状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	訪問看護 ステーション やまがた		訪問看護 ステーション まいづる		訪問看護 ステーション むらやま		訪問看護 ステーション 新庄		合 計	
	日数	延数	日数	延数	日数	延数	日数	延数	日数	延数
山形大学医学部看護学科	6	18	6	12	10	20			22	50
山形大学医学部看護学科（在宅看護総合実習）	9	17							9	17
国立病院機構山形病院附属看護学校	18	33	12	24					30	57
山形県立保健医療大学 看護学科	0	0			24	48			24	48
山形県立山辺高等学校 専攻科	20	34	12	20	4	8	2	4	38	66
山形市立済生館高等看護学院	18	45	15	30	6	12			39	87
医療法人横山厚生会 山形厚生看護学校	12	24			14	28			26	52
山形県看護協会 訪問看護師養成講習会	5	6	4	4	5	5			14	15
訪問看護出向事業	0	0			0	0			0	0
国立病院機構山形病院 退院支援 NS	0	0			0	0			0	0
小児在宅移行支援指導者 育成試行事業	0	0			0	0			0	0
県立病院看護師（中央・河北・新庄）	0	0			5	5			5	5
セカンドレベル実習	0	0	1	1	0	0	1	1	2	2
介護支援専門員実務研修（居宅介護支援事業所）	6	6			0	0			6	6
その他体験実習等（eラーニング）	6	9			0	0	4	4	10	13
訪問看護担い手創出事業（短期体験型研修）	2	2	4	4	0	0	2	2	8	8
合 計	102	194	54	95	68	126	9	11	233	426

令和6年度 訪問看護ステーション講師派遣状況

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

NO	ST名	月 日	内 容	参加人数	担当職員
1	やまがた	4月16日	山形病院附属看護学校「在宅看護論実習」	38	看護師
2		4月18日	山形市立済生館高等看護学院在宅看護論実習オリエンテーション	29	看護師
3		5月1日	山形大学医学部看護学科在宅看護学実習オリエンテーション	60	看護師
4		7月24日	帝人 法定研修会「虐待防止研修」	75	所長
5		9月25日	山形県看護協会潜在看護師復職研修「高齢者の褥瘡・スキンケアの予防援助と処置」	5	看護師
6		10月5日	山形県看護協会「事例でわかる！社会資源の活用と連携」	38	所長
7		10月18日	令和6年度介護支援専門員専門研修Ⅰ「看取りに関する事例」	120	所長
8		11月10日	山形県医ケア児等支援者養成研修「訪問看護」	60	所長
9		2月5日	令和6年度介護支援専門員更新・再研修 「高齢者の多い疾患等の留意点の理解」「看取りに関する事例」	163	所長
10		2月27日	令和6年度介護支援専門員実務研修 「高齢者の多い疾患等の留意点の理解」「看取りに関する事例」	134	所長
11	まいづる	4月25日	山形県立山辺高等学校 在宅看護オリエンテーション	39	看護師
12	むらやま	9月12日	令和6年度 第2回介護支援専門員連絡会議（尾花沢市地域包括支援センター主催）	24	所長
13		11月13日	令和6年度 第3回村山市ケアマネジメント研修会	29	所長
14		2月5日	令和6年度 山形県介護支援専門員更新研修（実務未経験者対象）・再研修	134	所長
15		2月27日	令和6年度 山形県介護支援専門員実務研修	134	所長
16	新 庄	3月18日	訪問看護ステーション実習 オリエンテーション	91	看護師
17		5月3日	施設での看取り勉強会	25	所長
18		7月18日	最上地域緩和ケア連携セミナー	40	所長
19		10月19日	感染症の発生および蔓延防止研修会	50	所長
20		11月13日	東北厚生局集団指導	15	所長
21	居宅 やまがた	2月5日	令和6年度介護支援専門員更新・再研修 「高齢者の多い疾患等の留意点の理解」「看取りに関する事例」	163	管理者
22		2月27日	令和6年度介護支援専門員実務研修 「高齢者の多い疾患等の留意点の理解」「看取りに関する事例」	134	管理者
23	居宅 むらやま	9月12日	令和6年度 第2回介護支援専門員連絡会議（尾花沢市地域包括支援センター主催）	24	管理者
24		11月13日	令和6年度 第3回村山市ケアマネジメント研修会	29	管理者
25		2月5日	令和6年度 山形県介護支援専門員更新研修（実務未経験者対象）・再研修	134	管理者
26		2月27日	令和6年度 山形県介護支援専門員実務研修	134	管理者

事業報告

事業名 「令和6年度訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川運営事業実績」

【目的】

訪問看護ステーション空白地域に開設し、安定した事業運営を行い、地域住民に質の高い看護を提供し在宅医療を推進する。

【内容】

令和6年度事業

- 4月1日 真室川町と職員派遣協定 真室川町職員 看護師 高須 美里 氏
金山町と職員派遣協定 金山町職員 看護師 栗田 静香 氏
派遣先：山形県看護協会訪問看護ステーション新庄及びサテライト事業所
期 間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
6月28日 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川に係る町村長と県看護協会の意見交換会
1月17日 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川運営会議
ステーションの状況について、派遣元、派遣先での取組について情報交換

1 安定的運営

1) 訪問看護事業の展開

利用状況及び給付状況

年月／内訳		計	新規	終了	真室川町	金山町	鮭川村
令和5年度	計	510	36	35	228	169	113
	月平均				19	14.1	9.4
令和6年度	計	440	25	27	215	133	92
	月平均				17.9	11.1	7.6

利用実績

年月／内訳		収入	介護	医療	その他の収入
令和5年度	計	15,944,394	14,649,285	1,195,012	100,097
	月平均	1,328,699	995,974	99,584	8,341
令和6年度	計	16,431,443	15,058,610	1,280,510	92,323
	月平均	1,369,287	1,254,884	106,709	7,693

2. 安全で質の高い看護の提供（職員の資質向上）

- 1) 管理者によるOJT、新任訪問看護師教育プログラムを活用した看護師の育成
- 2) 月1回訪問看護活動状況報告（病院及び診療所に帰院） 月1回カンファレンスと評価
- 3) 事例検討
- 4) ポケットエコー活用による情報共有
- 5) 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川派遣事業について意見交換

3. 公益目的事業の強化 地域密着事業の展開

- 1) 地域ケア会議への参加

4. その他

【評価と課題（まとめ）】

- 1 真室川病院からの派遣看護師が今年度交替したが、期間を設けて引継ぎ、スムーズに交替することができた。
- 2 前年度に比べて利用者が減少した。また、30分訪問の利用が多いため、利用者の状態把握には苦慮している。さらに収益にも影響があることから、60分枠の利用者が増加することが課題である。
- 3 令和6年度の収支決算では、収入16,431,443円、支出13,069,051円で3,362,392円利益があり3町村からの看護協会への負担はなかった。

訪問看護ステーション特別会計正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
看護療養費収益	139,725,783	131,699,534	8,026,249
看護療養費	139,725,783	131,699,534	8,026,249
看護利用料収益	14,230,212	14,279,570	△49,358
基本利用料収益	10,934,912	10,889,884	45,028
交通費収益	3,295,300	3,272,926	22,374
長時間利用料収益	0	116,760	△116,760
介護報酬	180,238,404	184,133,122	△3,894,718
介護報酬	160,417,191	164,465,771	△4,048,580
介護保険利用料収益	19,821,213	19,667,351	153,862
特定資産運用益	18,846	809	18,037
特定資産受取利息	18,846	809	18,037
その他事業収入	3,737,458	4,178,031	△440,573
受取補助金	587,200	1,026,000	△438,800
受取寄付金	0	500,000	△500,000
受取寄付金	0	500,000	△500,000
その他事業外収益	11,470,630	13,289,913	△1,819,283
受取利息	167,136	3,143	163,993
その他事業外収入	1,105,239	1,374,556	△269,317
受託収入(その他事業外)	8,956,000	11,911,761	△2,955,761
雑収入	1,242,255	453	1,241,802
経常収益合計	350,008,533	349,106,979	901,554
(2) 経常費用			
事業費	372,678,795	367,649,835	5,028,960
給与手当	233,637,998	228,276,514	5,361,484
法定福利費	40,639,495	40,698,323	△58,828
医薬品費	53,139	87,230	△34,091
福利厚生費	6,955,268	3,712,625	3,242,643
旅費交通費	1,054,791	434,273	620,518
職員被服費	397,539	326,048	71,491
通信費	4,990,701	4,827,502	163,199
消耗品費	1,908,694	1,921,007	△12,313
事務費	2,488,811	3,040,731	△551,920
車輛費	3,299,903	3,383,238	△83,335
光熱水料費	2,408,613	2,790,128	△381,515
賃借料	3,508,040	3,706,032	△197,992
リース料	15,965,030	13,697,210	2,267,820
保険料	1,827,810	2,101,150	△273,340
交際費	134,902	277,911	△143,009
諸会費	99,500	100,000	△500
租税公課	2,473,096	2,347,600	125,496
図書費	98,674	164,109	△65,435
維持管理費	6,761,324	5,183,134	1,578,190
広告宣伝費	110,000	132,000	△22,000
支払負担金	9,295,786	9,703,007	△407,221
研修費	1,746,550	376,530	1,370,020
減価償却費(事)	5,803,948	5,690,126	113,822
修繕費	163,240	408,470	△245,230
諸謝金	1,113,750	1,795,589	△681,839
雑費	32,453	117,928	△85,475
会議費	54,095	11,066	43,029

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賞与引当金繰入額	20,460,000	19,053,310	1,406,690
支払手数料	1,762,000	1,788,781	△26,781
退職給付費用	3,250,000	11,390,715	△8,140,715
印刷製本費	183,645	107,548	76,097
管理費	5,385,784	4,809,821	575,963
役員報酬	4,615,140	4,175,650	439,490
法定福利費	665,379	620,639	44,740
福利厚生費	105,265	13,532	91,733
経常費用合計	378,064,579	372,459,656	5,604,923
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,056,046	△23,352,677	△4,703,369
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△28,056,046	△23,352,677	△4,703,369
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	326,350	273,555	52,795
他会計からの繰入額	1,744,600	1,531,680	212,920
他会計への繰出額	1,418,250	1,258,125	160,125
本部勘定	125,530,011	179,108,955	△53,578,944
新庄勘定	34,628,878	40,220,181	△5,591,303
むらやま勘定	59,506,236	93,057,560	△33,551,324
まいづる勘定	31,394,897	45,831,214	△14,436,317
税引前当期一般正味財産増減額	△27,729,696	△23,079,122	△4,650,574
法人税、住民税及び事業税	202,000	202,000	0
当期一般正味財産増減額	△27,931,696	△23,281,122	△4,650,574
一般正味財産期首残高	567,368,264	590,649,386	△23,281,122
一般正味財産期末残高	539,436,568	567,368,264	△27,931,696
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	539,436,568	567,368,264	△27,931,696

居宅介護支援事業所特別会計正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
看護利用料収益	1,000	0	1,000
交通費収益	1,000	0	1,000
事業収益	35,063,930	33,809,084	1,254,846
介護給付費収入	35,063,930	33,809,084	1,254,846
受取補助金	75,000	0	75,000
その他事業外収益	1,125,662	1,183,879	△58,217
受取利息	15,448	216	15,232
受託収入(その他事業外)	1,110,214	1,183,663	△73,449
経常収益合計	36,265,592	34,992,963	1,272,629
(2) 経常費用			
事業費	35,987,782	38,345,739	△2,357,957
給与手当	25,415,632	29,691,780	△4,276,148
法定福利費	4,138,676	4,560,634	△421,958
福利厚生費	345,833	36,461	309,372
旅費交通費	1,450	2,880	△1,430
職員被服費	12,970	11,661	1,309
通信費	922,847	915,413	7,434
消耗品費	317,669	267,268	50,401
事務費	219,800	240,000	△20,200
車輛費	208,742	283,229	△74,487
光熱水料費	250,000	252,000	△2,000
賃借料	135,600	261,600	△126,000
リース料	1,252,520	1,159,652	92,868
保険料	39,320	60,580	△21,260
交際費	0	4,140	△4,140
諸会費	0	400	△400
租税公課	69,503	72,900	△3,397
維持管理費	265,980	278,938	△12,958
減価償却費(事)	0	76,813	△76,813
修繕費	0	8,800	△8,800
雑費	0	60,000	△60,000
賞与引当金繰入額	2,100,000	0	2,100,000
支払手数料	91,240	100,590	△9,350
退職給付費用	200,000	0	200,000
経常費用合計	35,987,782	38,345,739	△2,357,957
評価損益等調整前当期経常増減額	277,810	△3,352,776	3,630,586
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	277,810	△3,352,776	3,630,586
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	277,810	△3,352,776	3,630,586
当期一般正味財産増減額	277,810	△3,352,776	3,630,586
一般正味財産期首残高	11,616,507	14,969,283	△3,352,776
一般正味財産期末残高	11,894,317	11,616,507	277,810
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,894,317	11,616,507	277,810

報告事項13 令和7年度 訪問看護ステーション・ 居宅介護支援事業計画・収支予算

目的： 1. 事業の安定・運営の円滑化 2. 安全で質の高い看護の提供
3. 公益事業の強化と地域密着事業の展開 4. 在宅看護における人材育成

【訪問看護ステーションやまがた】

目 標	事 業 内 容
1) 大規模事業所として継続。安定的な運営	(1) 機能強化型Ⅰの算定要件維持、 ①数値目標 利用者数220／月 訪問件数1300件／月 事業収益1300万／月 ②精神訪問看護の利用者拡大 ③認知症のある利用者拡大 (2) 保険報酬以外の収入増
2) 質の高い看護の提供	(1) ターミナルケアの充実 (2) 精神疾患を持つ利用者への対応 (3) 認知症、心不全、誤嚥性肺炎の予防的支援
3) 安全管理体制の維持	(1) 事故防止 (2) 感染拡大防止 (3) 災害対応 (4) ハラスメント対策
4) 地域の状況把握とニーズに合わせた活動	(1) 地域のニーズ・課題の状況把握
5) 訪問看護の普及	(1) ステーションやまがたの特徴の明確化と周知
6) 教育的役割の発揮	(1) 実習施設としての役割発揮

【訪問看護ステーションまいづる】

目 標	事 業 内 容
1) 事業経営の基盤強化	(1) 訪問看護実績の分析と課題検討 ①数値目標 利用者数85人／月、訪問看護件数540件／月、単価 ②看護体制強化加算Ⅱの算定維持 (2) 経営の安定化 ①運営会議・所長会議の開催
2) ステーション運営の組織づくり	(1) 業務改善への継続的な取り組み (2) I C T 導入による業務の効率化 スケジュール管理、記録請求ソフトの統一
3) 看護の質向上	(1) 計画的な人材育成 ・精神科訪問看護研修受講、実習指導者特定分野、医療安全研修受講 (2) 看護の質の評価 ・満足度調査、事業所自己評価、介護サービス情報公表制度の実施調査
4) 安全管理の強化	(1) 委員会活動の充実 (2) 災害B C Pの見直し
5) 地域社会のニーズの合わせた活動	(1) 関係機関との連携強化
6) 訪問看護の普及	(1) 広報活動の強化「まいづるのWA」の発行 (2) 関係会議への積極的参加

7) 教育的役割の強化	(1) 管理者の資質向上 (2) 臨地実習の積極的な受け入れ
-------------	-----------------------------------

【訪問看護ステーションむらやま】

目 標	事 業 内 容
1) 経営の安定化	(1) 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営 事業収益780万円／月、利用者数140人／月、訪問件数770件／月 機能強化型Ⅰ算定維持、看護体制強化加算Ⅱ算定維持 (2) 運営・所長会議の開催
2) WLBの推進	(1) 年次有給休暇とリフレッシュ休暇の取得
3) 資質の向上	(1) 特定行為研修受講 (2) 看護技術の向上 ポータブルエコーの活用
4) 安全管理の強化	(1) 安全対策 ①事故防止対策 ②感染症対策 ③災害対策 ④ハラスメント対策
5) 地域社会のニーズに合わせた活動の実施	(1) 関係機関との会議へ参加 (2) べにばなネットの活用
6) 訪問看護の普及	(1) ステーションだよりの発行
7) 教育的役割の強化	(1) 実習生の積極的受け入れ

【訪問看護ステーション新庄】

目 標	事 業 内 容
1) 利用者のニーズに合った訪問看護の提供	(1) 数値目標 事業収益450万／月、利用者数90人／月、訪問件数500／月 (2) 看護体制強化加算Ⅱ算定 (3) 退院支援看護師、精神科病院・施設との連携強化
2) 経営の安定化	(1) 運営会議。所長会議の開催
3) 勤務環境の改善	(1) ICT導入による業務効率化推進
4) 看護の質の向上	(1) 所内研修会の充実
5) 看護の質の評価	(1) ケース検討 (2) 事業所自己評価、介護サービス情報公表制度の実施調査受診
6) 安全管理の強化	(1) 安全な看護サービスの提供
7) 地域包括ケアシステム構築の推進	(1) 自治体、地域の職能団体等から依頼された会議体の委員活動
8) 訪問看護の普及啓発	(1) 広報活動 ステーションだよりの発行
9) 教育的役割の強化	(1) 管理者の資質向上に向けた取り組み (2) 訪問看護教育の実施

目的：Ⅰ事業の安定・運営の強化 Ⅱ質の高いケアマネジメント Ⅲ地域との連携強化

【居宅介護支援事業所訪問看護ステーションやまがた】

目 標	事 業 内 容
1) 経営の安定化	(1) 経営的視点に立った居宅介護支援事業所の運営 ・専従ケアマネジャー4名体制となり、特定事業所加算Ⅱを算定する ・月利用者件数 介護118名、予防15名 (2) 感染症、災害時の発生においても業務を継続する
2) 組織内での連携強化	(1) 看護協会、各訪問看護ステーション、居宅介護支援との連携を図る ・運営会議への参加、居宅連絡会の開催
3) 介護支援専門員の資質向上	(1) 研修会への積極的参加
4) 関係機関、関係職種との連携強化	(1) 地域ケア会議、他機関との連携会議等へ積極的に参加する

【居宅介護支援事業所訪問看護ステーションむらやま】

目 標	事 業 内 容
1) 安定した事業経営、基盤の強化	(1) 訪問看護ステーション併設のため看護の専門性を活かした質の高いケアマネジメントの提供 ・利用者数 70名/月 予防委託6名/月 (2) 特定事業所Ⅲの加算算定に向けて3名体制の検討
2) 組織内での連携強化	(1) 看護協会、居宅介護支援事業所との連携 ・運営会議への参加、居宅連絡会の開催
3) 介護支援専門員の資質の向上	(1) 包括支援センター、行政等の主催による各種研修会への積極的参加 (2) 法改正の伴う情報収集、共有
4) 関係機関・関係職種との連携強化	(1) 他職種連携推進、強化 ・関係機関との会議への積極的参加

令和7年度訪問看護ステーション事業所特別会計収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
I 事業活動 収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 看護療養費収入	152,000,000	153,300,000	-1,300,000	
看護療養費収入	152,000,000	153,300,000	-1,300,000	
(2) 看護利用料収入	3,500,000	3,576,000	-76,000	
基本利用料収入	0	0	0	
交通費収入	3,500,000	3,576,000	-76,000	
(3) 介護報酬収入	198,600,000	208,200,000	-9,600,000	
介護報酬	198,600,000	208,200,000	-9,600,000	
介護保険利用料収入	0	0	0	
(4) その他事業収入	12,531,000	11,410,000	1,121,000	
その他事業収入	3,180,000	2,610,000	570,000	
その他受託収入	9,351,000	8,800,000	551,000	
(5) 事業外収入	2,533,500	4,134,000	-1,600,500	
その他事業外収入	980,000	2,949,900	-1,969,900	
受取県補助金・助成金	1,430,000	1,130,000	300,000	
受取利息	23,500	4,100	19,400	
雑収入	100,000	50,000	50,000	
(6) 他会計からの繰入額	2,895,000	1,745,000	1,150,000	
他会計からの繰入額	2,895,000	1,745,000	1,150,000	
事業活動収入計	372,059,500	382,365,000	-10,305,500	
2. 事業活動収入				
(1) 事業費支出	359,836,265	343,812,000	16,024,265	
給与手当支出	233,936,000	219,000,000	14,936,000	
法定福利費支出	38,800,000	35,800,000	3,000,000	
医薬品支出	90,000	170,000	-80,000	
福利厚生費支出	11,850,000	4,100,000	7,750,000	
旅費交通費支出	1,330,000	650,000	680,000	
職員被服費	520,000	650,000	-130,000	
通信費支出	5,800,000	6,400,000	-600,000	
消耗品支出	2,350,000	2,650,000	-300,000	
事務費支出	3,200,000	2,900,000	300,000	
車輛費支出	2,200,000	4,400,000	-2,200,000	
光熱水料費支出	3,500,000	5,300,000	-1,800,000	
賃借料支出	3,885,500	3,690,000	195,500	
リース料支出	9,400,000	13,700,000	-4,300,000	
保険料支出	1,200,000	3,400,000	-2,200,000	
交際費支出	210,000	300,000	-90,000	
諸会費支出	85,000	105,000	-20,000	
租税公課支出	2,507,000	2,010,000	497,000	
図書費支出	290,000	460,000	-170,000	
維持管理費	6,140,000	7,500,000	-1,360,000	
広告宣伝費支出	110,000	110,000	0	
研修費支出	1,600,000	1,600,000	0	
修繕費支出	470,000	100,000	370,000	
諸謝金支出	1,000,000	1,100,000	-100,000	
会議費支出	35,000	40,000	-5,000	
支払手数料支出	1,840,000	1,650,000	190,000	
印刷製本費支出	170,000	400,000	-230,000	
雑支出	80,000	50,000	30,000	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
退職金	0	0	0	
退職給付費支出	1,718,300	11,900,000	-10,181,700	
減価償却費	5,266,465	5,677,000	-410,535	
賞与引当金繰入額	20,253,000	8,000,000	12,253,000	
(2) 管理費支出	5,418,000	5,220,000	198,000	
役員報酬支出	4,438,000	4,500,000	-62,000	
法定福利費支出	676,000	700,000	-24,000	
福利厚生費支出	304,000	20,000	284,000	
(3) 他会計への繰入金支出	1,419,000	1,418,000	1,000	
他会計への繰入金支出	1,419,000	1,418,000	1,000	
事業活動支出計	366,673,265	350,450,000	16,223,265	
事業活動収支差額	5,386,235	31,915,000	-26,528,765	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(4) 長期貸付金収入	450,000	450,000	0	
長期貸付金収入	450,000	450,000	0	
投資活動収入計	450,000	450,000	0	
2. 投資活動支出				
(5) 投資活動支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
什器備品支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	450,000	450,000	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	200,000	602,000	-402,000	
当期収支差額	5,636,235	31,763,000	-26,126,765	
前期繰越収支差額	210,563,692	178,800,692	31,763,000	
次期繰越収支差額	216,199,927	210,563,692	5,636,235	

令和7年度居宅介護支援事業所特別会計収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
I 事業活動 収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 介護給付費収入	38,900,000	35,500,000	3,400,000	
介護給付費収入	38,900,000	35,500,000	3,400,000	
(3) 事業外収入	1,543,300	876,200	667,100	
受託収入（事業外）	1,543,000	876,000	667,000	
受取利息	300	200	100	
事業活動収入計	40,443,300	36,376,200	4,067,100	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	33,614,100	39,324,000	-5,709,900	
給与手当支出	22,836,000	30,800,000	-7,964,000	
法定福利費支出	3,792,000	3,550,000	242,000	
福利厚生費支出	1,010,000	110,000	900,000	
旅費交通費支出	20,000	20,000	0	
職員被服費	50,000	90,000	-40,000	
通信費支出	910,000	1,100,000	-190,000	
消耗品支出	350,000	390,000	-40,000	
事務費支出	300,000	200,000	100,000	
車輛費支出	250,000	370,000	-120,000	
光熱水料費支出	270,000	285,000	-15,000	
賃借料支出	105,600	230,000	-124,400	
リース料支出	1,150,000	1,250,000	-100,000	
保険料支出	71,000	110,000	-39,000	
交際費支出	3,000	5,000	-2,000	
諸会費支出	30,500	31,000	-500	
租税公課支出	10,000	16,000	-6,000	
図書費支出	40,000	70,000	-30,000	
維持管理費	250,000	390,000	-140,000	
研修費支出	30,000	70,000	-40,000	
修繕費支出	0	0	0	
支払手数料支出	105,000	150,000	-45,000	
雑支出	8,000	11,000	-3,000	
減価償却費	0	76,000	-76,000	
賞与引当金繰入額	2,023,000	0	2,023,000	
事業活動支出計	33,614,100	39,324,000	-5,709,900	
事業活動収支差額	6,829,200	-2,947,800	9,777,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
(1) 貸付金収入	0	0	0	
長期貸付金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
(2) 借入金返済支出	450,000	450,000	0	
長期借入金返済支出	450,000	450,000	0	
財務活動支出計	450,000	450,000	0	
財務活動収支差額	-450,000	-450,000	0	
IV 予備費支出	60,000	110,000	-50,000	
当期収支差額	6,319,200	-3,507,800	9,827,000	
前期繰越収支差額	12,679,428	16,187,228	-3,507,800	
次期繰越収支差額	18,998,628	12,679,428	6,319,200	

報告事項14 令和7年度山形県看護協会看護功労者表彰 並びに永年会員表彰者

看護功労者表彰（1名）

支部	氏 名	職 能	勤 務 先
山形	川 合 由美子	看護師	在宅

永年会員表彰（105名）

支部	氏 名	職 能	勤 務 先
山形	多 田 もと子	看護師	東北中央病院
山形	渡 邊 修	看護師	みゆき会病院
山形	島 貫 女久美	看護師	山形市立病院済生館
山形	渡 邊 和 美	看護師	山形市立病院済生館
山形	木 村 裕 子	看護師	山形市立病院済生館
山形	三 浦 朗 子	保健師	山形県村山保健所
山形	内 海 由美子	保健師	山形県村山保健所
山形	土 田 ゆ り	保健師	寒河江市役所
山形	山 本 かおる	保健師	寒河江市役所
山形	佐 藤 俊 枝	看護師	天童温泉矢吹クリニック
山形	齋 藤 久 美	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	秋 葉 由 香	助産師	山形大学医学部附属病院
山形	中 嶋 富美子	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	斎 藤 明 美	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	加 藤 美 穂	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	佐 藤 美 穂	看護師	山形県立こども医療療育センター
山形	遠 藤 智 子	看護師	山形県立こども医療療育センター
山形	志 田 陽 子	保健師	山形市こども未来部こども家庭支援課 こども家庭センター
山形	安孫子 百合子	看護師	寒河江市立病院
山形	阿 部 紀 子	看護師	寒河江市立病院
山形	石 山 千亜紀	看護師	寒河江市立病院
山形	伊 藤 千 代	看護師	寒河江市立病院
山形	伊 藤 ひとみ	看護師	寒河江市立病院
山形	上 村 恵美子	看護師	寒河江市立病院

支部	氏 名	職 能	勤 務 先
山形	尾 形 和 美	看護師	寒河江市立病院
山形	加 藤 美 和	看護師	寒河江市立病院
山形	後 藤 智 子	看護師	寒河江市立病院
山形	児 珠 京 子	看護師	寒河江市立病院
山形	斎 藤 綾 子	看護師	寒河江市立病院
山形	佐 竹 美智代	看護師	寒河江市立病院
山形	洪 谷 直 美	看護師	寒河江市立病院
山形	白 田 久 美	看護師	寒河江市立病院
山形	鈴 木 清 美	看護師	寒河江市立病院
山形	鈴 木 久美子	看護師	寒河江市立病院
山形	鈴 木 友 子	看護師	寒河江市立病院
山形	鈴 木 格 子	看護師	寒河江市立病院
山形	鈴 木 祐 子	看護師	寒河江市立病院
山形	高 橋 まゆみ	看護師	寒河江市立病院
山形	田 中 貴 子	看護師	寒河江市立病院
山形	土 田 祥 子	看護師	寒河江市立病院
山形	松 田 利江子	看護師	寒河江市立病院
山形	村 山 弥 生	看護師	寒河江市立病院
山形	山 田 敬 子	看護師	寒河江市立病院
山形	山 本 由紀子	看護師	寒河江市立病院
山形	渡 邊 ひろみ	看護師	寒河江市立病院
山形	安孫子 さとみ	看護師	山形県立中央病院
山形	佐 竹 恵美子	看護師	山形県立中央病院
山形	佐 東 浩 子	看護師	山形県立中央病院

支部	氏 名	職 能	勤 務 先
山形	佐 藤 栄 子	看護師	山形県立中央病院
山形	小 林 博 美	看護師	山形県立中央病院
山形	長 沼 育 子	看護師	山形県立中央病院
山形	安 彦 知 子	看護師	山形県立中央病院
山形	日 野 さおり	看護師	山形県立中央病院
山形	植 松 里 華	看護師	山形県立中央病院
山形	加 藤 ゆう子	看護師	山形県立中央病院
山形	鈴 木 里 美	看護師	山形県立中央病院
山形	森 谷 和 則	看護師	山形県立中央病院
山形	井 上 孝 子	看護師	山形済生病院
山形	佐 藤 恵 子	看護師	山形済生病院
山形	田 代 陽 子	看護師	山形済生病院
山形	川 合 英 樹	看護師	山形済生病院
山形	齋 藤 律 子	看護師	山形県立河北病院
山形	佐 藤 裕 美	看護師	山形県立河北病院
山形	鈴 木 絵 美	看護師	山形県立河北病院
最北	藤 原 由 紀	看護師	北村山公立病院
最北	高 橋 里 恵	看護師	北村山公立病院
最北	星 川 恵里子	看護師	北村山公立病院
最北	阿 相 由 美	看護師	北村山公立病院
最北	今 埜 恵	看護師	北村山公立病院
最北	東海林 礼 子	看護師	北村山公立病院
最北	齋 藤 郁 子	看護師	北村山公立病院
最北	室 岡 真由子	看護師	北村山公立病院
最北	野 口 薫	看護師	山形県立新庄病院
最北	佐 藤 美智代	看護師	山形県立新庄病院
最北	柿 崎 靖 子	看護師	山形県立新庄病院
最北	大 場 朋 江	看護師	山形県立新庄病院
最北	高 橋 真由美	看護師	山形県立新庄病院
最北	田 中 麗理子	看護師	山形県立新庄病院
最北	黒 田 和 恵	看護師	山形県立新庄病院
最北	野 口 千佳子	看護師	山形県立新庄病院
庄内	阿 部 美知子	看護師	鶴岡市立荘内病院

支部	氏 名	職 能	勤 務 先
庄内	菅 原 綾 子	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	今 野 香	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	齋 藤 真 紀	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	菅 原 紀 子	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	小野寺 ひろみ	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	和 田 美 枝	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	叶 野 明 子	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	佐 藤 恵	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	阿 部 由 美	看護師	鶴岡市立荘内病院
庄内	佐 藤 由 紀	看護師	日本海総合病院
庄内	富 樫 香 織	看護師	日本海総合病院
庄内	庄 司 由 里	看護師	日本海総合病院
庄内	三 浦 修	看護師	日本海総合病院
庄内	齋 藤 純	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
庄内	片 桐 由 美	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
置賜	平 山 美 保	看護師	公立置賜長井病院
置賜	加 藤 徳 子	看護師	公立高畠病院
置賜	平 井 育 子	看護師	白鷹町立病院
置賜	近 野 睦 子	保健師	山形県置賜保健所
置賜	大 沼 亜希子	看護師	公立置賜総合病院
置賜	高 梨 久美子	看護師	公立置賜総合病院
置賜	寒河江 美 恵	看護師	公立置賜総合病院
置賜	鈴 木 和香子	看護師	三友堂病院
置賜	米 野 早 苗	看護師	小国町立病院

令和 6 年度 山形県看護協会事業実施報告

教育研修実施報告・図書整備状況	120
地域の看護力強化支援事業	138
「出前授業」講師派遣事業	143

令和6年度教育研修実施報告

研修分類1：専門職としての活動の基盤となる研修

臨床実践能力

ニーズをとらえる力

No	急変兆候の理解と対応－急変時に慌てず動けるナースになれる！基礎知識編－									
1	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	I～Ⅳ	12/20(金) ～3/2(日)	150	92	非会員 4	0	4	83	5	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		40.7 %	活用できる		55.6 %	満足度70%以上		90.7 %	
	だいたい理解できた		48.1 %	やや活用できる		44.4 %				
	やや難しかった		9.3 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		9.3 %	
難しかった		1.9 %	活用できない		0 %					
No	急変徴候の理解と対応－急変時に慌てず動けるナースになれる！事例編－									
2	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	I～Ⅳ	12/20(金) ～3/2(日)	150	76	非会員 3	0	3	70	3	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		27.3 %	活用できる		54.5 %	満足度70%以上		88.6 %	
	だいたい理解できた		63.6 %	やや活用できる		38.6 %				
	やや難しかった		9.1 %	あまり活用できない		6.8 %	満足度70%未満		11.4 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	心電図レベルアップ－基本が役立つ－									
3	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	新人～Ⅲ	8/24(土)	150	85	非会員 1	1	3	79	2	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		17.3 %	活用できる		45.3 %	満足度70%以上		69.4 %	
	だいたい理解できた		45.4 %	やや活用できる		52 %				
	やや難しかった		29.3 %	あまり活用できない		2.7 %	満足度70%未満		30.6 %	
難しかった		8 %	活用できない		0 %					
No	心電図レベルアップ－不整脈を理解する－									
4	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	新人～Ⅲ	9/7(土)	150	81	非会員 5	0	0	81	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		13.3 %	活用できる		39.7 %	満足度70%以上		73.5 %	
	だいたい理解できた		54.4 %	やや活用できる		51.5 %				
	やや難しかった		23.5 %	あまり活用できない		8.8 %	満足度70%未満		26.5 %	
難しかった		8.8 %	活用できない		0 %					

No	慢性心不全患者の看護Ⅰ－基礎知識から学ぼう－												
5	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅲ	9/24(火)	150	35	非会員	0	1	33	1	0			
				2									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		22.9	%	活用できる		28.5	%	満足度70%以上		82.8		%
	だいたい理解できた		60	%	やや活用できる		68.6	%					
	やや難しかった		17.1	%	あまり活用できない		2.9	%	満足度70%未満		17.2		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	慢性心不全患者の看護Ⅱ－日常生活から支援しよう－												
6	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅲ	10/11(金)	200	52	非会員	0	1	48	1	2			
				4									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		40	%	活用できる		51.1	%	満足度70%以上		86.7		%
	だいたい理解できた		60	%	やや活用できる		48.9	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		13.3		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	糖尿病患者の看護－合併症予防のために看護ができること！－												
7	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅲ	12/3(火)	150	42	非会員	0	0	40	1	1			
				2									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		54.1	%	活用できる		56.8	%	満足度70%以上		94.6		%
	だいたい理解できた		43.2	%	やや活用できる		43.2	%					
	やや難しかった		2.7	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		5.4		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	摂食嚥下障害のある患者の看護－中小規模施設で働く看護職のための研修－山形県認定看護師等活用事業 集合研修－												
8	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	Ⅰ～Ⅲ	8/21(水)	80	50	非会員	0	0	48	2	0			
				12									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		70.6	%	活用できる		61.8	%	満足度70%以上		94.1		%
	だいたい理解できた		29.4	%	やや活用できる		38.2	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		5.9		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	行動・心理症状（BPSD）に着目した認知症ケアへのアプローチ－施設看護職員BPSD看護研修－												
9	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	Ⅰ～Ⅲ	7/8(月)	80	80	非会員	0	0	70	10	0			
				57									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		50.7	%	活用できる		54.8	%	満足度70%以上		100		%
	だいたい理解できた		47.9	%	やや活用できる		45.2	%					
	やや難しかった		1.4	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					

No	(JNA提供eラーニング活用研修) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修											
10	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		9/1(日)	30	29	非会員	0	1	28	0	0		
					4							
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた			68 %		活用できる		60 %		満足度70%以上		96 %
だいたい理解できた			28 %		やや活用できる		36 %					
やや難しかった			4 %		あまり活用できない		4 %		満足度70%未満		4 %	
難しかった			0 %		活用できない		0 %					
No	ACP【自己導入編】－はじめてみませんか、人生会議－											
11	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	新人～Ⅳ	7/22(月)	100	76	非会員	0	2	74	0	0		
				4								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた			38.9 %		活用できる		34.7 %		満足度70%以上		94.4 %
だいたい理解できた			45.8 %		やや活用できる		54.2 %					
やや難しかった			13.9 %		あまり活用できない		9.7 %		満足度70%未満		5.6 %	
難しかった			1.4 %		活用できない		1.4 %					
No	ACP【看護介入編】－支え、寄り添い、つなぐを考える－											
12	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	I～Ⅳ	7/29(月)	100	127	非会員	1	4	119	3	0		
				5								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた			51.3 %		活用できる		41.9 %		満足度70%以上		94.8 %
だいたい理解できた			46.1 %		やや活用できる		48.6 %					
やや難しかった			2.6 %		あまり活用できない		9.5 %		満足度70%未満		5.2 %	
難しかった			0 %		活用できない		0 %					
No	【在宅療養支援能力向上研修】Aging in Place（地域で暮らし生きる）を実現するために伴走する看護											
13	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	I～Ⅲ	12/13(金)	100	23	非会員	0	0	23	0	0		
				0								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた			33.3 %		活用できる		47.6 %		満足度70%以上		100 %
だいたい理解できた			52.4 %		やや活用できる		47.6 %					
やや難しかった			9.5 %		あまり活用できない		4.8 %		満足度70%未満		0 %	
難しかった			4.8 %		活用できない		0 %					
No	【庄内】Aging in Place（地域で暮らし、生きる）を叶えるためにOneTeamで伴走する											
14	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	Ⅲ～Ⅳ	11/16(土)	30	47	非会員	0	0	46	0	1		
				4								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた			60.7 %		活用できる		57.1 %		満足度70%以上		96.4 %
だいたい理解できた			35.7 %		やや活用できる		35.7 %					
やや難しかった			3.6 %		あまり活用できない		7.1 %		満足度70%未満		3.6 %	
難しかった			0 %		活用できない		0 %					

No	【最上】 Aging in Place（地域で暮らし、生ききる）を叶えるためにOneTeamで伴走する										
15	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
	Ⅲ～Ⅳ	11/17(日)	30	19	非会員 5	1	0	16	0	2	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた		83.3 %	活用できる		75 %	満足度70%以上		100 %		
	だいたい理解できた		16.7 %	やや活用できる		25 %					
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %		
	難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	【村山】 Aging in Place（地域で暮らし、生ききる）を叶えるためにOneTeamで伴走する										
16	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
	Ⅲ～Ⅳ	12/14(土)	30	20	非会員 2	1	0	17	0	2	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた		64.3 %	活用できる		71.4 %	満足度70%以上		92.9 %		
	だいたい理解できた		28.6 %	やや活用できる		28.6 %					
	やや難しかった		7.1 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		7.1 %		
	難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	【置賜】 Aging in Place（地域で暮らし、生ききる）を叶えるためにOneTeamで伴走する										
17	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
	Ⅲ～Ⅳ	12/15(日)	30	15	非会員 2	0	0	14	0	1	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた		57.1 %	活用できる		57.1 %	満足度70%以上		100 %		
	だいたい理解できた		42.9 %	やや活用できる		28.6 %					
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		14.3 %	満足度70%未満		0 %		
	難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	事例でわかる！社会資源の活用と連携										
18	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
	I～Ⅳ	10/5(土)	150	38	非会員 3	0	1	37	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた		32.4 %	活用できる		38.9 %	満足度70%以上		80.5 %		
	だいたい理解できた		35.1 %	やや活用できる		55.6 %					
	やや難しかった		32.4 %	あまり活用できない		5.6 %	満足度70%未満		19.5 %		
	難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	新人研修Ⅰ 社会人1年目看護職のための研修ーコミュニケーションスキルと接遇ー（教育委員会） オンライン研修										
19・20	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
	新人	7/17(水) 7/18(木)	各回 120	214	非会員 16	0	9	202	3	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた		82.2 %	活用できる		84.5 %	満足度70%以上		97.6 %		
	だいたい理解できた		17.8 %	やや活用できる		15 %					
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0.5 %	満足度70%未満		2.4 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %						

No.	新人研修Ⅱ 社会人1年目看護職のための研修－アンガーマネジメントの基礎と実践－（教育委員会） オンライン研修									
21 ・ 22	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	新人	8/26(月) 8/27(火)	各回 120	219	非会員 15	0	5	211	3	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		58.3 %	活用できる		65.2 %	満足度70%以上		88.2 %	
	だいたい理解できた		39.3 %	やや活用できる		32.9 %				
	やや難しかった		2.4 %	あまり活用できない		1.4 %	満足度70%未満		11.8 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0.5 %				

専門的・倫理的・法的な実践能力

倫理的実践	No.	新人研修Ⅲ 社会人1年目看護職のための研修－倫理綱領を用いて日常看護を振り返る－									
	23 ・ 24	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
							保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		新人	10/29(火) 10/30(水)	各回 120	220	非会員 15	0	8	209	3	0
		理解度			活用度			満足度			
		理解できた		68.2 %	活用できる		69.1 %	満足度70%以上		88.8 %	
		だいたい理解できた		24.1 %	やや活用できる		28.5 %				
		やや難しかった		7.1 %	あまり活用できない		2.4 %	満足度70%未満		11.2 %	
		難しかった		0.6 %	活用できない		0 %				

リーダーシップとマネジメント能力

安全な環境の整備

No.	感染対策研修【JNAオンデマンド研修114】												
25	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅱ	11/13(水)	50	44	非会員	1	0	41	2	0			
					6								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		66.7	%	活用できる		85.7	%	満足度70%以上		92.8		%
	だいたい理解できた		33.3	%	やや活用できる		14.3	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		7.2		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No.	医療安全スキルアップ研修-医療現場におけるクレーム対応とペイシエントハラスメント対応について-（医療・看護安全対策委員会）												
26	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	Ⅱ～Ⅳ	10/8(火)	80	70	非会員	0	4	66	0	0			
					2								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		65	%	活用できる		60	%	満足度70%以上		97.5		%
	だいたい理解できた		32.5	%	やや活用できる		40	%					
	やや難しかった		2.5	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		2.5		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					

No	災害看護研修－防災力アップセミナー－												
27	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅳ	7/30(火)	50	45	非会員	0	2	42	1	0			
					4								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		72.7	%	活用できる		54.5	%	満足度70%以上		93.2		%
	だいたい理解できた		27.3	%	やや活用できる		40.9	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		4.6	%	満足度70%未満		6.8		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	心理的安全性とは？高めることで職場環境が変わる－自分の意見や気持ちを安心して表現できる職場環境－												
28	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
	新人～Ⅳ	12/19(木)	150	97	非会員	0	1	93	2	1			
					3								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		50.6	%	活用できる		48.7	%	満足度70%以上		92.3		%
	だいたい理解できた		41.8	%	やや活用できる		50	%					
	やや難しかった		6.3	%	あまり活用できない		1.3	%	満足度70%未満		7.7		%
	難しかった		1.3	%	活用できない		0	%					

専門性の開発能力

No	地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援－包括的な母子保健の推進にむけて　こども家庭センターの役割－												
29	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
	新人～Ⅳ	9/7(土)	50	39	非会員	20	15	4	0	0			
				3									
	理解度				活用度			満足度					
	理解できた		85.7	%	活用できる		74.3	%	満足度70%以上		94.2		%
	だいたい理解できた		14.3	%	やや活用できる		25.7	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		5.8		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	やってみよう　看護研究－「なぜ？」から発展する看護－												
30	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
	新人～Ⅱ	5/14(火)	100	51	非会員	0	3	45	3	0			
				2									
	理解度				活用度			満足度					
	理解できた		18	%	活用できる		40	%	満足度70%以上		88		%
	だいたい理解できた		70	%	やや活用できる		54	%					
	やや難しかった		12	%	あまり活用できない		6	%	満足度70%未満		12		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	研究論文助言												
31	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		2/14(金)		4	非会員								

看護実践の質の改善

No	無痛分娩の実際と助産ケアー無痛分娩を安全に行うために助産師が知ること・できることー											
32	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	I～Ⅳ	9/13(金)	40	13	非会員	0	13	0	0	0		
				0								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		100	%	活用できる		69	%	満足度70%以上		92.3	
だいたい理解できた		0	%	やや活用できる		31	%					
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		7.7		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	どんなときでも「生きる支え」を見つけるヒントー「いのち」の医師が伝える折れない心の育て方ー											
33	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	新人～Ⅳ	10/15(火)	40	68	非会員	0	2	66	0	0		
				2								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		60.8	%	活用できる		70.6	%	満足度70%以上		82.3	
だいたい理解できた		29.4	%	やや活用できる		25.5	%					
やや難しかった		9.8	%	あまり活用できない		3.9	%	満足度70%未満		17.7		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	卒後2年目対象研修 元気回復行動プラン（WRAP）ー自分でつくる「元気になれる道工具箱」ー											
34・35	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	I～	6/21(金) 6/24(月)	各回100	176	非会員	0	3	168	5	0		
				4								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		76.4	%	活用できる		73.6	%	満足度70%以上		94.8	
だいたい理解できた		23.6	%	やや活用できる		25.3	%					
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		1.1	%	満足度70%未満		5.2		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会											
36	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	新人～Ⅳ	7/1(月)～ 11/22(金)	40	26	非会員	1	0	25	0	0		
				11								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		68	%	活用できる		72	%	満足度70%以上		92	
だいたい理解できた		32	%	やや活用できる		28	%					
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		8		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	訪問看護技術研修Ⅰ ー心不全患者の望む生活を実現する看護ー											
37	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
	新人～Ⅳ	7/20(土)	40	26	非会員	1	0	23	0	2		
				9								
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		73.3	%	活用できる		46.7	%	満足度70%以上		93.3	
だいたい理解できた		26.7	%	やや活用できる		46.7	%					
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		6.6	%	満足度70%未満		6.7		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					

No	訪問看護技術研修Ⅱ　ー訪問看護現場で活かせるアセスメントを学ぶー									
38	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	新人～Ⅳ	8/31(土)	40	20	非会員 5	2	0	18	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		37.5 %	活用できる		50 %	満足度70%以上		87.5 %	
	だいたい理解できた		62.5 %	やや活用できる		50 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		12.5 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	訪問看護技術研修Ⅲ　ー精神科看護で活かせるコミュニケーションを身につけ、アセスメントに活かすー									
39	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	新人～Ⅳ	12/7(土)	40	20	非会員 5	0	0	18	0	2
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		35.7 %	活用できる		42.9 %	満足度70%以上		85.8 %	
	だいたい理解できた		64.3 %	やや活用できる		57.1 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		14.2 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	山形県訪問看護総合支援センター事業　専門看護師・認定看護師等派遣研修（1回　15回施設）									
40	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		4/1～3/31	15施設		非会員	15施設に15名（延べ数）の認定看護師を派遣				
No	「まちの保健室」ボランティア育成研修　丈夫な骨を作ろう～骨粗鬆症の健診を受けよう～									
41	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		10/16(水)	40	12	非会員 0	0	1	11	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		50 %	活用できる		37.5 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		62.5 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	潜在看護師等復職研修　eラーニングを活用した復職支援研修									
42	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		5/1～3/31	49	21	非会員 未集計	4	0	14	3	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		42.9 %	活用できる		100 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		42.9 %	やや活用できる		0 %				
	やや難しかった		14.3 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No	潜在看護師等復職研修 「病院等施設実地研修」									
43	ラダー	開催日	定員	参加者数		内 訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		7月～2月 全7回	70	60	非会員 未集計	13	2	42	3	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		70.7 %	活用できる		68.6 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		26.4 %	やや活用できる		30 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		2.9 %	活用できない		1.4 %				
No	山形県認定看護師等活用事業－出前研修－（中小規模病院・診療所・介護老人保健施設 各施設1回 25施設）									
44	ラダー	開催日	定員	参加者数		内 訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		4/1～3/31	25施設		非会員	16施設に16名（延べ数）の認定看護師を派遣				

研修分類2：看護・医療政策に関する研修

No	山形県看護職員認知症対応力向上研修（病院看護職対象）【山形会場】〈認知症ケア加算２・３対応〉												
45	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		8/28・29・30 (水・木・金)	70	87	非会員	0	1	86	0	0			
				8									
	理解度				活用度			満足度					
	理解できた		48.7	%	活用できる		57.9	%	満足度70%以上		97.4		%
	だいたい理解できた		46.1	%	やや活用できる		42.1	%					
	やや難しかった		5.3	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		2.6		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	山形県看護職員認知症対応力向上研修（病院看護職対象）【庄内会場】〈認知症ケア加算２・３対応〉												
46	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		9/11・12・13 (水・木・金)	70	32	非会員	0	1	31	0	0			
				8									
	理解度				活用度			満足度					
	理解できた		40.6	%	活用できる		56.3	%	満足度70%以上		100		%
	だいたい理解できた		53.1	%	やや活用できる		43.8	%					
	やや難しかった		6.3	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	(JNA収録DVD研修) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 〈認知症ケア加算２・３対応〉												
47	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		10/24・25 (木・金)	100	37	非会員	0	0	36	1	0			
				3									
	理解度				活用度			満足度					
	理解できた		58.3	%	活用できる		41.7	%	満足度70%以上		95.7		%
	だいたい理解できた		41.7	%	やや活用できる		54.2	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		4.2	%	満足度70%未満		4.3		%
難しかった		0	%	活用できない		0	%						

No	(JNA提供eラーニング活用研修) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※対面演習 ※看護補助体制充実加算対応											
48	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		11/12(火)	80	64	非会員	0	4	60	0	0		
					4							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		55.9	%	活用できる		41.7	%	満足度70%以上	93.2	%	
	だいたい理解できた		44.1	%	やや活用できる		58.3	%				
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満	6.8	%	
	難しかった		0	%	活用できない		0	%				
No	(JNA提供eラーニング活用研修) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※RT配信演習 ※看護補助体制充実加算対応											
49	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		12/10(火)	80	41	非会員	0	1	40	0	0		
					1							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		39.1	%	活用できる		45.8	%	満足度70%以上	79.2	%	
	だいたい理解できた		43.5	%	やや活用できる		50	%				
	やや難しかった		8.7	%	あまり活用できない		4.2	%	満足度70%未満	20.8	%	
	難しかった		8.7	%	活用できない		0	%				
No	【JNA主催オンデマンド研修】 医療安全管理者養成研修【集合研修】－安全文化の醸成－〈医療安全対策加算対応〉											
50	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		9/26(木)	50	62	非会員	0	0	62	0	0		
					3							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		34.1	%	活用できる		40	%	満足度70%以上	90.3	%	
	だいたい理解できた		46.4	%	やや活用できる		55	%				
	やや難しかった		19.5	%	あまり活用できない		5	%	満足度70%未満	9.7	%	
	難しかった		0	%	活用できない		0	%				
No	知ってほしい！特定行為研修制度－看護師の特定行為研修事業－											
51	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		12/4(水)	50	40	非会員	1	0	38	0	1		
					6							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		42	%	活用できる		26.7	%	満足度70%以上	74.1	%	
	だいたい理解できた		54.8	%	やや活用できる		60	%				
	やや難しかった		3.2	%	あまり活用できない		13.3	%	満足度70%未満	25.9	%	
	難しかった		0	%	活用できない		0	%				
No	活躍を後押し！特定行為研修修了者への支援体制－看護師の特定行為研修事業－											
52	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		12/12(木)	50	32	非会員	0	2	30	0	0		
					4							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		54.2	%	活用できる		25	%	満足度70%以上	70.8	%	
	だいたい理解できた		45.8	%	やや活用できる		58.3	%				
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		16.7	%	満足度70%未満	29.2	%	
	難しかった		0	%	活用できない		0	%				

No	災害支援ナース養成研修									
53	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	Ⅱ～Ⅳ	11/26・27 (火・水)	50	44	非会員	1	1	42	0	0
	5									
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		44.2 %	活用できる		100 %	満足度70%以上		97.7 %	
	だいたい理解できた		55.8 %	やや活用できる		0 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		2.3 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	山形県IHEAT登録者研修									
54	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		11/30(土) 12/7(土)	30	13	非会員	4	2	5	1	1
					6					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		54.5 %	活用できる		63.6 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		45.5 %	やや活用できる		36.4 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

研修分類3：人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修

No	次世代を担うナースの育成-看護を未来へ！-第35回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会※eラーニング活用科目あり									
55	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		4/23(火)～ 6/18(火)	40	31	非会員	0	1	30	0	0
					3					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		32.3 %	活用できる		51.6 %	満足度70%以上		96.8 %	
	だいたい理解できた		67.7 %	やや活用できる		48.4 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		3.2 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	次世代を担うナースの育成-看護を未来へ！-第10回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）									
56	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		5/15(水)～ 6/12(水)	20	7	非会員	0	0	7	0	0
					1					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		14.3 %	活用できる		57.1 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		85.7 %	やや活用できる		42.9 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No	4つのしんか（新化・伸化・深化・進化）でバージョンアップー山形県看護実習指導者サポート研修ー									
57	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		11/1(金)	80	17	非会員 2	0	1	16	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		81.8 %	活用できる		63.6 %	満足度70%以上		90.9 %	
	だいたい理解できた		9.1 %	やや活用できる		36.4 %				
	やや難しかった		9.1 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		9.1 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	教育者としての私を育むー実地指導者研修Ⅰー									
58	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		6/20(木)	150	120	非会員 5	0	7	111	2	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		65 %	活用できる		68.1 %	満足度70%以上		95.8 %	
	だいたい理解できた		34.2 %	やや活用できる		30.3 %				
	やや難しかった		0.8 %	あまり活用できない		1.6 %	満足度70%未満		4.2 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	「教える」と「教わる」のマッチングー実地指導者研修Ⅱー									
59	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		7/2(火)	120	103	非会員 5	0	5	97	1	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		62 %	活用できる		68 %	満足度70%以上		94 %	
	だいたい理解できた		37 %	やや活用できる		31 %				
	やや難しかった		1 %	あまり活用できない		1 %	満足度70%未満		6 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	学び合いを支える教育的関わりー教育担当者研修ー									
60	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		8/20(火)	80	51	非会員 2	0	2	49	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		46 %	活用できる		42 %	満足度70%以上		96 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		58 %				
	やや難しかった		4 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		4 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	新人がのびやかに育つ環境づくりー研修責任者研修ー									
61	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		10/22(火)	50	29	非会員 0	0	1	28	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		46.4 %	活用できる		39.3 %	満足度70%以上		92.8 %	
	だいたい理解できた		46.4 %	やや活用できる		57.1 %				
	やや難しかった		7.1 %	あまり活用できない		3.6 %	満足度70%未満		7.2 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

研修分類４：看護管理者を対象とした研修

No	訪問看護管理者研修Ⅰ－未来に向けた訪問看護の人材管理－										
62	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		9/12(木)	40	24	非会員 6	0	0	24	0	0	
	理解度				活用度			満足度			
	理解できた		66.7	%	活用できる		55.6	%	満足度70%以上	94.4	%
	だいたい理解できた		27.8	%	やや活用できる		33.3	%			
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		11.1	%	満足度70%未満	5.6	%
	難しかった		5.5	%	活用できない		0	%			
No	訪問看護管理者研修Ⅱ－数字から読み解く訪問看護事業所運営－										
63	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		10/5(土)	40	26	非会員 14	0	0	24	0	2	
	理解度				活用度			満足度			
	理解できた		10.5	%	活用できる		21.1	%	満足度70%以上	94.4	%
	だいたい理解できた		57.9	%	やや活用できる		63.2	%			
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満	5.6	%
	難しかった		31.6	%	活用できない		15.8	%			

研修分類５：資格認定教育

No	認定看護管理者教育課程ファーストレベル									
64	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		6/28(金)～ 8/8(木)	80	81	非会員 0	1	2	78	0	0
No	認定看護管理者教育課程サードレベル									
65	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		9/5(木)～ 12/6(金)	20	20	非会員 0	0	2	18	0	0
No	認定看護管理者教育課程セカンド・サードレベル修了者実践報告会ーめざす看護のハーモニーー									
66	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		10/26(土)	80	84	非会員 0	0	3	81	0	0

公開講座

No	【公開講座】山形県看護実習指導者講習会（特定分野）教育の基盤（教育原理・心理・方法・評価）												
67	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		5/15(水)	10	2	非会員	0	0	2	0	0			
					0								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		50	%	活用できる		100	%	満足度70%以上		100		%
	だいたい理解できた		50	%	やや活用できる		0	%					
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【ファーストレベル公開講座】ヘルスケアシステム論Ⅰーヘルスケアサービスにおける看護の役割 社会的責任ー												
68	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		6/29(土)	40	7	非会員	0	1	6	0	0			
					1								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		14.3	%	活用できる		0	%	満足度70%以上		85.7		%
	だいたい理解できた		42.9	%	やや活用できる		71.4	%					
	やや難しかった		42.9	%	あまり活用できない		28.6	%	満足度70%未満		14.3		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【ファーストレベル公開講座】組織管理論Ⅰー組織マネジメント概論 組織マネジメントに関する基礎知識ー												
69	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		8/1(木)	40	24	非会員	1	0	23	0	0			
					2								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		11.1	%	活用できる		27.8	%	満足度70%以上		66.7		%
	だいたい理解できた		66.7	%	やや活用できる		61.1	%					
	やや難しかった		22.2	%	あまり活用できない		11.1	%	満足度70%未満		33.3		%
	難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【ファーストレベル公開講座】質管理Ⅰー看護サービスの質管理ー看護サービスの基本概念・看護サービスの質評価と改善												
70	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		8/5(月)	40	30	非会員	0	0	30	0	0			
					1								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		25	%	活用できる		31.8	%	満足度70%以上		79.1		%
	だいたい理解できた		54.2	%	やや活用できる		54.5	%					
やや難しかった		20.8	%	あまり活用できない		13.6	%	満足度70%未満		20.9		%	
難しかった		0	%	活用できない		0	%						

No	【ファーストレベル公開講座】ヘルスケアシステム論Ⅰ－ヘルスケアサービスにおける看護の役割 看看連携－／組織管理論Ⅰ－組織マネジメント概論－												
71	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		8/8(木)	40	13	非会員	0	0	13	0	0			
					2								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		11.1	%	活用できる		50	%	満足度70%以上		77.8		%
	だいたい理解できた		77.8	%	やや活用できる		50	%					
やや難しかった		11.1	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		22.2		%	
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	【サードレベル公開講座】組織管理論Ⅲ－組織デザインと組織運営－												
72	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		9/10(火) 中止			非会員								
No	【サードレベル公開講座】組織管理論Ⅲ－看護実践における倫理－												
73	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		9/11(水)	40	19	非会員	0	0	19	0	0			
					0								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		66.7	%	活用できる		39.3	%	満足度70%以上		75		%
	だいたい理解できた		25	%	やや活用できる		50	%					
やや難しかった		8.3	%	あまり活用できない		10.7	%	満足度70%未満		25		%	
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	【サードレベル公開講座】ヘルスケアシステム論Ⅲ－看護制度・政策の動向－												
74	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		9/23(月)	40	11	非会員	1	0	10	0	0			
					0								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		87.5	%	活用できる		62.5	%	満足度70%以上		100		%
	だいたい理解できた		12.5	%	やや活用できる		37.5	%					
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0		%	
難しかった		0	%	活用できない		0	%						
No	【サードレベル公開講座】人材管理Ⅲ－社会システムと労務管理－												
75	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
		10/1(火)	40	6	非会員	0	0	6	0	0			
					0								
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた		33.3	%	活用できる		0	%	満足度70%以上		66.6		%
	だいたい理解できた		33.3	%	やや活用できる		66.7	%					
やや難しかった		33.3	%	あまり活用できない		33.3	%	満足度70%未満		33.3		%	
難しかった		0	%	活用できない		0	%						

No	【サードレベル公開講座】 資源管理Ⅲ－経営戦略－											
76	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		10/17(木)	40	10	非会員	0	0	10	0	0		
					0							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		44.4	%	活用できる		22.2	%	満足度70%以上		77.8 %	
	だいたい理解できた		44.4	%	やや活用できる		77.8	%				
やや難しかった		11.1	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		22.2 %		
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【サードレベル公開講座】 質管理Ⅲ－危機管理（災害のリスク管理体制調整）－											
77	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		11/6(水)	40	12	非会員	0	0	12	0	0		
					0							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		45.5	%	活用できる		18.2	%	満足度70%以上		90.9 %	
	だいたい理解できた		45.5	%	やや活用できる		63.6	%				
やや難しかった		9	%	あまり活用できない		18.2	%	満足度70%未満		9.1 %		
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【サードレベル公開講座】 組織管理論Ⅲ－組織デザインと組織運営－											
78	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		12/5(木)	40	4	非会員	1	0	3	0	0		
					0							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		25	%	活用できる		50	%	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		75	%	やや活用できる		50	%				
やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0 %		
難しかった		0	%	活用できない		0	%					

その他の研修

No	助産師短期交流研修											
79	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		9～12月		27	非会員	0	27	0	0	0		
					8							
	理解度				活用度			満足度				
	理解できた		96.2	%	活用できる		69.2	%	満足度70%以上		100	%
	だいたい理解できた		3.8	%	やや活用できる		30.8	%				
	やや難しかった		0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0	%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	通常総会後職能合同研修											
80	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		6/14(金)	100	147	非会員							

No	山形県看護研究学会											
81	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		11/21(木)		92	非会員	0	6	84	2	0		
					5							
	研究発表（口演）						特別講演					
	良かった					72.7	%	良かった			77.3	%
	まあまあ良かった					27.3	%	まあまあ良かった			22.7	%
	あまり良くなかった					0	%	あまり良くなかった			0	%
良くなかった					0	%	良くなかった			0	%	
No	医療安全やまがたフォーラム ※県内医療5団体共催											
82	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		10/26(土)		80	非会員							
No	山形県公衆衛生学会											
83	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		3/10(月)		257	非会員							

追加開催

No	【追加研修】組織で行う看護職の生涯学習支援－生涯学習ガイドラインの導入と活用について－【JNAオンデマンド研修No132】											
84	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		10/31(木)	30	39	非会員	0	0	39	0	0		
					0							
	理解度			活用度			満足度					
	理解できた		41.2	%	活用できる		52.9	%	満足度70%以上		88.2	%
	だいたい理解できた		52.9	%	やや活用できる		41.2	%				
	やや難しかった		5.9	%	あまり活用できない		5.9	%	満足度70%未満		11.8	%
難しかった		0	%	活用できない		0	%					
No	【追加開催】看護基礎教育を考える会											
85	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳						
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
		1/10(金)		134	非会員	1	7	126	0	0		
					16							

令和6年度図書整備状況

令和7年3月31日現在

1. 蔵書数・及びDVD・CD-ROM・ビデオ数

年度	図 書 (冊)			DVD／CD (巻)			ビデオ (巻)		
	新規登録数	除籍数	蔵書数	新規登録数	除籍数	蔵書数	新規登録数	除籍数	蔵書数
R4年度	84	230	2,612	4	3	169	0	53	2
R5年度	54	311	2,355	1	6	164	0	0	2
R6年度	42	32	2,365	0	0	164	0	0	2

2. 図書室利用人数

年度	利用者数 (名)		貸出件数 (件)	
	会員	非会員	図書	ビデオ DVD
R4年度	59	9	83	3
R5年度	71	12	120	1
R6年度	91	22	69	0

3. 雑誌一覧

No.	雑誌名	No.	雑誌名	No.	雑誌名
1	看護	8	保健師ジャーナル	15	厚生の指標
2	コミュニティケア	9	公衆衛生	16	ナーシングビジネス
3	訪問看護と介護	10	看護展望	17	精神科看護
4	看護研究	11	小児看護	18	難病と在宅ケア
5	看護教育	12	緩和ケア	19	インфекションコントロール
6	看護管理	13	がん看護	20	週刊保健衛生ニュース
7	助産雑誌	14	EXPERT NURSE	21	季刊SEXUALITY

事業報告

事業名「令和6年度 山形県看護協会地域の看護力強化事業」		総事業費：282,574円
【目的】 地域の看護職団体が支部と連携し地域における看護職間の恒常的なネットワークを構築するとともに地域の看護力強化を図り、人々が住み慣れた地域で最期まで暮らせる地域づくりに寄与することを目指す活動に対し助成をする。		
【内容】 目的に沿って4地域6団体が事業を計画し実施・評価を行った。		
1. 庄内地域看護管理者ネットワーク会議		
1) 構成員 代表：鶴岡市立荘内病院 副院長（兼）看護部長 原田あけみ 庄内地域の14病院、看護協会庄内支部長、庄内保健所、訪問看護ステーション、介護保健施設等の看護管理者		
2) 目標（1）庄内地域の看護職間のネットワークを堅持し地域の課題解決に向けた取組みを推進する （2）庄内地域の専門・認定看護師との連携を強化し、庄内地域の看護の質を保証する		
3) 活動報告		
5月29日	第1回事務局会議 オンライン開催 参加者数7名 内容 1. 令和5年度山形県看護協会地域の看護力強化支援事業成果報告 2. 令和6年度山形県看護協会地域の看護力強化支援事業活動について 3. 令和6年度年間活動計画について 4. 令和6年度庄内地域看護管理者ネットワーク会議構成員名簿 5. 令和6年度庄内地域看護管理者ネットワーク会議構成員連絡名簿について 6. 令和6年度専門・認定看護師一覧、専門・認定看護師活用実績について	
6月3日	第1回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 庄内保健所 参加者数19名 内容 1. 令和5年度山形県看護協会地域の看護力強化支援事業成果報告 2. 令和6年度山形県看護協会地域の看護力強化支援事業活動について 3. 令和6年度年間活動計画について 4. 令和6年度庄内地域看護管理者ネットワーク会議構成員名簿 5. 令和6年度庄内地域看護管理者ネットワーク会議構成員連絡名簿について 6. 令和6年度専門・認定看護師一覧、専門・認定看護師活用実績について	
7月19日	第2回事務局会議 オンライン開催 参加者数7名 内容 1. 令和6年7月2日行政統括保健師会議での情報共有と今後の事業計画 8月30日開催「第8次保健医療計画に基づく地域ケアシステム」について 2. 令和6年度会計について 3. その他 9月1日 庄内支部研修会について、9月13日 高齢者ケア学会について	
8月30日	第2回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 ハイブリッド開催 庄内保健所 参加者数48名 内容 1. 講義「第8次保健医療計画に基づく地域ケアシステムについて」 講師 医療監（兼）庄内保健所 蘆野吉和氏 2. 意見交換「庄内地域の健康課題解決に向けた連携について」	
9月1日	第3回庄内地域看護管理者ネットワーク会議（庄内支部研修合同開催）参加者数（会員）11名 内容 テーマ「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」 ～庄内地域における訪問看護の現状と課題～	
9月13日	第4回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 第22回庄内高齢者ケア学会参画 ハイブリッド開催 酒田市総合文化センター 参加者数（会員）10名 内容 テーマ「医療・介護の在りたい姿」～この地域で最後まで自分らしく生きることを支援する	
11月25日	第3回事務局会議 オンライン開催 参加者数7名 内容 1. 2月のネットワーク会議の進め方について 2. 次年度の事務局体制について	
2月26日	第5回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 オンライン開催 参加者数19名 内容 1. 「在宅医療推進のための地域看護の繋がり」をテーマに症例検討 訪問看護ステーションゆざ 富樫団 氏 2. 次年度の事務局体制について	
【評価と課題（まとめ）】 地域の課題について、研修会、講義、症例検討と様々な形で情報共有、意見交換することで、各施設の役割を再確認し、ネットワークを堅持することができた。行政保健師との研修会では、第8次保健医療計画の共有と地域の健康課題解決に向けた意見交換ができて有意義であった。また、庄内支部の合同研修会と活動が連動し、管理者だけではなく、スタッフを巻き込んだ活動につながった。事例検討では、地域で看護を繋ぐこと、ACPIについて意見交換し看護管理者として今後について考える機会となった。チャットワークの活用により各施設の課題解決や災害時の情報共有ができた。次年度も引き続き連携を強化し地域課題の解決に取り組んでいく。専門・認定看護		

師の活動は、各施設や団体を通し地域住民への看護の質の向上に役立っていると考え。次年度も活用を推進していく。

2. 最上地域看護管理者ネットワーク会議

- 1) 構成員 代表：山形県立新庄病院 副院長兼看護部長 峯田弥生
最上地域の5病院、訪問看護ステーションの管理者、看護協会最北支部長、1市3町3村の保健師、診療所、特老ホーム等の看護管理者等
- 2) 目標 (1) 医療を取り巻く変化に対応できる看護管理者としての実践能力を高め、地域の看護力の向上及び連携のための事業を行う。また、地域の課題解決に向けた取り組みを推進する。
- 3) 活動報告

7月5日	第1回役員会 山形県立新庄病院会議室 参加者数6名 内容 1. 最上地域看護管理者ネットワーク会設置要綱(案)について 2. 会員名簿及び代表・副代表の選出について 3. 令和6年度事業計画(案)について 4. 令和6年度第1回会議・研修会(案)について
12月13日	第1回会議 山形県立新庄病院会議室 参加者数34名 10:00~12:00 内容 講演1「最上地域の医療連携の現状」 講師：最上総合支庁最上保健所 所長 山田敬子氏 講演2「訪問看護師はなにができるのか」 講師：訪問看護ステーション新庄 所長 柿崎由美子氏 グループワーク「最上地域の医療と介護・福祉の連携における現状を共有し課題を探る」 アドバイザー：最上総合支庁最上保健所 所長 山田敬子氏 山形県看護協会 常任理事 菅野弘美氏
3月11日	第2回役員会 山形県立新庄病院会議室 参加者数6名 内容 1. 令和6年度事業実施報告、成果報告書・事業費概要について 2. 令和7年度事業計画について

【評価と課題(まとめ)】

計画では会議・研修会を2回ずつ予定したが、7月の豪雨災害により1回の開催となった。会議と研修会両方に参加した人は19名であった。小規模施設からの参加はスケジュール調整が難しいようだった。山田最上保健所長より提案があり、地域の介護老人保健施設や特老ホーム、訪問看護ステーション看護管理者に参加案内を行ったが、2施設(2名)の参加だった。アンケート結果から、最上地域における医療施設と介護施設、福祉の現状を知ることができ、地域の中で各施設の役割を確認する良い機会となったという意見が多かった。医療施設、介護施設、訪問看護、在宅領域それぞれの看護管理者がお互いに情報交換し、最上地域の課題解決に向け協力していくことが必要である。そのためにもこのネットワーク会は有効なものであり、今後も継続していくこと、介護施設や訪問看護ステーション、在宅領域の看護管理者への周知を行い、会員拡大につなげていきたい。

3. 西北村山地域等看護力連携会

- 1) 構成員 代表：北村山公立病院 副院長兼看護部長 後藤 慶
西北村山地域等の12病院、10訪問看護ステーションの看護管理者、看護協会山形支部長、村山保健所保健師、5市5町保健師
- 2) 目標 (1) 職場を超えた看護職等のネットワークにより、各施設・行政間での取り組みについて情報共有し連携を図りながら地域の看護力強化を図り、人々が住み慣れた地域で最後まで暮らせる地域づくりに寄与する
- 3) 活動報告

5月30日	第1回西北村山地域等看護力連携会事務局会議 北村山公立病院 参加者数7名 内容 1. 令和6年度西北村山地域等看護力連携会の計画について 2. 事務局の役割担当について
8月2日	第1回西北村山地域等看護力連携会 村山市甕葉プラザ 参加者数27名 内容 1. 令和6年度西北村山地域等看護力連携会事業実施要領について 2. 西北村山地域等看護力連携会代表及び事務局について 3. 研修会：西北村山地域等の施設紹介(9施設)による多職種交流会
9月18日	第2回西北村山地域等看護力連携会事務局会議 北村山公立病院 参加者数4名 内容 1. 第1回西北村山地域等看護力連携会の報告 2. 第2回西北村山地域等看護力連携会について
11月8日	第2回西北村山地域等看護力連携会 北村山公立病院 参加者数27名 内容 1. 研修会：地域住民へのACP推進のための研修会 テーマ「地域住民にACPを広げるために何をすべきか」

3月4日	第3回西北村山地域等看護力連携会事務局会議 北村山公立病院 参加者数7名 内容 1. 令和6年度西北村山地域等看護力連携会実施報告および決算について 2. 次年度の計画について 3. 次年度の事務局担当について
【評価と課題（まとめ）】 今年度は研修会を2回開催した。1回目の研修会では施設紹介を通じて他職種交流会を図った。当連携会にとっては新たな試みであったが、参加者からは地域の施設への理解が深まった、また企画してほしいとの意見あり大変好評であった。2回目の研修会ではACPを取り上げ、地域住民への周知や理解を進めるために自分たちは何をすべきかについて病院、訪問看護、行政それぞれの立場で意見交換を行った。この研修会も参加者全員から良かったとの評価をいただいた。今年度は3回の事務局会議も含め予定通り事業を実施することができた。西北村山地域等の看護職間の連携と看護力強化をより一層図ることができるように活動することを次年度の課題とした。	

4. 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会

- 1) 構成員 代表：医療法人社団松柏会至誠堂総合病院 看護部長 犬石里香
11病院、6訪問看護ステーションの看護管理者、老健施設等 村山保健所保健師、2市保健師
- 2) 目標 (1) ネットワーク会の管理者と連携し、地域包括ケアシステムの構築・継続に向けて、情報交換や課題共有、課題解決に向けた検討を通して、地域の看護提供体制の推進と看護力強化を図る
(2) 東南村山地域施設等の看護管理者のネットワークを構築・継続する
- 3) 活動報告

5月30日	第1回事務局会議 看護協会訪問看護会館2階会議室 出席者数4名 内容 1. 令和6年度活動について計画作成 2. 第1回ネットワーク会議の内容と役割分担の確認 3. 事務局会議の開催場所は「篠田総合病院の会議室」と確認
7月18日	第1回ネットワーク会議 看護協会訪問看護会館2階研修室 出席者数15名 内容 1. 令和6年度活動計画について説明と質疑応答 2. 看護サマリーの活用状況について各施設より報告 ・共通サマリーを使えるといいが各々の施設の状況で進まない部分もある ・今後の方針について記載できる欄など一部見直しを進める 3. 施設見学について ・今年度の実施と見学の流れを確認、施設間で連絡し合い進める 4. 情報交換では、最近の状況・人材確保など共有
9月27日	第2回事務局会議 篠田総合病院会議室 出席者数5名 内容 1. 看護サマリーの見直し項目確認と運用について協議 2. 施設見学について 受入れ調査結果確認、令和7年1月中旬までを目途に実施 3. 第2回ネットワーク会議の内容について協議 ・シンポジウム形式開催4施設の事例紹介、ディスカッションを設けるなど確認
11月28日	第2回ネットワーク会議 看護協会訪問看護会館2階研修室 出席者数：ネットワークメンバー16名、公開シンポジウム参加9施設20名 内容<前半>公開シンポジウム（14：30～15：30）ハイブリッド開催 4施設より事例紹介 ①山形市基幹型地域包括支援センター：中館のり子氏 ②篠田居宅介護支援事業所：渡辺悠里氏 ③山形さくら町病院：青山光氏 ④山形県こども医療療育センター：浅井千佳氏 各施設の取組みや特徴、事例紹介後意見交換 <後半>ネットワーク会議（15：30～17：00） 1. 施設見学について、調査結果と今後の進め方の説明、確認 2. 看護サマリーの活用について見直し点と運用の説明がされ、活用後に意見集約 3. 各施設の課題などについて意見交換（働き方の変化やそれに対応する現場の苦悩、人材の動きの変化、人材確保の工夫などについて） 4. 田瀬理事よりナースセンターの登録について説明 5. 山形県看護連盟の職員にお越しいただき「看護連盟について」の説明と入会案内
2月6日	第3回事務局会議 篠田総合病院会議室 出席者数5名 内容 1. 施設見学の進捗状況について 2. 第3回ネットワーク会議の内容について グループに分け座談会開催、その他活動報告や今後の体制について協議

3月19日	第3回ネットワーク会議 看護協会訪問看護会館2階 出席者数14名 内容 1. 令和6年度成果報告及びまとめ 2. 施設見学報告と学びの共有 3. 座談会（3グループに分かれ自由なテーマで情報交換） 看護職等の確保・働き方改革・日常の課題などざっくばらんな意見交換・情報共有
【評価と課題（まとめ）】 今年度の活動について（アンケート結果より）は、目標通りまたはそれ以上の成果があった。満足度も高く現場で活かせる内容となった。良かった点は、情報交換で様々な施設の現状を知り、参考になる意見を得られ学びにもなる。シンポジウムを公開し地域のネットワーク会からの参加があり学びになった。施設見学の学び職員の刺激などメリットがあった。困難だった点・改善が必要な点は一部施設見学ができなかった点は進め方の工夫や、参加者の負担にならない運営を考える必要がある。	

5. 東南村山地域看護管理者会

- 1) 構成員 代表：山形大学医学部附属病院 副病院長 看護部長 鈴木ひとみ
7病院看護管理者、看護協会山形副支部長、村山保健所保健師、1市2町保健師
- 2) 目標 (1) 東南村山地域の看護職間のネットワークの構築を図る
(2) 東南村山地域の課題解決に向けた取組みを推進し、地域の看護力強化を図る
(3) 地域の会員拡大を図る
- 3) 活動報告

5月9日	第1回東南村山地域看護管理者会事務局会 山形大学医学部附属病院3階看護部研修室 参加者数7名 内容 1. 令和6年度山形県看護協会地域の看護力強化事業の申請について 2. 令和6年度事業計画案と活動スケジュール案について 3. 第1回東南村山地域看護管理者会の内容について 4. 開催通知および会議資料等のメールでの送付について
7月4日	第1回東南村山地域看護管理者会 オンライン開催 参加者数12名 内容 1. 令和6年度地域の看護力強化事業の申請、事業計画案と活動スケジュール案について 2. 情報交換 本人・家族・医療者・行政との「人生の最終段階」の共通認識に関する現状について
7月4日	第2回東南村山地域看護管理者会事務局会 オンライン開催 参加者数6名 内容 1. 第2回東南村山地域看護管理者会の内容について
10月29日	第2回東南村山地域看護管理者会 県立新庄病院総合患者サポートセンター 参加者数8名 内容 1. 施設見学 目的：総合サポートセンター内における行政職の活動を知る 同施設内で医療職と行政職の連携の工夫と利点を知る
10月29日	第3回東南村山地域看護管理者会事務局会 県立新庄病院会議室 参加者数8名 内容 1. 第2回東南村山地域看護管理者会の振り返りと第3回の内容について
1月30日	第3回東南村山地域看護管理者会 山形大学医学部附属病院3階看護部研修室 参加者数8名 内容 1. 矢吹病院におけるACPの取り組みの紹介 講師：医療法人社団清永会矢吹病院 看護部長 大宮喜和美氏
1月30日	第4回東南村山地域看護管理者会事務局会 山形大学医学部附属病院3階看護部研修室 参加者数6名 内容 1. 第3回東南村山地域看護管理者会および今年度の活動の総括 ・次年度の活動の方向性 ・次年度の役員の選出

【評価と課題（まとめ）】

「ACPの取り組みの推進」を年間のテーマに掲げて、各所属施設での認識や活動の現状に関する情報交換、施設見学、具体的なACPの取り組み紹介、意見交換を行った。高齢多死社会の進展、地域包括ケア構築の推進においてACPの普及が求められており、関心の高いテーマを選択し、目標に沿って計画通りに会議を開催することができた。また、参加者からのアンケート結果から満足の高い会議内容であったと評価できる。より深くACPを理解し活動を推進するために引き続きテーマに掲げて取り組んでゆく必要がある。運営の課題として①欠席者から、事前にテーマに対する意見や回答をもらうなどしてより多くの情報共有ができる工夫をする②看護管理者会の在り方として、他の地区の管理者会やネットワーク会と共催し、広く知見を得られる工夫、ネットワークの拡大の必要性があった。

6. 置賜地域看護管理者会

- 1) 構成員 代表：公立置賜総合病院 副院長兼看護部長 上田真子
14病院、3訪問看護ステーションの看護管理者、看護協会置賜支部長、置賜保健所保健師、2町の保健師、地域リハ・ケアセンター
- 2) 目標 (1) 置賜地域の看護管理者のネットワークを維持し、連携を図ることで地域が抱える課題の共有や解決を図る
(2) 他団体と共催して研修会を実施することで、参加率の向上および看護力の強化を図る

3) 活動報告

5月17日	第1回置賜地域看護管理者会事務局会 公立置賜総合病院 参加者数6名 内容 1. 置賜地域看護管理者会設置要綱について 2. 年間計画について 3. 令和6年度「地域の看護力強化支援事業」の参加申請、事業計画について
6月21日	第1回置賜地域看護管理者会 米沢市立病院 参加者数16名 内容 1. メンバー紹介、要綱確認 2. 令和5年度「地域の看護力強化支援事業」報告及び令和6年度計画について 3. 看護協会置賜支部活動予定報告 4. 山形県看護協会より情報提供 5. 保健所より情報提供 6. 各施設の情報共有
9月18日 11月18日	置賜支部との共催研修 ・自施設の参加者の募集及び報告と資料配布・研修当日の会長挨拶・講師謝礼
10月19日	看護連盟置賜地区3支部との共催研修 参加者数38名 ・自施設の参加者の募集及び報告と資料配布・研修当日の会長挨拶・講師謝礼
11月28日	第2回置賜地域看護管理者会事務局会 公立置賜総合病院 参加者数5名 内容 1. 各共催研修の評価について 2. 第2回置賜地域看護管理者会の内容について
12月6日	第2回置賜地域看護管理者会 公徳会佐藤病院 参加者数13名 内容 1. 令和6年度地域の看護力強化事業報告と協議 2. 令和7年度の看護管理者会の活動について 3. 各施設情報交換
3月7日	第3回置賜地域看護管理者会事務局会 公立置賜総合病院 参加者数6名 内容 1. 令和6年度活動評価及び成果報告書について 2. 令和7年度活動案について 3. 事務局運営等について
【評価と課題（まとめ）】 今年度より、顔の見える関係作りを目指し、全ての会議と研修を集合形式で行ったことで、会議の中でのディスカッションが活発にできたと考える。また、昨年度より組んでいる置賜支部との共催研修に加え、看護連盟と共催し看護管理者対象の研修を行った。看護管理者が日々考えていることや信条、実践等について組織運営のヒントになる情報を聴くことができ、明日からの看護管理の活力に繋げることが出来たと考える。さらに管理者が研修の取りまとめを行うことは、参加者の増加に繋がるとともに、支部の資料配布の手間や労力の削減になったこと、管理者自身が参加をすることで、置賜地域の看護師の現状把握や課題を共に考える機会になったと考える。今後は、地域が抱える課題の共有だけでなく、解決に向けての取り組みや働きかけができるよう、管理者会の中で各施設からの課題や議題を募り、ネットワークを活かした活動を展開していくことが課題である。	

事業報告

事業名 山形県看護協会「出前授業」講師派遣事業

【目的】

公益社団法人として、県民や小、中、高校生に対する「いのちの教育」「性の健康に関する知識」及び「看護の仕事」「進路相談」等の授業を通し、生命や性、キャリア形成、看護の仕事への理解と関心を促し、青少年の健全な育成に寄与する。

また各年代、および幅広い対象に対して実施することにより、県民に向けた「いのちの教育」の普及・啓発活動を推進していくことを目的とする。

【内容】

1. 事業内容

依頼のあった学校等に山形県看護協会の「性の健康支援ネットワーク登録会員」または、「山形県看護協会会員」を講師として派遣し、「出前授業」の実施・報告までの一連の業務を行う。

2. 対象

県民及び山形県内の小・中・高等学校の生徒、保護者、教職員

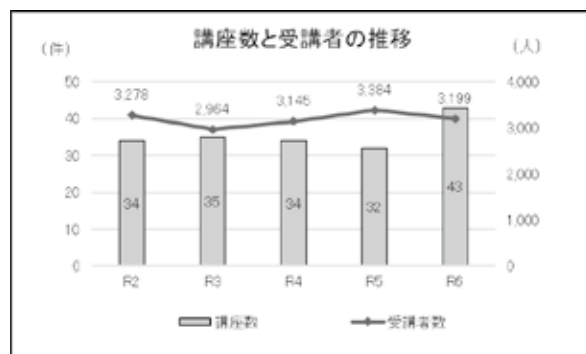
3. 実施講座数

1) 「いのちの教育」「性の健康教育」43講座

参加者計3,199名

2) 「看護の仕事」 実施なし

施設別	全体	村山地域	最上地域	庄内地域	置賜地域
講座数	43(31)	22(15)	12(8)	2(2)	7(6)
小学校	11(9)	6(5)	1(1)	0	4(3)
中学校	17(15)	7(6)	6(5)	1(1)	3(3)
高等学校	14(6)	8(3)	5(2)	1(1)	0
その他	1(1)	1(1)	0	0	0



4. 参加者の感想

- ・自分は周りの人に見守られて成長したのだと知りました。自分の成長はみんなの喜びだと知り自分も嬉しい(小学生)
- ・他人とのかかわり方や思春期の体の成長について、自分がどうすればよいのか、どのように成長していくかなどを詳しく教えていただいた。男性同士や女性同士の恋愛もあり否定してはいけないこと、自分の言動に責任をもって行動しないといけないということがわかりました(中学生)
- ・生と性について真剣に学んで考えないといけない年齢になり、今回講話を聞き知識も広がり改めて考えることができました(高校生)
- ・生まれる前から大事に育てられてきたことを教えていただきありがとうございました。これからも自分の命を大切にしていってほしいと思います(保護者)

5. 実施状況

令和6年度は31施設の申し込み、43講座の実施であった。全ての施設が対面で実施。見学には1名(性の健康支援ネットワーク未登録者)の参加があった。

【評価と課題(まとめ)】

1. 前年度に比べ受講者人数はやや減少していたが、新たに7施設より依頼があり実施に至った。また、1施設で複数の講義開催もあり、講座数の増加が認められた。周知用チラシの刷新や外部会議での案内が効果的だったと考える。
2. 学校等から講師へ求められる講義内容も、いのち・性の健康教育のみならず、LGBTQやDV、ネット・ゲーム依存についてなど多岐にわたっている。いのちの教育推進委員会と協力し、性の健康支援ネットワーク会員の拡大や講師自身のスキルアップの機会を設け、より充実した内容となるよう取り組んでいきたい。
3. 前年度に引き続き、看護の仕事の紹介も含んだ講義を実施していただくように各講師に依頼した。担当教諭からも「看護師や助産師について興味を持った生徒が保健室に来室し質問をしていくなど、キャリア教育の面からも貴重な機会となった」との報告があった。「いのちの教育」を通し看護職の魅力の発信に繋げることができたと考えられる。

事業費：14,754円

令和 6 年度 委託事業実施報告

日本看護協会等委託事業

災害・感染症に係る看護職員確保事業	144
地域に必要な看護職確保推進事業	145
看護補助者の確保・定着推進事業	146

山形県委託事業

山形県ナースセンター事業	147
助産師活用推進事業	149
やまがた子育て応援サイトメール相談業務	150
新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材運用業務（IHEAT）	151
山形県訪問看護総合支援センター事業	152
山形県認定看護師等活用事業－出前研修－	154
専門看護師・認定看護師等派遣研修事業	155

福島県委託事業

福島県外避難者の心のケア業務	156
----------------	-----

事業報告

事業名「災害・感染症に係る看護職員確保事業」
【目的】 新型コロナウイルス感染症等の新興感染症及び災害の発生時に、他の医療機関等への応援派遣等に的確に対応できる看護職員を養成するための研修を実施し、当該研修修了者のリスト化を図ることにより、今後の新興感染症及び災害の発生に際して、都道府県において迅速に看護職員等の確保を図るための体制の整備を推進することを目的とする。
【内容】 1. 災害支援ナース養成研修の運営および実施 1) 集合研修の企画・準備・実施 2) 周知 3) 申込受付 4) 申込者への確認 5) 受講決定および一部受講免除者の決定 6) 受講者へのIDの付与 7) 集合研修の受付・オンデマンド研修（eラーニング配信）の終了確認 8) 修了証の作成・印刷・授与 2. 研修修了者リストの提出（日本看護協会・山形県に提出） 災害支援ナース養成研修 1. 対象者 災害及び新興感染症に係る応援派遣対応看護職員を目指す者※免除規定あり 2. 定員：50名 3. 開催日 1) オンデマンド研修 9月15日～11月15日 ※集合研修の5日前までに修了すること 2) 集合研修 11月26日 総論・災害 11月27日 感染症 ※2) 集合研修：オンデマンド研修修了者が対象 3. 実績 1) オンデマンド研修 45名修了 集合研修 44名修了→44名の研修修了者リストを提出 2) アンケート結果 理解度・満足度に関し、「理解できた」「だいたい理解できた」が98%と高い評価を得た。 4. その他 災害支援ナース養成研修修了者：97名（令和5・6年度合計）
【評価と課題（まとめ）】 令和6年度より、感染症発生まん延時における医療人材派遣等の調整の仕組みについて、国が養成・登録する「災害・感染症医療業務従事者」に位置づけられることになり、自然災害、感染症支援に係る看護職の応援派遣体制の仕組みが構築され、新たな「災害支援ナース」の育成が令和5年度より開始している。 1 研修内容に新しく加わった感染症分野の講義内容に他県との相違があることが懸念されている。研修内容等検討し更なる講義内容の充実化を図り、当県の実情に合わせた内容で研修企画・運営できるよう取り組んでいく。 2 これまでの災害支援ナース養成研修修了者15名は、令和6年7月の戸沢村豪雨災害に17日間派遣となり研修の成果を実践することができた（戸沢村豪雨災害への派遣については、重点事業に掲載）。 3 災害支援ナースの新たな仕組みや研修内容について、継続して広く周知していく必要がある。 災害・感染症に係る看護職員等確保事業費：770,000円

事業報告

事業名「地域に必要な看護職確保推進事業」																				
【目的】 山形県の看護政策に関する課題解決に向けた取り組みを実施することにより、地域別・領域別偏在の是正を図る。																				
【内容】 1. 地域の看護力強化支援事業 1) 地域の看護管理者会の会議へ参加し、ナースセンター事業の説明。 チラシの他に、付箋を配布し周知。 参加回数：6回 <table><tr><td>庄内地域</td><td>令和6年6月3日（月）</td><td>参加者20名</td></tr><tr><td>東南村山地域</td><td>令和6年10月29日（火）</td><td>参加者15名</td></tr><tr><td>西北村山地域</td><td>令和6年11月8日（金）</td><td>参加者34名</td></tr><tr><td>東村山地域</td><td>令和6年11月28日（木）</td><td>参加者25名</td></tr><tr><td>置賜地域</td><td>令和6年12月6日（金）</td><td>参加者21名</td></tr><tr><td>最上地域</td><td>令和6年12月13日（金）</td><td>参加者26名</td></tr></table>			庄内地域	令和6年6月3日（月）	参加者20名	東南村山地域	令和6年10月29日（火）	参加者15名	西北村山地域	令和6年11月8日（金）	参加者34名	東村山地域	令和6年11月28日（木）	参加者25名	置賜地域	令和6年12月6日（金）	参加者21名	最上地域	令和6年12月13日（金）	参加者26名
庄内地域	令和6年6月3日（月）	参加者20名																		
東南村山地域	令和6年10月29日（火）	参加者15名																		
西北村山地域	令和6年11月8日（金）	参加者34名																		
東村山地域	令和6年11月28日（木）	参加者25名																		
置賜地域	令和6年12月6日（金）	参加者21名																		
最上地域	令和6年12月13日（金）	参加者26名																		
2. Uターン等促進事業 1) 「やまがた移住・交流フェア」への参加 (1) 日時：令和6年6月16日（日）11：00～17：00 (2) 場所：東京交通会館（東京都） (3) 参加者数：252名　うちブース来場者6名（うち看護職5名） (4) 結果・成果：Uターンや移住を検討している看護職に対し、山形県の求人情報を基に就業相談を実施。相談に来たすべての看護職が「いずれ山形県で仕事をしたい」という方だったため、「e ナースセンター」や「とどけるん」の登録、山形県看護職就職ガイドブックを配布。 2) やまがた暮らし・しごとサポートセンター（東京都）への資料の送付 年3回資料を送付。やまがた暮らし・しごとサポートセンターからの紹介者なし。																				
3. 会議等への参加 地域に必要な看護職確保推進事業説明会（6月12日）への参加																				
【評価と課題（まとめ）】 1. 地域の看護管理者等が集うネットワーク会への参加により、さまざまな施設の看護管理者等にナースセンター事業のPRができたいい機会であった。地域の実情を知り課題を共有することで、ナースセンターでの就業相談につなげていきたい。 2. 県外流出が課題となる本県においては、移住希望者やUターン希望者への山形県の看護事情の周知も重要と考える。「やまがた移住・交流フェア」への参加により、少人数ではあったがいずれ山形県で仕事をしたい方に対し、山形県の施策等を直接説明できたことはよかった。																				
委託事業費：300,000円																				

事業報告

事業名「看護補助者の確保・定着推進事業」

【目的】

病院等における看護補助者の確保・定着が困難となっていることから、質の高い看護補助者を養成するとともに、看護補助者の就業支援を行う

【内容】

1. 無料職業紹介事業

- 1) 開始日時：令和6年10月11日 山形労働局へ届出
- 2) 求人・求職者数等
 - (1) 求人数： 63名
 - (2) 求職者数：21名
 - (3) 就業者数：4名（すべて職安就職）
 - (4) 相談数： 101件

2. ハローワークにおける看護の仕事相談会・ハローワーク就職相談会の開催

- 1) 開催回数・参加者数
 - (1) 県内ハローワーク8ヶ所：39回 参加者数：11名
 - (2) 就職相談会：7回 参加者数：13名
- 2) 内容
 - (1) e ナースセンターの登録周知、利用方法の説明
 - (2) 求人情報の提供
 - (3) ナースセンターによる看護補助者の就業に向けた研修（オンデマンド研修）の周知・実施

3. ナースセンターによる看護補助者の就業に向けた研修（オンデマンド研修）の周知・実施

- 1) 申込者数・受講者数 申込者数：10名 受講完了者数：8名
- 2) ナースセンターを会場とした視聴支援 1名

4. 看護補助者への道セミナー（現役看護補助者との座談会）の開催

- 1) 参加病院：山形市立病院済生館 副看護部長 高橋真理子氏 看護補助員 瀬野美佳氏
参加者数：15名
- 2) 開催場所：ハローワークやまがた 庁外会議室
- 3) 内容
 - (1) 医療チームの機能と役割、看護補助者の業務・心得等についての説明
 - (2) 現場で活躍している看護補助者との座談会
 - (3) 個別相談会

5. 広 報

- 1) 日本看護協会作成チラシの送付 県内病院66施設
- 2) 山形県ナースセンター版チラシの作成・配布
 - (1) 作成部数 5,000枚
 - (2) 配布先 県内ハローワーク（10ヶ所）、関係機関、県主催の看護補助者セミナー
- 3) 山形県看護協会機関誌への掲載
- 4) SNSへの掲載（山形県ナースセンター公式LINE、山形県看護協会Facebook・Instagram等）

【評価と課題（まとめ）】

1. 今年度からナースセンターでも看護補助者の無料職業紹介事業を開始。ナースセンターでの取り扱いの周知が行き渡らなかったこともあり、求人・求職登録者数、就業者数ともに成果みられず。ハローワークや県福祉人材センターと協働し、看護補助者の確保を目指す。
2. 病院での看護補助者業務がきちんと伝わっていない現状がある。さらに看護補助者を希望する方と求人施設の希望労働条件が合わず、ミスマッチが生じている。病院での1日体験や施設見学会等の開催、看護補助者を希望する方のニーズを求人施設に伝え、多様な働き方の求人登録の推進を図る。

委託事業費：600,000円

事業報告

事業名「山形県ナースセンター事業」

【目的】

保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護師等」という。）に対し就業促進に必要な事業、看護業務等のPR事業、訪問看護に従事する者の資質向上に必要な事業及びその他看護師等の確保を図るために必要な事業を行い、県内医療機関等における看護師等の確保に寄与することを目的とする

【内容】

1. 事業実施状況

1) 無料職業紹介事業

- (1) 無料職業紹介事業変更届の提出（責任者変更、役員変更、取り扱い範囲の変更）
- (2) 無料職業紹介事業報告書の提出
- (3) 人材サービス総合サイトへの就業者等の掲載
- (4) 山形県ナースセンター事業報告書の作成・配布 作成部数250部
- (5) 職業紹介従事者講習の受講 令和6年5月8日（水）・令和7年3月26日（水）各1名

2) 山形県ナースセンター事業運営委員会の開催（Web開催）

- (1) 開催日時：令和6年8月29日（木）14時～16時
- (2) 参加者：山形県ナースセンター運営委員等 31名
- (3) 内容：令和5年度山形県ナースセンター事業報告ならびに令和6年度山形県ナースセンター事業計画について等

3) 看護師等職場説明会開催

- (1) 開催日時・場所：令和6年5月3日（祝） 山形テルサ3階アプローズ、研修室B
- (2) 参加者：参加施設49病院 参加者数73名（うちセミナー参加者数30名）
- (3) 内容：①対面形式の病院個別説明会
②看護師国家試験対策セミナー 講師 東京アカデミー仙台校 佐藤尚子 氏
③特設ブース（医療政策課・訪問看護・保健師）設置

4) 看護業務啓発促進事業

- (1) 「ふれあい看護体験」
①実施日：令和6年5月9日（木）～5月23日（木）、7月24日（水）～8月2日（金）の2回制
②実施場所・参加者数：県内46病院 県内高校生337名
- (2) 「みんなで話そう看護の出前授業」 通年実施 申込なし
- (3) 「看護の日・看護週間」事業 ①毎日新聞・山形新聞・朝日新聞・米沢日報にPR記事掲載
②かんごちゃん保育園訪問 令和6年5月15日（水） 南沼原幼稚園訪問

5) eラーニング活用した訪問看護師養成講習会

- (1) 実施期間：令和6年7月1日（月）～11月22日（金）
- (2) 修了者数：25名

6) 看護職員就業支援事業

- (1) 就業に関する相談事業の実績
①求職登録者数：756名 ②求人登録者数：3,046名 ③就業者数：274名 ④Uターン等相談者数：49名
⑤相談件数（来所・電話・メール・LINE・システム等）：15,164件
- (2) 看護師等の離職時等の届出制度
①届出者数：141名
②離職者等へのナースセンター届出制度周知と代行登録の推進、登録者への情報提供と復職支援の充実
- (3) ナースセンターだよりの発行
①発行月・配信先：年3回（7月・11月・1月） 病院・施設・県内看護学校・ナースセンター登録者
②山形県ナースセンターLINE公式アカウント登録者限定ナースセンターだよりの発行 2回（9月・3月）
- (4) 関係機関との連携
①WECやまがた（福祉人材確保対策担当者連絡協議会） 12回

・就職面談会の参加（オール北村山就職面談会2024・福祉のしごと就職フェア 米沢・福祉のしごと就職フェア 酒田・福祉のしごとフェアin新庄・福祉のしごとフェア山形・" 適職到来ハローワーク米沢就職面接会"）・東根市就職面談会 計7回 相談者数：39名 ②一般社団法人ふるさと山形移住・定住推進センター ・「やまがた移住・交流フェア」への参加 令和6年6月16日（日）東京交通会館（東京都） ブース来場者：6名 ・やまがた暮らし・しごとサポートセンター等への資料送付・情報交換 (5) 看護への道セミナーの開催（Uターン等相談事業） ①開催日時・場所：令和6年7月29日（月）14：00～16：00 山形テルサ 3階アプローズ ②参加者数：中3（17名）、高1（12名）、高2（13名）、高3（9名）、保護者（17名） 計68名 ③内容：先輩看護職による職業講話&トークセッション、看護の仕事体験会 等 7) ナースセンター利用促進事業 (1) ハローワークでの「看護の仕事相談会」の開催 ①相談会場：県内ハローワーク8ヶ所（やまがた・さがえ・村山・新庄・酒田・鶴岡・長井・米沢） ②開催回数：91回（個別面談） ③相談者件数：271件 （内訳：求職者263件のうち看護職245件・看護補助者18件、求人7件、その他1件） (2) 新規求人開拓・求人票再登録依頼、求人登録内容の確認等 ①施設訪問回数：84回 ②電話・メール等：303件 (3) ナースセンター広報活動 チラシ等の配布：2,500部 ・県内イオンモールへのチラシの設置4,000部 8) 潜在看護師等掘り起こし事業 (1) 山形県看護職「就職ガイドブック」の作成（600部）と配布 県内病院等・「看護師等職場説明会」参加者・希望者へ配布 (2) LINE公式アカウントでの情報発信 ①登録者数：1,935名（令和7年3月末） ・年間配信回数：177回、255,880件 ②配信内容：山形県ナースセンター・看護協会開催研修会等のお知らせ、救護・イベント等臨時雇用求人情報、新着等求人のお知らせ、施設訪問報告（私たちの職場自慢！10件含）等 (3) 登録者への情報発信：e ナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信（各項目各月情報発信） (4) 協会SNSによる配信：Facebook、X、Instagram等 (5) YouTubeチャンネルの動画作成・投稿・周知 ふれあい看護体験作成（次年度配信） 9) 潜在看護師等復職研修 (1) 病院等施設実地研修 ①開催回数：7回（公立置賜総合病院、北村山公立病院、訪問看護ステーションやまがた、鶴岡協立病院、山形県立中央病院、山形市立病院済生館、全日本労働福祉協会東北支部） ②受講者数：延べ60名（実数42名） (2) eラーニングを活用した復職支援研修 受講者数：21名 10) ナースセンター・ハローワーク連携事業 (1) 連絡調整会議 令和6年5月1日（木） (2) 連携求職者の支援に関するケース会議の開催 月1回（ハローワークやまがたでの看護の仕事相談会時） (3) 連携求職者の支援情報の記録等の管理（連携求職者数：ハローワークやまがた署内31名） 11) 実態調査 今年度より、離職者対象の調査からナースセンター登録者に向けた「就業意向調査」に変更。次年度に調査回収。	
【課題】 ・看護職及び看護補助者の確保のため、関係機関との更なる連携強化 ・求人・求職者が、利用・閲覧しやすい情報内容について検討し発信 ・若年層へのアピール強化のため、ふれあい看護体験、看護への道セミナー、看護の日関連事業等のあり方を検討し再構築 ・SNSを使用した情報発信の強化 委託事業費：25,328,600円	

事業報告

事業名「令和6年度山形県助産師活用推進事業」
【目的】 助産師就業の偏在の把握や実践能力の高い助産師の育成、院内助産・助産師外来に関する講演やセミナー等を行い、助産師就業の偏在解消、助産実践能力の強化及び産科医師と協働し、院内助産・助産師外来の普及や理解促進等を図るもの。
【内容】 1. 事業実施状況 1) 協議会の開催（Web開催） (1) 第1回協議会：10月31日 ①令和6年度事業計画について ②分娩取扱施設実態・意向調査結果報告 ③令和6年度事業推進状況の報告等 (2) 第2回協議会：2月25日 ①令和6年度事業報告 ②令和7年度事業計画（案）について 2) 助産師就業に関する実態・意向調査：6月 調査結果を協議会と管理者交流会等で報告 3) 助産師出向の支援：今年度は助産師出向の実績なし 4) 県内分娩取扱医療機関看護管理者等の意見交換会、助産師等の交流会（Web開催） (1) 看護管理者、産科看護管理者、助産所管理者、助産師等の意見交換会：12月26日 参加者18名 テーマ：助産師のモチベーション維持に向けた、助産師活用や若手の育成について (2) 看護管理者・産科看護管理者・助産師等の交流会：2月25日 参加者24名 テーマ：短期交流研修を活用し助産実践能力を高めよう 5) 助産実践能力向上に向けた研修会開催 短期交流研修：開催期間9月12日～12月24日 受入施設：6病院、1助産所 1クリニック 研修会開催数12回 延べ受講者数28名 内容：助産師外来、2週間健診、産後ケア、フリースタイル分娩、BFHの実際、助産所における骨盤ケア・乳房ケア、ハイリスク妊婦の支援、NICUにおける児の管理、施設助産師の地域参画支援等
【評価と課題（まとめ）】 1. 協議会の開催 県内の周産期医療の現状把握、助産師活用の推進や事業の進め方などを協議した。今後も事業推進を図っていく。 2. 県内分娩取扱医療機関への助産師就業に関する実態・意向調査の実施 実態・意向調査により分娩取扱医療機関における課題や、ニーズの把握などに努めているが、更に事業に活用できるような調査内容や、効率的な調査方法等について検討していく。県内助産所への調査も次年度は実施していく。 3. 助産師出向について 今年度助産師出向はなかった。今後も意向調査をもとに出向希望状況を把握し、出向元、出向先、コーディネーターと連携をとりながら実施していく。 4. 県内分娩取扱医療機関の看護管理者・産科看護管理者・助産所管理者・助産師等の意見交換会、及び、助産等の交流会の開催 情報交換が行われ、各施設・地域の連携強化にも繋がっている。管理者の参加は多いが、スタッフ助産師の参加が少ない。多くの助産師に参加していただけるように、内容や開催方法・時間など検討していく。 5. 助産師実践能力に向けた研修会の開催 短期交流研修については、受講者、受け入れ施設ともに研修に参加しやすく、延べ28名の受講者となった。受講者からは「他施設の意欲的な取組みを聞いて、自分たちの地域で何がやれるのか考える良い機会となった。」「2週間健診運用開始に向け、実際の場面を見学し、当院で何を準備すべきか具体的に知ることができた。」「他施設の方と情報交換ができて、新しい発見や学びがあった。」と満足度の高い研修となっている。受け入れ施設からも「お互いの病院の情報交換ができ、良い機会となった。」との感想も聞かれている。今後も助産師実践能力の向上、地域での連携強化に向け企画していく。 山形県助産師活用推進事業費：850,385円

事業報告

事業名「令和6年度やまがた子育て応援サイトメール相談業務」

【目的】

妊産婦及び乳幼児期の子どもを持つ保護者からのメールによる相談に対し、内容に関連する情報を提供することで、相談者の不安を軽減し、安心して過ごせるようにサポートしていくことを目的とする。

【内容】

1. 相談件数と相談の時期、内容

1) 相談件数：10件

- ・昨年と比較し、相談件数は5件増加した。
- ・10件のうち、妊娠中の方の相談が6件、育児中の方の相談が4件であった。
- ・山形県内在住者からの相談が9件、県外在住者からの相談は1件であった。
- ・母親からの相談が10件であった。

2) 具体的な相談内容

- 【妊娠中】
- ・仕事内容と業務の調整について：1件
 - ・夫婦関係について、希死念慮、妊娠をやめたい：1件（県担当部署と相談し回答）
 - ・無痛分娩について：1件
 - ・マイナートラブルについて：1件
 - ・妊娠による心配や不安、ストレスについて：1件
 - ・アロマオイルの禁忌と使用について：1件

- 【育児中】
- ・保育所の種別と申込について：2件
 - ・ワクチン接種時期について：1件
 - ・母乳とミルクについて：1件

【評価と課題（まとめ）】

1. 回答は原則翌日まで、土日祝日はさむ場合はその翌日までに迅速に回答することができた。
2. メール相談は情報が文面からのみと限られているため、様々な状況を想定し、複数の意見を取り入れて回答するよう心掛けた。また、緊急を要する相談内容については、県の担当部署と連絡相談のうえ回答した。今後も、県と連携を取りながら責任を持って対応していきたい。
3. 相談件数としては昨年より増加しているが全体的には減少傾向である。市町村によってはチャット機能を利用した子育て相談が可能となっており、コロナ禍に比べ対面での相談や交流の機会が増えていることも一因として考えられる。
4. メール相談は、気軽に相談できる一方で、一方通行のやりとりとなり、回答後のフォローや相談者本人のニーズに沿っていたのか確認ができないという課題がある。そのため、回答後も、相談者が一人で抱え込まずに済むよう、可能な範囲で身近な子育て支援センターや市町村の相談窓口を紹介するなど、少しでも相談者自身が次に繋げる対応ができるようにしていくことが重要と考える。今後もメール相談を通し、安心して子供を産み育てられる環境づくりを支援していきたい。

委託事業費：270,000円

事業報告

事業名「新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材運用業務（IHEAT）」
【目的】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、県内保健所（山形市を含む）に大きな業務負担が発生し、県内における職員の派遣だけでは積極的疫学調査等の対応が困難となる場合が想定される。本業務は、前述の場合に人材バンクに登録された外部専門職であるIHEATを有効的に活用すること。
【内容】 1. 業務概要 厚生労働省健康局健康課長が発出する運用要領に基づき、登録名簿の管理、県内に在住するIHEATの人材育成及び連絡調整を行う。 2. 業務内容 1) 人材育成 (1) 感染拡大に備え、県内に居住するIHEATを対象に、新型コロナウイルス感染症に関する最新の科学的知見に基づいた知識や技術の習得を目的とした研修を企画・実施する。 (2) 研修受講修了者に謝金の支払い（修了要件：eラーニング、集合研修の受講） ※地域保健法の改正により、県・市両者が事業の実施主体とされた令和6年度以降、山形市と協議の結果、足並みをそろえるのが困難であった。将来的に協働で実施可能な研修内容の検討をしていくため、令和6年度より謝金の支払いはなしとした。 (3) 研修内容と受講状況 ① eラーニング研修 ② 集合研修 11月30日（土）9：30～16：30 会場：伝国の杜 修了者数6名 12月7日（土）9：30～16：30 会場：文化館なほ花ホール修了者数7名 合計13名 講師：山形県立保健医療大学 石川仁氏、鶴岡市立荘内看護専門学校 武田世津氏 ③ 研修における受講者の到達目標 1) 積極的疫学調査を手順に則り実施できる 2) 重症度の判断を行うための情報収集ができる 3) 濃厚接触者の特定につながる情報収集ができる 4) クラスターの早期探知のための情報収集ができる 5) 個人情報を適切に扱うことができる 6) 倫理的な対応ができる 7) 保健所職員と連携・協働できる 2) 登録名簿の管理・更新 (1) 県内に居住するIHEAT登録者について、支援協力の実績や研修の受講状況等について管理する。 (2) IHEAT.JP（IHEAT運用支援システム）を活用したメルマガ配信 (3) 感染拡大時におけるIHEATとの連絡調整支援協力者の募集及び決定や支援協力を必要とする保健所（山形市を含む）との連絡調整を行う。 3. 応援要請への調整状況 今年度は応援要請なし
【評価と課題（まとめ）】 令和6年度はIHEAT要員に対する応援要請はなかったが、平時からの体制整備が求められている中、今年度の研修では、これまでのような新型コロナウイルス感染症に特化した内容から、公衆衛生全般における内容でeラーニングと集合研修を組み合わせで実施した。 当事業は今後も継続され、保健所設置自治体である山形市との協働について検討していくこととなっており、県と連携をとりスムーズなシステム運用を図っていく。 事業費：1,106,323円

事業報告

事業名「山形県訪問看護総合支援センター事業」

【目的】

訪問看護ステーションが質の高い看護を提供できるよう関係機関と連携して訪問看護に係る課題を一元的・総合的に解決し、地域の訪問看護提供体制の組織化・推進を図るよう支援する拠点としての機能を果たす。

【内容】

1 経営支援

1) 事業所経営基盤整備支援

(1) 訪問看護相談窓口対応

相談日時：月～金（9時～16時）

場 所：山形県看護協会訪問看護会館内 訪問看護総合支援センター

相談対応者：訪問看護相談員、訪問看護師

相談件数：320件（電話209件、面談35件、メール4件、その他（SNS）72件）

主な相談内容：各種加算、算定、訪問回数、介護保険と医療保険どちら等という相談が多かった。

(2) 訪問看護事業所管理者研修会

管理者研修

日時：令和6年9月12日（木）13：30～16：30

Web開催 参加人数 24名

内容：「未来に向けた訪問看護の人材管理」

講師：訪問看護ステーションにこ 管理者 川俣沙織氏

(3) 訪問看護事業所経営安定化研修会

日時：令和6年10月5日（土）13：00～17：00

Web開催 参加人数26名

内容：「数字から読み解く訪問看護事業所運営」

講師：渡邊会計事務所 公認会計士・税理士 渡邊尚之氏

(4) 訪問看護利用促進に向けた周知

・山形県訪問看護ステーション一覧令和6年度版作成し、ホームページに掲載し関係機関に周知及び一部配布

・山形新聞8大事業県民健康講座でパンフレット配布 令和6年5月9日、7月22日、10月31日

・南沼原健康講座でパンフレット配布 令和6年5月16日

・やまがた健康フェアでパンフレット配布 令和6年9月28日、29日

・南沼原文化祭でパンフレット配布 令和6年11月30日

(5) 訪問看護総合支援センター事業運営委員会

日時：令和6年8月9日（金）17：30～19：00

内容：令和5年度山形県訪問看護総合支援センター事業報告、

令和5年度訪問看護ステーション実態調査報告

令和6年度山形県訪問看護総合支援センター事業計画

令和7年度センター事業の課題と方向性について

2. 人材確保

1) 潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進

ナースセンター地域相談員が対応 相談件数250件うち2名が短期体験型研修に参加した。

2) 訪問看護担い手創出事業（短期体験型研修）

・入門コース（1日体験）18名 ・実践コース（2～5日間体験）5名

開設したばかりのステーションで訪問看護の経験のない方の利用が、4名あった。

3) 訪問看護担い手創出事業参加者報告会

日時：令和7年3月6日（木）15：30～16：45 参加人数27名

内容：研修者5名の報告、受け入れ訪問看護ステーション管理者2名報告

意見交換

3. 訪問看護の質の向上

1) 教育研修体制の組織化

(1) 訪問看護技術研修

【訪問看護技術研修1】

日時：令和6年7月20日（土）9：30～12：30

Web開催 参加人数26名

内容：「心不全患者が望む生活を実現する看護」

講師：済生会山形病院 慢性心不全看護認定看護師 小野瑛子氏

【訪問看護技術研修2】

日時：令和6年8月31日（土）9：30～12：30

Web研修 参加人数20名

内容：「訪問看護の基本 アセスメントからケアに活かす」

講師：アイノア訪問看護ステーション 在宅看護専門看護師 三澤裕美氏

【訪問看護技術研修3】

日時：令和6年12月7日（土）9：30～12：30

Web研修 参加人数20名

内容：「精神科看護で活かせるコミュニケーションを身に付けアセスメントに活かす」

講師：訪問看護ステーションレント 精神科認定看護師 鈴木志津子氏

(2) 専門看護師・認定看護師派遣研修事業 13事業所15回実施

2) 訪問看護に関する情報収集と分析

(1) 訪問看護ステーション実態調査 令和5年12月10日～12月25日

調査対象：県内91か所訪問看護事業所

回収率：80%

4. 地域での連携強化

(1) 訪問看護ブロック会議

村山ブロック：令和6年7月24日 参加者23名、置賜ブロック：令和6年9月3日 参加者17名

最北ブロック：令和6年10月19日 参加者10名、庄内ブロック：令和6年10月9日 参加者16名

内容：地域間の情報交換、ネットワーク構築、災害時の状況とBCPについて

(2) 訪問看護ステーション連絡協議会と合同会議

第1回 令和6年4月18日、第2回令和6年6月20日、第3回令和6年10月17日、

第4回 令和6年12月19日、第5回令和7年2月20日

内容：情報共有、事業報告、計画、地域ごとの連携等について、連協と支援センターの役割について

(3) 事業所訪問

75事業所を巡回し、事業所及び地域の現状と課題等について情報収集、研修、事業所運営等について情報提供

【評価と課題（まとめ）】

1. 訪問看護相談件数は前年度より増加し、チャットワークの活用が図られ、メールよりSNSによる相談が増加した。また、チャットワーク内にQ&Aを作成したことで、相談に対し、他事業所から回答することもあり管理者間の連携強化を図る一助にもなった。今後はQ&Aをさらに整理して活用しやすいものにすることが課題である。
2. 研修は計画通りに実施できた。参加者から理解度、満足度とも高い評価を得ている。技術研修は3回開催したが、いずれも前年度より若干参加者が少なかった。今後は参加人数が増加する内容等検討が必要である。
3. 訪問看護師担い手創出事業で短期研修は、事業所開設したばかりで訪問看護の経験のない方が4名活用し、その後の運営に活かされている。また、病院看護師で、在宅理解のため希望した方が参加し、病院での退院支援を行う上で貴重な体験となり、その後の退院支援に活かされている。さらに、地域の訪問看護師と顔の見える関係作りにもなり、この事業は、地域包括ケア推進をするうえで重要な事業となっている。
4. 専門看護師、認定看護師等派遣研修事業は前年度より申込が多く、実施した事業所からは高評価を得ている。また、講師となった専門看護師、認定看護師と連携ができ、その後の相談等にも役立っている。
5. 訪問看護ステーション連絡協議会と連携して、訪問看護総合支援センターと訪問看護ステーション連絡協議会との役割について検討した。地区ごとの連携強化を図るうえで連絡協議会と協働し、ブロック会議を開催し、昨年度より各地域でブロック会議への参加者数が増加した。また、新規事業所や管理者交替の事業所が参加し、新たに連携を図るうえで役立つものとなった。
6. R6年は庄内、最上地域に豪雨水害があり、改めて災害時のBCPについて振り返り、地域BCPを作成が必要とどの地域でも認識しており、今後の課題である。

委託事業費 8,866,000円

事業報告

事業名「山形県認定看護師等活用事業―出前研修―」 令和2年度－令和6年度

【目的】

今後、医療ニーズの増大が見込まれる在宅医療分野における質の高い看護を提供するため、また、中小規模施設の研修受講機会を確保するため、それらの施設に従事する看護職員に求められる能力の向上を目的とした出前講座および集合研修を行う。

【内容】

1. 事業内容

1) 出前研修

依頼のあった施設に、山形県内の専門・認定看護師・特定行為研修修了看護師を講師として派遣し、「出前研修」の実施～報告までの一連の業務を行う。

2) 集合研修

対象施設のニーズに合致した内容で、県内の専門・認定看護師・特定行為研修修了看護師を講師とする研修の企画・運営・評価までの一連の業務を行う。

2. 対象 中小規模病院、診療所、介護老人保健施設等の看護職員

3. 実施状況

年度	出前研修			集合研修		
	派遣回数	受講者総数	専門・認定分野 (数字は件数)	開催回数	受講者総数	内 容
2020(R2)年度	8	143	感染管理 3/摂食嚥下障害 2/認知症看護 2 救急看護 1	1	105	①看護が支える薬の効果
2021(R3)年度	18	506	感染管理 9/皮膚・排泄ケア 3/認知症看護 2/ 精神科看護 2/緩和ケア 1/がん看護 1	2	68	①中小規模施設における感染症対策の現状と 今後認定看護師の施設訪問による取り組み ②安全安楽な移乗と未来を拓くポジショニング
2022(R4)年度	5	237	認知症看護 2/感染管理 1/救急看護 1/慢性 心不全看護1	2	97	①摂食嚥下障害のある患者の看護 ②安楽と心地よさにはたらきかける！ 未来を拓くポジショニングと移動支援
2023(R5)年度	7	463	感染管理 3/皮膚・排泄ケア 2/認知症看護 1/ 摂食嚥下障害看護 1	1	50	①摂食嚥下障害のある患者の看護
2024(R6)年度	16	884	感染管理 5/摂食・嚥下障害看護 4/災害看護 1 慢性心不全看護 1/救急看護 1/透析看護 1 脳卒中リハビリテーション 1/認知症看護1 皮膚排泄ケア 1	1	50	①摂食嚥下障害のある患者の看護
累計	54	2,233		7	370	

【出前研修実施施設の感想（抜粋）】

- ・外部研修に参加できる職員は限られているが、出前研修は多数の職員（他職種も）が参加して共有ができる。
- ・感染症拡大の状況でも施設内で開催してもらえ、研修の機会が得られてよかった。
- ・自施設の事情や資源に合った対策の提案、アドバイスをもらえるのが良い。
- ・現場の負担が最小限で開催できるのありがたい。

【専門・認定専門看護師の感想（抜粋）】

- ・出向先の職員の意欲の高さに触れ、地域性・特殊性・個別性を学ぶことで、自己活動に活かせる。
- ・所属先の質向上だけでなく、院外での指導や後進育成においても重要な役目があると再認識した。
- ・一方的な知識伝達ではなく、視察をすることで現場に合った対策の提案ができるので出前ラウンドのような派遣スタイルも検討してもらいたい。

【評価と課題（まとめ）】

- ・「職場を離れずに研修受講ができる」「他職種も学びの共有ができる」等の理由により、実施施設から高評価を得ている。折しも新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により社会的交流が制限された時期であり、外部研修への参加が困難な状況にあっても学習支援を継続できたので実施者としても効果を実感できた。ニーズに合った方法・内容の研修を提供することで中小規模施設における看護の質向上が図られ、講義経験を通して認定・専門・認定看護師等の研鑽の機会となっており、目的にかなった事業実施ができたことと評価する。
- ・派遣件数が上限に満たず空き枠が生じている一方で、複数年度に渡って繰り返し利用するケースもある。評価が良い事業にも関わらず周知不足があると考えられる。また診療所からの利用は令和6年度に初の受入であった。今後は診療所の利用拡大も狙い、一層の広報活動が課題である。

事業報告

事業名「専門看護師・認定看護師等派遣研修事業」 令和３年度－令和６年度

【目的】

在宅ケアの対象者は重度化・多様化・複雑化している。また、在宅移行支援、緊急対応、看取りまで、地域包括ケアの担い手として役割が期待されている。訪問看護師の質の向上や研修機会の確保のため、訪問看護ステーション等の個々の課題に即した実践的な研修を行う。

【内容】

１．事業内容

依頼のあった施設に、山形県内の専門・認定看護師・特定行為研修修了看護師を講師として派遣し、研修会実施～報告までの一連の業務を行う。

２．対象 県内に所在する訪問看護事業所等

３．実施状況

年 度	派遣数	受講者	内容専門・認定分野
令和３年度	3	37	糖尿病看護１／皮膚・排泄ケア１／老人専門１
令和４年度	5	69	精神科１／感染管理１／皮膚・排泄ケア１／がん化学療法看護１／がん性疼痛看護１
令和５年度	11	98	摂食・嚥下看護２／緩和ケア１／精神科２／皮膚・排泄ケア１／小児専門２／認知症看護２／在宅専門１
令和６年度	15	167	認知症看護１／慢性心不全看護２／がん看護１／皮膚・排泄ケア２／糖尿病看護１／緩和ケア１／在宅専門１／精神科３／慢性呼吸器疾患看護１／災害看護１／認知症看護１
累計	34	371	糖尿病看護２／皮膚・排泄ケア５／老人専門１／認知症看護４／精神科６／在宅専門２／がん化学療法看護１／がん性疼痛１／がん看護１／緩和ケア２／摂食・嚥下看護２／感染管理１／慢性心不全看護２／慢性呼吸器疾患看護１／小児専門２／災害看護１ 計16分野

【派遣研修実施事業所の感想（抜粋）】

- ・受講したことで、不安なく薬剤・医療機器管理ができるようになった。
- ・基本的な病気の理解と具体的な関わる方法など、現場ですぐに活かせる講義であった。
- ・入職者への教育や知識の再認識ができ、さらにスタッフのスキルアップ・レベルの向上にもつながる。

【専門・認定専門看護師の感想（抜粋）】

- ・個々のスキルアップはもちろん、施設内のスキルアップに繋がることや、統一したケアの提供が行えるため、非常に有用な講義となりました。
- ・実際に対面で行うことで、実情を理解しながら講義を進めていくことができる。私自身もＢＣＰについて学びを深め、現に困っていることの解決へと繋がるようにしていきたいと思いました。
- ・院外で活動することで、地域が必要としているニーズを把握でき今後の活動に活かしていける。
- ・地域で必要とされているニーズを鮮明に把握することができ、在宅に帰る患者・家族と関わる時に退院後患者・家族・地域の看護師はじめ医療従事者が困らないよう環境を整え情報提供するなど心がけたい。

【評価と課題（まとめ）】

- ・この事業は、学習機会を設けるにあたり全職員が一斉に受講できるというメリットがある。自事業所で企画し、そのテーマに沿って研修会を開催する。そのため、研修成果は、現場ですぐに活用できている状況である。この効果は評価できる。
- ・研修会を通して、病院との相談がしやすくなり、連携においても関係性の構築が評価できる。
- ・講師側も、院外活動がなかなかできない中、在宅での困っていることなど現状を知ること、今後の活動に活かすことができ、効果を感じていた。
- ・研修内容に関しては、認知症や精神科領域の研修が多い。近年、精神科領域の訪問看護を提供する事業所が増加しているため、ニーズがあったと思われる。
- ・まだ利用したことのない事業所も活用できるようさらに周知していきたい。
- ・年々、研修会実施数が増加し、締め切り前に定数に達するようになった。そのため利用できなかった事業所も数か所あったことが課題である。

事業報告

事業名「福島県外避難者の心のケア業務」

【目的】

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所の事故により山形県内に避難する福島県民に対し、心の健康に関する相談先を確保することで、避難生活を安定した状態で送ることができるようにすること、また、避難先での様々なストレスや不安、震災等の影響による精神面での相談及び心の健康問題に取り組むことにより、将来的な福島県への帰還の一助とすること。

【内容】

1. 県内各地域での福島県外避難者の心のケア業務「まちの保健室」開催状況

名 称	開催日	開催場所	内容	参加者数
浜通り交流会	6月27日	(山形市) 霞城公民館	健康相談・血圧測定・ 体組成計・握力測定 ミニ健康講座	20名
	9月26日			20名
	1月23日			14名
健康とダイエット のための運動教室	6月18日	(米沢市) 置賜総合文化センター		21名
	8月20日			13名
	10月22日			12名
	12月17日			15名
	2月18日			12名

2. 山形県避難者支援事業に参画しての「まちの保健室」開催状況

交流相談会における「まちの保健室」開催状況（旧：今後の暮らしのつどい）

名 称	開催日	開催場所	内容	参加者数
交流相談会	7月7日	(山形市) 山形市総合福祉センター	健康相談、血圧測定、 握力測定、血管年齢測定	4名
	8月25日	(米沢市) 置賜総合文化センター		10名

3. 支援者の質向上に向けた研修会の開催

「まちの保健室」ボランティア育成研修会

開催日：令和6年10月17日（火）14：00～15：00 オンライン開催 参加者12名

内容：丈夫な骨を作ろう～骨粗鬆症の健診を受けよう～ 講師 吉岡病院 外来・手術室看護師長
骨粗鬆症リエゾンマネージャ・菊地 早苗 氏

4. 避難者の健康増進に関する研修会の開催

開催日：令和6年9月26日（木）13：30～15：30 参加者20名（※浜通り交流会と同日開催）

内容：3 B体操で筋力アップ健康講座 講師 公益社団法人日本3 B体操協会 栗原 智子 氏

5. 山形県避難者支援団体としての活動（会議等への参加）

- ・交流相談会実行委員会 5月15日、9月12日
- ・「心のケア」福島・山形・新潟三県連携事業 三県合同研修会及び情報交換会 9月10日
- ・「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議 8月27日
- ・福島県保健福祉部障がい福祉課との情報交換会 7月11日
- ・令和6年度福島県外避難者の心のケア業務説明会及び意見交換会 1月15日
- ・東日本大震災追悼・復興祈念事業実行委員会・総会12月24日・2月26日／事業参加 3月11日（山形・米沢会場）

【評価と課題（まとめ）】

「まちの保健室」ボランティアの協力も得ながら実施することができた。避難者の高齢化が進んでおり、年齢からくる健康問題等心配されている方も多く、支援者間や支援団体への情報提供や連携を密にしながら活動することができた。これまで、他の団体と連携した支援を行えるよう取り組んできたが、相談件数が増えず、福島県の方針に添った事業展開が困難となったため、令和7年度以降は受託しないこととなった。

委託事業費：906,400円

令和 6 年度 調査・学会報告

山形県内病院における令和 5 年度看護職員就業状況及び勤務環境調査	158
---	-----

山形県内病院における令和5年度看護職員就業状況及び勤務環境調査 結果報告

(山形県看護協会調査・一部抜粋)

I. 調査方法

調査期間：令和6年6月1日～6月19日

調査対象：県内66施設の看護管理者に対して調査を実施

II. 回収率 100.0%

III. 調査結果

1. 回答病院の設置主体 66施設：国公立-28施設 民間-38施設 (※独立行政法人は国公立病院として集計)

2. 令和5年度看護職員の採用と離職の状況

1) 設置主体別正規雇用看護職員採用の推移

単位：人

		平均常勤 職員数	4月1日 在籍職員数	総新卒 採用者数	総既卒 採用者数	総退職者数	新卒 退職者数	既卒 退職者数	定年 退職者数	Uターン者数	定める定年
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	55	
	国公立	5,048	5,066	198	55	289	19	8	72	43	
	民間	2,825	2,840	130	189	350	11	33	44	12	
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	35	
	国公立	4,948	4,991	199	78	363	20	6	75	25	
	民間	2,728	2,737	134	149	301	11	31	36	10	
令和5年度	全体	7,803	7,823	343	288	672	22	51	64	57	60.9
	国公立	4,993	4,994	214	75	292	8	6	15	37	60.9
	民間	2,774	2,829	129	213	380	14	45	49	20	60.9

2) 地域別看護職員採用の推移

66施設：村山地域－32施設 最上地域－5施設 置賜地域－15施設 庄内地域－14施設

単位：人

		平均 常勤職員数	4月1日 在籍職員数	新卒 採用者数	既卒 採用者数	総退職者数	新卒 退職者数	既卒 退職者数	定年 退職者数	定める定年
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	
	村山	4,340	4,347	179	160	354	21	32	52	
	最上	414	416	9	10	23	1	0	11	
	置賜	1,339	1,348	76	28	121	4	5	23	
	庄内	1,780	1,795	64	46	141	4	4	30	
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	
	村山	4,179	4,198	185	137	360	13	22	43	
	最上	430	433	7	19	32	1	3	12	
	置賜	1,330	1,336	78	36	126	16	6	24	
	庄内	1,737	1,761	63	35	146	1	6	32	
令和5年度	全体	7,803	7,823	343	288	672	22	51	64	60.9
	村山	4,269	4,273	198	177	383	15	26	38	61
	最上	428	429	10	14	27	0	0	3	60.4
	置賜	1,331	1,341	71	30	122	2	4	10	61.6
	庄内	1,776	1,780	64	67	140	5	21	13	60.4

3) 離職率と年次推移

(1) 設置主体別離職率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
正規看護職員 離職率	全体	8.1%	8.7%	8.6%
	国公立	5.7%	7.3%	5.9%
	民間	12.4%	11.0%	13.5%
新卒看護職員 離職率	全体	9.1%	9.3%	6.4%
	国公立	9.6%	10.1%	3.7%
	民間	8.5%	8.2%	10.9%
<参考>日本看護協会：全国平均				
常勤看護職員離職率		11.6%	11.8%	-
新卒看護職員離職率		10.3%	10.2%	-

(2) 年次別離職率と人数の推移

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
正規看護職員 離職率・数	離職率	8.1%	8.7%	8.6%
	平均常勤職員数	7,873	7,676	7,803
	総退職者数	639	664	672
新卒看護職員 離職率・数	新卒離職率	9.1%	9.3%	6.4%
	新卒採用数	328	333	343
	新卒退職者数	30	31	22

(3) 離職理由(複数回答) ※離職理由は定年退職を除いて計算

理由	退職者 n= (人)	新卒者の退職者数 n= (人)	新卒者以外の退職者数 n= (人)	退職理由別人数 n= (人)	割合 (%)
1)定年退職	0	34	19		
2)結婚	1	49	50		7.4%
3) 出産・育児・子供のため	0	37	37		5.5%
4)配偶者の転勤	0	18	18		2.7%
5) 老親の世話・家族の介護	1	23	24		3.6%
6)家事と両立できない	1	25	26		3.9%
7)健康上の理由	5	93	98		14.6%
8)人間関係	0	19	19		2.8%
9)看護内容への不満	1	8	9		1.3%
10)給料賃金が安い	0	7	7		1.0%
11)労働時間への不満	0	3	3		0.4%
12)夜勤回数が多い	0	2	2		0.3%
13)残業が多い	0	1	1		0.1%
14)自分の適性・能力への不安	7	12	19		2.8%
15)福利厚生	0	0	0		0.0%
16)継続教育が無い	0	2	2		0.3%
17)休みがとれない	0	1	1		0.1%
18)Uターン	0	3	3		0.4%
19)通勤困難	0	8	8		1.2%
20)転居	1	47	48		7.1%
21)他施設への興味	3	122	125		18.6%
22)他分野への興味	2	22	24		3.6%
23)進学	3	3	6		0.9%
24)技術・医療事故への不安	2	0	2		0.3%
25)コロナ関連の理由	0	0	0		0.0%
26)その他	0	59	59		8.8%
合計	27	598	591		

3. 看護職員の人員体制

1) 看護職員就業状況と雇用形態

(1) 看護職員の雇用形態 ※看護職員数とは、保健師・助産師・看護師・准看護師を含む数をいう

雇用形態	看護職員	割合
正規雇用職員	7,511	88.3%
短時間勤務	189	2.2%
正規雇用以外	804	9.5%
パートタイマー、派遣職員		
正規・非正規雇用職員合計	8,504	100.0%

単位：人

(2) 地域別准看護師・看護補助者の合計とその割合 ※合計数は、正看護師数と准看護師数と看護補助者数を合計した数

	合計数	正看護師数	正看護師割合	准看護師数	准看護師割合	看護補助者数	看護補助者割合
全体	10,998	8,504	77.3%	503	4.6%	1,991	18.1%
村山	5,902	4,734	80.2%	197	3.3%	971	16.5%
最上	655	485	74.0%	45	6.9%	125	19.1%
置賜	1,896	1,409	74.3%	74	3.9%	413	21.8%
庄内	2,545	1,876	73.7%	187	7.3%	482	18.9%

単位：人

2) 看護補助者の離職状況について

(2) 令和5年度新採用になった看護補助者全体の離職率

(1) 看護補助者全体の離職率

	令和4年度	令和5年度	単位：%
離職率（全体）	9.3	10.1	n=66

	令和4年度	令和5年度	単位：%
離職率（新採用）	9.9	22.5	n=66

3) 看護職員の充足状況（施設数と割合）

	令和3年度	割合	令和4年度	割合	令和5年度	割合
充足している（施設数）	54	80.6%	46	69.7%	60	91.0%
充足していない（施設数）	12	17.9%	19	28.8%	6	9.0%
無回答	1	1.5%	1	1.5%	0	0.0%
不足数（人）	39		99		20	

n=66

4. 夜勤・交代制勤務について

1) 病棟の夜勤・交代制勤務の夜勤形態について（複数回答）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位：施設
三交代制（変則含む）	46	49	47	
二交代制（夜勤1回あたり16時間以上）	16	19	23	
二交代制（夜勤1回あたり16時間未満）	22	19	18	
その他	1	0	2	

2) 夜勤を行なえる看護職員の人材確保について、行っている取組みについて（複数回答）

	令和5年度	単位：施設
2交代制の検討・導入	32	
夜勤手当の増額	3	
金銭的インセンティブ	18	
夜勤専従看護職員の導入	24	※金銭的インセンティブとは、三交代制：9回、二交代制5回以上の夜勤を行なった場合
その他	5	

※その他の内容

- ・期間を決めて夜勤専従になってもらう
- ・夜勤のできる曜日（曜日限定）での勤務

5. 看護職員の評価・処遇の取組みについて

1) 看護職員の仕事・役割・責任等に見合った評価・処遇（賃金）とするための取組み

	施設数	割合
している	50	75.8%
していない	13	19.7%
今後取組む予定	3	4.5%

n=66

2) 1) で「している」と回答の処遇改善の内容（複数回答）

	令和5年度	単位：施設
基本給の引上げ	20	
決まって支給する手当として支給	30	
一時金として支給	1	
その他	7	

※その他内容

- ・人事評価の給与反映
- ・業績評価制度
- ・初任給の評価制度

基本給の引上げ 平均：4,568円/月

	令和5年度	単位：施設
勤務手当	5	
役職手当	14	
地域手当	0	
業績手当	2	
資格手当	10	
その他※	15	

3) 令和5年度看護職員の年次有給休暇取得について ※年次有給休暇：以下、年休と表記する。

(1) 令和5年度山形県内66病院における年休取得の状況

年休取得の平均	11.6日
年休取得日数の最大値	19日
年休取得の最小値	4日

(2)平均年休取得日数の施設数・割合の推移

	0日	1～5日未満	5～10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20日以上	記載なし	単位：施設
令和3年度	0	0	20	34	12	0	1	
(割合)	0.0%	0.0%	29.9%	50.7%	18.0%	0.0%	1.5%	
令和4年度	0	0	12	39	14	0	1	
(割合)	0.0%	0.0%	18.2%	59.1%	21.2%	0.0%	1.5%	
令和5年度	0	2	12	40	11	0	1	
(割合)	0.0%	3.0%	18.2%	60.6%	16.7%	0.0%	1.5%	n=66

4) 育児休業期間別の人数の推移

(1) 育児休業期間別の推移

	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年	合計	単位：人
令和3年度	250	104	14	7	375	
(割合)	66.7%	27.7%	3.7%	1.9%		
令和4年度	317	123	40	7	487	
(割合)	65.1%	25.3%	8.2%	1.4%		
令和5年度	293	228	51	6	578	
(割合)	50.7%	39.4%	8.8%	1.0%		
男性	28	0	0	0	28	
女性	265	228	51	6	550	

(2) 令和5年4月1日～令和6年3月31日に育児休業取得対象の男性職員

	令和4年度	令和5年度	単位：施設
いる	18	25	
いない	48	41	

(3) 病休取得状況の前年度比（複数回答）

疾病分類	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位：人
感染症（インフルエンザ、COVID-19含む）		84	1,051	1,640	
新生物		59	42	50	
血液及び免疫関連の疾患		10	10	6	
精神疾患		129	133	160	
神経系及び感覚器（眼、耳）の疾患		36	39	53	
循環器系の疾患		11	2	10	
呼吸器系の疾患		18	22	28	
皮膚疾患		11	7	9	
骨格系の疾患		126	132	144	
腎尿路生殖器系の疾患		22	38	37	
妊娠、分娩及び産褥		143	161	186	
その他		112	92	111	
合計		761	1,729	2,434	

6. 看護職員の就業状況や勤務状況についての意見・感想

人材確保・人材活用	- 看護補助者の人員不足から、病棟ごとに行っていたメッセージ業務を一貫して担う部署を設置した。 - 非常勤希望者の雇用。特に、子育て世代のパート希望者については、雇用確保につながっている事例がある。 - 音声入力導入の検討による記録時間の削減などICTの活用とタスクシフトシェア 7時間15分勤務・育休明けの短時間勤務など多様な勤務形態 - 看護補助者の多様な勤務形態・業務内容の検討・ラダーの作成 - 看護学生の実習の受け入れ、県内外看護師養成所への病院説明 - 職員用保育園・病児保育室の併設の検討 - 賃金の見直し - ホームページの充実やインターンシップ・チャレンジウィークの積極的受け入れ。 - 寄り添いナース（65歳以上の看護職員）やアシストワーカーの採用、定年退職者・継続雇用期間終了者の採用
夜勤の 人材確保	- 夜勤常の看護学生の雇用 - 夜勤手当の引上げ、9回夜勤者への金銭的インセンティブを与えるなどの取組み - 社会的にも夜勤をしなくても生活はできる環境になったか。出産と子育ての方が増えると突発休も増え、フルで活動できる看護師にしわ寄せが出てきて少々不満の声もある。
要望	- 小規模な病院や医院、施設等のための職場説明会が別枠であれば良い - 育休復帰後の夜勤を行わない職員が増えている。また、子育て支援の休暇が充実する反面、支える看護師の負担が多い。預けて働ける仕組み・環境の取組みが急務。 - 看護職員の見合った評価・処遇するために、山形県として継続した取り組みを希望。 - 夜勤手当アップを要望したところ、自治体病院は一律の手当であった。民間病院との差が大きくなっている中で全体の課題として取り組む必要がある。 - 委員会活動、研修参加などの時間調整。 - I C T 活用は重要であるが、具体的な導入方法や活用分野について学ぶ機会を設けていただけたらと思う。 - 出産、育休による人員減で業務継続に対する評価があれば良いと思う。

山形県看護協会運営関連資料

定款・細則・支部規則	162
総会運営規則・選挙規則	177
日本看護協会名誉会員・山形県看護協会年度別会員数、会費・令和6年度支部別会員数	184
都道府県別会員数と入会率	185
令和6年度会館・看護研修センター使用状況	187
令和6年度役員・推薦委員・職能委員・令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿	188
令和6年度常任・学会・認定委員名簿	189
令和6年度4支部役員・委員名簿	190
令和7年度役員・推薦委員及び候補者・職能委員名簿	191
令和7年度常任・学会・認定委員名簿	192
令和7年度4支部役員・委員及び候補者名簿	193
組織図・事務局役職員名簿	194
日本看護協会歌	195
会員福利厚生サービス一覧	196

公益社団法人山形県看護協会定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、公益社団法人山形県看護協会と称する。

(事 務 所)

第2条 本会は、主たる事務所を山形市に置く。

2 本会は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という。）と連携し、保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護職」という。）が、教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに医療の担い手である看護職が生涯を通し安心して働き続けられる環境づくりを推進し、併せて人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康な生活の実現とともに、地域医療の推進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の内容からなる事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上を図る事業
- (5) 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
- (6) 施設の貸与に関する事業
- (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(その他の事業)

第5条 本会は、その他の事業として、会員の相互扶助・福利厚生事業等を行う。

第3章 会 員

(種 別)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員とは 山形県内に勤務し、又は居住する保健師、助産師、看護師又は准看護師であって本会の目的に賛同して入会した者
 - (2) 名誉会員とは 看護協会事業に顕著な功績のあった保健師、助産師、看護師又は、准看護師であって理事会が推薦し、本人の承諾を得て日本看護協会通常総会において承認された者
- 2 正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「法人法」という。）に規定する社員とする。

(入 会)

第7条 正会員として入会しようとする者は、定款細則に規定する入会手続きにより申し込むものとする。

(会 費)

第8条 正会員は、会費を納めなければならない。

- 2 会費の額は、総会が定める。
- 3 既納の会費は、いかなる理由があっても返還しない。

(退 会)

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付して退会届を会長に提出しなければならない。

(除 名)

第10条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会において出席した正会員の3分の2以上の議決により、除名することができる。この場合、その会員に対し、総会の1週間前までに、理由を付して除名する旨を通知し、総会において、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 本会の定款又は細則に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他の正当な事由があるとき。

2 前項の規定により除名が決議されたときは、会長は、その会員に対し、除名した旨を通知するものとする。

(会員の資格喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 死亡し、若しくは失踪宣告を受けたとき。

(2) 保健師、助産師、看護師又は准看護師のいずれでもなくなったとき。

(3) 正当な理由なく1年以上会費を滞納したとき。

(4) 総正会員が同意したとき。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第12条 会員が第9条から前条までの規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。

2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 総 会

(構成及び議決権)

第13条 総会は、正会員をもって構成する。

2 総会における議決権は、正会員につき1個とする。

3 総会をもって、法人法上の社員総会とする。

(権 限)

第14条 総会は、次に掲げる事項を決議する。

(1) 会費の額

(2) 会員の除名

(3) 理事及び監事の選任又は解任

(4) 推薦委員の選出

(5) 理事及び監事の報酬等の額

(6) 定款の変更に關する事項

(7) 本会の解散に關する事項

(8) 理事会において総会に付議した事項

(9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(通常総会及び臨時総会)

第15条 本会の総会は、通常総会と臨時総会の2種とする。

2 通常総会は、毎事業年度終了後6月末迄に、年1回開催する。

3 臨時総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。ただし、5分の1以上の正会員から、会議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求があったときは、会長は、当該請求のあった日から6週間以内の日を開催日として臨時総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的、審議事項、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使することができることとするときは、その旨及びその他法令で定められた事項を、開催14日前までに本会の機関紙によって公表し、会員に通知しなければならない。

(議 長)

第16条 総会に議長団を置く。

2 議長団は2名以上とし、総会において、その都度出席正会員の中から選任する。

3 議長は、議長団で決定する。

(定 足 数)

第17条 総会は、総正会員の過半数の出席をもって成立する。

(決 議)

第18条 総会の決議は、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 前項前段の場合において、議長は正会員として決議に加わることはできない。ただし、出席数からは除かない。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる総会の決議は、総正会員の3分の2以上の議決をもって行わなければならない。

(1) 会員の除名

(2) 監事の解任

(3) 定款変更

- (4) 本会の解散
 - (5) その他法令で定められた事項
- (書面による表決等)

第19条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決し、又は他の構成員を代理人として表決を委任することができる。

2 第17条、第18条の適用については、前項の規定により書面又は電磁的方法をもって表決し、又は表決を委任した正会員は、当該総会に出席したものとみなす。

3 書面又は電磁的方法による決議の可否については、総会ごとに理事会で定める。

(議事録)

第20条 総会の議事録は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）で定めるところにより、書面又は電磁的記録をもって作成し、総会の日から10年間保存する。

2 議事録には議長及びその総会において選任された議事録署名人2人以上が、署名又は記名押印しなければならない。

第5章 役員等

(役員の設置)

第21条 本会に次の役員を置く。

(1) 理事 15名以上25名以内

(2) 監事 2名以上4名以内

2 理事のうち、1名を会長、2名を副会長、1名以上3名以内を常任理事とする。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、常任理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 理事会は、会長、副会長及び常任理事を理事の中から選定する。

3 理事会は、監事の内1名については正会員以外（以下「外部監事」という。）から選出する。尚、外部監事の選出は定款細則に定める。

(役員の親族等割合の制限)

第23条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1名とその配偶者または三親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数が、理事の総数の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。

2 他の同一団体（公益法人を除く）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令第5条で定められる者である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。

3 監事は、本会の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、本会を代表し、業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 常任理事は、会長、副会長を補佐し、業務を執行する。

5 会長及び常任理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務)

第25条 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成すること。

(2) 本会の業務及び財産の状況を監査すること。

(3) 理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。

(4) 理事が不正の行為をし、若しくは不正の行為をするおそれがあると認められるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告すること。

(5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求の日から5日以内に、理事会を開催する旨の招集通知（その請求があった日から2週間以内の日を開催日とするものに限る。）が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。

(6) 理事が、総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること。

(7) 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれが

ある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その行為をやめることを請求すること。

(8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 会長、副会長、常任理事は、同一の役付理事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。ただし、災害その他やむを得ない事由により、特に業務上必要がある場合には、その最初の選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までを任期とすることができる。
- 3 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 4 前項の規定にかかわらず監事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。
- 5 第21条第1項で定めた役員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまでなお役員としての権利義務を有する。

(役員解任)

第27条 理事及び監事は、総会の決議によって、解任することができる。

- 2 監事を解任する場合は、総正会員の3分の2以上の決議をもって行わなければならない。

(役員報酬等)

第28条 理事及び監事に対しては、総会で定める総額の範囲内で、報酬を支給することができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し、必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員等の報酬及び費用に関する規則による。ただし、監事が2人以上ある場合において、各監事の報酬等について総会の決議がないときは、第1項による報酬等の範囲内において、監事の協議によって定める。
- 4 監事は、総会において、監事の報酬等について意見を述べることができる。

(役員等の責任免除)

第29条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定により、この責任は、すべての正会員の同意がなければ、免除することができない。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該理事又は監事が善意で重大な過失がない場合には、本会は、同法第114条第1項の規定により、任務を怠ったことによる理事又は監事（理事又は監事であった者を含む。）の損害賠償責任を法令の限度において理事会の決議によって免除することができる。
- 3 本会は、外部役員との間で、法人法第111条第1項の賠償責任について、法令で定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額とする。

(顧問)

第30条 本会に、顧問2名以内を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の決議により会長が委嘱する。
- 3 顧問は、役員を兼ねることができない。
- 4 顧問は、重要事項について、会長の諮問に応ずる。
- 5 顧問の任期は、2年とする。

第6章 理 事 会

(構成)

第31条 本会に理事会を設置する。

- 2 理事会は、すべての理事をもって組織する。

(権限)

第32条 理事会は、法令及びこの定款に定めるもののほか、次に掲げる職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- 2 理事会は、次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。
- (1) 重要な財産の処分及び譲受け
- (2) 多額の借財

- (3) 重要な使用人の選任及び解任
 - (4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
 - (5) 内部管理体制の整備（理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他本会の業務の適性を確保するために必要な法令で定める体制整備）
 - (6) 法人法第114条第1項の規定による定款の定めに基づく法人法第111条第1項の責任の免除
- (招 集 等)
- 第33条 理事会は、会長が招集する。ただし、会長に事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた理事が招集する。
- 2 理事会を招集する者は、理事会の日の1週間前までに各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。
 - 3 理事会の議長は、会長がこれにあたる。
- (決 議)
- 第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- (理事会の決議の省略)
- 第35条 理事が理事会の目的である事項について提案した場合において、当該提案について議決に加わることができる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、この限りではない。
- (議 事 録)
- 第36条 理事会の議事録については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は、署名又は記名押印しなければならない。
- 2 代表理事が欠席した理事会については、出席した理事及び監事が署名又は記名押印する。
 - 3 議事録は、理事会の日から10年間、主たる事務所に備えおかなければならない。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

- 第37条 本会に次の職能委員会を置く。
- (1) 保健師職能委員会
 - (2) 助産師職能委員会
 - (3) 看護師職能委員会Ⅰ
 - (4) 看護師職能委員会Ⅱ
- 2 職能委員会は、それぞれ、職能上の問題を審議し、会長に助言する。
 - 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師担当の理事をもって充てる。
 - 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任する。
 - 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第8章 委 員 会

(委 員 会)

- 第38条 前条に定める委員会のほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会はその決議により、委員会を設置することができる。
- 2 委員会は、総会、理事会その他の法定機関の権限を侵すものではないものとする。
 - 3 委員会の委員は、理事会が選任する。
 - 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第9章 事 務 局

(事 務 局)

- 第39条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。
- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
 - 3 事務局長及び重要な職員は、理事会の決議を経て、会長が任免する。
 - 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が定める。

第10章 支 部

(支 部)

第40条 本会に支部を置く。

2 支部の組織その他必要な事項は、理事会の決議を経て会長が定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第41条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計の原則)

第42条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の基準その他の会計の慣行に従うものとする。

(資産の管理)

第43条 本会の資産は、会長が管理する。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議により決定するものとする。

2 予算等については、通常総会に報告するものとする。

3 予算等については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

4 予算書等については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、たうえで理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、通常総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、また、従たる事務所に3年間備え置き一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に、正会員名簿を主たる事務所に備え置き一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

4 第1項各号及び前項各号の書類は、当該事業年度経過後3箇月以内に行政官庁に提出しなければならない。

5 貸借対照表は、通常総会終結後遅滞なく、公告するものとする。

(事業報告及び決算)

第46条 会長は、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4項に定める書類に記載する。

(多額の借財及び重要な財産の処分又は譲受け)

第47条 本会が、次の各号に掲げる借財をしようとするときは、総会の決議を経なければならない。

(1) 1千万円を超える長期借入金

(2) 1千万円を超える短期借入金

2 本会が重要な財産の処分又は譲受けを行う場合も、前項と同様の決議を経なければならない。

(会計の規定等)

第48条 会計に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

第49条 この定款は、総会において、総正会員の3分の2以上の決議により変更することができる。

(合併等)

第50条 本会は、総会において出席した総正会員3分の2以上の決議により、他の法人法上の法人との合併又は事業の全部譲渡を行うことができる。

(解散)

第51条 本会は、総会における総会員の3分の2以上の決議その他法令で定められた事由により、解散する。

(公益認定の取消しに伴う贈与)

第52条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第53条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公 告

(広告方法)

第54条 本会の公告は、主たる事務所に掲示する方法により行うものとする。

第14章 細 則

(委任)

第55条 この定款に定めるもののほか、本会の運営に必要な細則は、理事会の決議により別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記を行った日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益社団法人の設立登記を行ったときは、第41条の定めにかかわらず、解散登記の前日を事業年度の末日とし、設立登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立登記の日に就任する理事及び監事は、別紙役員名簿記載のとおりとする。
- 4 本会の最初の会長は、川村良子とする。
- 5 本会の最初の副会長は、青嶋智重子、後藤道子とする。
- 6 本会の最初の常任理事は、大竹久子、濱口菊枝とする。
- 7 この定款は平成25年6月14日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成26年6月19日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成27年6月19日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成28年6月17日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成31年2月23日の臨時総会にて承認され一部改正し施行する

公益社団法人 山形県看護協会 定款細則

第1章 総 則

(目 的)

- 第1条 この定款細則は、公益社団法人山形県看護協会（以下「本会」という。）定款第55条により、会務を執行するために必要な事項並びに公益社団法人日本看護協会に関連する事項を定める。

第2章 会 員

(入会の手続き)

- 第2条 正会員になろうとする者は、本会の指定する手続きにより、入会の申し込みをしなければならない。
2 本会の会員は、公益社団法人日本看護協会の入会についても本会を経由して入会手続きを行うものとする。

(登 録)

- 第3条 本会の正会員は、定款第3章に基づく者で、山形県の区域内に居住を有するか、又は、勤務するものとする。
2 会員の入会を受理した場合において、会員名簿に登録し、会員証を交付するとともに、公益社団法人日本看護協会の会員としても登録し、会員証を交付するものとする。
3 申込者は、正会員名簿に記載・登録された日から正会員としての資格を取得するものとする。

(退会及び除名)

- 第4条 会員が退会しようとするときは、本会の指定する手続きにより、会員証を添えて申し出なければならない。
2 定款第9条及び第10条により、退会又は除名された正会員は、登録を抹消されたその日から正会員の身分を喪失し、本会の会員名簿から抹消されなければならない。
3 除名された者が、本人の意志による再加入をするときは、理事会の議決により正会員になることができる。

(住所及び勤務地の変更届け)

- 第5条 会員は、本会に登録した住所又は勤務地が変更となる場合には、会長が別に定めるところにより、変更を届け出なければならない。

第3章 会 費

(会 費)

- 第6条 本会の会費は、1カ年6,600円とする。他に支部会費として1カ年900円とする。
2 会費の額は、総会において定める。
3 会員は、本会の指定する日までに翌年度分の会費を前納しなければならない。
ただし、入会した日の属する年度分の会費については、第2条第1項の定めるところによる。
4 会費の30%を限度として共益と相互扶助に、残額は法人会計に使用する。

(会館維持管理費及び会館・看護研修センター新築積立金)

- 第7条 会館維持管理費は1カ年1,500円とする。
2 会館・看護研修センター新築積立金として、平成22年度までの新会員からは総積立金88,000円、平成23年度新会員の一人当たり総積立 金80,000円、平成24年度新会員の一人当たり総積立金70,000円、平成25年度新会員の一人当たり総積立金60,000円、平成26年度新会員の一人当たり総積立金50,000円、平成27年度以降の新会員の一人当たり総積立金40,000円とする。
3 前2項の額は、総会において定める。また、前2項に関する必要事項は別に定める。

第4章 理 事

(理事の忠実義務)

- 第8条 理事は、法令及び定款並びに総会の決議を遵守し、本会のため忠実にその業務を行わなければならない。

(理事の競業及び利益相反取引の制限)

- 第9条 理事は、次に掲げる場合には、理事会において、当該取引につき重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。
(1) 理事が、自己又は第三者のために、本会の事業の部類に属する取引をしようとするとき。
(2) 理事が、自己又は第三者のために本会と取引をしようとするとき。
(3) 本会が、理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間において、本会と当該理事との利益が相反する取引をしようとするとき。
2 前項の取引をした理事は、当該取引後、遅滞なく、当該取引についての重要な事実を理事会に報告しなければならない。

(理事の報告義務)

第10条 理事は、本会に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、直ちに、監事に報告しなければならない。

(理事の定数)

第11条 定款第21条による役員のうち、第2項を除く理事は、次の通りとする。

- (1) 理事 4名以内
- (2) 保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱの職能代表（以下「職能理事」という。） 4名
- (3) 支部理事（各支部長） 4名
- (4) 全区理事（准看護師） 1名

(理事の任期)

第12条 定款第26条第1項により、理事の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 会長、副会長、常任理事は、同一の役付理事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。ただし、災害その他やむを得ない事由により、特に業務上必要がある場合には、その最初の選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までを任期とすることができる。

(理事の任務)

第13条 会長は、会を代表し、会の会務を掌理し、副会長及び常任理事は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

- 2 理事は、会長を補佐すると共に、会長の命を受けて会務を執行する。

第5章 監 事

(監事の構成)

第14条 定款第21条第1項第2号により、監事は2名以上4名以内を置く。ただし、内1名は外部監事とする。

- 2 監事は、本会の業務運営に精通した者1名以上、会計制度に精通した者、又は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「法人法」という。）及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）その他の関係法令に精通した者1名を選出するものとする。
- 3 外部監事は、前項に精通した者1名以上を理事会にて承認とする。

(監事の任期)

第15条 定款第26条第2項により、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず監事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。

(監事の任務)

第16条 定款第25条に加え、公益社団法人移行後の役員の報酬等の総額の上限についての監査を行うものとする。

(監事の委任)

第17条 監事について必要な事項は、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、総会の決議により別に定める。

- 2 前項にかかわらず、法令、定款、この定款細則及び総会決議に反しない限りにおいて、監事はその協議により、監事の監査及び調査の実施方法等について必要な事項を定めることができる。

第6章 総 会

(開催期日)

第18条 通常総会は、毎年6月に開催する。ただし、やむを得ない事情のある場合は、理事会の決議により、4月又は5月に変更することができる。

(総会運営)

第19条 総会運営に関する必要な事項は、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、理事会において別に定める総会運営規則によるものとする。

(役員及び推薦委員などの選出)

第20条 役員（定款第21条に規定する外部理事及び外部監事を除く）及び推薦委員などは、総会において、正会員の中から正会員が選出する。

- 2 役員及び推薦委員などの選出に関する必要な事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、別に定める選挙規則によるものとする。

(選挙管理委員会の設置及び運営)

第21条 議長は、正会員の中から次年度における選挙管理委員6名を定める。

- 2 選挙管理委員会の運営に関する必要事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、別に定める選挙規則によるものとする。

第7章 理 事 会

(理事会の構成)

第22条 理事会は、定款第31条により、会長1名、副会長2名、常任理事3名、理事4名以内、職能理事4名、支部理事4名、全区理事（准看護師）1名で構成される。

- 2 監事3名（内1名は外部理事）は、定款第25条第3項に基づき理事会に出席し職務を担うものとする。ただし、表決には加わらない。

第8章 常務理事会

(常務理事会の構成)

第23条 常務理事会は、会長1名、副会長2名、常任理事3名をもって構成される。

(常務理事会の運営)

第24条 常務理事会は、会長が必要と認めた時に召集し、協会の会務にあたる。

- 2 常務理事会の議長は、会長があたる。
- 3 常務理事会は、理事会が委任する事項を処理する。
- 4 決議事項は議事録に記載し、理事会に報告するものとする。
- 5 監事3名（内1名は外部監事）は、常務理事会に出席して意見を述べることができる。ただし、表決には加わらない。

第9章 職能委員会

(各職能委員会の構成)

第25条 4つの職能委員会は、それぞれの委員長及び6名以内の委員をもって構成する。ただし、看護職能委員会Iは准看護師1名を含めて構成する。

- 2 各職能委員会の委員長は、職能理事としてこれにあたる。

(委員の選任)

第26条 各職能委員長は、総会において、正会員から選任する。

- 2 各職能委員は、理事会において、正会員から選任する。

(委員の任期)

第27条 委員長の任期は、選挙された総会の終了後から2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。引き続き就任する場合は、各任期終了時に総会にて選挙にて選任とし、3期6年目の通常総会の終了日を超えて就任することはできない。

- 2 各職能委員は、理事会にて承認を得て、総会終了後から2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。引き続き就任する場合は、各任期終了時に理事会の承認を得て、3期6年目の通常総会の終了日を超えて就任することはできない。
- 3 任期中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、理事会にて選任とする。ただし、任期は残任期間とする。

(委員会の開催)

第28条 各職能委員会は、定期会合を行うこととする。

- 2 各職能委員会は、委員長が委員を招集し委員会を開催する。なお、委員長がその議長となる。
- 3 各職能委員会は、必要に応じて、会長の承認を得て、別に小委員会を設けることができる。

(職能別集会の開催)

第29条 各職能委員会は、会長の承認を得て年1回以上の職能別集会を開催することができる。

- 2 各委員長は、職能別集会の長となり、委員はこの会の運営にあたる。
- 3 各職能委員長は、公益社団法人日本看護協会の開催する全国職能交流集会及び全国職能委員長会議、北海道・東北地区職能委員長会議に出席するものとする。

第10章 委 員 会

(委員会)

第30条 本会に専門的事項に関する検討を行うために、次の常任委員会を置く。

- (1) 教育委員会
- (2) 広報委員会
- (3) 医療・看護安全対策委員会
- (4) 災害・健康危機対策委員会
- (5) いのちの教育推進委員会
- (6) 勤務環境改善推進委員会

- 2 前項の各号に掲げる常任委員会のほかに、会長が必要と認めるときは、特別委員会、学会委員会及び認定委員会を置くことができる。

(委員の構成)

第31条 常任委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- (1) 教育委員会 7名
- (2) 広報委員会 5名
- (3) 医療・看護安全対策委員会 4名
- (4) 災害・健康危機対策委員会 5名
- (5) いのちの教育推進委員会 5名
- (6) 勤務環境改善推進委員会 5名

- 2 学会委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- (1) 山形県看護研究学会委員会 5名

- 3 認定委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- (1) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会 7名

- 4 各委員会の委員に、山形県看護協会役員・事務局職員及び協会立訪問看護ステーション職員を置くことができる。

(委員の選任)

第32条 常任委員会及び特別委員会並びに学会委員会、認定委員会の委員は、理事会において、正会員から選任する。

(委員の任期)

第33条 常任委員の任期は、1期3年とする。なお、再任は妨げない。引き続き就任する場合は、2期6年までとし、通常総会の日を終了日とする。ただし、委員の交替は、原則として毎年3分の1ずつとする。

- 2 特別委員の任期は、会長が必要と認める期間とする。ただし、5年以内とし、委員の交替はおこなわない。なお、欠員が生じた場合の補充は会長に一任とする。
- 3 山形県看護研究学会委員、認定看護管理者教育課程教育運営委員の任期は、1期3年とする。なお、再任は妨げない。引き続き就任する場合は、2期6年までとし、通常総会の日を終了日とする。

第11章 推薦委員会

(推薦委員会の設置)

第34条 本会に推薦委員会を置く。

- 2 推薦委員会、本会の役員及び推薦委員並びに公益社団法人日本看護協会の代議員及び予備代議員の改選に際し、その候補者の推薦に関する事項をつかさどる。

(推薦委員会の構成)

第35条 推薦委員会は、6名をもって構成する。

- 2 委員長は、委員の互選により選任する。

(推薦委員の選任)

第36条 推薦委員は、総会において、正会員から選任する。

(推薦委員の任期)

第37条 推薦委員の任期は、選任後事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結時までの2年とし再任はしない。なお、推薦委員の交替は、原則として毎年半分ずつとする。

- 2 任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、通常総会まで欠員とし、通常総会にて選任とする。

(推薦委員会の任務)

第38条 推薦委員会は、正会員の中から改選する同一職について、役職及び役割に適した人材を改選数以上推薦する。

- 2 候補者を推薦しようとするときは、あらかじめ本人の承諾を得て推薦しなければならない。
- 3 推薦名簿を選挙管理委員会（別途；選挙規則参照）に定時総会の2カ月前までに、文書にて伝えなければならない。

第12章 支 部

(支部の設置)

第39条 本会に次の支部を置く。

(1) 山形支部 (2) 最北支部 (3) 庄内支部 (4) 置賜支部

2 支部長は、支部理事をもってこれに充てる。

(支部役員の選任)

第40条 各支部役員は、総会において、各支部の正会員から選任する。

(支部運営)

第41条 支部運営に関し、必要な事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、理事会の決議により、別に定める支部規則及び支部との確認事項によるものとする。

第13章 会 計

(会計規則)

第42条 本会の会計は、理事会において別に定める会計規則により、これを処理する。

第14章 事 務 局

(職員)

第43条 本会の業務執行のため、職員及び嘱託職員（常勤及び非常勤職員を含む。以下同じ）を置く。

(職務分掌)

第44条 職員の職務分掌については、会長が別に定める。

(給与等)

第45条 職員及び嘱託職員の就業及び給与に関しては、理事会の決議により別に定める。

(組織及び運営)

第46条 事務局の組織及び運営に関し、必要な事項については、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、理事会により別に定める。

第15章 補 則

(定款細則の変更)

第47条 この定款細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第6条第1項「会費」及び第7条第1項会館維持管理費並びに第2項会館・看護研修センター新築積立金の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。

(委任)

第48条 この定款細則により会務を執行するために必要な事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、理事会は、総会の決議によることが相当と認める場合には、定款第14条第7号の規定に基づき、総会の決議を求めることができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この定款細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法規の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日（平成25年4月1日）から施行する。
- 2 この定款細則は、平成25年4月23日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成26年5月22日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成27年5月19日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成28年5月17日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成28年9月26日の理事会にて一部改正し、新会員管理体制に伴う改正は、平成28年10月1日より施行するが、新たな体制での業務執行は平成29年度通常総会終了後より実施する
この定款細則は、平成28年12月15日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成29年2月23日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成29年12月14日の理事会にて一部改正（委員会の名称変更）し、平成30年の通常総会終了後に施行する
この定款細則は、平成30年4月13日の書面理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、平成30年12月6日の理事会にて一部改正〔定款第21条第3項（業務執行理事の範囲）、定款第26条（役員の任期）〕し、平成31年2月23日の臨時総会終了後に施行する

この定款細則は、令和3年2月26日の書面理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、令和5年3月17日の理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、令和6年5月20日の理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、令和6年12月16日の理事会にて一部改正し、令和7年4月1日から施行する

この定款細則は、令和7年3月14日の理事会にて一部改正し、第14条及び第20条については令和8年度改選役員の選出に係る事項についてから適用する

公益社団法人山形県看護協会 支部規則

(設立)

第1条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款細則第12章第39条に基づき設置する。

(名称)

第2条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款細則第12章第39条に基づき支部名を称する。

(目的)

第3条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款第3条の目的に添って、各支部に属する公益社団法人山形県看護協会（以下、「県看護協会」とする。）の会員である保健師・助産師・看護師並びに准看護師の福祉を図るとともに、看護に関する資質及び職業倫理の向上に努め、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 各支部において次の事業を行う。

- (1) 看護職の看護に関する資質及び職業倫理の向上に関する事業
- (2) 各支部が所属する県民の健康と福祉に関する事業
- (3) 県看護協会の事業に対する支援・協力などに関する事業
- (4) その他、各号に該当しない本会の目的達成のための事業

(会計及び資産)

第5条 各支部の会計は、県看護協会が会費を一括徴収し、各支部事業に添って県看護協会より交付する。

- 2 各支部の資産は、県看護協会が一括管理とする。

(事業計画及び収支予算)

第6条 各支部は、各年度の事業計画（案）及び収支予算（案）を作成し、2月の理事会に提案し承認を得たのち、県看護協会通常総会にて会員の承認をうけなければならない。

- 2 各支部は、各年度の事業及び決算報告を作成し、4月の理事会に提案し承認を得たのち、県看護協会通常総会にて会員の承認をうけなければならない。
- 3 各支部の事業は、毎年4月1日に始まりから翌年3月31日をもって各年度とする。

(役員)

第7条 各支部に次の役員を設置する。

- (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 2名
- (3) 書記 2名 (4) 会計 2名

(役員の選任)

第8条 各支部役員（支部長・副支部長・書記・会計）は、県看護協会通常総会にて承認をうけなければならない。

- 2 任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、通常総会まで欠員とし、通常総会にて選任とする。

(役員の職務)

第9条 支部長は支部を代表し、支部の業務を総括する。

尚、支部長は、県看護協会の理事を兼務し、県看護協会の運営に参画する。

- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるとき、又は欠けたときは、支部長があらかじめ指名した順位によってその職務を行う。
- 3 書記は、支部の会議をはじめとする支部運営に係る文書の管理を行う。
- 4 会計は、各支部の事業に添った会計処理を行うと共に、予算案の作成及び決算報告を行う。

(役員の任期)

第10条 支部役員の任期は、1期2年とし3期6年を限度とする。

(役員の解任)

第11条 支部役員の解任は、公益社団法人山形県看護協会定款第27条に準じる。

(役員の報酬)

第12条 役員は無給とする。

- 2 但し、交通費及び日当の支払いは、県看護協会の規定に準じ支給する。

(常任委員会の設置及び委員の選任・任期など)

第13条 支部は、支部運営を行う上で必要な委員会を設置することができる。

- 2 各種委員会の設置は、各支部役員会において決定する
- 3 各種委員の選任は、各支部役員会において、各支部の正会員から選任する。
- 4 委員の任期は支部役員と同じ1期2年とし、3期6年を限度とする。

- 5 委員が任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合は、支部役員会にて各支部の正会員から選任する。

(規則の変更)

第14条 支部規則の変更は、県看護協会理事会の承認を経て定める。

附 則

- 1 詳細については、別に定める「山形県看護協会と4支部との確認事項」を参照のこと。
- 2 この規則は、平成23年10月25日より施行する
この規則は、平成24年1月20日に支部長会議にて確認済み
この規則は、平成24年2月7日より施行する
この規則は、平成24年4月24日の理事会にて一部改正し、平成24年6月より施行する
この規則は、平成24年8月7日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成25年4月23日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成25年10月11日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成26年2月18日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成29年5月25日の理事会にて一部改正し施行する

公益社団法人山形県看護協会 総会運営規則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規則は、公益社団法人山形県看護協会（以下、「本会」という。）定款細則第19条の規定に基づき、総会の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(遵守事項)

第2条 総会出席者は、法令、定款、定款細則及びこの規則を遵守しなければならない。

第2章 総会の出席者等

(登 録)

第3条 正会員は総会当日開会定刻までに議場に到着し、登録を受けなければならない。

(委任状による登録など)

第4条 定款第19条に則り、書面又は電磁的方法にて総会当日開会定刻まで他の構成員を代理人として表決を委任する正会員は、委任状をもって当該総会に登録したものとみなす。尚、委任状は、別添様式(1)及び別添様式(2)とする。

2 定款第15条第4項に則り、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使する場合、総会当日開会定刻まで表決する。

3 委任を受けた会員は、総会会場において代理人の出席登録をうけなければならない。

(着 席)

第5条 登録が済んだ正会員は、開会定刻までに総会会場の所定の席に着席する。

(役員の出席)

第6条 理事及び監事は、やむを得ない理由がある場合を除き、総会に出席しなければならない。

(役員以外の出席)

第7条 本会の職員及び公認会計士等は、理事、監事を補佐するため、議長の許可を得て総会に出席することができる。

第3章 総会の開会等

第1節 開 会

(議長団選出前の進行役)

第8条 議長が選出されるまでの間、会長の指名したものが会の進行をつかさどるものとする。

(議長団の選出)

第9条 議長団の選出は、総会当日登録が済んだ正会員の中から総会において承認決議を行う方法によるものとする。

(議長団の着席)

第10条 議長団は議長席に着席する。

(議長の権限)

第11条 議長は、総会の秩序を維持し、議事を整理する。

2 議長は、次の発言に対し必要な注意を与え、制限し又はその発言を中止させることができる。

(1) 議長の指示に従わない発言

(2) 議題に関係しない発言

(3) 冗長又は重複する発言

(4) その他総会の品位を汚したり、他人の名誉を毀損（きそん）するなど、議事を妨害又は議場を混乱させる発言

(定足数の確認)

第12条 議長は、総会の開会に際し、事務局に出席数を確認させ、会場に報告しなければならない。

(開会の宣言)

第13条 議長は、前条の報告により定款第17条に定める総会成立のための定足数が満たされたことを確認したときは、開会を宣言しなければならない。

(開会時刻の繰下げ)

第14条 議長は、登録済みの正会員及び委任状が定足数に満たないとき、その他総会を開会するにつき重大な支障があると認められるときは、総会の開催時刻を繰下げることができる。この場合、既に入場している登録済みの正会員に対し、遅滞なく繰り下げられた時刻を通知しなければならない。

第2節 議題の審議

(議題の提出)

第15条 総会に付する議題は会長より文書をもって議長に提出しなければならない。

(審議の順序等)

第16条 議長は、提出された議題について、あらかじめ記載された順序に従い、審議に入るものとする。ただし、理由を述べて、その順序を変更することができる。

2 議長は、複数の議題を一括して付議することができる。

(理事等の報告・説明)

第17条 議長は、提出された議題について、提出した理事又は監事に主旨説明を行わせた後、その審議に入るものとする。

2 当該議題に関する事項の報告又は説明を行う理事又は監事は議長の許可を得て、補助者に報告又は説明させることができる。

(質 疑)

第18条 出席正会員は、議題について審議することができる。

(発言の機会)

第19条 出席正会員は、議題に関する事項の報告又は説明終了後でなければ、当該議題に関し発言することはできない。

(発 言)

第20条 出席正会員が議題について発言するときは、議長の許可を得なければならない。発言に先立ち自己の氏名と所属を明らかにしなければならない。

2 発言の順序は、議長が決する。

3 発言は、簡潔明瞭であることを要し、議長は、議事の進行上必要があると認められるときは、発言時間を制限することができる。

(議長の発言)

第21条 議長が討論のために発言しようとするときは議長を交代し、出席正会員席につかなければならない。

2 議長が討論に参加したときは、その議題又は議案の採決が終わるまで議長に復することはできない。

(説明義務者)

第22条 出席正会員の理事に対する質問の説明は、会長又はその指名した理事が行う。

2 出席正会員の監事に対する質問の説明は、各監事が行う。ただし、監査意見が統一されている場合は、監事の協議により定められた監事が行うことができる。

3 理事又は監事は、議長の許可を得た上で補助者に説明をさせることができる。

(一括説明)

第23条 理事又は監事は、出席正会員の質問に対して一括して説明をすることができる。

(説明の拒絶)

第24条 理事又は監事は、質問が次の理由に該当するときは、説明を拒絶することができる。

(1) 質問事項が総会の目的事項に関しないものである場合

(2) 説明をすることにより正会員の共同の利益を著しく害する場合

(3) 説明をすることにより本会、その他の者(出席正会員を除く。)の権利を侵害することとなる場合

(4) 説明をするために調査を行うことが必要である場合

(5) 質問が重複する場合

(6) その他説明をしないことにつき正当な理由がある場合

第3節 動 議

(動議の提出)

第25条 議長は出席正会員より動議の提出があった場合には、まず賛否の決議を行い、賛成の決議を得た場合に議題とする。

(優先動議)

第26条 次の動議は他の議事に優先して取り扱い、少なくとも賛否各1名の討論の後、直ちに採決にはいらない。

(1) 議事の進行、討論の打ち切り、休憩又は休会の動議

(2) 議長不信任

(3) 退会の秩序保持に関する動議

(議長不信任の動議の審議)

第27条 議長は、当該議長の不信任の動議の審議に当たっても職務を行うことができるものとする。

(動議の却下)

第28条 議長は、動議が次の事由に当たるときは、直ちに却下することができる。

(1) 当該修正動議に関する議題の審議に入っていないとき、又は審議を終了したとき。

(2) 既に同一の内容の動議が否決されているとき。

- (3) 総会の議事を妨害する手段として提出されたとき。
- (4) 法令、定款その他本会が定める規則等に適合しないとき又は権利の濫用に当たるとき。

第4節 休 憩

(休 憩)

第29条 議長は、議事の進行上必要と認めるときは、休憩を宣言することができる。

第5節 審議の終了・採決

(採 決)

第30条 議長は、質疑及び討論が尽くされたと認められたときは、審議終了を宣言し、議案の可否を採決する。

(採決の方法)

第31条 議長は、採決について、賛否を確認できるいかなる方法によることもできる。

(議案の修正)

第32条 議案を修正しようとする出席正会員は10名以上の出席正会員の賛成を得て、修正案をあらかじめ議長に提出し、その主旨を説明しなければならない。ただし、10名の中に総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議案を修正する正会員とはならない。

- 2 議長は、討論の終結後前項の修正案につき、まず採決をしなければならない。
- 3 同一議案について数個の修正案が提出されたときは、議長が採決の順序を決める。
- 4 修正案がすべて否決されたときは、原案について採決しなければならない。

第6節 閉 会 等

(延期又は続行)

第33条 総会を延期又は続行する場合は、総会の決議による。

- 2 前項の場合、延会又は継続会の日時及び場所についても決議しなければならない。ただし、その決定を議長に一任することを妨げない。
- 3 前項ただし書きの場合、議長は決定した日時及び場所を総会に出席した正会員に通知する。
- 4 延会又は継続会の日は、最初の総会の日より2週間以内に定めなければならない。

(閉 会)

第34条 議長は、すべての議事を終了したとき又は延期若しくは続行が決議されたときは、閉会を宣言する。

(議 事 録)

第35条 総会の議事録は書面又は電磁的方法をもって作成し、議長及び総会において選任された議事録署名人2名以上が署名又は記名押印（電子署名を含む）をしなければならない。

- 2 議事録には下記の事項を記載する。
 - (1) 会議の日時、場所及び目的
 - (2) 出席した出席正会員数、委任状数、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使する正会員数、役員及び議長団の氏名
 - (3) 会長又は役員の報告事項
 - (4) 会議に付された議題
 - (5) 議題となった動議及び動議者の氏名
 - (6) 議事及び発言の要旨
 - (7) 決議事項
 - (8) その他議長において必要と認めた事項

(出席できなかった正会員等に対する報告)

- 第36条 会長は、総会の議事の経過の要領及びその結果などを、出席できなかった正会員及びOB会員に対し、広報紙「山形いぶき」など適宜な方法により報告しなければならない。
- 2 委任を受けた出席正会員は、総会終了後、委任者に報告を行わなければならない。

第4章 雑 則

(改 廃)

第37条 この規則の改廃は、総会の決議により行う。

附 則

この規則は、公益社団法人山形県看護協会の設立の登記の日(平成25年4月1日)より最初に開催される通常総会の日(平成25年6月14日)から施行する。

公益社団法人山形県看護協会 選挙規則

第1章 総 則

(目的)

第1条 この規則は、公益社団法人山形県看護協会（以下「本会」という。）の定款細則第20条の規定に基づき、理事・監事及び推薦委員並びに公益社団法人日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員（以下「役員等」という。）の選挙を公正に行うために必要な事項を定める。

(選挙の倫理)

第2条 選挙は、看護職の倫理を尊重し、看護職の名誉と品位を保持して、この規則を誠実に遵守し、厳正に施行されなければならない。

(選挙期日)

第3条 役員等の選挙は、総会において行う。

(選挙権者)

第4条 選挙権者は、選挙の行われる総会に出席し、並びに書面又は電磁的方法による委任状により意志表示のある正会員とする。

(被選挙権者)

第5条 被選挙権者は、次の者とする。

- (1) 立候補した者
- (2) 推薦委員会から候補者として推薦を受けた者

(選挙事務の管理)

第6条 この規則における役員等の選挙に関する事務は、選挙管理委員会が管理する。ただし、選挙の執行は総会議長の指揮下に入る。

(出席会員数の確認)

第7条 総会議長は、選挙開始の宣言に先立ち、出席正会員数を確認しなければならない。確認後、出席正会員の入室・退室は禁止する。ただし、申し出により退席する場合はこの限りでない。

第2章 選挙管理委員会

(選挙管理委員の選出)

第8条 選挙管理委員会の委員（以下「選挙管理委員」という。）は、次期正会員のうちから、次年度の委員を理事会が推薦し、総会議長が指名する。
ただし、議長及び理事を兼ねることはできない。

(選挙管理委員の任期)

第9条 選挙管理委員の任期は、選出された総会終結の翌日から次年度総会終結の日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず選挙管理委員の任期が満了しても、第21条に基づく異議の申出に対する対応が完了するまでは、選挙管理委員は、引き続きその職務をおこなわなければならない。

(選挙管理委員会の組織)

第10条 選挙管理委員会は選挙管理委員6名をもって組織する。

- 2 選挙管理委員会に選挙管理委員長（以下「委員長」という。）を置く。委員長は選挙管理委員の互選によって決する。

(選挙管理委員会の任務)

第11条 選挙管理委員会は選挙が公明かつ適正に行われるよう配慮しなければならない。

- 2 選挙管理委員会は次の事務を行うものとする。

- (1) 選挙に関する公示
- (2) 立候補又は候補者辞退の届出の受理
- (3) 推薦委員会から推薦候補者名簿の受理
- (4) 立候補者及び推薦候補者の公示
- (5) 選挙活動の監督
- (6) 挙手並びに投票及び開票の管理
- (7) 当選者の確定
- (8) 当選者の総会議長への報告
- (9) その他選挙事務の管理に必要と認めた事項

(選挙の公示)

第12条 選挙管理委員会は、選挙の期日の5カ月前までに、次の事項を正会員に広報紙「山形いぶき」及び本会のホー

ムページにて公示する。ただし、役員等の辞任その他緊急やむを得ない事由のあるときは、役員等への立候補の届出締切日の2週間前までに追加の役員等の公示を行うことができる。

- (1) 選挙する役職名及び定数
- (2) 選挙期日及び場所
- (3) 立候補の届出期間
(ただし、届出締切日は総会開催の2カ月前までとする。)
- (4) その他必要と認めた事項

(立候補等の禁止)

第13条 選挙管理委員は、役員等の候補者となり、又はその選挙運動に関与することができない。

第3章 候 補 者

(立候補の届出)

第14条 役員等に立候補しようとする者は、第12条により公示された届出期間内に立候補届出書；別添様式(1)及び立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出しなければならない。

- 2 自薦の場合は、立候補届出書；別紙様式(1)及び3名以上の立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出する。
- 3 他選の場合は、立候補届出書；別紙様式(1)及び3名以上の立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出する。

(立候補の辞退)

第15条 立候補者が、その立候補を辞退しようとするときは、第12条により告示された届出期間内に別添様式(3)を選挙管理委員長に届け出なければならない。

(候補者の公示)

第16条 選挙管理委員会は、総会開催日の2週間前（当日が本会の定める休業日であるときは、その翌営業日）に、広報紙「山形いぶき」及び本会のホームページにおいて候補者を会員に公示しなければならない。

第4章 選挙運動

(選挙演説放送)

第17条 選挙管理委員会は、本会のホームページを利用して、すべての候補者の抱負、所見その他の演説を放送することができる。ただし、放送する場合、すべての候補者を対象とする。

- 2 前項の放送時間は候補者1名につき3分以内とし、選挙管理委員会は、録音した内容をそのまま放送しなければならない。
- 3 選挙管理委員会は、すべての候補者に対して、同一放送設備を使用し、同一時間数を与える等同等の利便を提供しなければならない。
- 4 選挙管理委員会は、すべての候補者の抱負、所見その他を放送する場合は、前3項のホームページの開設及び管理を行う。

(選挙公報)

第18条 選挙管理委員会は、第16条の候補者の公示とは別に選挙公報を発行し、総会の14日前までにすべての会員に発送する。ただし、選挙公報の発行は、第16条候補者の公示と兼ねることができる。

- 2 選挙公報をあらたに発行する場合には、候補者の氏名、年齢、勤務先、本会活動歴及び立候補者か推薦委員会の推薦候補者かについて記載するほか、候補者が選挙管理委員会の定めるところにより提出した掲載文及び肖像写真を掲載することができる。
- 3 前項の掲載文は1,200字以内とし、選挙管理委員会は原文のまま掲載しなければならない。ただし、掲載文の字数が1,200字を超えるときは、超える部分は掲載しない。
- 4 選挙公報の内容は、第16条に定める広報紙「山形いぶき」にも掲載する。この場合の掲載文は200字以内とし、候補者は広報紙に掲載する掲載文を別途選挙管理委員会に提出する。
- 5 選挙管理委員会は、選挙公報の発行にあたり、その内容を本会のホームページに掲載することができる。

(選挙運動の期間)

第19条 選挙運動の期間は、第16条に定める候補者の公示の日から総会の前日までとする。

(禁止事項)

第20条 候補者及びその他の会員は、選挙運動として次の行為をし又は会員以外のものにこれをさせてはならない。

- (1) 第19条に定める期間外に選挙運動をすること。
- (2) 第17条に規定するもののほか、ホームページ又は電子メールその他インターネットを利用した選挙運動をすること。

- (3) 第18条に規定するもののほか、はがき、ポスターその他の文書による選挙運動をすること。
- (4) 会員の自宅又は勤務先を個別訪問すること。
- (5) 新聞、雑誌その他の出版物に候補者に関する記事又は広告を掲載すること。
- (6) 利益を享受すること又はその約束をすること。
- (7) 供応をすること又はこれを受けること。
- (8) 電話又は電報により投票を依頼すること。
- (9) 投票のため乗物を提供すること。
- (10) 候補者を誹謗し、その他不正な手段で他人の当選を妨げること。
- (11) 本会以外の場所において選挙運動としての講演会等を行うこと。
- 2 選挙管理委員会は、前項の行為が行われたと判断した場合には、当該事実の公表及び当該行為の中止勧告等を行うものとする。

(選挙に関する異議の申出)

第21条 当選の効力に関し不服のある候補者若しくは選挙の効力に関し、不服のある候補者又は会員は、当選者の決定の日から10日以内に、文書をもって選挙管理委員会に対して異議を申し出ることができる。

(当選又は選挙無効の決定)

第22条 当選の効力に関し意義の申出があった場合において、当選の結果に異動を及ぼす場合に限り、選挙管理委員会は、当選に関する決定を変更しなければならない。

- 2 選挙の効力に関し異議の申出があった場合において、選挙に関する規定に違反することがあるときは、選挙の結果に異動を及ぼすおそれがある場合に限り、選挙管理委員会は、その選挙の全部または一部の無効を決定しなければならない。

*注釈：異動とは、物事に、前の状態と違った動きが起こること。

第5章 挙手及び投票

(選挙の方法)

第23条 選挙は、総会会場に出席の会員の挙手並びに書面及び電磁的方法による委任状にて意志表示のあるものをもって行う。

- 2 上記の他に投票用紙による投票の方法をもって行うことができる。尚、投票用紙による投票方法は、公益社団法人日本看護協会 選挙及び選挙管理委員会に関する規則 第5章 投票及び開票 第25条から第31条に準じる。

(挙手による方法)

第24条 総会出席の会員1名が1票とし、他に書面及び電磁的方法による委任状にて意志表示のあるものの票数とする。

- 2 選挙管理委員会は、選挙に入る前に、出席会員数並びに書面及び電磁的方法による委任状数の確認をする。
- 3 正確さを確保するため、議長は会場を閉鎖し出席会員の出入りを禁止する。

(挙手採決)

第25条 総会出席の会員の信任・不信任を挙手による方法で採決する。

- 2 挙手は、候補者1名ずつ信任又は不信任の挙手で採決する。
- 3 総会出席者の大多数が信任の場合は、不信任の挙手者の数を正確に数え、かつ不信任者の中に委任を受けている数の確認も正確に行う。

(同数の場合の決定方法)

第26条 同数の場合、当選者を決定する場合は、総会議長に委ねる。尚、総会議長が抽選で決することもできる。

(当選者の報告)

第27条 総会議長は委員長から結果の報告を受けたときは、当選者を速やかに会長及び議場における会員に報告しなければならない。

(当選者の公示)

第28条 選挙管理委員会は当選者について、速やかにホームページ又は後日発行の広報紙「山形いぶき」などにて会員に公示しなければならない。

第6章 雑 則

(規則の変更)

第30条 この規則における変更は、理事会の決議によりおこなわなければならない。

附 則

- 1 この規則は、公益社団法人山形県看護協会の設立の登記の日から施行する。（従って、この選挙規則は平成25年4月1日より施行となる。）
- 2 この規則は、平成26年3月18日の理事会にて一部改正し、平成26年6月19日の通常総会后より施行する。
- 3 この規則は、平成29年11月16日の理事会にて一部改正し、平成30年6月22日の通常総会后より施行する。

公益社団法人日本看護協会名誉会員

横 山 洋 子（平成26年）

荒 井 幸 子（平成30年）

山形県看護協会年度別会員数・会費 （平成3年度～令和6年度）

（令和7年3月31日現在）

職能別 年度	保 健 師	助 産 師	看・准看護師	計	会 費
平成3年度	379人	230人	4,325人	4,934人	(3.10.1現在) 1,000円
4	387	241	4,426	5,054	3,600
5	391	247	4,683	5,321	4,600
6	403	247	4,831	5,481	4,600
7	415	256	4,997	5,668	4,600
8	422	270	5,126	5,818	4,600
9	429	279	5,306	6,014	4,600
10	447	292	5,443	6,182	6,600
11	455	316	5,690	6,461	6,600
12	469	322	5,800	6,591	6,600
13	456	336	5,727	6,519	6,600
14	462	331	5,818	6,611	6,600
15	448	325	5,907	6,680	6,600
16	449	326	6,080	6,855	6,600
17	440	328	6,196	6,964	6,600
18	424	331	6,264	7,019	6,600
19	414	342	6,347	7,103	6,600
20	398	341	6,375	7,114	6,600
21	395	354	6,397	7,146	6,600
22	386	347	6,501	7,234	6,600
23	379	356	6,545	7,280	6,600
24	391	361	6,593	7,345	6,600
25	397	365	6,627	7,389	6,600
26	388	353	6,637	7,378	6,600
27	381	352	6,716	7,449	6,600
28	393	363	6,831	7,587	6,600
29	379	354	6,952	7,685	6,600
30	366	364	7,125	7,855	6,600
令和元年度	367	362	7,109	7,838	6,600
2	368	367	7,147	7,882	6,600
3	367	371	7,219	7,957	6,600
4	350	367	7,259	7,976	6,600
5	337	372	7,251	7,960	6,600
6	321	362	7,133	7,816	6,600

* H14. 3. 1 付「保健師助産師看護師法」に伴う名称変更

令和6年度支部別会員数

（令和7年3月31日現在）

支部名	会 員 数				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	合 計
山形支部	161	216	3,557	34	3,968
最北支部	52	29	677	11	769
庄内支部	66	59	1,592	58	1,775
置賜支部	42	58	1,190	14	1,304
合 計	321	362	7,016	117	7,816

会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	40,986	42,375	85,100	50	1,099 (70)	1,131 (77)	3,288	34	1,269	1,314	1,571	84
青森	8,319	8,557	18,886	45	212 (12)	212 (12)	709	30	323	324	340	95
岩手	7,646	7,756	18,087	43	299 (8)	306 (8)	831	37	313	329	394	84
宮城	12,743	13,035	27,883	47	253 (9)	263 (9)	1,165	23	632	660	771	86
秋田	6,632	6,811	15,267	45	160 (8)	162 (11)	625	26	286	298	284	105
山形	7,816	7,960	15,850	50	321 (11)	337 (11)	720	47	362	372	360	103
福島	11,988	12,303	25,631	48	340 (28)	350 (34)	1,112	31	406	412	604	68
茨城	15,657	15,904	32,641	49	329 (15)	353 (16)	1,357	26	571	598	761	79
栃木	12,387	12,425	25,696	48	473 (14)	488 (15)	1,093	45	425	411	571	72
群馬	11,237	11,479	27,658	42	563 (39)	585 (40)	1,132	52	343	357	547	65
埼玉	24,078	24,919	69,532	36	382 (43)	395 (44)	2,311	17	949	960	1,615	59
千葉	27,661	28,034	62,016	45	377 (24)	391 (24)	2,461	16	902	916	1,603	57
東京	40,991	42,982	145,776	29	403 (24)	390 (22)	4,821	8	2,008	2,095	4,184	50
神奈川	34,730	36,503	87,768	42	600 (37)	648 (41)	2,862	23	1,211	1,254	2,494	50
新潟	15,659	16,060	30,281	53	800 (38)	814 (39)	1,246	65	569	600	742	81
山梨	5,842	5,949	11,316	53	484 (15)	492 (17)	646	76	186	185	255	73
長野	14,572	14,732	31,203	47	1,109 (57)	1,094 (59)	1,857	59	687	691	872	79
富山	8,916	8,961	17,150	52	505 (15)	514 (15)	721	71	402	402	430	93
石川	9,397	9,711	18,642	52	239 (9)	234 (10)	623	38	296	309	389	79
福井	6,465	6,499	12,845	51	218 (8)	220 (7)	528	42	225	217	258	84
岐阜	12,443	12,693	25,404	50	290 (11)	345 (10)	1,122	31	425	453	640	71
静岡	22,495	22,704	44,510	51	491 (25)	510 (21)	1,891	27	887	892	1,085	82
愛知	38,659	40,465	83,420	49	504 (20)	566 (21)	3,066	18	1,602	1,638	2,334	70
三重	11,612	11,748	24,479	48	130 (5)	135 (6)	859	16	354	359	496	72
滋賀	9,147	9,211	17,478	53	310 (8)	326 (8)	723	45	338	324	536	60
京都	16,015	16,697	35,245	47	262 (25)	281 (29)	1,368	21	602	624	929	67
大阪	50,223	52,964	102,959	51	561 (21)	590 (21)	2,641	22	1,988	2,075	2,700	77
兵庫	30,107	31,389	71,107	44	643 (25)	653 (24)	2,223	29	985	1,028	1,543	67
奈良	9,491	9,674	16,999	57	93 (2)	98 (2)	648	15	290	302	408	74
和歌山	6,060	6,118	14,962	41	144 (10)	136 (11)	535	25	217	213	253	84
鳥取	4,209	4,296	10,123	42	99 (3)	99 (2)	388	26	206	209	246	85
島根	5,748	5,828	12,642	46	240 (8)	252 (8)	573	44	277	284	334	85
岡山	17,371	17,664	30,014	59	713 (18)	727 (17)	1,159	63	432	435	560	78
広島	19,673	20,063	44,944	45	333 (13)	342 (13)	1,455	24	467	485	727	67
山口	9,946	10,112	25,059	40	447 (11)	461 (10)	783	59	317	324	411	79
徳島	4,657	4,810	13,488	36	136 (1)	143 (1)	476	30	241	247	273	90
香川	7,528	7,677	16,479	47	195 (5)	203 (4)	628	32	304	309	318	97
愛媛	9,958	10,146	22,575	45	348 (13)	352 (12)	763	46	238	235	289	81
高知	5,962	6,270	14,934	42	113 (2)	119 (2)	578	21	149	157	206	76
福岡	42,061	42,860	83,040	52	627 (24)	654 (27)	2,314	28	1,066	1,055	1,597	66
佐賀	5,276	5,462	16,564	33	177 (3)	185 (3)	552	34	103	109	245	44
長崎	9,529	9,790	26,023	38	166 (4)	161 (3)	824	20	195	203	471	43
熊本	15,482	15,640	34,868	45	475 (14)	491 (14)	1,103	45	377	386	508	76
大分	9,965	10,103	21,650	47	541 (11)	554 (10)	830	67	210	210	369	57
宮崎	8,577	8,801	21,505	41	211 (13)	225 (15)	746	30	256	263	353	75
鹿児島	11,832	12,241	32,398	38	456 (13)	460 (7)	1,026	45	379	389	614	63
沖縄	10,155	10,326	22,281	46	278 (30)	284 (29)	917	31	420	419	573	73
合 計	727,903	748,707	1,664,378	45	18,149 (822)	18,731 (841)	60,299	31	25,690	26,331	38,063	69

- 注 (1) 就業者数は、『令和4年度 衛生行政報告例』により計上。
 (2) 「入会率」は、令和6年3月31日現在の会員数で算出。
 (3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数(令和5年度決算報告書)とは異なる。
 (4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の()内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%	人	人	人	%	
37,174 (3,571)	38,256 (3,596)	67,176	57	1,444 (93)	1,674 (99)	13,065	13	北海道
7,515 (677)	7,724 (693)	13,463	57	269 (17)	297 (21)	4,374	7	青森
6,921 (592)	7,003 (587)	14,383	49	113 (8)	118 (7)	2,479	5	岩手
11,593 (871)	11,819 (884)	21,304	55	265 (15)	293 (15)	4,643	6	宮城
6,126 (641)	6,279 (639)	11,767	53	60 (9)	72 (9)	2,591	3	秋田
7,016 (551)	7,125 (535)	12,391	58	117 (9)	126 (11)	2,379	5	山形
10,661 (988)	10,884 (984)	18,236	60	581 (54)	657 (59)	5,679	12	福島
13,937 (1,355)	14,103 (1,369)	24,148	58	820 (97)	850 (96)	6,375	13	茨城
10,976 (1,110)	10,971 (1,112)	18,646	59	513 (50)	555 (49)	5,386	10	栃木
9,863 (1,311)	10,031 (1,299)	19,868	50	468 (56)	506 (57)	6,111	8	群馬
22,297 (2,247)	23,070 (2,285)	54,603	42	450 (40)	494 (37)	11,003	4	埼玉
25,732 (2,342)	26,005 (2,317)	49,888	52	650 (49)	722 (58)	8,064	9	千葉
38,261 (2,943)	40,128 (3,020)	125,480	32	319 (33)	369 (38)	11,291	3	東京都
32,544 (2,986)	34,184 (3,108)	75,074	46	375 (30)	417 (33)	7,338	6	神奈川
13,894 (1,478)	14,206 (1,469)	23,798	60	396 (29)	440 (34)	4,495	10	新潟
5,030 (607)	5,116 (616)	8,658	59	142 (8)	156 (9)	1,757	9	山梨
12,565 (1,445)	12,714 (1,437)	24,403	52	211 (22)	233 (27)	4,071	6	長野
7,932 (671)	7,958 (679)	13,404	59	77 (8)	87 (9)	2,595	3	富山
8,661 (665)	8,939 (674)	15,251	59	201 (22)	229 (23)	2,379	10	石川
5,886 (507)	5,911 (503)	9,555	62	136 (4)	151 (4)	2,504	6	福井
11,326 (1,153)	11,447 (1,154)	18,552	62	402 (30)	448 (33)	5,090	9	岐阜
20,590 (1,722)	20,729 (1,730)	35,953	58	527 (26)	573 (32)	5,581	10	静岡県
36,071 (3,048)	37,648 (3,175)	66,768	56	482 (20)	613 (25)	11,252	5	愛知
10,733 (951)	10,821 (967)	18,910	57	395 (26)	433 (25)	4,214	10	三重
8,368 (987)	8,414 (996)	14,857	57	131 (10)	147 (14)	1,362	11	滋賀
14,743 (1,414)	15,345 (1,455)	29,240	52	408 (36)	447 (36)	3,708	12	京都
46,493 (3,401)	49,004 (3,539)	85,730	57	1,181 (71)	1,295 (76)	11,888	11	大阪
27,941 (2,200)	29,111 (2,288)	58,797	50	538 (22)	597 (23)	8,544	7	兵庫
8,851 (827)	8,997 (842)	14,185	63	257 (8)	277 (11)	1,758	16	奈良
5,611 (766)	5,674 (775)	11,538	49	88 (11)	95 (12)	2,636	4	和歌山
3,866 (337)	3,946 (335)	7,742	51	38 (3)	42 (3)	1,747	2	鳥取
5,139 (455)	5,187 (459)	9,284	56	92 (8)	105 (11)	2,451	4	島根
15,749 (1,159)	15,961 (1,168)	24,654	65	477 (21)	541 (25)	3,641	15	岡山
18,151 (1,786)	18,457 (1,795)	33,314	55	722 (45)	779 (53)	9,448	8	広島
8,839 (733)	8,946 (737)	18,227	49	343 (33)	381 (34)	5,638	7	山口
4,236 (304)	4,362 (314)	9,548	46	44 (2)	58 (3)	3,191	2	徳島
6,841 (708)	6,969 (729)	11,997	58	188 (32)	196 (30)	3,536	6	香川
9,118 (1,064)	9,283 (1,047)	17,205	54	254 (22)	276 (25)	4,318	6	愛媛
5,494 (648)	5,754 (678)	11,393	51	206 (34)	240 (36)	2,757	9	高知
38,834 (3,503)	39,497 (3,497)	65,134	61	1,534 (156)	1,654 (164)	13,995	12	福岡
4,811 (689)	4,956 (705)	11,766	42	185 (27)	212 (30)	4,001	5	佐賀
8,936 (966)	9,152 (969)	18,798	49	232 (15)	274 (22)	5,930	5	長崎
13,614 (1,225)	13,674 (1,184)	24,586	56	1,016 (105)	1,089 (112)	8,671	13	熊本
8,692 (794)	8,770 (782)	15,700	56	522 (57)	569 (59)	4,751	12	大分
7,741 (1,036)	7,907 (1,058)	15,097	52	369 (47)	406 (46)	5,309	8	宮崎
10,615 (1,307)	10,957 (1,329)	23,522	47	382 (43)	435 (51)	7,236	6	鹿児島
9,189 (1,778)	9,334 (1,783)	17,694	53	268 (44)	289 (45)	3,097	9	沖縄
665,176 (62,519)	682,728 (63,296)	1,311,687	52	18,888 (1,607)	20,917 (1,731)	254,329	8	合計

令和 6 年度山形県看護協会看護研修センター及び訪問看護会館研修室使用状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	室名	第一研修室	講師控室	第二研修室	第三研修室 ・実習室	講師控室 兼小会議室	交流 ラウンジ1	会 議 室	訪問看護 会館研修室	計 (実使用日数)	令和5年度	増 減
4月	延日数	3	0	9	4	3	2	15	1	37	26	11
	延人数	30	0	60	19	13	7	86	2	217	209	8
5月	延日数	6	3	14	10	14	5	17	1	70	67	3
	延人数	187	4	438	74	17	23	88	2	833	1,208	△ 375
6月	延日数	9	8	15	9	12	6	15	8	82	93	△ 11
	延人数	812	56	326	67	65	26	68	33	1,453	1,769	△ 316
7月	延日数	20	19	7	9	9	4	22	2	92	72	20
	延人数	1,543	24	83	82	15	19	76	22	1,864	1,390	474
8月	延日数	15	14	7	7	6	4	14	2	69	62	7
	延人数	1,175	22	46	40	11	19	55	2	1,370	779	591
9月	延日数	7	4	16	8	13	6	19	3	76	75	1
	延人数	294	10	310	91	25	28	69	12	839	850	△ 11
10月	延日数	11	10	16	7	14	10	18	5	91	95	△ 4
	延人数	918	16	311	75	34	87	102	92	1,635	791	844
11月	延日数	10	6	10	9	8	4	12	2	61	82	△ 21
	延人数	510	89	189	57	16	20	63	12	956	895	61
12月	延日数	4	2	11	9	6	3	19	4	58	39	19
	延人数	185	2	141	38	21	15	64	41	507	452	55
1月	延日数	2	2	1	6	5	2	21	2	41	26	15
	延人数	133	2	4	37	10	12	93	7	298	192	106
2月	延日数	0	0	6	4	3	1	18	3	35	21	14
	延人数	0	0	57	37	6	5	81	35	221	197	24
3月	延日数	2	1	5	6	3	3	18	5	43	28	15
	延人数	3	0	26	46	10	13	80	18	196	264	△ 68
合 計	延日数	89	69	117	88	96	50	208	38	755	686	69
	延人数	5,790	225	1,991	663	243	274	925	278	10,389	8,996	1,393

令和 6 年度山形県看護協会役員・推薦委員並びに 令和 7 年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿

役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
会 長	4	若 月 裕 子	看護師	山 形 県 看 護 協 会
副 会 長	1	峯 田 弥 生	看護師	山 形 県 立 新 庄 病 院
副 会 長	1	鈴 木 ひとみ	看護師	山形大学医学部附属病院
常 任 理 事	4	後 藤 道 子	助産師	山 形 県 看 護 協 会
常 任 理 事	4	菅 野 弘 美	看護師	山 形 県 看 護 協 会
常 任 理 事	3	田 瀬 裕 子	看護師	山 形 県 看 護 協 会
理 事	1	鶴 巻 玲 子	看護師	日 本 海 総 合 病 院
理 事	1	富 樫 洋 子	看護師	山形市立病院済生館
理 事	2	舩 見 美和子	看護師	鶴岡市立荘内病院
理 事	1	東海林 敦 子	看護師	山 形 県 立 河 北 病 院
監 事	2	安 部 淳 子	看護師	米 沢 市 立 病 院
監 事	1	庄 司 律 子	看護師	山 形 県 立 中 央 病 院
外 部 監 事	2	長 岡 淳 司		済生会支部山形県済生会

職能理事（4名）				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
保健師職能理事	2	加 藤 明 子	保健師	山 形 市 保 健 所
助産師職能理事	1	長 堀 理 代	助産師	山 形 県 立 新 庄 病 院
看護師職能Ⅰ理事	2	小 松 恭 子	看護師	公 立 置 賜 総 合 病 院
看護師職能Ⅱ理事	1	柿 崎 由美子	看護師	訪問看護ステーション新庄

支部理事（4名）・全区理事（1名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	保 立 美枝子	看護師	寒 河 江 市 立 病 院
最 北 支 部	1	阿 相 由 美	看護師	北 村 山 公 立 病 院
庄 内 支 部	3	中 村 美 穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
置 賜 支 部	1	岩 崎 清 美	看護師	公 立 置 賜 長 井 病 院
全 区 理 事	1	堀 正 浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

推薦委員（6名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	秋 場 恵 美	助産師	山 形 済 生 病 院
山 形 支 部	1	高 橋 朋 美	保健師	天童市健康センター
最 北 支 部	1	今 田 和 恵	看護師	山形ロイヤル病院
庄 内 支 部	2	三 浦 恵	保健師	遊 佐 町 役 場
庄 内 支 部	1	野 坂 美 穂	看護師	鶴 岡 協 立 病 院
置 賜 支 部	2	小 林 あゆみ	看護師	三 友 堂 病 院

令和 7 年度代議員（8名）				
支 部 名		氏 名	職能	勤 務 先
全 区		菅 野 弘 美	看護師	山 形 県 看 護 協 会
全 区		長 堀 理 代	助産師	山 形 県 立 新 庄 病 院
山 形 支 部		藤 田 由 樹	看護師	西 川 町 立 病 院
山 形 支 部		鈴 木 希	保健師	中 山 町 健 康 福 祉 課
最 北 支 部		花 輪 みちる	看護師	北 村 山 公 立 病 院
庄 内 支 部		奥 井 麻 里	看護師	鶴 岡 市 立 荘 内 病 院
置 賜 支 部		佐 藤 千 穂	看護師	米 沢 市 立 病 院
全 区		堀 正 浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

令和 7 年度予備代議員（8名）				
支 部 名		氏 名	職能	勤 務 先
全 区		石 井 美 喜	保健師	鶴 岡 市 役 所
全 区		後 藤 道 子	助産師	山 形 県 看 護 協 会
山 形 支 部		高 橋 真理子	看護師	山 形 市 立 病 院 済 生 館
山 形 支 部		杉 沼 妙 子	看護師	み ゆ き 会 病 院
最 北 支 部		芳 賀 真紀子	看護師	山 形 県 立 新 庄 病 院
庄 内 支 部		久保田 律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
置 賜 支 部		船 山 ヒロ子	看護師	米 沢 市 立 病 院
全 区		菊 地 玲 子	准看護師	吉 岡 病 院

令和 6 年度三職能 4 委員会委員名簿

保健師職能委員（6名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	1	田 中 絵 美	保健師	山 辺 町 役 場
山 形 支 部	1	木 村 明希子	保健師	地域包括支援センター敬寿会
山 形 支 部	2	宇佐美 晴 枝	保健師	朝 日 町 役 場
最 北 支 部	1	松 田 千 穂	保健師	金山町健康福祉課(金山町地域包括支援センター)
庄 内 支 部	2	石 井 美 喜	保健師	鶴 岡 市 役 所
置 賜 支 部	2	梅 津 美由紀	保健師	南 陽 市 役 所

助産師職能委員（5名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	1	藤 井 紗 来	助産師	山形大学医学部附属病院
山 形 支 部	2	斉 藤 ひとみ	助産師	助産師のひとみさん
庄 内 支 部	3	遠 藤 里 美	助産師	鶴 岡 市 立 荘 内 病 院
庄 内 支 部	1	池 田 綾 子	助産師	日 本 海 総 合 病 院
置 賜 支 部	1	関 万理子	助産師	公 立 置 賜 総 合 病 院

看護師職能委員Ⅰ（7名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	村 岡 さゆり	看護師	山 形 県 立 河 北 病 院
山 形 支 部	2	渡 邊 修	看護師	み ゆ き 会 病 院
山 形 支 部	2	小 松 史 子	看護師	南 さ が え 病 院
庄 内 支 部	1	齋 藤 恵 美	看護師	山形県立こころの医療センター
庄 内 支 部	3	加 藤 美津樹	看護師	庄 内 余 目 病 院
置 賜 支 部	1	渡 部 幸 子	看護師	公 立 高 畠 病 院
全 支 部 から	1	堀 正 浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

看護師職能委員Ⅱ（5名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤務先
山 形 支 部	2	千 場 弘 美	看護師	至誠堂訪問サービスセンターコスモス
山 形 支 部	1	中 川 ひろみ	看護師	在宅リハビリ看護ステーションつばさ
最 北 支 部	4	長 岡 由 美	看護師	金 山 診 療 所
最 北 支 部	2	井 澤 照 美	看護師	舟 形 徳 洲 苑
庄 内 支 部	3	齋 藤 知 子	看護師	特別養護老人ホーム寿康園

令和 6 年度常任・学会・認定委員名簿

	委 員 会 名	氏 名	歴年数	職能別	勤 務 先	氏 名	歴年数	職能別	勤 務 先
常 任 委 員 会	1 教育委員会	東 海 林 明 子	3	看	東北中央病院	庄 司 千 恵	3	看	北村山公立病院
		岡 崎 雅 則	2	看	山形済生病院	渡 部 美 穂 子	3	看	国立病院機構山形病院
		清 野 文 恵	1	看	白鷹町立病院	兼 子 奈 津 子	1	看	山形県立中央病院
		(7) 欠 員							
	2 広報委員会	村 山 弥 生	4	看	寒河江市立病院	加 藤 優 子	3	看	日本海酒田リハビリテーション病院
		斉 藤 千 鶴	2	看	国立病院機構山形病院	赤 間 美 奈 子	3	看	国立病院機構米沢病院
		(5) 佐々木麻樹	1	看	篠田総合病院				
	3 医療・看護安全 対策委員会	児 玉 良 太	3	看	公立置賜総合病院	阿 部 敦 子	4	看	山形県立新庄病院
		(4) 鈴 木 里 美	1	看	山形県立中央病院	後 藤 美 輪	3	看	三友堂病院
	4 災害・健康危機 対策委員会	中 村 春 美	3	看	至誠堂総合病院	高 橋 瀬 津	3	看	山形県立中央病院
		伊 藤 陽 子	3	看	鶴岡協立病院	渡 會 輝 美	5	看	庄内余目病院
		(5) 木 村 晃 一	1	看	鶴岡市立荘内病院				
	5 いのちの教育 推進委員会	鈴 木 和 絵	3	看	米沢市立病院	槌 谷 由 美 子	6	看	山形県立保健医療大学
		半 澤 恵 子	3	助	山形県立河北病院	城 戸 友 香 李	3	助	日本海総合病院
		(5) 工 藤 朋 子	2	看	東北中央病院				
	6 勤務環境改善 推進委員会	小 松 奈 津 子	3	看	順仁堂遊佐病院	鎌 田 裕 子	3	看	千歳篠田病院
		細 谷 由 紀	1	看	みゆき会病院	阿 部 さ ゆ り	3	看	山形県立中央病院
		(5) 神 田 美 由 紀	1	看	米沢市立病院				
学 会 委 員 会	1 山形県看護研究 学会委員会	後 藤 慶	4	看	北村山公立病院	武 田 洋 子	3	看	山形大学医学部看護学科
		高 谷 新	1	看	山形県立保健医療大学	佐 藤 牧 子	3	看	山形市立病院済生館
		(5) 上 田 真 子	1	看	公立置賜総合病院				
認 定 委 員 会	1 認定看護管理者 教育課程教育運 営委員会	中 嶋 恵 子	1	看	米沢市立病院	菅 井 憲 子	4	看	山形県立中央病院
		伊 藤 淑 子	1	看	鶴岡市立荘内病院	今 野 浩 之	2	保	山形県立保健医療大学
		後 藤 道 子		助	山形県看護協会	丸 山 孝		看	山形県看護協会
		(7) 柳 沼 明 美		看	山形県看護協会				

令和 6 年度山形県看護協会支部役員名簿

山形支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	2	保 立 美枝子	看護師	寒河江市立病院
副 支 部 長	2	高 橋 真理子	看護師	山形市立病院済生館
副 支 部 長	1	難 波 夕 子	看護師	至誠堂総合病院
役員(書記担当)	3	後 藤 順 子	看護師	東北中央病院
役員(書記担当)	2	鈴 木 希	保健師	中山町役場
役員(会計担当)	2	藤 田 由 樹	看護師	西川町立病院
役員(会計担当)	1	飯 野 千 夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた

庄内支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	3	中 村 美 穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
副 支 部 長	2	奥 井 麻 里	看護師	鶴岡市立荘内病院
副 支 部 長	1	齋 藤 由 紀	看護師	本間病院
役員(書記担当)	2	久保田 律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
役員(書記担当)	1	小野寺 麻 友	看護師	庄内余目病院
役員(会計担当)	2	阿 蘇 静 子	看護師	順仁堂遊佐病院
役員(会計担当)	1	鈴 木 恵	看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

最北支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	1	阿 相 由 美	看護師	北村山公立病院
副 支 部 長	2	田 中 麗理子	看護師	山形県立新庄病院
副 支 部 長	1	芳 賀 真紀子	看護師	山形県立新庄病院
役員(書記担当)	2	前 田 由 香	看護師	山形ロイヤル病院
役員(書記担当)	1	斉 藤 千 宗	保健師	真室川町役場
役員(会計担当)	2	花 輪 みちる	看護師	北村山公立病院
役員(会計担当)	1	吉 田 美 里	保健師	戸沢村役場

置賜支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	1	岩 崎 清 美	看護師	公立置賜長井病院
副 支 部 長	2	大河原 智恵子	看護師	公立高島病院
副 支 部 長	1	副 田 恵 美	看護師	白鷹町立病院
役員(書記担当)	2	舟 山 さゆ子	看護師	おくに訪問看護ステーション
役員(書記担当)	1	船 山 久 美	看護師	公立置賜総合病院
役員(会計担当)	2	鈴 木 美 紀	看護師	公立置賜南陽病院
役員(会計担当)	1	佐 藤 千 穂	看護師	米沢市立病院

令和 6 年度山形県看護協会支部委員名簿

山形支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	杉 沼 妙 子	看護師	みゆき会病院
	2	宮 林 陽 子	看護師	山形県立中央病院
	1	鈴 木 絵 美	看護師	山形県立河北病院
	1	三 浦 文 子	看護師	国立病院機構山形病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	4	武 田 好 史	看護師	山形徳洲会病院
	1	遠 藤 恵 子	看護師	朝日町立病院

庄内支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	中 山 紘 子	看護師	日本海総合病院
	2	齋 藤 教 子	看護師	山形県立こころの医療センター
	1	工 藤 夕 子	看護師	訪問看護ステーションスワン
	1	小 林 美 紗	看護師	鶴岡協立病院
	2	村 井 佐保子	看護師	鶴岡協立リハビリテーション病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	1	大 谷 喜 恵	保健師	酒田市役所

最北支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	齊 藤 美奈子	看護師	山形県立新庄病院
	2	高 山 富美子	看護師	新庄徳洲会病院
	1	高 橋 香緒里	看護師	訪問看護ステーションむらやま
	1	新 関 佳 子	看護師	北村山公立病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	2	結 城 俊 祐	保健師	尾花沢市役所
	1	東海林 かおり	保健師	舟形町役場

置賜支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	3	鈴 木 清 美	看護師	三友堂病院
	2	渡 部 惇 史	看護師	米沢市立病院
	1	四 釜 寛 恵	看護師	公立置賜総合病院
	1	鈴 木 弘 美	看護師	国立病院機構米沢病院
	2	高成田 悦 子	看護師	舟山病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	1	荒 木 真 紀	看護師	三友堂病院

令和 7 年度役員・推薦委員及び役員・推薦委員候補者名簿

役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
会 長	5	若 月 裕 子	看護師	山 形 県 看 護 協 会
副 会 長	2	峯 田 弥 生	看護師	山 形 県 立 中 央 病 院
副 会 長	2	鈴 木 ひとみ	看護師	山形大学医学部附属病院
常 任 理 事	5	後 藤 道 子	助産師	山 形 県 看 護 協 会
常 任 理 事	5	菅 野 弘 美	看護師	山 形 県 看 護 協 会
常 任 理 事	4	田 瀬 裕 子	看護師	山 形 県 看 護 協 会
理 事	2	富 樫 洋 子	看護師	山形市立病院済生館
理 事	2	東海林 敦 子	看護師	山 形 県 立 河 北 病 院
理 事	1	齋 藤 さおり	助産師	米 沢 市 立 病 院
監 事	2	庄 司 律 子	看護師	山 形 県 立 中 央 病 院
監 事	1	小 林 純 子	看護師	山形県立こころの医療センター
外 部 監 事	3	長 岡 淳 司		済生会支部山形県済生会

職能理事（４名）				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
保健師職能理事	1	三 浦 朗 子	保健師	山 形 県 村 山 保 健 所
助産師職能理事	2	長 堀 理 代	助産師	山 形 県 立 新 庄 病 院
看護師職能Ⅰ理事	1	鶴 巻 玲 子	看護師	日 本 海 総 合 病 院
看護師職能Ⅱ理事	2	柿 崎 由美子	看護師	訪問看護ステーション新庄

支部理事（４名）・全区理事（１名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	1	太 田 恵美子	看護師	天 童 市 民 病 院
最 北 支 部	2	阿 相 由 美	看護師	北 村 山 公 立 病 院
庄 内 支 部	4	中 村 美 穂	看護師	日 本 海 総 合 病 院
置 賜 支 部	2	岩 崎 清 美	看護師	公 立 置 賜 長 井 病 院
全 区 理 事	2	堀 正 浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

推薦委員（６名）				
支 部 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	高 橋 朋 美	保健師	天童市健康センター
山 形 支 部	1	遠 藤 由貴子	看護師	篠 田 総 合 病 院
最 北 支 部	2	今 田 和 恵	看護師	山 形 ロ イ ヤ ル 病 院
庄 内 支 部	2	野 坂 美 穂	看護師	鶴 岡 協 立 病 院
庄 内 支 部	1	遠 藤 里 美	助産師	鶴 岡 市 立 荘 内 病 院
置 賜 支 部	1	青 柳 智 佳	保健師	山 形 県 置 賜 保 健 所

令和 8 年度代議員（８名）				
支部名		氏名	職能	勤務先
全 区		三 浦 朗 子	保健師	山 形 県 村 山 保 健 所
全 区		齊 藤 ひとみ	助産師	助 産 師 の ひ と み さ ん
山 形 支 部		吉 田 加代子	看護師	み ゆ き 会 病 院
山 形 支 部		難 波 夕 子	看護師	至 誠 堂 総 合 病 院
最 北 支 部		高 橋 香緒里	看護師	訪問看護ステーションむらやま
庄 内 支 部		齋 藤 由 紀	看護師	本 間 病 院
置 賜 支 部		石 澤 利 子	看護師	公 立 高 畠 病 院
全 区		大 滝 和 美	准看護師	舟 山 病 院

令和 8 年度予備代議員（８名）				
支部名		氏名	職能	勤務先
全 区		松 田 千 穂	保健師	金 山 町 役 場
全 区		池 田 綾 子	助産師	日 本 海 総 合 病 院
山 形 支 部		遠 藤 恵 子	看護師	朝 日 町 立 病 院
山 形 支 部		飯 野 千 夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた
最 北 支 部		高 橋 幸 代	看護師	山 形 ロ イ ヤ ル 病 院
庄 内 支 部		小野寺 麻 友	看護師	庄 内 余 目 病 院
置 賜 支 部		高 橋 由 美	看護師	公 立 高 畠 病 院
全 区		櫻 井 由 姫 子	准看護師	新 庄 徳 洲 会 病 院

令和 7 年度三職能 4 委員会委員名簿

保健師職能委員（６名）				
所属支部名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	田 中 絵 美	保健師	山 辺 町 役 場
山 形 支 部	2	木 村 明希子	保健師	地域包括支援センター敬寿会
山 形 支 部	1	白 田 由紀子	保健師	寒 河 江 市 役 所
最 北 支 部	2	松 田 千 穂	保健師	金 山 町 役 場
庄 内 支 部	1	佐 藤 潮	保健師	三 川 町 役 場
置 賜 支 部	1	岡 崎 ま き	保健師	川 西 町 役 場

看護師職能委員Ⅰ（６名）				
所属支部名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	3	渡 邊 修	看護師	み ゆ き 会 病 院
山 形 支 部	1	兼 子 智 恵	看護師	山 形 県 立 河 北 病 院
庄 内 支 部	2	齋 藤 恵 美	看護師	山形県立こころの医療センター
庄 内 支 部	1	叶 野 明 子	看護師	鶴 岡 市 立 荘 内 病 院
置 賜 支 部	2	渡 部 幸 子	看護師	公 立 高 畠 病 院
全 支 部 から	2	堀 正 浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

助産師職能委員（５名）				
所属支部名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	3	斉 藤 ひとみ	助産師	助産師のひとみさん
山 形 支 部	2	藤 井 紗 来	助産師	山形大学医学部附属病院
山 形 支 部	1	新 野 佳 苗	助産師	山 形 済 生 病 院
庄 内 支 部	2	池 田 綾 子	助産師	日 本 海 総 合 病 院
置 賜 支 部	2	関 万理子	助産師	公 立 置 賜 総 合 病 院

看護師職能委員Ⅱ（５名）				
所属支部名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
山 形 支 部	2	中 川 ひろみ	看護師	在宅リハビリ看護ステーションつばさ
山 形 支 部	1	秋 場 早智子	看護師	一般社団法人ワイルドジャーニー
最 北 支 部	3	井 澤 照 美	看護師	舟 形 徳 洲 苑
庄 内 支 部	4	齋 藤 知 子	看護師	特別養護老人ホーム寿康園
置 賜 支 部	1	小 田 綾	看護師	おぐに訪問看護ステーション

令和 7 年度常任・学会・認定委員名簿

常 任 委 員 会	委員会名	氏 名	歴年数	職能別	勤 務 先	氏 名	歴年数	職能別	勤 務 先
	1 教育委員会	清 野 文 恵	2	看	白鷹町立病院	兼 子 奈津子	2	看	山形県立中央病院
		齋 藤 真希子	1	看	山形済生病院	田 岡 奈 々	1	看	本間病院
		(6) 小 林 千 里	1	看	東北中央病院	中 村 悠 美	1	看	訪問看護ステーションやまがた
	2 広報委員会	加 藤 優 子	4	看	日本海酒田リハビリテーション病院	赤 間 美奈子	4	看	国立病院機構米沢病院
		斉 藤 千 鶴	3	看	国立病院機構山形病院	佐々木 麻 樹	2	看	篠田総合病院
		(5) 山 口 睦 子	1	看	山形県立こども医療療育センター				
	3 医療・看護安全 対策委員会	阿 部 敦 子	5	看	山形県立新庄病院	鈴 木 里 美	2	看	山形県立中央病院
		(4) 竹 田 千恵子	1	看	米沢市立病院	伊 藤 夕 子	1	看	篠田総合病院
	4 災害・健康危機 対策委員会	渡 會 輝 美	6	看	庄内余目病院	木 村 晃 一	2	看	鶴岡市立荘内病院
		柴 田 晃 貴	1	看	山形県立中央病院	山 田 悠 平	1	看	山形大学医学部附属病院
		(5) 遠 藤 直 弥	1	看	公立置賜総合病院				
	5 いのちの教育 推進委員会	工 藤 朋 子	3	看	東北中央病院	菊 地 圭 子	1	助	山形県立保健医療大学
		庄 司 憲 子	1	助	山形市立病院済生館	西 塚 亜希子	1	助	山形県立新庄病院
		(5) 加 地 明 里	1	助	ひばり訪問看護ステーション米沢				
	6 勤務環境改善 推進委員会	細 谷 由 紀	2	看	みゆき会病院	神 田 美由紀	2	看	米沢市立病院
		安 彦 恵理子	1	看	山形県立新庄病院	菊 地 千 香	1	看	鶴岡協立病院
(5) 尾 形 和 美		1	看	寒河江市立病院					
学 会 委 員 会	1 山形県看護研究 学会委員会	高 谷 新	2	看	山形県立保健医療大学	上 田 真 子	2	看	公立置賜総合病院
		村 田 恵 理	1	看	山形大学医学部看護学科	大 江 祐 介	1	看	山形県立中央病院
		(5) 安 達 千佳子	1	看	東北中央病院				
認 定 委 員 会	1 認定看護管理者 教育課程教育運 営委員会	菅 井 憲 子	5	看	山形県立中央病院	今 野 浩 之	3	保	山形県立保健医療大学
		伊 藤 淑 子	2	看	鶴岡市立荘内病院	中 嶋 恵 子	2	看	米沢市立病院
		後 藤 道 子		助	山形県看護協会	丸 山 孝		看	山形県看護協会
		(7) 柳 沼 明 美		看	山形県看護協会				

令和 7 年度 山形県看護協会支部役員及び支部役員候補者名簿

山形支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	1	太 田 恵美子	看護師	天童市民病院
副 支 部 長	2	難 波 夕 子	看護師	至誠堂総合病院
副 支 部 長	1	荒 井 ミ サ	看護師	山形市立病院済生館
役員(書記担当)	4	後 藤 順 子	看護師	東北中央病院
役員(書記担当)	1	村 田 尚 子	保健師	山形市保健所
役員(会計担当)	2	飯 野 千 夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた
役員(会計担当)	1	安孫子 佳奈枝	看護師	南さがえ病院

庄内支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	4	中 村 美 穂	看護師	日本海総合病院
副 支 部 長	2	齋 藤 由 紀	看護師	本間病院
副 支 部 長	1	本 間 優 子	看護師	鶴岡協立病院
役員(書記担当)	2	小野寺 麻 友	看護師	庄内余目病院
役員(書記担当)	1	菅 原 真 紀	看護師	山形県立こころの医療センター
役員(会計担当)	2	鈴 木 恵	看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
役員(会計担当)	1	三ツ澤 美 紀	看護師	日本海総合病院

最北支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	2	阿 相 由 美	看護師	北村山公立病院
副 支 部 長	2	芳 賀 真紀子	看護師	山形県立新庄病院
副 支 部 長	1	高 橋 幸 代	看護師	山形ロイヤル病院
役員(書記担当)	2	斉 藤 千 宗	保健師	真室川町役場
役員(書記担当)	1	猪 股 亜希子	看護師	新庄徳洲会病院
役員(会計担当)	2	吉 田 美 里	保健師	尾花沢市役所
役員(会計担当)	1	星 川 恵里子	看護師	北村山公立病院

置賜支部役員				
役 職 名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
支 部 長	2	岩 崎 清 美	看護師	公立置賜長井病院
副 支 部 長	2	副 田 恵 美	看護師	白鷹町立病院
副 支 部 長	1	青 木 千恵子	看護師	三友堂病院
役員(書記担当)	2	船 山 久 美	看護師	公立置賜総合病院
役員(書記担当)	1	須 貝 真基子	助産師	米沢市立病院
役員(会計担当)	2	佐 藤 千 穂	看護師	米沢市立病院
役員(会計担当)	1	石 澤 利 子	看護師	公立高島病院

令和 7 年度山形県看護協会支部委員名簿

山形支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	鈴 木 絵 美	看護師	山形県立河北病院
	2	三 浦 文 子	看護師	国立病院機構山形病院
	1	吉 田 加代子	看護師	みゆき会病院
	1	佐 藤 奏	助産師	山形県立中央病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	2	遠 藤 恵 子	看護師	朝日町立病院
	1	野 口 友 紀	看護師	山形済生病院

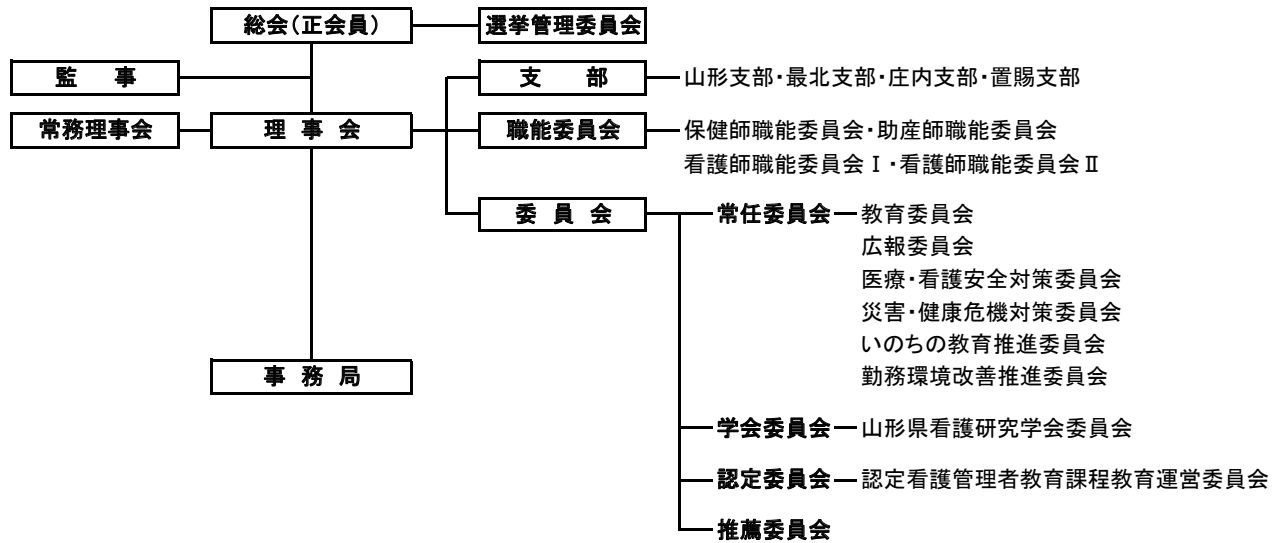
庄内支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	小 林 美 紗	看護師	訪問看護ステーションきずな
	1	石 川 美穂子	看護師	本間病院
	1	阿 部 和 佳	看護師	鶴岡市立荘内病院
	1	山 本 ちさと	看護師	順仁堂遊佐病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	2	大 谷 喜 恵	保健師	酒田市役所
	1	丸 山 直 美	保健師	鶴岡市役所

最北支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	高 橋 香緒里	看護師	訪問看護ステーションむらやま
	2	新 関 佳 子	看護師	北村山公立病院
	1	伊 藤 美 里	保健師	最上町健康センター
	1	安 食 浩一郎	看護師	山形県立新庄病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	2	東海林 かおり	保健師	舟形町役場
	1	佐 藤 忍	保健師	村山市役所

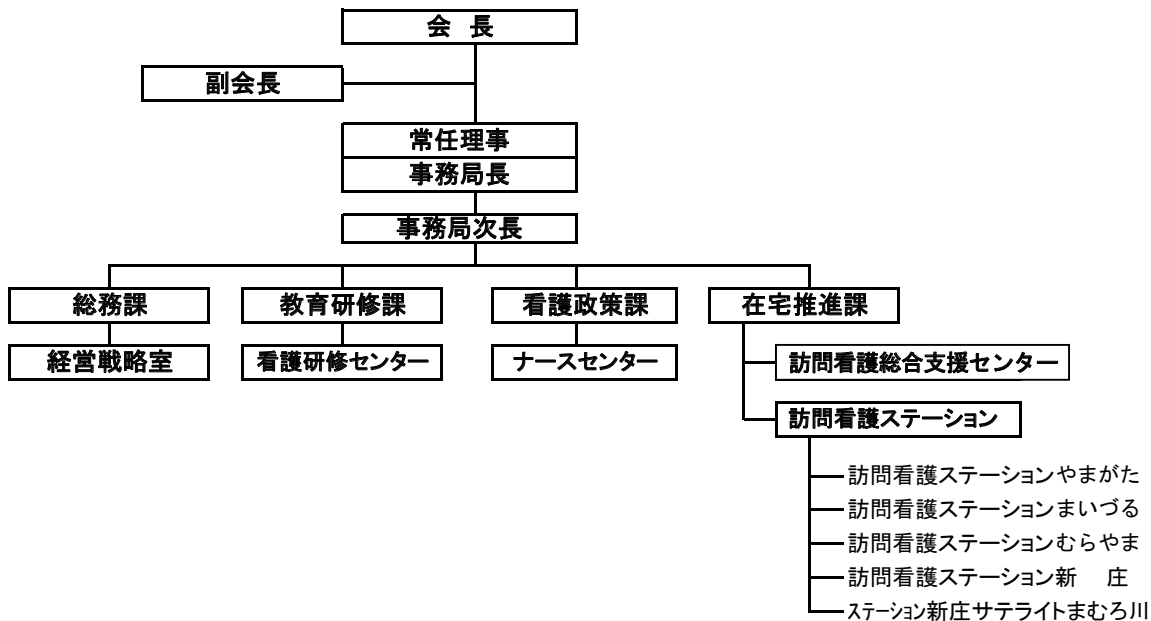
置賜支部委員				
委員会名	歴年数	氏 名	職能	勤 務 先
教 育 委 員 会	2	四 釜 寛 恵	看護師	公立置賜総合病院
	1	仁 科 勇 子	看護師	国立病院機構米沢病院
	1	高 橋 愛	看護師	公立置賜南陽病院
	1	佐 藤 美 雪	看護師	舟山病院
「まちの保健室」 運 営 委 員 会	2	荒 木 真 紀	看護師	三友堂病院
	1	渡 部 春 香	看護師	小国町立病院

山形県看護協会 組織図

【決議機関及び執行機関】



【執行機関及び事務局組織】



【事務局役職員名簿】

会 長	若 月 裕 子
常任理事 兼山形県ナースセンター長	田 瀬 裕 子
常任理事 兼看護研修センター長	後 藤 道 子
常任理事 兼山形県訪問看護総合支援センター長	菅 野 弘 美
事務局長	伊 藤 義 一
事務局次長 兼総務課長 兼経営戦略室長	武 田 哲
総務課 課長補佐 兼経営戦略室長補佐	早 坂 朗 子
総務課 課長補佐 兼経営戦略室長補佐	高 橋 美樹子
総務課 総務係長	佐々木 由加里
教育研修課 課長補佐	大 関 千 香
教育研修課 教育研修係長	多 田 愛 子
看護政策課 課長補佐	田 邊 智 絵
看護政策課 看護政策係長	堀 恵 美
看護政策課 看護政策係長	島 田 由美子
在宅推進課 課長補佐	佐 藤 美 香

補作詞・作曲・小椋佳

看護の心
胸深く

両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

看護の願い
胸熱く

つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

看護の祈り
胸清く

枕べにたつ　花の香りは
ほのかに匂う　優しく匂う
今　この時　そして明日に
今　この時　そして明日に

1. お お ぞ ら の も とれー ひ か
 2. さ さ な に に ゆー ひ ひ か
 3. そ よ な ぜ に の りー ひ ひ か

り も と め てー か ん ご の
 り も と め てー か ん ご の
 り も と め てー か ん ご の

こ こ ろ む ね ふ か くー
 ね が い り む ね あ き くー
 り う て に か さ すー あ い
 つ な く ら そ の た つー は な

の ほ ひ はー し ずー か に も え
 う ち し お はー さ やー か に と け
 の か お り はー は のー か に お

るー や さー し く も え るー い
 うー や さー し く と け るー た
 まだ こ の と きー そ し て あ し た
 ま こ の と きー そ し て あ し た

1.2.C 3.C C
 にー にー い ま こ の と

F G7 (F/G) C
 きー そ し て あ し た にー



不要な羽毛ふとんの 引取りを実施しています



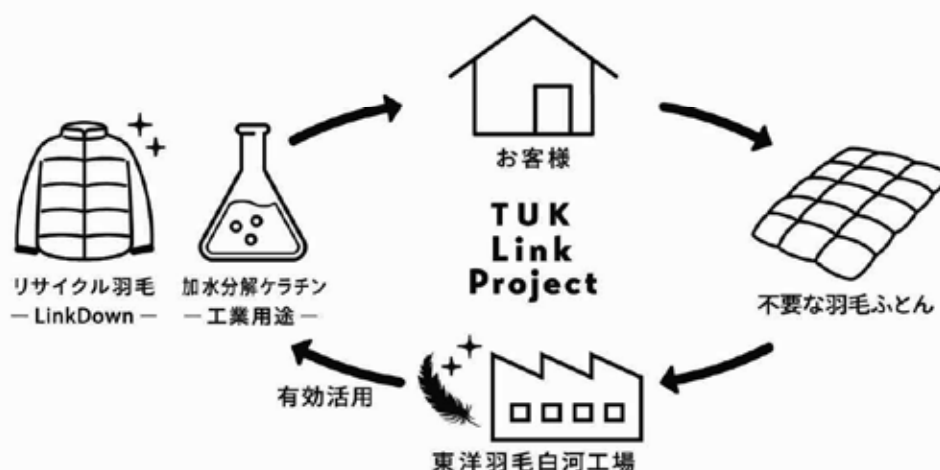
東洋羽毛
SDGsの
取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東洋羽毛は、SDGs（持続可能な開発目標）の活動に取り組んでいます。

私たちは、限りある天然素材である羽毛を有効活用する活動を通して、地球環境にやさしい企業を目指しています。その取り組みとして、お客様から不要になった羽毛ふとんの下取りや引取りを行い、その羽毛をHARUO工程で精製し、リサイクル羽毛「LinkDown」として再生しています。また、羽毛から加水分解ケラチン（タンパク質）を製造し、工業用途に再利用しています。



お近くの営業所またはお客様相談室までご連絡ください。
インターネットでもお申込みできます。

※引取り可能なふとんの種類は、羽毛ふとん（ダウン率50%以上）のみです。

ただし、東洋羽毛の羽根ふとん、羽根まくら（ダウン率50%未満）は引取り可能です。

羽毛以外のふとん類や、リサイクル羽毛として活用できない物は引取りできませんのでご了承ください。



お申込みフォーム



東洋羽毛北部販売株式会社

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井1-29-13

仙台営業所

☎ 0120-023-337

【会員福利厚生サービス一覧】

公益社団法人山形県看護協会



研修受講	キャリアアップを促進する研修会を会員価格で受講できます。 
学会参加・発表	山形県看護研究学会及び日本看護学会へ会員料金で参加・研究成果を発表できます。
看護職賠償責任保険への加入	日本看護協会会員（開業助産師を除く）のみを加入対象とした任意加入の保険です。（総合案内 0120-088-073 平日 10～17 時） 
慶弔・災害見舞	本会への申請により、規定の区分に応じた各種見舞金を本会並びに日本看護協会から受け取ることができます。
協会ニュース・会報の配布	協会の活動や保健医療福祉に関する最新の情報を知ることができる協会ニュース(毎月)、情報満載の広報誌(年4回)をお届けします。
会員マイページ キャリナース	研修受講履歴の確認・証明書発行、看護に役立つ資料データの閲覧、文献検索、学会論文集・調査研究報告などの閲覧等をご利用いただけます。 
各種表彰制度	協会活動に精励した会員、看護業務について顕著な功績があった会員を規定に基づき通常総会において表彰いたします。
福利厚生サービス	SOMPO グループと共に、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりの提供 ①年金理解・資産形成支援サービス ②長期収入サポート制度(団体長期障害所得補償保険) ③親子のちから(親介護費用保障特約セット団体総合保険) 
アフラック	割安な団体扱い保険料での加入が可能です。
看護職のためのメンタルヘルス相談窓口	看護職の皆様にご利用いただけるメンタルヘルス相談窓口が設置されています。（電話相談：0120-543-556）
奨学金制度の利用	給付型・貸与型各種奨学金制度をご利用いただけます。
図書室のご利用	看護関連図書や雑誌・DVD/ビデオ等の閲覧・貸出・文献複写をご利用いただけます。
研修室のご利用	各研修室を会員料金でご利用いただけます。
教育研修教材の貸出	看護技術研修用シミュレーター・健康測定機器・新生児人形・白衣等を無料で貸出いたします。
東北ミサワホーム	会員特別割引をご利用いただけます。（※詳細は東北ミサワホームでご確認ください。）

山形県看護協会では、
各種 SNS でお知らせや様々な取り組み、
日々の活動などの最新情報を随時配信しております。
ぜひご覧ください。



山形県看護協会



ナースセンター



友だち登録 フォロー いいね

よろしくお願いします！！



「看護の日」キャラクター 山形県 かんごちゃん 

かんごちゃん 
「看護の日」キャラクター



公益社団法人 山形県看護協会

〒990-2473

山形市松栄一丁目5番45号

TEL 023 (685) 8033

FAX 023 (646) 8868

<https://www.nurse-yamagata.or.jp>